

長岡市埋蔵文化財調査報告書

# 草薙遺跡

—県営育成体基盤整備事業（潟1期地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2011

新潟県長岡市教育委員会

## 例　　言

1. 本書は、新潟県長岡市寺泊小豆曾根地内に所在する草薙遺跡の発掘調査報告書である。
2. 調査は、県営育成体基盤整備事業（潟地区）に伴うものであり、平成16年度に寺泊町教育委員会が確認調査を行い、本発掘調査は寺泊町と長岡市が合併後の平成20・21年度に、長岡市が新潟県長岡地域振興局から委託を受けて実施した。
3. 確認調査に要した費用は文化財保護部局である寺泊町教育委員会（当時）が負担し、国庫および県費の補助交付金を受けた。本発掘調査に要した費用は、原因者である新潟県長岡地域振興局が費用の9割を負担した。また、長岡市が費用の1割を負担し、国庫および県費の補助交付金を受けた。
4. 遺物の注記は、遺跡略号（KN）の後、出土位置、取り上げ番号等を記した。
5. 本書の執筆は、以下のとおりであり、最終的な編集は加藤が行った。

第IV章1 (SE01・SK01・SK02・SK16・SK24) 松井奈緒子

第IV章2 石器・石製品（打製石器・玉資料） 小林徳（長岡市教育委員会）

第V章1・2 株式会社吉田生物研究所

第V章3 パリノ・サーヴェイ株式会社

上記以外 加藤由美子（長岡市教育委員会）

6. 調査・整理体制は以下のとおりである。

(確認調査) 平成16年度

調査主体 寺泊町教育委員会（教育長 柳下明也）

事務局 寺泊町教育委員会事務局（事務局長 古川原直人）

調査担当 寺泊町教育委員会社会教育係 主事 加藤由美子

(本発掘調査) 平成20・21年度

調査主体 長岡市教育委員会（教育長 加藤孝博）

事務局 長岡市教育委員会科学博物館（館長 山屋茂人）

調査担当 長岡市教育委員会科学博物館 主任 加藤由美子

発掘調査員 谷岡康孝（平成21年度 株式会社大石組）

調査補助員 松井奈緒子（株式会社大石組）

現場代理人 大石仁志（平成20年度 株式会社大石組）

田中博明（平成21年度 株式会社大石組）

(整理作業) 平成22年度

調査主体 長岡市教育委員会（教育長 加藤孝博）

事務局 長岡市教育委員会科学博物館（館長 山屋茂人）

整理担当 長岡市教育委員会科学博物館 主任 加藤由美子

7. 発掘調査で出土した遺物及び、測量図面・写真等の記録類は、長岡市教育委員会で保管している。

8. 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の方々より多大なるご教示・ご協力を賜った。ここに記して厚く御礼申し上げる。（五十音順・敬称略）

石川日出志 神林康子 駒形敏朗 笹澤正史 関 雅之 滝沢規朗 竹部佑介 野田豊文 渡邊裕之

三島郡北部土地改良区 寺泊小豆曾根集落 寺泊北曾根集落 寺泊新長集落 有限会社成田建材

新潟県長岡地域振興局 新潟県教育庁文化行政課 社団法人長岡市シルバー人材センター寺泊支部

## 目 次

第Ⅰ章 調査に至る経緯	1
第Ⅱ章 遺跡をとりまく環境	2
1 遺跡の位置	
2 周辺の遺跡	
第Ⅲ章 調査の方法と経過	4
1 確認調査	
2 本発掘調査	
3 工事立会	
4 整理作業	
第Ⅳ章 調査の成果	6
1 調査区の設定	
2 基本層序	
3 遺構	
4 遺物	
第Ⅴ章 自然科学分析	14
1 長岡市草薙遺跡出土木製品の樹種調査	株式会社吉田生物研究所
2 長岡市草薙遺跡出土木製品の表面調査	株式会社吉田生物研究所
3 長岡市草薙遺跡出土骨の分析	パリノ・サーヴェイ株式会社
第VI章 まとめ	25
参考文献	

## 挿図・表目次

第1図 遺跡の位置	1
第2図 弥生時代・古墳時代の遺跡	3
第3図 トレンチ配置図及び基本層序	7
第1表 周辺の遺跡一覧	3
第2表 遺構観察表	27
第3表 遺物観察表	34

## 図版目次

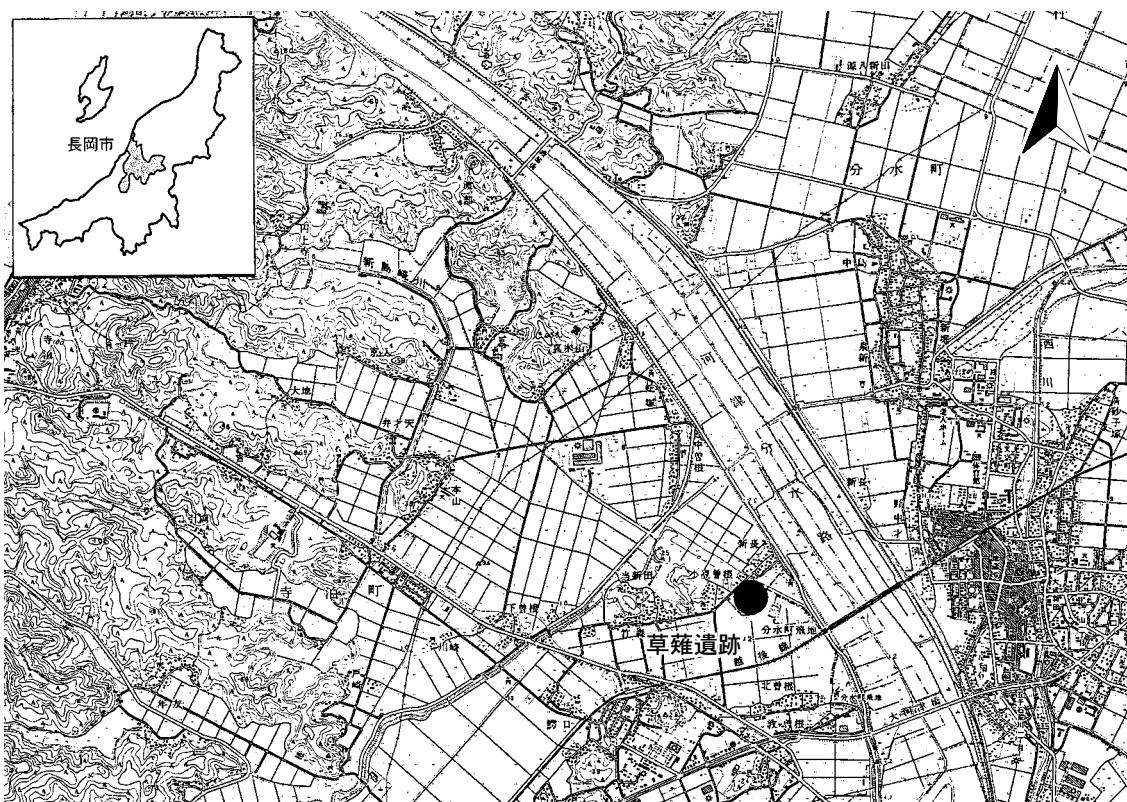
- 図版1 調査区全体図  
図版2 遺構平面図 (1)  
図版3 遺構平面図 (2)  
図版4 遺構平面図 (3)  
図版5 遺構平面図 (4)  
図版6 遺構平面図 (5)  
図版7 遺構平面図 (6)  
図版8 遺構平面図 (7)  
図版9 遺構平面図 (8)  
図版10 遺構平面図 (9)  
図版11 遺構実測図 (1)  
図版12 遺構実測図 (2)  
図版13 遺構実測図 (3)  
図版14 遺構実測図 (4)  
図版15 遺構実測図 (5)  
図版16 遺構実測図 (6)  
図版17 遺構実測図 (7)  
図版18 遺構実測図 (8)  
図版19 遺構実測図 (9)  
図版20 遺構実測図 (10)  
図版21 縄文時代晩期の土器  
　　弥生時代中期の土器 (1)  
図版22 弥生時代中期の土器 (2)  
図版23 弥生時代中期の土器 (3)  
　　弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (1)  
図版24 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (2)  
図版25 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (3)  
図版26 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (4)  
図版27 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (5)  
図版28 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (6)  
図版29 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (7)  
図版30 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (8)  
図版31 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (9)  
図版32 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (10)  
図版33 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (11)  
　　古代・中世の土器
- 図版34 石器・石製品 (1)  
図版35 石器・石製品 (2)  
図版36 石器・石製品 (3)  
図版37 石器・石製品 (4)  
図版38 石器・石製品 (5)  
図版39 木製品 (1)  
図版40 木製品 (2)  
図版41 木製品 (3)・その他  
図版42 完掘写真 (1)  
図版43 完掘写真 (2)・基本層序  
　　遺構遺物写真 (1)  
図版44 遺構遺物写真 (2)  
図版45 遺構遺物写真 (3)  
図版46 遺構遺物写真 (4)  
図版47 遺構遺物写真 (5)  
図版48 作業風景  
図版49 遺物写真 (1)  
図版50 遺物写真 (2)  
図版51 遺物写真 (3)  
図版52 遺物写真 (4)  
図版53 遺物写真 (5)  
図版54 遺物写真 (6)  
図版55 遺物写真 (7)  
図版56 遺物写真 (8)  
図版57 遺物写真 (9)  
図版58 遺物写真 (10)  
図版59 遺物写真 (11)  
図版60 遺物写真 (12)  
図版61 遺物写真 (13)  
図版62 遺物写真 (14)  
図版63 遺物写真 (15)  
図版64 遺物写真 (16)  
図版65 遺物写真 (17)

## 第Ⅰ章 調査に至る経緯

平成14年6月、新潟県長岡地域振興局（以下、「振興局」）は、長岡市寺泊地域における経営体育成基盤整備事業（潟地区）計画地内における埋蔵文化財の取り扱いについて、寺泊町教育委員会（以下、「町教委」）と協議を行った。潟地区的総事業面積は505haと広大なため、事業は5期に分けて進められる計画であった。協議の結果、事業地内には周知の遺跡が存在し、さらに未知の遺跡が存在する可能性があるため、町教委は事業採択を受けた地区から試掘確認調査を行い、その結果をもとに再度埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行うこととなった。

平成16年4月、潟1期地区（寺泊北曾根・寺泊小豆曾根・寺泊新長・寺泊竹森）が事業採択され、町教委は同年9月から試掘確認調査を実施した。調査の結果、新たに蔵地面遺跡（遺跡No.1256）、野起遺跡（遺跡No.1257）が発見され、周知の遺跡である草薙遺跡（遺跡No.1049）の範囲拡大が明らかとなった。同年12月、振興局と町教委は再び協議を持ち、野起遺跡と草薙遺跡の面工事部分については、保護盛り土を行うことで合意した。また、排水路・用水路部分については、工事着手前に本発掘調査を行うこととした。蔵地面遺跡は試掘調査で遺構が確認されなかつたため、工事立会とした。

平成18年1月1日、寺泊町は長岡市と合併し長岡市となり、草薙遺跡等の発掘調査事業も新市へ引き継がれた。平成20年7月24日、振興局と長岡市は草薙遺跡発掘調査の基本方針を定めた「草薙遺跡に関する協定書」を締結した。協定書では、発掘調査は長岡市教育委員会が調査主体となり平成20・21・22年度の3か年で実施すること、整理作業及び調査報告書の刊行は調査終了の翌年度中に行うこと、事業にかかる費用は振興局が事業費全体の9割を負担し、長岡市が残り1割を負担することがうたわれている。



第1図 遺跡の位置 (1/50,000) (国土地理院平成7年発行「寺泊」1/25,000を元に作成)

## 第Ⅱ章 遺跡をとりまく環境

### 1 遺跡の位置

草薙遺跡は、新潟県長岡市寺泊小豆曾根に所在する（第1図）。

現況は田んぼと畑地で、遺跡の北東に信濃川大河津分水路の左岸堤防がある。海岸線からの距離は約8km、標高は10.6～11.2mである。遺跡は小豆曾根と新長の集落の南辺に沿うように、350m×70mの範囲に広がり、総面積は約25,000m<sup>2</sup>と推定される。遺跡の立地する範囲は、かつての信濃川の流れによって形成された自然堤防である。現在の小豆曾根・新長集落も同じ堤防上に乗る。この自然堤防は、竹森から新長にかけて、北東一南西方向に幅250m、長さ700m以上の範囲に広がる。草薙遺跡はこの自然堤防に重なる形で広がり、堤防を下りた低地部では遺構・遺物とも確認されていない。

低地部では地元で「ガツボ」と呼ばれる植物遺体層が厚く堆積する。この層が地下でスponジのような役割を果たすため、常時水はけが悪い。これは、和島・寺泊を経由して西川に合流する第2級河川・島崎川が慢性的な排水不良の状態であることに起因しており、寺泊地域の丘陵下の平地部ではこのような軟弱地盤が一般的に見られる。排水を強化する農地整備事業は、地元農家にとって切実な願いであった。

遺跡の北西、竹森集落に「城山」と呼ばれる独立丘陵がある。出雲崎・和島方面から新潟平野に伸びる東頸城丘陵の「東側丘陵」は、先端部の寺泊竹森付近で島状となり、さらにその先で新潟平野に埋没する。「城山」はそのような残丘のひとつである。遺跡の北西、本山地区一帯には、明治時代まで円上寺潟という潟湖が存在した。大河津分水路工事の残土で埋め立てられ、現在一帯は美田と化している。円上寺潟は、古代において日本海と信濃川をつなぐ内水面交通の役割を担ったという指摘もあり、各時代を通じて当地域の歴史に密接に関わる潟湖である。

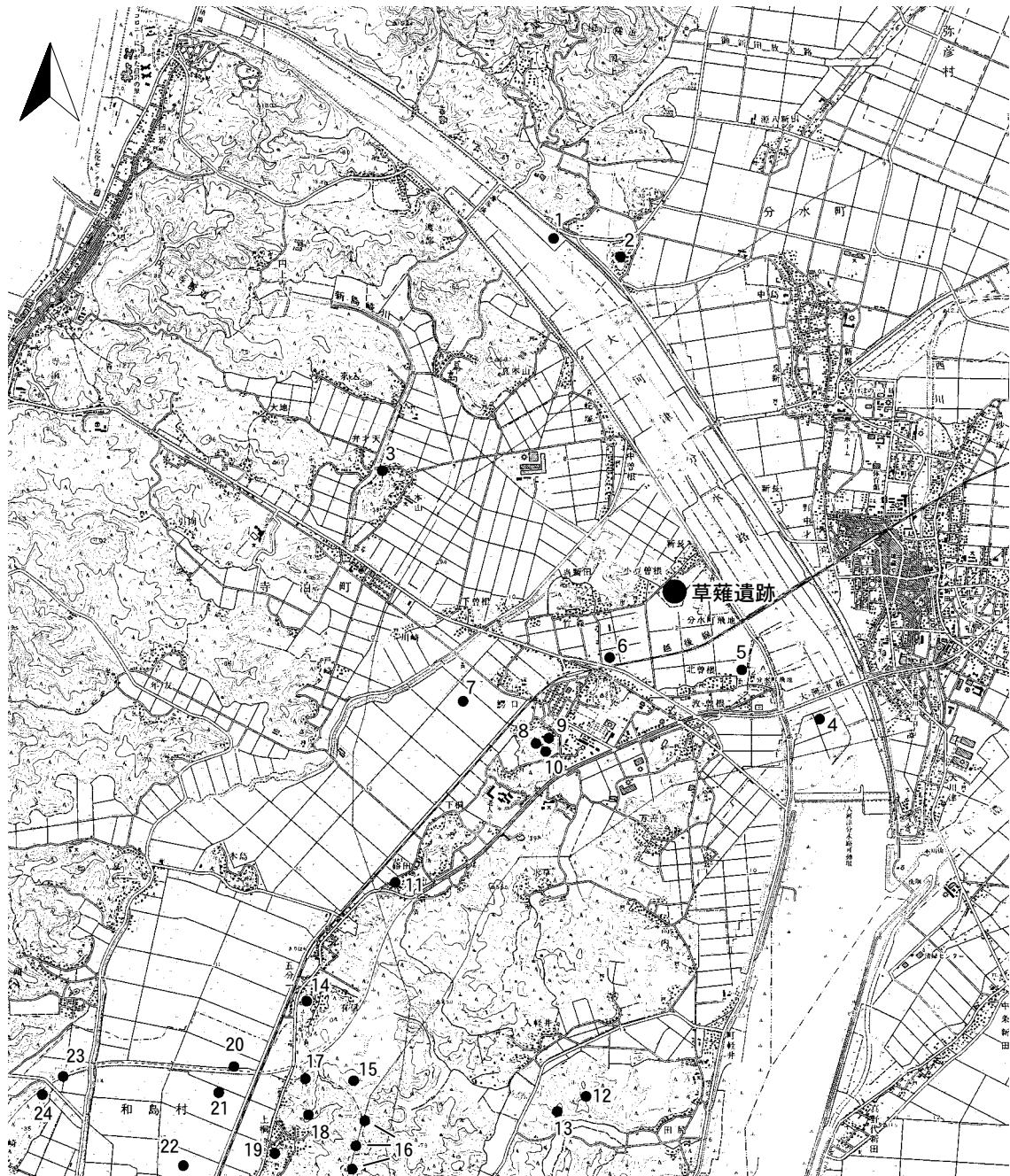
### 2 周辺の遺跡

ここでは、本遺跡の主たる時代である弥生時代から古墳時代に限り、周辺の遺跡分布を見ていきたい。

弥生時代前期の遺跡は、これまでのところ確認されていない。弥生時代中期には、本遺跡から500m南西に位置する諫訪田遺跡の存在が知られる。諫訪田遺跡では翡翠や緑色凝灰岩を用いた玉作が行われており、中期後半以降の土坑墓6基が検出された。諫訪田遺跡の管玉攻玉工程は、寺村光晴氏により「KJ諫訪田技法」として提唱されている。大河津分水路可動堰改築事業に伴って発見された五千石遺跡では、小松式の土器を伴う周溝を持つ建物が検出された。中期における当地域の様相が次第に明らかになりつつある。和島地域では、大武遺跡・奈良崎遺跡・上桐神社裏遺跡・松ノ脇遺跡などが知られる。

弥生時代後期に入ると遺跡数は増加し、和島地域の「東側丘陵」の裾部あるいは頂部に遺跡が集中する。まず特筆すべきは、標高90mの尾根上に立地する赤坂遺跡であろう。尾根を断ち切る深さ2m以上の濠が確認されており、防御的機能を持つ集落と考えられる。寺泊地域では、横滝山遺跡・諫訪田遺跡・京田遺跡・古屋敷遺跡・野起遺跡・五千石遺跡がある。円上寺潟に接した舞台島遺跡は、橋脚の工事中に8mの深さから土器が出土した。この時期の墳墓には奈良崎遺跡の周溝墓や、屋鋪塚遺跡の方形台状墓がある。

古墳時代前期になると、奈良崎遺跡・大武遺跡・五千石遺跡などの拠点集落が隆盛する。また、奈良崎遺跡の円墳・方墳、下小島谷古墳群の前方後方墳、大久保古墳群の前方後円墳・前方後方墳・方墳など前期古墳の造営が始まる。これらの古墳を造営した母集落の解明が目下の課題となろう。



第2図 弥生時代・古墳時代の遺跡 (1/50,000) (国土地理院平成7年発行「寺泊」1/25,000を元に作成)

No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代	No.	遺跡名	時代
1	夕暮れの岡	古墳後期	9	庚塚古墳	古墳後期?	17	ヤケ山	弥生後期
2	竹ヶ花	弥生	10	舞台塚古墳	古墳後期?	18	上桐城	弥生後期
3	舞台島	弥生後期	11	土手上	古墳後期	19	上桐神社裏	弥生中期~古墳前期
4	五千石	弥生中期~古墳後期	12	大久保古墳群	古墳前期	20	門新(谷地)	古墳前~後期
5	野起	弥生中期~古墳前期	13	屋鋪塚	弥生後期	21	門新外割田	古墳中期
6	諫訪田	弥生中~後期	14	五分一稻場	古墳前~中期	22	上新田	古墳前期
7	古屋敷	弥生後期~古墳前期	15	イブヶ入	弥生後期	23	大武	弥生中期~古墳後期
8	横瀧山廃寺跡	弥生中期~古墳	16	赤坂	弥生後期	24	奈良崎	弥生中期~古墳後期

第1表 周辺の遺跡一覧 (弥生時代・古墳時代)

## 第Ⅲ章 調査の方法と経過

### 1 確認調査

草薙遺跡が含まれる潟1期地区の試掘確認調査は、平成16年9月27日から12月10日に実施した。トレンチ数は1,011か所で、調査面積は3,033m<sup>2</sup>である。ここでは草薙遺跡関係する部分のみ報告する。草薙遺跡周辺では、2m×1.5mのトレンチを田んぼ1反につき2か所設定した（図版1）。バックホウで土を薄く剥ぎ取りながら掘削し、遺物・遺構の有無を確認する。遺構や層序の記録の後、速やかに埋め戻しを行った。埋め戻しには地盤沈下を防ぐため川砂を充填した。

調査の結果、古墳時代前期を主体とした遺物包含層（IV層）の存在を確認した。また、トレンチによつて濃密はあるものの、ピット等の遺構が広範囲に存在することが明らかとなった。遺跡の一部は、昭和30年前後に行われた耕地整理で削平を受けている。特に小豆曾根集落に近接した597～604トレンチ付近で最も激しい。削平を受けた場所では、遺物包含層の残りが悪く、すべて削平され現存しない例もあった。このような場所では遺構・遺物は希薄で、遺物は搅乱により微細な欠けらとなって耕作土中に混じる。一方、678～682・740・743トレンチでは良好な状態で遺物包含層が確認できた。これらのトレンチでは、表土下20～40cmの深さで、厚さ約20cm前後の包含層が確認できた。直径20cm前後のピットや溝といった遺構も多く検出された。584・588・589・612・620・640・641・645・719・728トレンチでは植物遺体を多量に含む層の堆積が確認された。これにより、遺跡内に旧河道が存在する可能性が高まった。調査の結果明らかとなつた遺跡の範囲は、当初認識されていた範囲より一回り大きくなり、南限は北曾根集落の地籍近くまで、北東は新長集落の諏訪神社付近まで拡大した。

町教委は確認調査の結果を元に振興局と協議を行い、面工事部分は遺跡の保護のため保護盛り土を行い、設計変更が不可能な排水路・用水路（パイプライン）部分についてのみ、本発掘調査を行うことで合意した。また、排水路・用水路工事部分であっても、幅が狭く事実上発掘調査が困難な地点に関しては、工事立会で対応するという方針を決めた。

### 2 本発掘調査

本発掘調査は面工事の進捗状況に合わせて、平成20年度と平成21年度の2年間で実施した。

**平成20年度** 1～3トレンチの発掘調査を行った。10月9日から現場準備に入り、バックホウで表土除去を行つた。同15日から作業員を動員し、1・2トレンチから発掘調査を開始した。排水用と層序確認用のサブトレンチを掘削し、基本層序を確認するためにトレンチ壁面の精査を行つた。17日以降は遺物包含層の発掘を開始した。本遺跡の主体となる古墳時代前期の土器はあまり出土せず、縄文時代や弥生時代の石鏃、弥生の玉作関連資料、古代の布目瓦、中世の珠洲焼等が目に付く。後世の削平を受けており、意向の残りはあまり良くない。SK01・SK02といったような土坑以外は、掘り込みの浅さが目立つ。10月最終週に入り雨が続き、調査が延滞した。1・2トレンチの調査を終え、11月6日から3トレンチでの調査を開始した。まずはサブトレンチを設定し、包含層発掘を行う。1・2トレンチと比べ遺物量が多く、遺構の密度も高い。11月26日、SE01覆土中から骨がまとまって出土したため、新潟県与板警察署へ骨発見の旨を届け出た。27日、土器集積遺構（SX09）の存在が明らかとなり、遺構の範囲を確定するための2m×2mの拡張区を設け、急ピッチで作業を進めた。11月28日、全体の完掘写真を撮影し、全ての作業道具を現場か

ら撤去した。これをもって20年度の現場調査は終了とし、引き続き、遺物の洗浄・注記等の基礎整理作業に入った。

**平成21年度** 4～9トレンチの発掘調査を行った。工事の進捗状況に合わせて4～7トレンチの調査は夏に、8・9トレンチの調査は秋に実施した。協定書締結時、8・9トレンチの調査は平成22年度春の予定だったが、その後の協議により、4～9トレンチすべての調査を平成21年度中に実施することになった。6月12日、4～7トレンチの現場準備に入った。バックホウで表土除去を行ったところ、4・6・7トレンチで、確認調査時から予想されていた旧河道（SD33）の肩を確認した。SD33は各トレンチを横切るように北東－南西方面に伸びる。川幅が広く覆土に植物遺体が多く含まれるため、調査にはそれなりの時間を要することが予想された。同18日から作業員を動員し本格的な発掘調査を開始した。始めに6・7トレンチ、次に4・5トレンチの調査を行った。包含層発掘を開始し、引き続き遺構精査と遺構発掘を行った。SD33から木製品が出土し、慎重な調査が続く。7月24日、4～7トレンチの完掘状況写真を撮り、8月3日をもって夏の調査を終了した。なお、現場の安全確保のため、9月上旬にSD33の一部埋め戻しを行った。8・9トレンチの調査は、稲刈り後の10月5日から着手した。9トレンチでSD33の続きを検出した。10月19日に完掘状況写真を撮り、10月21日にすべての現場作業を終了した。遺物の基礎整理は、現場調査と併行して行った。

### 3 工事立会

当初の協議において、長岡市と振興局は、発掘調査の実施が困難なほど狭小な工事区については、工事に際して長岡市が立会いを行い、遺跡の記録保存を行うことで合意していた。具体的には7トレンチの100m西側に計画された排水路予定地がその対象となった。平成20年2月12日、当該箇所で掘削工事の立会いを行った。その結果、SD33の続きを考えられる落ち込みを、幅21mにわたって確認した。掘削震度が60cmと浅く、遺物は出土しなかった。

### 4 整理作業

遺物洗浄・注記などの基礎整理は、発掘調査を行った年度内に順次行った。

平成20年度は、3トレンチの土器集積遺構（SX09）から当初の予想を上回る大量の土器が出土したことにより、整理作業計画を見直す必要が生じた。また、微量ながらも包含層中から玉作関係資料が出土したため、遺構覆土を洗浄し微細な遺物の抽出も試みた。3トレンチSE01から出土した骨は、出土状態が非常に脆弱で洗浄により崩壊する恐れがあったため、竹串で表面の泥を落とす程度に留めた。

平成21年度調査ではSD33・SK16から木製品の出土が相次いだ。これら木製品は、乾燥によって変形・崩壊するため、丁寧な水洗の後、コンテナに水漬けの状態で保管した。土器は洗浄・注記の後、前度出土分を含めて接合・復元・実測に着手した。また、調査で作成した記録類の整理も順次行った。

平成22年度は、前年度までに基礎整理が終了した遺物の接合・復元を行った。また、木製品・石器・石製品・土器の順に遺物実測を進めた。実測図・遺構図のトレースの後、遺構図版及び遺物図版のレイアウトを行い、平行して遺構・遺物観察表のデータ入力・校正、遺物写真の撮影・画像処理・レイアウト、原稿執筆等、報告書作成に向けた編集作業に取り組んだ。

出土状態が脆弱でそのままでは保管が困難な木製品11点について、保存処理及び樹種同定を株式会社吉田生物研究所に委託した。また、SE01出土の骨の種別同定をパリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。

## 第IV章 調査の成果

### 1 調査区の設定

確認調査の結果を元に、排水路及びパイプライン部分に9つのトレーニングを設定した（図3）。グリッドは、各トレーニングのどちらか一端を0mとして10m間隔に杭を打ち、その中をさらに2m単位に区切っている。遺物の取り上げ位置や遺構の位置を表す場合、このグリッドを使用する。各トレーニングの0mポイントは、概ねそのトレーニングの南端あるいは西端になるように設定したが、トレーニングの主軸が必ずしも東西南北に沿わないため、3～5・8・9トレーニングなど例外もある。

### 2 基本層序

調査地の現況は田んぼ及び畑地で、標高10.6～11.2mである。基本層序はI～V層に区分できる。

I層：2.5Y3/3 暗オリーブ褐色粘質土（粘性強・しまり弱、表土・耕作土）

II層：10YR4/1 褐灰色粘質土（粘性強・しまり中、弥生時代から近代の遺物包含層）

III層：2.5Y4/4 オリーブ褐色砂混粘質土（粘性弱・しまり中、1cm大の地山ブロック多く含む、古代・中世の遺物包含層）

IV層：10YR2/1 黒色粘質土（粘性強・しまり強、3～10mm大の炭化物粒子含む、縄文時代晚期から古墳時代前期の遺物包含層）

IV'層：2.5Y4/2 暗灰黄色粘質土（粘性強・しまり強、2～5mm大の炭化物粒子含む、地山ブロック含む、IV層とV層の漸移層）

V層：2.5Y5/4 黄褐色砂質土（粘性弱・しまり強、地山）

III層は1トレーニングの一部でのみ確認でき、他のトレーニングでは見られない。IV'層は自然堤防の縁辺部からさらに下がった低地部にかけての標高の低い地点、また旧河道（SD33）付近で顕著に認められる。同様な場所では、IV層も次に示す4層に分かれれる。

IV①層：10YR2/1 黒色粘質土（粘性強・しまり中、植物遺体含む、縄文時代晚期から古墳時代前期の遺物含む）

IV②層：10YR6/3 にぶい黄褐色粘質土（粘性強・しまり強、所により薄い炭化物層を挟む）

IV③層：2.5Y4/2 暗灰黄色粘質土（粘性中・しまり弱、植物遺体多く含む）

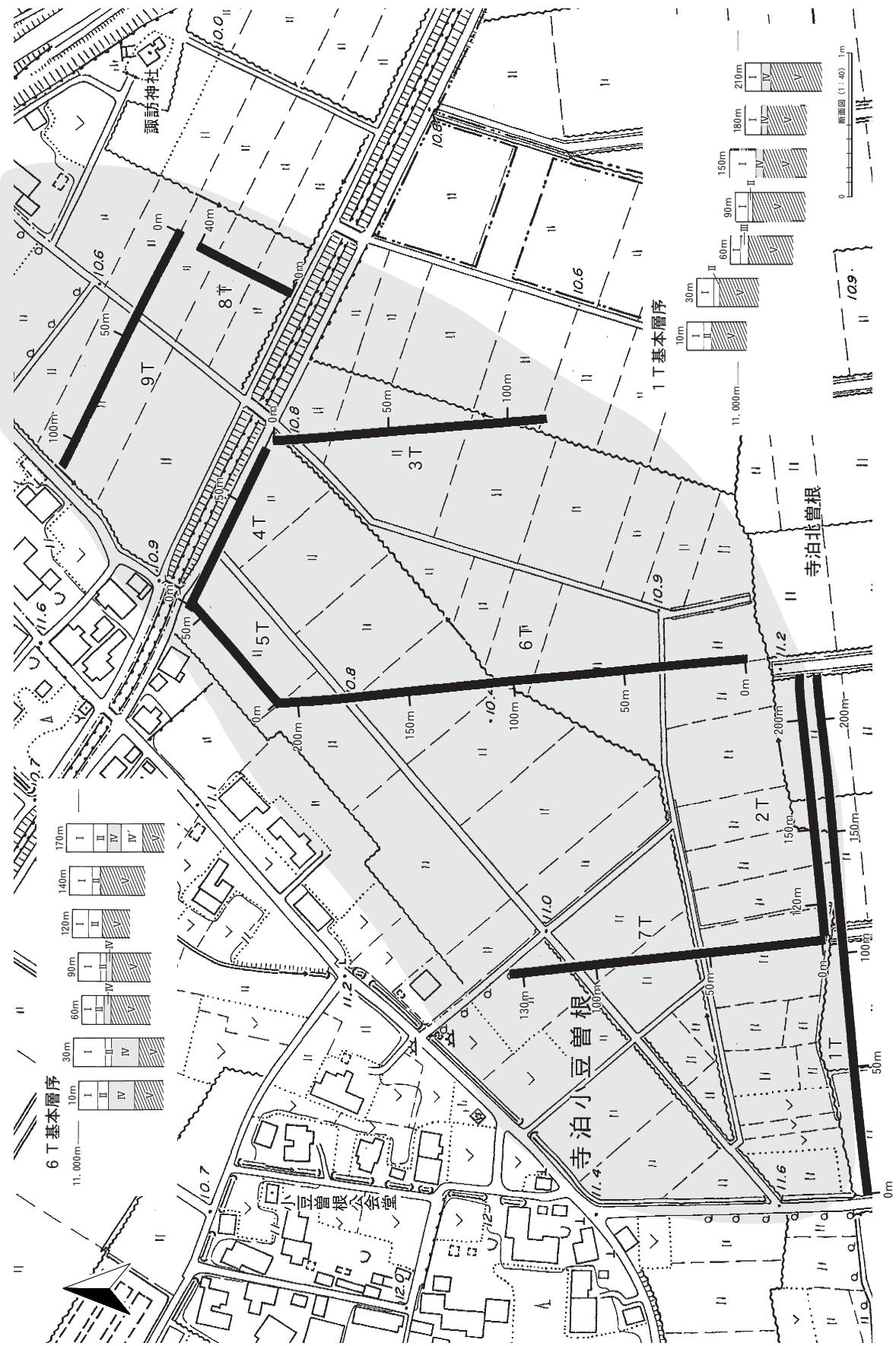
IV④層：2.5Y2/1 黒色粘質土（粘性強・しまり中、縄文時代晚期から古墳時代前期の遺物含む、層の最下面に遺物が多い）

発掘調査はIV層を対象に包含層調査を行い、V層上面で遺構調査を行った。

### 3 遺構

今回は調査区の幅が狭いため、遺構の面的な広がりを把握することができなかった。検出した遺構は、井戸（SE）1基、土坑（SK）26基、溝（SD）59条、旧河道（SD）1条、不明遺構（SX）18基、ピット（SP）339基である。遺構の密度は3・6・8トレーニングで高く、4・5・9トレーニングでやや低い傾向が見られる。4・6・7・9トレーニングでは旧河道（SD33）を検出した。SD33は、遺跡が立地する自然堤防と平行し、南西-北東方向に伸びる。以下に、主な遺構について報告する。

第3図 レンチ配置図(1/2, 500) 及び基本層序(1/40)



**SE01** (図版11) 3 T・30~34mグリッドに位置する。平面は不整形、断面は袋状を呈す。長軸232cm、深さ176cm、底面標高は8.8mを測り、東側半分は調査区外へ伸びる。覆土は自然堆積し、炭化物を非常に多く含む3層を間に挟み、12層に分かれる。3~8層にかけて縄文時代晚期の深鉢(8)や土師器(88~92)が出土した。地山V層土が主体の11層からは木片と共に、藍鉄鉱に覆われた二ホンジカの骨が出土した。底面付近は湧水していた。遺構の時期は、出土した土器から古墳時代前期と考えられる。

**SK01** (図版11) 1 T・34~36mグリッドに位置する。平面は円形、断面は袋状を呈し、長軸88cm、短軸82cm、深さ80cmを測る。覆土は5層に分かれ、地山ブロックや炭化物の混ざり方でさらに細分した。覆土の堆積状況から、人為的に埋め戻されたと考えられる。遺物は出土せず、時期は不明である。

**SK02** (図版11) 1 T・0~4mグリッドに位置する。平面は楕円形、断面は不整な台形状を呈す。南側は調査区外へと続き、上部はSX02によって切られている。長軸102cm、深さ80cmを測る。覆土は7層に分かれて自然堆積し、最下層には炭化物層が広がる。4層中より土師器(206)が1点出土した。

**SK03** (図版11) 3 T・54~56mグリッドに位置する。平面は不整形で長軸102cm、断面は緩やかな弧状を呈し、深さは17cmである。1層から畿内系のタタキ甕を含めた土師器が数点出土した(63~65)。また、被熱破碎した磨石の破片が数点出土した。古墳時代前期前半の時期に比定される。

**SK06** (図版11) 3 T・2~6mグリッドに位置する。平面は隅丸長方形で最大長は304cm、短軸98cmである。断面は不整な台形状を呈し、覆土はIV層由来の上層とV層由来の下層とに分けられる。近接するSK05やSD13と軸を同じくすることから、すべて同時期の遺構と考えられる。遺物は出土しなかった。

**SK09** (図版11) 3 T・34~38mグリッドに位置する。平面は不整形で、西側はさらに調査区外へと伸びる。現状での長軸は82cm、断面は不整な弧状を呈し、覆土は3つに分層できる。2層から土師器片が出土したが微細なため図化できなかった。古墳時代前期の時期が考えられる。

**SK15** (図版12) 7 T・52~54mグリッドに位置する。平面は円形で直径58cm、断面は台形状で48cmの深さがある。覆土はレンズ状に堆積し、1~5層に地山ブロックを多く含む。また、2層は炭化物粒子が多く認められ、3層はほぼ炭化物から成る。遺物が出土しなかったため時期は不明である。

**SK16** (図版13) 6 T・174~176mグリッドに位置する。平面は円形、断面は台形状で、西側が調査区外にやや伸びる。長軸94cm、深さ66cmを測り、覆土は6層に分かれる。1~4層はレンズ状に堆積し、5層は地山ブロックと黒色土の互層である。遺物は1層から結合器台(61)と赤彩された完形品の高坏(62)が出土した。また、5層の最下部から伏せた状態の木製杓(445)と木製容器(444)が、6層から円板形木製品(446)がそれぞれ重なる様に相次いで出土したことは特徴的である。杓と容器の間には木の葉の堆積が確認できた。他に加工木(447)や木片(448~449)も出土した。古墳時代前期前半の時期を考えたい。

**SK18** (図版12) 6 T・96~98mグリッドに位置する。東側半分は調査区外へと続く。平面は不整な楕円形で現状での長軸が132cm、断面は不整な円形状を呈し、深さ30cmを測る。弥生土器(18)と土師器(66)が出土した。古墳時代前期の時期に比定される。

**SK20** (図版12) 6 T・80~82mグリッドに位置する。東側半分は調査区外へと続く。平面は不整な円形で現状での長軸は90cmである。断面は不整な弧状を呈し、深さ17cm。覆土は地山由来の黒褐色粘質土の単層である。土師器の小片が出土した。古墳時代前期の時期が考えられる。

**SK21** (図版12) 6 T・114~116mグリッドに位置する。平面は2つの掘り込みが重なる不整形で、長軸68cm、短軸60cm。断面は不整な半円状を呈し、16cmと浅い。覆土はIV層由来の土に、V層ブロックが混じる。遺物が出土しなかったため、時期は不明である。

**SK22** (図版12) 6 T・180~182mグリッドに位置する。平面は長軸80cm、短軸74cmの円形である。断面は不整形な台形状を呈し、深さは27cmを測る。覆土は2層に分けられ、IV層由来の上層（1層）から土師器の甕（62）が出土した。時期は古墳時代前期と考えられる。

**SK24** (図版12) 4 T・10~14mグリッドに位置する。平面は不整な円形、断面はV字状で、底部付近はやや袋状に広がる。長軸290cm、深さ155cm、底面標高は8.96mを測る。覆土は15層に分層でき、レンズ状に自然堆積する。赤彩された高坏または器台脚部（68）の他、先端をヘラ状に加工した棒（441）や杭（442・443）などの木製品も出土した。底部からは絶えず湧水しており、規模や形状から井戸の可能性も考えられる。時期は古墳時代前期か。

**SK25** (図版12) 6 T・148~150mグリッド、SD33内に位置する。西側半分のみを検出した。平面は橢円形を呈し、現状での長軸は68cm。断面は不整な台形状で、深さは57cmである。覆土は3層に分けられ、それぞれ土師器（69~72）が出土した。時期は古墳時代前期と考えられる。

**SK26** (図版12) 4 T・76~78mグリッドに位置する。後世の削平が著しく、表土直下で検出した。平面は隅丸長方形で長軸は180cm、短軸は現状で104cmである。断面は弧状を呈し、深さ12cm。覆土は地山由來の灰黄褐色粘質土の单層である。遺物が出土しなかつたため時期は不明である。

**SD04** (図版14) 1 T・176~184mグリッド及び2 T・190~196mグリッドに位置する。幅は1 Tで96cm、2 Tで40cm、長さは確認できただけでも25m以上、直線状に北東ー南西方向に伸びる。断面は1 Tでは不整なV字状、2 Tでは弧状を呈す。深さは1 Tで16cm、2 Tで14cmを測る。1 T覆土から緑色凝灰岩の剥片（390）が出土した。時期は弥生時代中期に遡る可能性もあるが、断定はできない。

**SD06** (図版14) 1 T・164~168mグリッドに位置する。直線状に北東ー南西方向に伸び、幅は82cmである。約10m東に位置するSD05とほぼ同じ軸を持つ。SD05は2 Tでもその続きが検出されているが、SD06は続かない。微細な土師器片が出土しており、時期は古墳時代前期か。

**SD09** (図版14) 2 T・112~118mグリッドに位置する。直線状に北東ー南西方向に伸びる。SD02・03・04、あるいはSD05・06と軸を同じくする。幅は101cm、断面は不整な弧状を呈し、深さは28cmある。北陸系の弥生土器（24）と土師器（93）、石鏸（362）が出土した。時期は古墳時代前期か。

**SD23** (図版14) 3 T・58~62mグリッドに位置する。幅34cmで北西ー南東方向に直線状に伸びる。南東部分は調査区外へと続く。近接するSD24・25と主軸や規模が似ていることから、これらは同時期の遺構と考えられる。断面は不整な弧状を呈し、深さ34cm。覆土はIV層由来の单層で、土師器（94・95）が出土した。時期は古墳時代前期と考えられる。

**SD24** (図版14) 3 T・60~64mグリッドに位置する。北西ー南東方向に直線的に伸びる。長さ220cm、幅32cm、深さ7cm。覆土はIV層由来の黒色粘質土で、土師器の細片が出土した。近接するSD23・25との同時期性が強いことから、古墳時代前期の時期を与える。

**SD29** (図版14) 7 T・84~86mグリッドに位置する。東側は調査区外へと続く。平面は不整形で現存の最大長は72cmである。断面は弧状で深さは9cmである。調査時は溝としたが、土坑としてとらえるべきだろう。北陸系の弥生土器（25）と土師器（96）が出土した。古墳時代前期の遺構と考えられる。

**SD32** (図版14) 7 T・2~4mグリッドに位置する。東西方向に直線状に伸びる。幅は西端では44cmであるが、東端では108cmと大きく開く。断面は弧状で深さは6cmと浅い。覆土は灰黄褐色粘質土の单層で弥生土器（22・98・99）、石核（368）が出土した。時期は弥生時代後期と考えられる。

**SD33** (図版15・16) 遺跡の範囲を縦断するように、北東ー南西方向に直線的に伸びる自然河道である。4 T・

48~64mグリッド、6 T・142~162mグリッド、7 T・58~78mグリッド、9 T・70~90mグリッドで検出した。川幅は南西から順に、11.9m（7 T）、18.4m（6 T）、13.7m（4 T）、17.3m（9 T）である。断面は緩やかな弧状を呈す。4 Tでのみ底面を確認し、検出面からの深さは約150cmある。6・7・9 Tでは作業の安全確保するため底面の確認は行っていない。水の流れの方向は明らかでないが、周辺の河川の在り方を参考にすると南西から北東方面へ、すなわち新潟平野方面へ流れて信濃川本流に合流していたものと考えられる。覆土はトレンチ毎に若干異なるが、概ね上層と下層とに大別できる。上層は、IV層由来の粘質土層が主体となる。この層からは両岸の肩から河道内へと流れ込むように古墳時代前期の土器が大量に出土し、植物遺体を定量含む。6 Tと9 Tでは直径80cm以上の流木が出土している。下層は、V層（地山）由来の砂質土層が中心となる。上層に比べて植物遺体の含有率が格段に高くなり、流木に加えクルミ・トチノミといった堅果類が大量に混じる。量は上層ほど多くないが、縄文時代晩期・弥生時代中期・古墳時代前期の土器を含む。また、下位にいくに従い、縄文時代晩期・弥生時代中期の遺物の比率が高くなる。7 T 6 層から弥生時代中期の土器（33~35他）と共に木製の鍬の未成品2点が出土した。4 T SD33内54~56mグリッドでは、底面近くに杭が打設されている状況が確認された。検出面は8層上面で、6本の杭が約20~30cmの間隔をあけて2~4本単位で2列平行して並ぶ。この列は河道のラインとほぼ直行する。検出面から杭先端までの距離が短すぎることから、本来の打ち込み面はこれより上部にあったものと考えられる。覆度は各トレンチとも緩やかなレンズ状堆積で、浚渫の痕跡等は認め難い。層序の観察から、IV層由来の粘質土層（IV①~IV④層等）が堆積し終えた頃には、SD33は河道と呼べる深さではなく、深さ約20cm程度の溝状の落ち込みと化していることがわかる。このことから、流路として機能したのは古墳時代前期までと推測される。河道の底面に近い4 T・9 Tの9層からは、縄文時代晩期の土器（3・6）が出土した。この河道が形成された時期を考える材料になるか。

**SD34**（図版16） 7 T・18~20mグリッドに位置する。緩やかに蛇行しながら北東－南西方向に伸び、両端はさらに調査区外へと続く。86cmの幅を持ち断面は弧状、深さは7cmである。北陸系の弥生土器（26）と土師器（97）、石鏸（363）とその未成品（364）、磨石（414）が出土した。土師器が1点含まれるが、石器がまとまって出土するなど弥生時代の色が強い遺構である。

**SD36**（図版16） 6 T・128~130mグリッドに位置する。北西－南東方向に直線状に伸び、両端はさらに調査区外へと続く。幅は78cm、断面は不整な台形状を呈し、深さは25cmある。覆土はV層由来の砂質土で4層に区分できる。2層から石鏸未成品（369）が出土した。覆土が古墳時代前期の遺構で見られるIV層由来のものと違うことが特徴で、遺物から弥生時代の遺構として考えたい。

**SD47**（図版16） 6 T・162~164mグリッドに位置する。北西－南東方向に直線状に伸びる。両端はそれぞれ調査区外へと続く。幅62cm、断面は半円状で、覆土はIV層由来の上層とV層由来の下層とに2分できる。深さ17cm。遺物は出土せず、遺構の時期は不明である。

**SD50**（図版16） 6 T・212~214mグリッドに位置する。北西－南東方向に伸び、両端は調査区外へと続く。幅58cm、断面は台形状を呈し、深さは23cmである。IV層由来の上下2層に分けられる。土師器（100・101）が出土した。時期は古墳時代前期と考えられる。

**SD56**（図版17） 4 T・50~54mグリッド、SD33の北岸に接して位置する。蛇行しつつも北東－南西方向に伸び、SD33と同じ軸を持つ。SD33を切って掘り込まれ、同じくSD33と平行して伸びるSD57に切られている。幅は110cm、断面は半円状で上部はV層由来の粘質土層、下部は4層由来の粘質土層が堆積する。ほぼ完形の土師器の鉢（105）が出土した。古墳時代前期の時期を考えたい。なお、この北西、SD33の北

岸で包含層中から弥生時代後期・古墳時代前期の土器（303・332・338・340）、石器（416）がまとめて出土している。

**SD57**（図版17） 4 T・50～54mグリッド、上記のSD56の南に位置する。SD33の北岸及びSD56を切って掘り込まれる。幅は46cm、断面は不整な台形状を呈し、深さは24cmを測る。覆土の上部はIV層由来の黒褐色粘質土、下部はV層由来の黄灰色粘質土である。SD56・SD33との関係が注目される。土師器の高杯（106）と甕（107）が出土しており、古墳時代前期前半の時期に比定される。

**SX04**（図版17） 3 T・12～16mグリッドに位置する。平面は隅丸方形で、長軸204cm。東半は調査区外へと続く。断面は不整な弧状を呈し、深さは20cmである。覆土は2層に分けられ、IV層由来でもなくV層由来でもない褐灰色粘質土が堆積する。土師器の甕（208）が出土した。古墳時代前期の時期か。

**SX05**（図版17） 3 T・20～22mグリッドに位置する。平面は隅丸方形を呈し、現状での長軸は224cm、短軸は108cmを測る。北西一南東方向に軸を持つ。断面は台形状で、V層由来の層が堆積する。深さ32cm。土師器（211・212）、磨石（401）が出土した。時期は古墳時代前期と考えられる。

**SX09**（図版18） 3 T・56～60mグリッドに位置する。IV層上面で確認された土器集積遺構である。調査終了間際に検出したため、一部のみ調査区の拡張を行い、遺物の広がりを確認した。その結果、少なくとも径4m以上の規模を持つことが判明した。土層断面を検討した結果、掘り込み等は確認されなかった。遺物の多くはIV層上面あるいはIV層上半に浮いている。調査に際して一部II層で取り上げた遺物もあるが、形態的な特徴はIV層取り上げのものと大差ない。出土したコンテナ3箱分の土器のうち、縄文土器（9）1点を除くと他は全て土師器で、甕・壺・高杯・器台（9・215～261）の器種がそろう。完形品ではなく、全て破片資料である。遺構の性格は現段階では不明である。時期は古墳時代前期と考えたい。

**SX10**（図版17） 7 T・26～28mグリッドに位置する。平面は円形で径86cm。断面は弧状を呈し、16cmの深さを持つ。覆土はV層由来の粘質土の単層で、石鎌（370）が1点出土した。時期は弥生時代か。

**SX19**（図版18） 5 T・0～4mグリッドに位置する。平面は不整形で、北西側は調査区外へと続く。現状の長軸は144cmを測り、断面は弧状を呈す。深さは22cmで、覆土はV層由来の3層に分けられる。土師器の器台（213）と高杯（214）が出土した。古墳時代前期と考えられる。

**SP16**（図版18） 3 T・60～62mグリッドに位置する。平面は橢円形を呈し、長軸62cm、短軸36cmである。断面は台形状で、IV層由来の上下2層に分層できる。深さは20cmである。土師器（75・76）が出土した。古墳時代前期に比定される遺構である。

**SP91**（図版19） 6 T・102～104mグリッドに位置する。平面は円形で長軸38cm、短軸32cm。断面は台形状で、深さ62cm。今回確認したピットの中で特に深い部類に入る。覆土は中央部に柱の痕跡と思われる黒褐色粘質土が入り、その脇に地山ブロックを含んだV層由来の層が堆積する。柱痕は残っていないが、覆土の堆積状況から柱穴と考えて良いだろう。周辺のピットを含めて、掘立柱建物跡の復元を試みたができなかった。土師器（84）が1点出土しており、古墳時代前期の遺構と考えたい。

**SP186**（図版20） 6 T・198～200mグリッドに位置する。平面は不整な円形を呈し、遺構の東半分は調査区外へと続いている。現状で長軸が114cm、断面は不整な台形状で、IV層由来の粘質土がブロック状に堆積する。深さは65cmである。遺物は出土しなかったが、覆土から古墳時代前期の時期に比定されるか。

**SP200**（図版20） 6 T・20～22mグリッドに位置する。平面は不整な円形で、現状の長軸は62cm。断面は台形状を呈し、深さ36cm。覆土の堆積状況から柱穴と考えられる。周辺で掘立柱建物跡の復元はできない。土師器の甕（85）が出土しており、古墳時代前期に比定される。

#### 4 遺物（図版21～41）

縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、珠洲焼、打製石器、磨製石器、石製品、玉関連資料、木製品、鍛冶関連資料、土製品、錢貨、骨が出土した。遺物量はコンテナ28箱分で、このうち22箱が土器である。個々の詳細については巻末の遺物観察表を参照いただくこととし、以下に特徴的な遺物について述べる。

**縄文時代晚期の土器（1～17）** 晩期末の鳥屋式に比定される。1は口縁部外面にヘラ状工具で鋸歯文を施文する。3は体部外面に稚拙な変形工字文が描かれる。頸部は無紋で密なミガキ調整を行い、肥厚した口縁部外面にも2条の沈線を巡らせる。7は口縁部端部に突帯が巡り押圧を施す。弥生時代前期にまで下る可能性がある。12は波状口縁を持つ深鉢の口縁部で、外面は磨消縄文で体部と頸部の境に2条の沈線が巡る。内面は口縁部に1条の沈線を施し、波頭部に刺突を行う。

**弥生時代中期の土器（18～60）** 口縁端部に刻みを施すもの（19・22・26・38～41・51～54）、櫛描文を施すもの（21・23・25・29・32～34・36・57～59）など、北陸の小松式の系譜を引く一群がある。簾状文と波状文が見える35、体部に綾杉状の条痕文を施す47、鈎の字（おそらくはコの字）型に沈線を重ねる48、簾状文・波状文の上にボタン状浮文を貼り付ける49は、中部高地に系譜を持つと考えられる。50は体部に重方形文や重三角文を描く壺である。沈線は極めて細く明瞭で、沈線2本を1単位と見なし、1単位おきにミガキ調整を行う。体部下半はR縄文を施す。中期前半の東北地方の二ツ釜式または川原町口式に類すると考えられる。

**弥生時代後期～古墳時代前期の土器（61～347）** 65は畿内系叩き甕で、外面は右上がりのタタキ調整、内面は密なハケ調整を施す。寺泊地域では初めての出土である。SK16から出土した61は結合器台の受け部で、口縁下端が大きく垂下する。同じくSK16出土の62は、内湾した坏部及び脚部が特徴の東海系の高坏で、密なミガキ調整のち赤彩する。444～446の木製品と一緒に出土し、時期は古墳時代前期前半と考えられる。262はSD56出土の小型鉢で完形品である。粗い原体でタテハケを施し、外面は赤彩する。8～202はSD33から出土した土器群である。108は口縁端部に縄文が施され、中部高地系と考えられる。109～111は弥生後期の東北系で、111は甕で、細かなタテハケ調整の上から3条1単位の横位沈線及び連弧文を描く。体部外面に煤が付着する。脚柱部の膨らみが特徴の高坏（201・202）は前期後半の時期が与えられる。212は器種不明の口縁部である。蓋のつまみ（211）と共にSX05から出土した。213は、ヘラ描きで梯子状の施文がなされた器台の脚部である。ヘラ描きの沈線は銳利で直線的である。215～261は土器集積遺構SX09から出土した一群である。多少の時期幅はあるものの、概ね古墳時代前期中葉の時期を考えたい。甕は口縁端部に面を持つもの（217・219～227）と端部を丸く仕上げるもの（228～235）があり、後者の方が割合として多い。236は口縁を内湾させた甕で、畿内の影響か。255は口縁部外面と肩部に竹管文を施す二重口縁壺である。256は、肥厚した口縁部に擬凹線を施し、2本1単位の棒状浮文を貼り付けた加飾壺である。262～347は遺構外出土の土器である。この中で明らかに弥生後期と断定できるのは、東北系の262～276、北陸系または畿内系の279・338・339である。

**石器・石製品** 打製石器27点、玉関連資料9点、砥石を含む磨製石器25点を図化した。石鏃は未成品3点（364・369・381）と、茎部が無く基部が平坦な平基無茎鏃が3点（363・377・379）、有茎で基部が平坦な平基有茎鏃が6点（362・373～376・378）、同じく有茎で基部が突出する凸基有茎鏃が5点（367・370～372・380）出土した。378の中茎にはアスファルトとみられる黒色物質が付着する。382は尖頭器で、木の葉状の形態で基部が厚く先端に行くほど薄くなっており、使用のためか剥離痕が磨耗している。石錐は2点出土した（366・383）。366は玉髓製で逆三角形の小型のもの、383は厚みのある角柱状のもので先端部

が使用により擦れている。1点出土した石鎧(385)は表面に原礫面を残し、右側縁に刃潰しのためか細かな調整が行われている。この石鎧には左側縁に削器状の刃部もみられる。細かな調整により右側縁に刃部を持つ削器(386)や、厚い下部に裏面より刃部形成のための細かな剥離を行った石匙(384)、複数の刃部をもつ抉入石器(388)、平面が長方形であるが一面が折り取られたかのようになっており加工途中で折れてしまったものとも考えられる不定形石器(387)もそれぞれ1点出土している。また、小形の石核で小さな薄片を剥いでいたと見られる石核が2点出土している(365、368)。玉関連の遺物も多く出土しており、緑色凝灰岩製の管玉(397)や荒割段階の剥片(390~392)、溝をつけてから剥離をした未成品(389・394・395)も出土している。緑色凝灰岩製以外ではヒスイの小破片が2点出土している(393・396)。このヒスイは加工の痕跡に乏しく、荒割などの段階のもの、もしくは原礫として搬入したものかと思われる。また、滑石製で全面を丁寧な円柱状に磨いているパステル形石製品(398)も1点出土している。パステル形石製品は、先端にむかって細くなるように磨かれ、先端頂では丸くなるように細かな研磨が行われている。磨製石器は安山岩製の磨石類が大半を占める。磨痕と共に敲打痕を伴う個体が多い。402・417は上下端に、407・419・420は下端に認められる。417は凹痕が残る。408~411・422は砥石である。石材は409が砂岩、それ以外は凝灰岩が用いられる。408と410は共に4トレンチのSD336層中から出土し、石材の質感が非常に似通る。413は滑石製の用途不明石製品である。元々は小判型をしていたと考えられ、半分のみ残存する。縁辺に近い部分に直径8mmの円孔を1つ穿ち、表面、裏面、側面、欠損面に至るまで密な研磨が行われる。研磨時の細かな擦痕に交じり、より鋭利な筋状の傷も認められる。

**木製品** SD33・SK16・SK24・SP131から出土した423~450がある。423は断面が四角形の棒で、樹種はヒノキ科アスナロ属である。424は一方の先端部を針のように尖らせる針状木製品である。425は断面が円形の棒で、一方の端部を折損する。423と同様に樹種はヒノキ科アスナロ属である。426は断面四角形の柄を持つヘラ状木製品である。一方の先端が幅約4cmのヘラ状に加工され、樹種はブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節である。427は緩やかに湾曲する自然木である。直径5.3cmで、何らかの農具・工具の柄になりうるか。428~435は、SD33内で検出された杭である。436・437は鍬の未成品である。鍬身に柄孔を開けて柄を差し込んで使う直柄広鍬に分類され、436は上端部に耳状の作り出しを持つ。7トレンチSD33の6層から2点一緒に出土し、樹種はいずれもブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節である。438は両側面を欠損する刳り物未成品の一部か。439は7.0cm×5.1cmの方形の板材で、厚さ0.9cm。上端面と下端面は鋸状の切断痕が認められる。樹種はスギ科スギ属スギである。443は一端が炭化する杭である。444は刳り物の浅い容器で、平面は木葉形を呈す。身の深さは約2cmである。445は杓で、身は平面19.5cm×17cmの正円に近い楕円形、深さは4.5cmを測る。柄は長さ9cm、幅3cm、断面は四角形を呈す。身の口縁部上面と柄の付け根上面が、ほぼ一直線をなす形状である。446は、ハツリによって板状に加工された円板形木製品である。径20.4cm、厚さ1.8cm。片面のみを僅かに凸状に仕上げ、黒色物質を塗布する。この面を上にして出土した。表面には径約3~5mmの孔が複数認められる。人為的な穿孔にも見えるが、植物の根によって開けられた可能性も考えられ断定できない。同様な孔は一緒に出土した444・445にも認められる。444~446とも、樹種はトチノキ科トチノキ属トチノキである。447は両端を加工した筒型木製品である。449はハツリ痕が認められる板材で、下端を欠損する。450はSP131出土の杭である。保存状態が良く、近世以降の杭と考えられる。

**その他** 鍛冶関連遺物(451~456)が出土した。出土層位はI・II層が中心である。457は型押しで作られた地蔵尊の土人形である。胸部より下が欠損する。458・459は鉄砲の玉である。460は至道元宝(行書)である。至道元宝は北宋錢の一種で、至道元年(995年)に初鑄された。461~463は、寛永通宝である。

# 第V章 自然科学分析

## 1 長岡市草薙遺跡出土木製品の樹種調査

株式会社吉田生物研究所

### 1. 試料

試料は長岡市草薙遺跡から出土した農具2点、食事具1点、容器1点、用途不明品7点の計11点である。

### 2. 観察方法

剃刀で木口（横断面）、柾目（放射断面）、板目（接線断面）の各切片を採取し、永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

### 3. 結果

樹種同定結果（針葉樹2種、広葉樹3種）の表と顕微鏡写真を示し、以下に主な解剖学的特徴を記す。

#### 1) スギ科スギ属スギ (*Cryptomeria japonica D.Don*) (遺物 No. 8) (写真 No. 8)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に1～3個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

#### 2) ヒノキ科アスナロ属 (*Thujopsis sp.*) (遺物 No. 6, 7) (写真 No. 6, 7)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で1分野に2～4個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ（ヒバ、アテ）とヒノキアスナロ（ヒバ）があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州、四国、九州に分布する。

#### 3) ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節 (Sect. *Prinus Loudon* syn. *Diversipilosae,Dentatae*)

(遺物 No. 2-1, 2-2, 5-1, 5-2) (写真 No. 2-1, 2-2, 5-1, 5-2)

環孔材である。木口では大道管（～380μm）が年輪界にそって1～3列並んで孔圈部を形成している。孔圈外では急に大きさを減じ、薄壁で角張っている小道管が単独あるいは2～3個複合して火炎状に配列している。放射組織は単列放射組織と非常に列数の広い放射組織がある。柾目では道管は單穿孔と対列壁孔を有する。放射組織は全て平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔には大型の壁孔が存在する。板目では多数の単列放射組織と肉眼でも見られる典型的な複合型の広放射組織が見られる。コナラ節にはコナラ、ミズナラ、カシワ等があり、北海道、本州、四国、九州に分布する。

#### 4) トチノキ科トチノキ属トチノキ (*Aesculus turbinata Blume*) (遺物 No. 1, 3, 4) (写真 No. 1, 3, 4)

散孔材である。木口ではやや小さい道管（～80μm）が単独かあるいは2～4個放射方向に接する複合管孔を構成する。道管の大きさ、分布数ともに年輪中央部で大きく年輪界近辺ではやや小さくなる

傾向がある。軸方向柔細胞は1～3細胞の幅で年輪の一番外側（ターミナル状）に配列する。柾目では道管は单穿孔と側壁に交互壁孔、螺旋肥厚を有する。放射組織はすべて平伏細胞からなり同性である。道管放射組織間壁孔は六角形をした比較的大きな壁孔が密に詰まって篩状になっている（上下縁辺の1～2列の柔細胞に限られる）。板目では放射組織は単列で大半が高さ～300μmとなっている。それらは比較的大きさが揃って階層状に規則正しく配列しており、肉眼では微細な縞模様（リップルマーク）として見られる。トチノキは北海道、本州、四国、九州に分布する。

#### 5) 広葉樹の樹皮（遺物 No. 9）（写真 No. 9）

木口面と柾目面では死滅した篩部、軸方向柔細胞、じん皮纖維がある程度層をなして並んでいる。途切れ途切れの放射組織が見られる。板目面では紡錘形の放射組織と死滅した篩部、じん皮纖維、軸方向柔細胞の複雑に入り混じった状態が見られる。

#### 参考文献

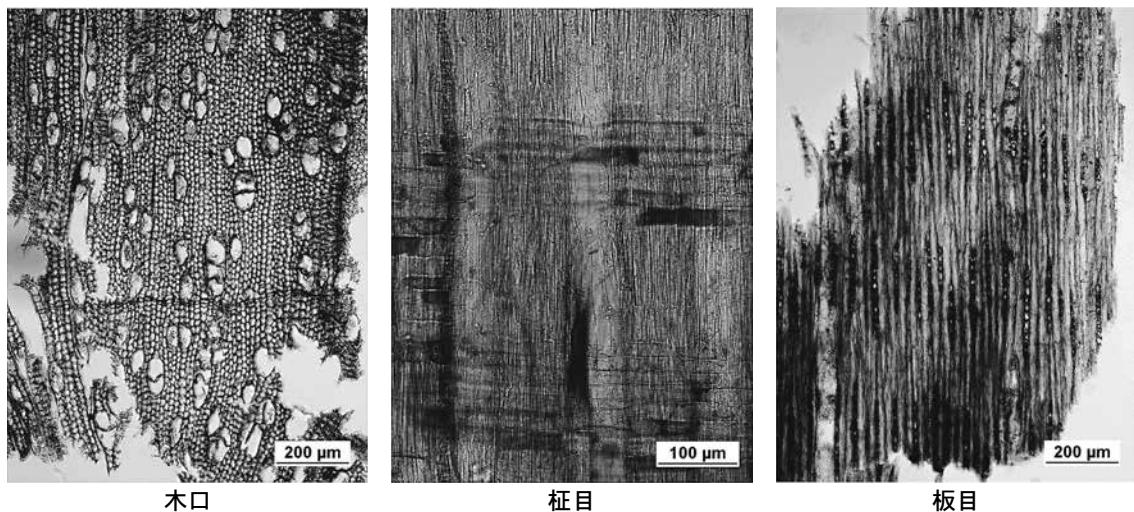
- 島地 謙・伊東隆夫「日本の遺跡出土木製品総覧」雄山閣出版（1988）
- 島地 謙・伊東隆夫「図説木材組織」地球社（1982）
- 伊東隆夫「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I～V」京都大学木質科学研究所（1999）
- 北村四郎・村田 源「原色日本植物図鑑木本編 I・II」保育社（1979）
- 深澤和三「樹体の解剖」海青社（1997）
- 奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第27冊 木器集成図録 近畿古代篇」（1985）
- 奈良国立文化財研究所「奈良国立文化財研究所 史料第36冊 木器集成図録 近畿原始篇」（1993）

#### 使用顕微鏡

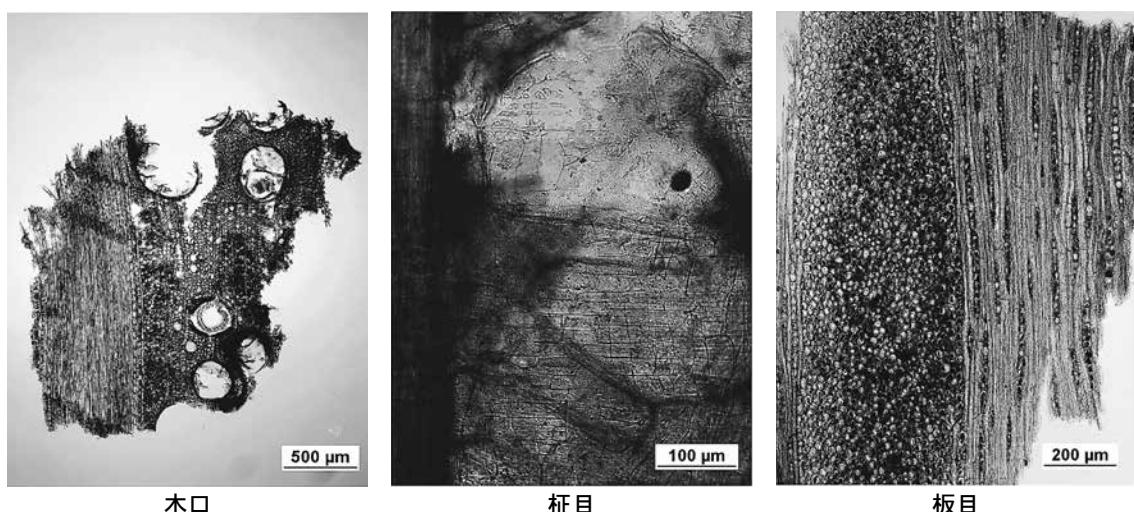
Nikon DS-Fi1

長岡市草薙遺跡出土木製品同定表

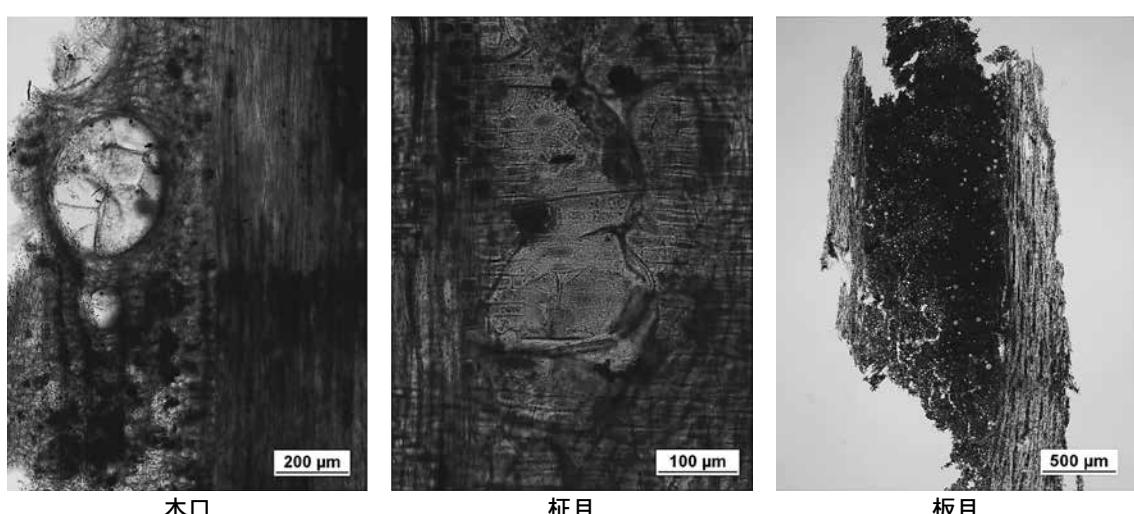
No.	品名	樹種
1	円板形木製品	トチノキ科トチノキ属トチノキ
2-1	鍬未成品	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
2-2	鍬未成品	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
3	容器	トチノキ科トチノキ属トチノキ
4	杓	トチノキ科トチノキ属トチノキ
5-1	櫛状木製品	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
5-2	針状木製品	ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節
6	棒状木製品	ヒノキ科アスナロ属
7	棒状木製品	ヒノキ科アスナロ属
8	板状木製品	スギ科スギ属スギ
9	木の皮	広葉樹の樹皮



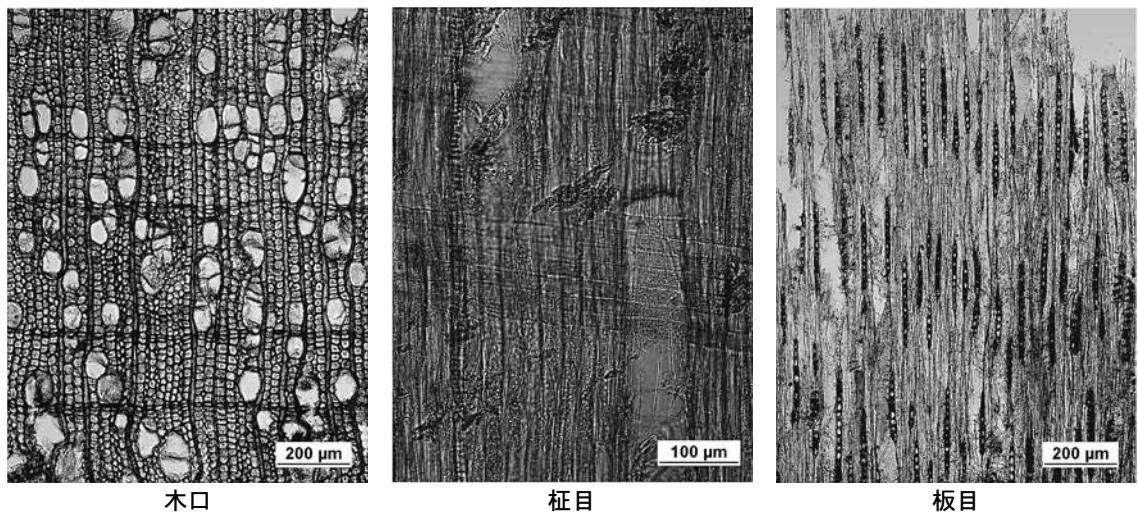
No-1 ドチノキ科ドチノキ属ドチノキ



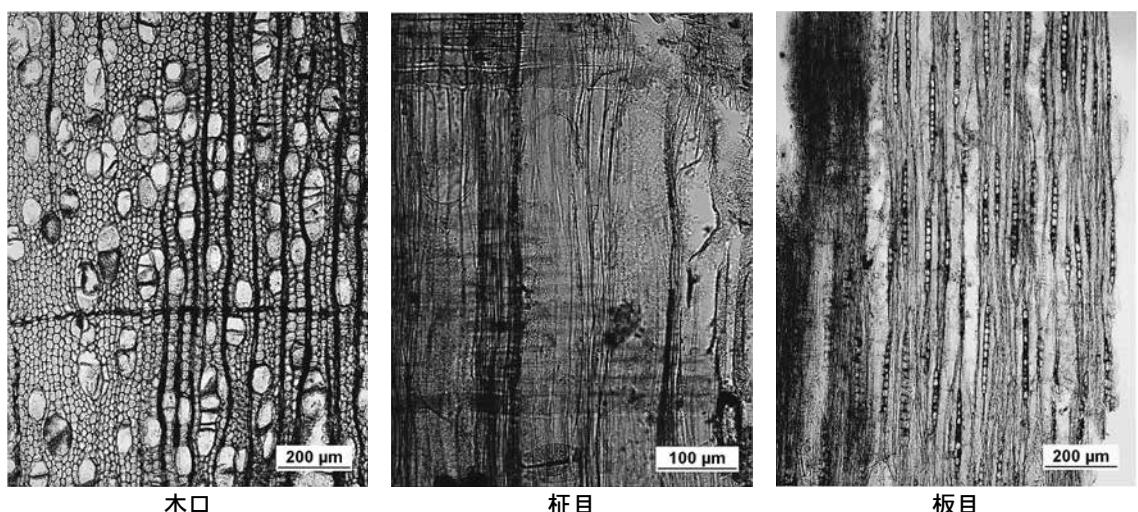
No-2-1 ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節



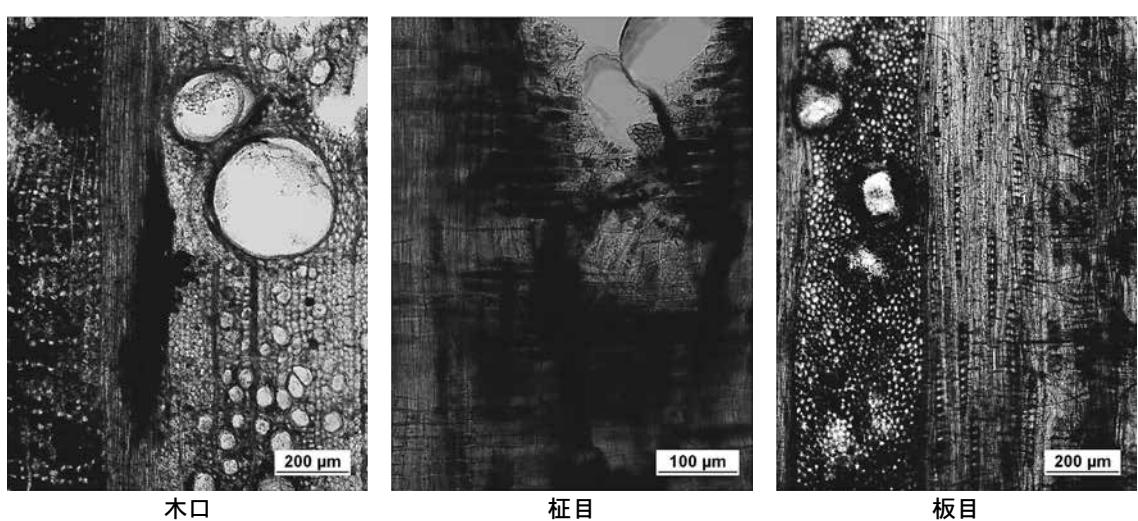
No-2-2 ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節



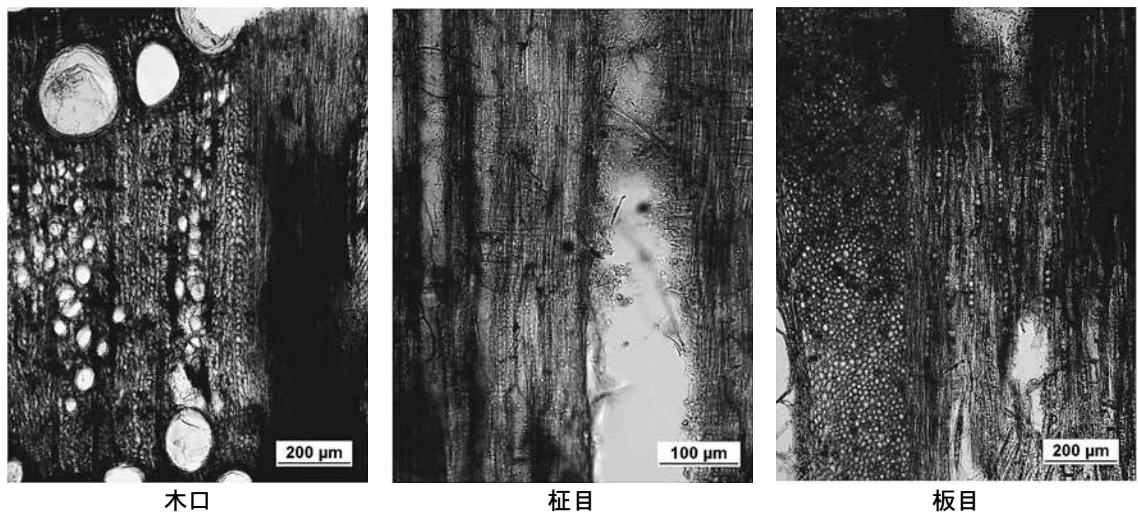
No-3 トチノキ科トチノキ属トチノキ



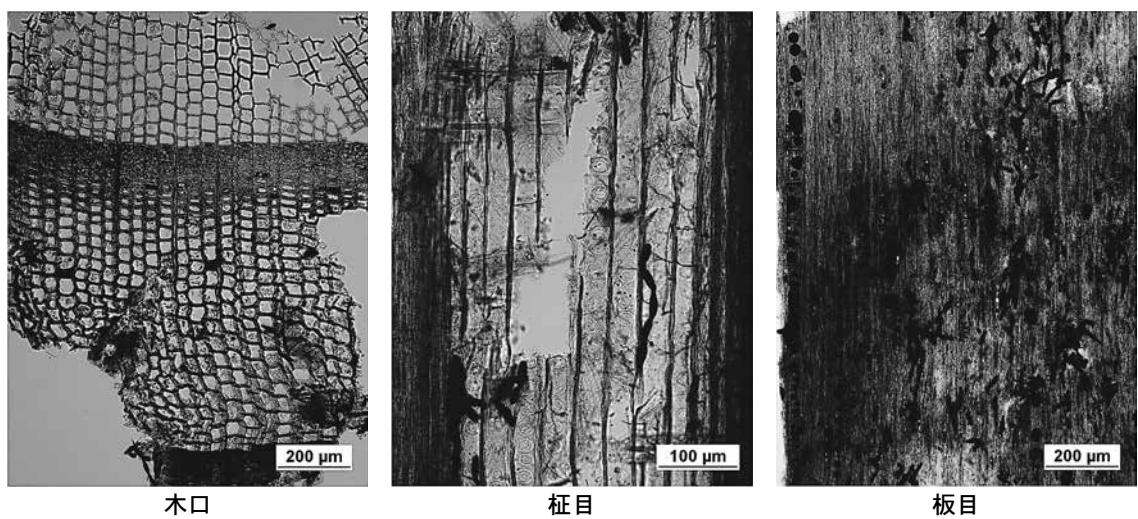
No-4 トチノキ科トチノキ属トチノキ



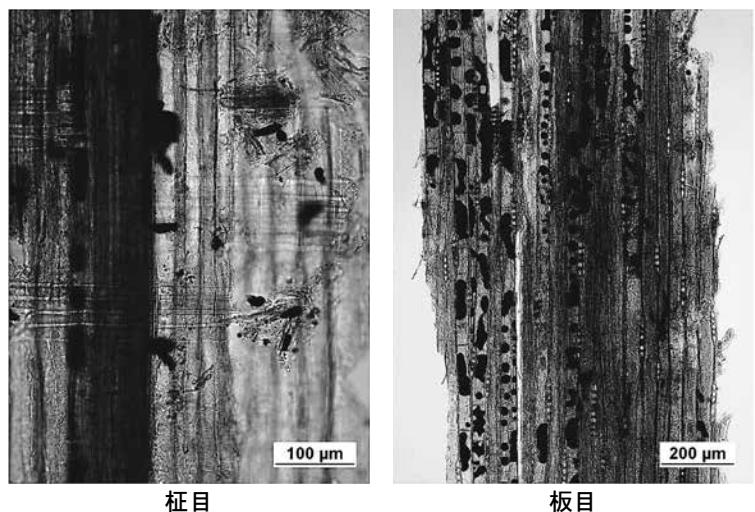
No-5-1 ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節



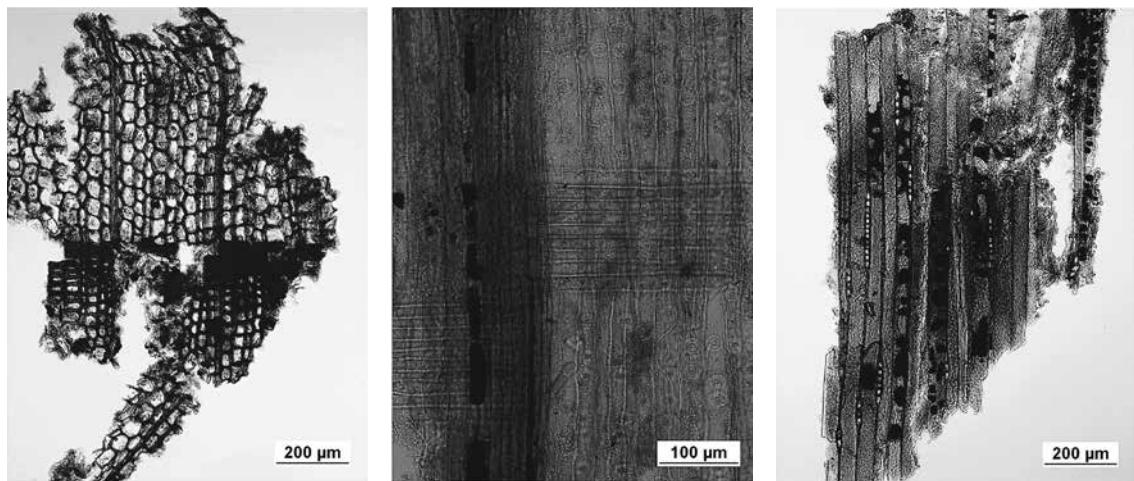
No-5-2 ブナ科コナラ属コナラ亜属コナラ節



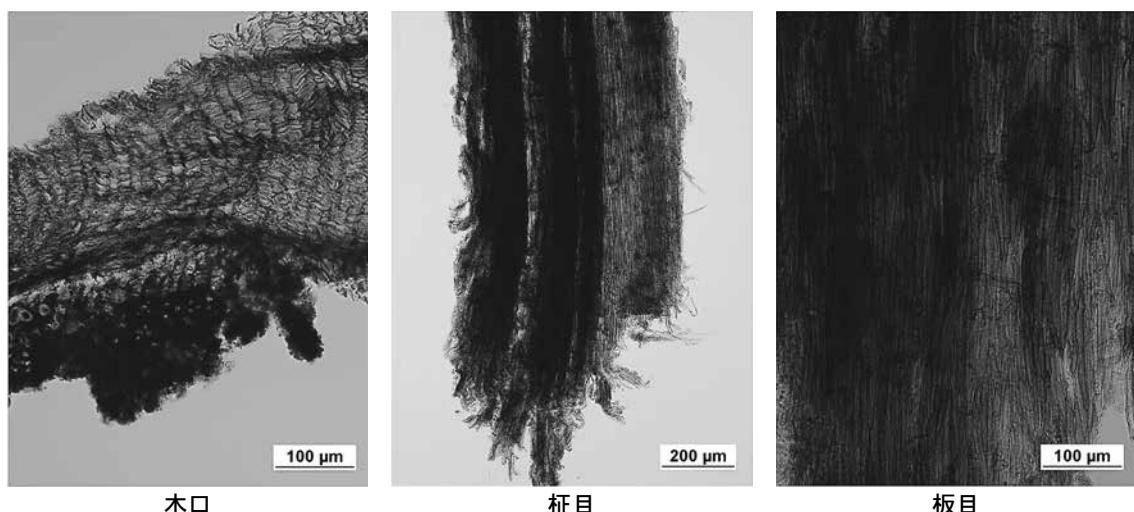
No-6 ヒノキ科アスナロ属



No-7 ヒノキ科アスナロ属



No-8 スギ科スギ属スギ



No-9 広葉樹の樹皮

## 2 長岡市草薙遺跡出土木製品の表面調査

株式会社吉田生物研究所

### 1. はじめに

新潟県長岡市に所在する草薙遺跡 SK16から出土した円板形木製品 1 点には、黒色物質の付着が認められた。この黒色物質付着部を観察したので、以下にその結果を報告する。

### 2. 調査資料

調査した資料は、表 1 に示す木製品 1 点である。

No.	保存処理 No.	品名	樹種	概要
1	1	円板形木製品	トチノキ	片面のみに、部分的に黒色物質の付着が認められる、平たい円板形の木製品である。

表 1 調査資料

### 3. 調査方法

表 1 の資料本体の内外面から数mm四方の破片を採取してエポキシ樹脂に包埋し、断面の薄片を作製した。これを落射光ならびに透過光の下で検鏡した。同時に資料をフーリエ変換赤外分光光度計（日本電子製 JIR-MICRO6000）を用いて赤外分析を行った。

#### 1) 断面観察

木胎の表面に、所々に黄色い物質の付着が認められる。また、木胎の表面に近い部分の細胞の中に、黒褐色の物質が充填している様子が観察される。なお、その色調や表面の様子は漆の塗膜や柿渋の付着物のそれとは異なる様相を呈している。



写真 1 断面写真

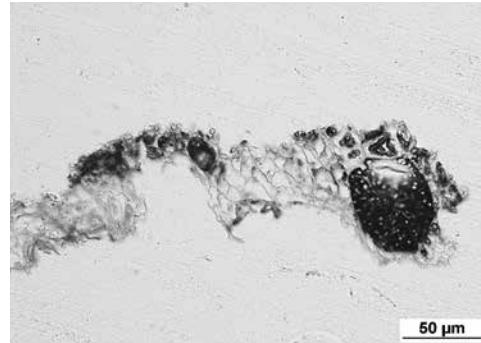


写真 2 断面写真

#### 2) 赤外分光分析結果

資料の赤外吸収スペクトル（図 1）と利用が考えられる漆と柿渋の赤外吸収スペクトル（図 2、3）について以下に説明する。

図 1：資料の赤外スペクトルに見られる吸収で、3333の幅広い吸収が分子間水素結合した高分子の O-H 伸縮振動の特性吸収を示しており、高分子化合物（分子量500以上）の可能性が高い。ま

た1589、1506、1455の3ピークの吸収がベンゼン環を持つ芳香族化合物のC=C伸縮振動の特性吸収を示している。この事から資料は芳香族化合物で高分子化合物（分子量500以上）が考えられる。

図2：柿渋の赤外スペクトルに見られる吸収では、分子間水素結合した高分子化合物（分子量500以上）のO-H伸縮振動の特性吸収である3212と、ベンゼン環を持つ芳香族化合物のC=C伸縮振動の特性吸収である1603、1534、1442が特徴的な吸収である。

図3：漆の赤外スペクトルに見られる吸収では、メチル基（-CH<sub>3</sub>）のC-H伸縮振動の特性吸収である3000～2800間の2つのピークと、ベンゼン環を持つ芳香族化合物のC=C伸縮振動の特性吸収である1723、1627が特徴的な吸収である。

\* 伸縮振動：分子内結合の伸び縮みする振動のこと。その振動エネルギーに相当する振動数を持つ赤外線を分子に照射したとき、赤外吸収が起こる。分子内にある官能基ごとに特徴的な吸収が観察される。

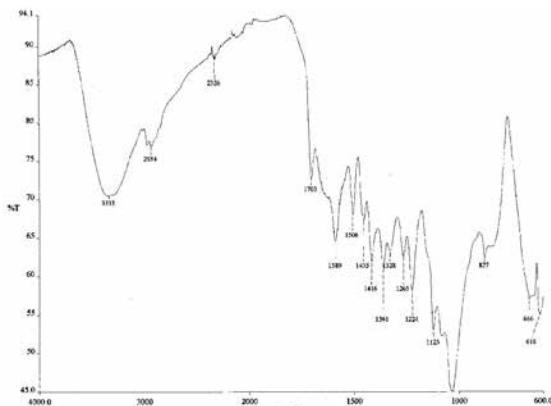


図1 調査資料

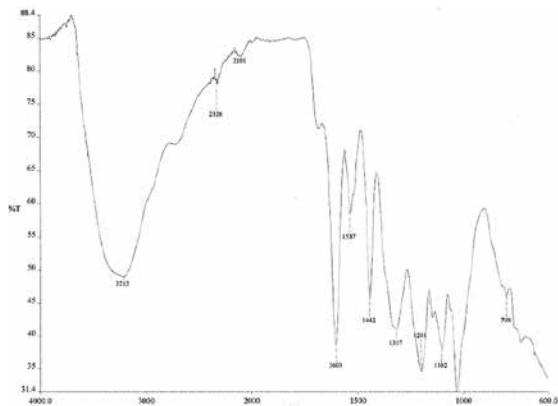


図2 柿渋

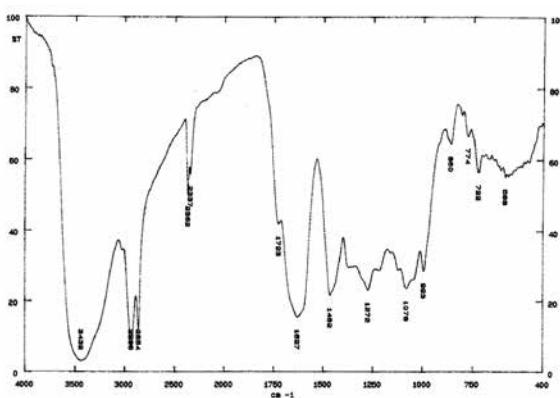


図3 漆

#### 4. 考察

今回調査した資料は、断面観察では漆の塗膜や柿渋の付着物の特徴は観察出来なかった。しかし赤外分光分析において、柿渋と漆の赤外スペクトルとの比較の結果、柿渋と類似した波形が見られ、特性吸収でも同様の吸収が確認できた。以上の結果から調査資料は柿渋が使用された可能性が高いと考えられる。

### 3 長岡市草薙遺跡出土骨の分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

本報告では、草薙遺跡（新潟県長岡市寺泊小豆曾根所在）の発掘調査で確認された出土骨の種類や部位の同定、および動物利用の検討を目的として調査を実施した。

#### 1. 試料

試料は、3トレンチSE01第11層中より出土した骨1試料である。本試料は、ビニール袋3袋に収納された状態にあり、いずれも骨表面に泥が付着する。

#### 2. 分析方法

試料の観察の結果、骨表面には乾燥した泥が固着しており、また、遺存状態が悪く水洗すると骨自体が崩壊し、形質をとどめない状態になると判断された。そのため、固着した泥を僅かに湿らせ、乾いた竹串やブラシ等で可能な限り除去する程度としている。

#### 3. 結果および考察

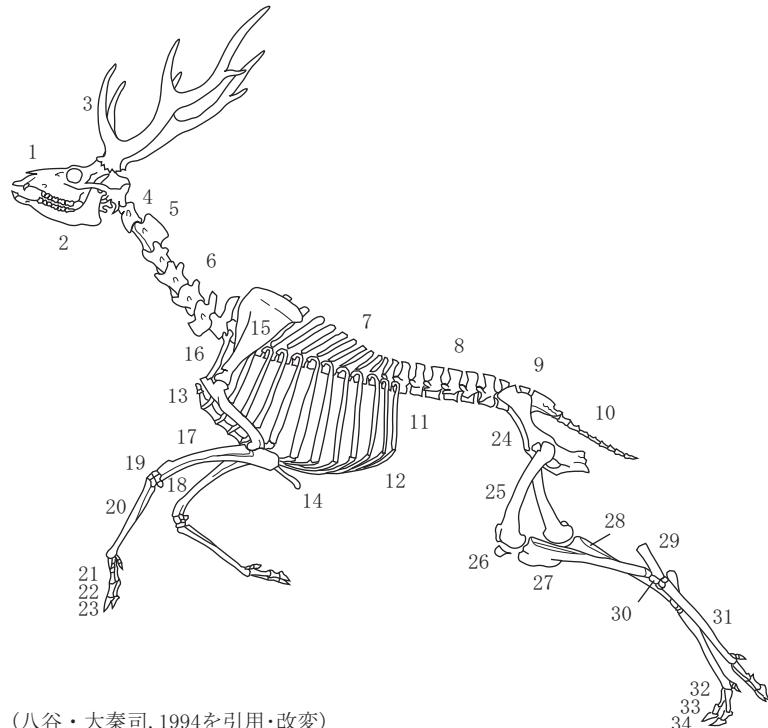
結果を表1、骨格各部位の名称を図1に示す。出土骨は、緻密質自体が極めて脆弱となっており、一部ビビアナイトが析出する。また、破片が多く、大半が泥の除去が困難であったことから形質を確認することができず、種類と部位を確認できた試料は一部にとどまる。

確認された種類は、脊椎動物門(Vertebrata) 哺乳綱(Mammalia) ウシ目(偶蹄目:Artiodactyla) シカ科(Cervidae) ニホンジカ(*Cervus nippon*)であった。ニホンジカは、イノシシとともに古くから狩猟対象とされた大型獣類であり、新潟県内では青田遺跡(旧加治川村)や野地遺跡(旧中条村)、籠峰遺跡(旧中郷村)等の縄文時代の遺跡で検出例がある(西本・小林, 2004、樋泉, 2009、富岡, 2000)。

本試料では、角、上腕骨、左橈骨、右橈尺骨、右大腿骨等の部位がみられ、頭部、前肢、後肢がそれぞれ確認されたことから、本来は1個体分が井戸跡内に埋存していた可能性がある。なお、出土骨の状態が悪く骨の表面の切痕や加工痕等の観察には至らなかったことや出土状況が不明なため、利用の背景を想定するに至らないが、当時狩猟対象となっており遺跡内に持ち込まれた個体と想定される。

試料名			種類	部位	左 右	部分	数量 (個)	備考
遺構名	層名	取上No.						
SE01	11層	No.207 3T-30-34m	ニホンジカ	角		先端	1	
						破片	1	
				肩甲骨		破片	1	
				橈骨	左	近位端	1	
					右	近位端	1	
				橈骨+尺骨	右	破片	1	
				上腕骨	右	遠位端	1	
				大腿骨	右	遠位端欠	1	
				ニホンジカ?	上腕骨?	近位端?	1	
				獣類	四肢骨	破片	4	
					不明	破片	59	832.5g
				残渣			多数	156.7g

表1 骨同定結果



(八谷・大秦司, 1994を引用・改変)

- 1. 頭蓋 2. 下頸骨 3. 角 4. 第一頸椎 5. 第二頸椎 6. 頸椎 7. 胸椎 8. 腰椎 9. 仙椎 10. 尾椎 11. 肋硬骨
- 12. 肋軟骨 13. 胸骨体 14. 劍状突起 15. 肩甲骨 16. 上腕骨 17. 桡骨 18. 尺骨 19. 手根骨 20. 中手骨
- 21. 指骨(基節骨) 22. 指骨(中節骨) 23. 指骨(末節骨) 24. 寬骨 25. 大腿骨 26. 膝蓋骨 27. 脛骨 28. 胫骨
- 29. 足骨 30. 距骨 31. 中足骨 32. 跖骨(基節骨) 33. 跖骨(中節骨) 34. 跖骨(末節骨)

図1 ニホンジカの骨格

#### 引用文献

- 西本豊弘・小林園子, 2004, 青田遺跡出土の動物遺体. 新潟県埋蔵文化財調査報告書第133集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書V 青田遺跡 関連諸科学・写真図版編, 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団, 91-96.
- 樋泉岳二, 2009, 5 動物・昆虫遺体 A 動物遺体. 新潟県埋蔵文化財調査報告書第196集 日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書XXXII 野地遺跡, 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団, 169-179.
- 富岡直人, 2000, 籠峰遺跡出土動物遺存体およびヒト焼骨の分析. 籠峰遺跡 発掘調査報告書II 遺物編, 新潟県中郷村教育委員会, 62-67.
- 八谷 昇・大秦司紀之, 1994, 骨格標本作製法, 北海道大学図書刊行会, 129p.

図版1 出土骨



1. ニホンジカ 角  
2. ニホンジカ 角  
3. ニホンジカ 肩甲骨  
4. ニホンジカ 右上腕骨  
5. ニホンジカ 右橈骨  
6. ニホンジカ 右橈骨  
7. ニホンジカ 左橈骨  
8. ニホンジカ 右大腿骨  
9. ニホンジカ? 上腕骨?  
10. 獣類四肢骨

# 第VI章　まとめ

## 1　遺構

今回の調査で検出した遺構は、弥生時代中期から古墳時代前期までの時期幅を持つ。主体となる時期は古墳時代前期で、SE01、SK03、SK16、SK24、SK25、SX09、SP16等の遺構を確認した。柱穴と思われるピットも複数確認した。包含層遺物の量や内容から考えても、今回の調査区外に掘立柱建物跡や竪穴住居跡が存在する可能性が高いといえよう。

4・6・7・9トレンチでは、旧河道 SD33の存在を確認した。SD33は内水面交通路としての利用価値など、本遺跡にとっては重要な役割を果たした河道であったと思われる。本遺跡の西方500mに位置する弥生時代中期の諏訪田遺跡の成立にも、少なからず影響を及ぼしたのではないかと考える。SD33が次第に埋没し流路としての機能を失い始めた古墳時代前期後半以降、本遺跡も衰退する。この時期に集落域が移動した可能性もあり、河道の埋没すなわち信濃川の流路の変化と遺跡の盛衰がどのような関係にあるのか、周辺の遺跡の動向とあわせて今後考えたい。

杓・容器・円板形木製品が出土した古墳時代前期の土坑である SK16は、木製品の埋納行為を伴う土坑と評価したい。調査当初は井戸の可能性を考えていたが、検出面から土坑底面までが約70cmと井戸としては浅いこと、完形品の杓・容器・円板形木製品が土坑底面近くの5層中からセットで出土したことなどの理由から、むしろ器物の埋納のための土坑と考えを改めた。表面に黒色物質が塗布された円板形木製品の用途など、過去の調査例や民俗事例を参考に検討する必要がある。また、木製品の上部で出土した赤彩の高坏は木製品の埋納と密に関わるものであり、これらも含めて SK16での埋納行為を理解したい。

3トレンチで検出した SK24は、覆土の堆積状況と規模から井戸の可能性も考えられる。11層から出土したニホンジカの骨は約1頭分あり、古墳時代前期におけるニホンジカの利用の一例として注目される。

なお、本遺跡の層序は、周辺の弥生・古墳の遺跡である野起遺跡や五千石遺跡とほぼ共通する。これらの遺跡では近年発掘調査が行われ、それぞれの遺跡の具体的な様相が明らかになりつつある。潟1期地区の本発掘調査も本報告書の刊行をもって終了となる。これまでの研究成果や発掘調査結果を元に、寺泊北曾根・小豆曾根・竹森周辺における弥生・古墳時代の集落動向を再考する時期を迎えていると感じる。

## 2　遺物

今回の調査では、古墳時代前期を中心とした土器が出土した。また、旧河道 SD33から出土した弥生土器には各地の系統のものが見られた。弥生時代における活発な地域間交流をうかがわせる資料である。SD33出土土器の弥生時代中期の土器群のうち、主体を成すのは北陸系の小松式である。諏訪田遺跡出土資料の主体を成すのもこの一群である。今回の調査では、この小松式の土器群に加えて中部高地系の土器（7・35・47～49）、東北系の土器（50）が出土した。河道から出土した資料のため、同一層からの出土であっても一括性は疑わなければならない。しかし、弥生時代中期において、当地域が中部高地系、東北系の土器を受容した実証となることは間違いない、地域間交流のゆるぎない点として評価したい。今後はその点がどのような線で結ばれるのか、面的な検証が求められる。同様なことは、3トレンチ SK03から出土した古墳時代前期の畿内系叩き甕（65）にも言える。近年出土例が増えつつある叩き甕が、信濃川左岸に位置するこの地にいつ頃どのようなルートでもたらされたのか、玉作や鍛冶技術等の伝播ルートの解明と絡めて、今後の研究の課題としたい。

## 参考文献

- 越路町 1998 『越路町史』資料編1 原始・古代・中世
- 小林巖雄監修 2007 『信濃川・越後平野の地形と地質』国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
- 笹澤正史 2009 「新潟県出土の栗林式土器」『新潟県の考古学Ⅱ』新潟県考古学会
- 閔 雅之 1970 「新潟県における櫛目文土器の研究」『信濃』第22卷第4号
- 坂上有紀・田海義正ほか 2000 『平田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第98集 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 滝沢規朗 2005 「土器の分類と変遷—いわゆる北陸系を中心に—」『新潟県における高地性集落の解体と古墳の出現』同シンポジウム実行委員会・新潟県考古学会
- 滝沢規朗・野田豊文ほか 2003 「新潟県岩根郡域における弥生時代中期～後期にかけての様相－村上市砂山遺跡・滝ノ前遺跡を中心に」『三面川流域の考古学』第2号 奥三面を考える会
- 高橋 保 1979 『下谷地遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第19 新潟県教育委員会
- 田中 靖・丸山一昭 1999 「第3章弥生時代・古墳時代 第2節土器 第2項弥生中期後半」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編
- 寺泊町 1991 『寺泊町史』資料編1 原始・古代・中世
- 土橋由里子・河崎昭一ほか 2009 『西郷遺跡・大蔵遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第200集 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 豊栄市教育委員会 1980 『鳥屋遺跡I』
- 長岡市 1992 『長岡市史』資料編1 考古
- 奈良国立文化財研究所 1993 『木器集成図録－近畿原始編』
- 福海貴子・橋本正博ほか 2003 『八日市地方遺跡I』石川県小松市教育委員会
- 分水町 2006 『分水町史』通史編
- 分水町 2004 『分水町史』資料編I 考古・古代・中世
- 細井佳浩・継 実ほか 2006 『土居下遺跡』 新潟県埋蔵文化財調査報告書第166集 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 松島悦子・山下研ほか 2010 『五千石遺跡2区・4区西地区』燕市埋蔵文化財発掘調査報告書第6集 燕市教育委員会
- 丸山一昭 1998 『松ノ脇遺跡』和島村埋蔵文化財調査報告書第6集 和島村教育委員会
- 丸山一昭・田中靖ほか 2007 『山田郷内遺跡』長岡市埋蔵文化財調査報告書 長岡市教育委員会
- 山崎忠良・金子正弘ほか 2004 『下割遺跡II』新潟県埋蔵文化財調査報告書第134集 新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団
- 和島村 1996 『和島村史』資料編I 自然・原始・古代・中世・文化財
- 渡邊朋和 1998 「第二章 原始・古代一緒立遺跡—第三節 出土遺物」『黒埼町史』資料編1 原始・古代・中世 黒埼町教育委員会
- 渡邊裕之 1999 「第3章弥生時代・古墳時代 第2節土器 第1項弥生前期・中期前葉」『新潟県の考古学』新潟県考古学会編

第2表 遺構観察表(1) SE・SK

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)		備考	
		トレンチ	クリッド	検出面	平面	断面	長軸		
11	SE01	3トレンチ	30~34m	V層上面	不整形	袋状	232	—	176 出土遺物: 8・88~92・ニホンジカの骨
図版No.	遺構名	位置	位置	形態	形態	形態	規模(cm)	備考	
11	SK01	1トレンチ	34~36m	V層上面	円形	袋状	88	82	80
11	SK02	1トレンチ	0~4m	V層上面	楕円形	不整な台形状	102	—	80
11	SK03	3トレンチ	54~56m	V層上面	不整形	不整な弧状	102	80	17 出土遺物: 63~65
	SK04	1トレンチ	54~56m	V層上面			90	66	
	SK05	3トレンチ	0~2m	V層上面	隅丸長方形	不整な台形状	98	—	17
11	SK06	3トレンチ	2~6m	V層上面	隅丸長方形	不整な台形状	(304)	108	18 出土遺物: 73
	SK07	3トレンチ	96~98m	V層上面	不整な円形	弧状	45	46	12
	SK08	3トレンチ	102~104m	V層上面	不整な円形	不整な台形状	140	—	13
11	SK09	3トレンチ	34~38m	V層上面	不整形	不整な弧状	82	—	26
	SK10	3トレンチ	12~14m	V層上面	隅丸方形	弧状	96	—	28
	SK11	3トレンチ	24~26m	V層上面	楕円形	弧状	94	66	—
	SK12	7トレンチ	8~10m	V層上面	円形	弧状	162	—	—
	SK14	7トレンチ	30~32m	V層上面	楕円形	弧状	154	—	—
12	SK15	7トレンチ	52~54m	V層上面	円形	台形状	58	56	48
13	SK16	6トレンチ	174~176m	V層上面	円形	台形状	94	—	66 出土遺物: 61・62・44~449
	SK17	6トレンチ	90~92m	V層上面	不整形	台形状	152	—	16
12	SK18	6トレンチ	96~98m	V層上面	楕円形	不整な半円状	132	—	30 出土遺物: 18・66
	SK19	6トレンチ	104m	V層上面	隅丸方形	不整な弧状	124	—	27
12	SK20	6トレンチ	80~82m	V層上面	不整な円形	不整な弧状	90	—	17
12	SK21	6トレンチ	114~116m	V層上面	不整形	不整な半円状	68	60	16 出土遺物: 67
12	SK22	6トレンチ	180~182m	V層上面	円形	不整な台形状	80	74	27 出土遺物: 68・441~443
12	SK24	4トレンチ	10~14m	V層上面	不整な円形	V字状	290	—	155 出土遺物: 69~72
12	SK25	6トレンチ	148~150m	V層上面	楕円形	不整な台形状	68	—	57
12	SK26	4トレンチ	76~78m	V層上面	隅丸長方形	弧状	180	104	12

第2表 遺構観察表(2) SD

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)		備考
		トレンチ	グリット	平面	断面	長さ	幅	
SD01	2トレンチ	222~224m	V層上面	直線状	V字状	(140)	28	8
	1トレンチ	196~208m	V層上面	直線状	弧状	(560)	50	15
SD02	2トレンチ	218~224m	V層上面	直線状	弧状	(448)	32	5
SD03	1トレンチ	188~192m	V層上面	直線状	弧状	(380)	30	6
SD04	1トレンチ	176~184m	V層上面	直線状	不整なV字状	(560)	96	16 出土遺物:390
14	2トレンチ	190~196m	V層上面	直線状	弧状	(368)	40	14
SD05	1トレンチ	172~176m	V層上面	直線状	弧状	(560)	66	7
14	SD06 1トレンチ	164~168m	V層上面	直線状	弧状	(340)	82	24
SD07	2トレンチ	124~126m	V層上面	直線状	不整な弧状	(290)	30	8
SD08	1トレンチ	118~122m	V層上面	直線状	不整な弧状	(850)	86	14 出土遺物:23
14	SD09 2トレンチ	112~118m	V層上面	直線状	不整な弧状	(380)	101	28 出土遺物:24・93・362
SD10	1トレンチ	36~38m	V層上面	直線状	不整な台形状	(200)	124	12
SD11	1トレンチ	42~48m	V層上面	L字状	不整な弧状	(264)	84	
SD12	1トレンチ	10~16m	V層上面	直線状	半円状	(444)	42	23
SD13	3トレンチ	0~4m	V層上面	L字状	弧状	(190)	60	11
SD14	3トレンチ	114~118m	V層上面	直線状	弧状	(326)	28	7
SD15	3トレンチ	112~114m	V層上面	直線状	弧状	(122)	13	3
SD16	3トレンチ	100~102m	V層上面	直線状	弧状	(134)	26	5
SD17	3トレンチ	92~94m	V層上面	直線状	弧状	(180)	34	7
SD18	3トレンチ	88~92m	V層上面	直線状	不整な弧状	(254)	36	2
SD19	3トレンチ	88~90m	V層上面	直線状	弧状	(274)	58	5
SD20	3トレンチ	42~44m	V層上面	直線状	弧状	(108)	20	4
SD21	3トレンチ	42~46m	V層上面	不整形	弧状	(112)	60	10
SD22	3トレンチ	48~52m	V層上面	直線状	不整な台形状	(324)	160	29
14	SD23 3トレンチ	58~62m	V層上面	直線状	不整な弧状	(118)	34	6 出土遺物:94・95
14	SD24 3トレンチ	60~64m	V層上面	直線状	不整な弧状	(220)	32	7
SD25	3トレンチ	62~64m	V層上面	不整形	不整な台形状	(172)	22	9
SD26	3トレンチ	62~64m	V層上面	直線状	弧状	76	20	10
SD27	3トレンチ	64~66m	V層上面	不整形	弧状	190	24	7
SD28	3トレンチ	74~76m	V層上面	直線状	半円状	(50)	24	13
14	SD29 7トレンチ	84~86m	V層上面	不整形	弧状	(72)	48	9 出土遺物:25・96
14	SD32 7トレンチ	2~4m	V層上面	直線状	弧状	(290)	108	6 出土遺物:22・38・99・388
15	4トレンチ	50~64m	V層上面	直線状	弧状	—	1,370	(192)
15	6トレンチ	140~162m	V層上面	直線状	弧状	—	1,840	(172) 北東-南北方向に伸びる縄文時代晩期～古墳時代前期の自然流路
15	SD33 7トレンチ	66~78m	V層上面	直線状	弧状	—	1,190	(170) 出土遺物:1~7・27~50・108~204・365~367・391~393・402~413・423~440
15	9トレンチ	70~90m	V層上面	直線状	弧状	—	1,730	(164)

第2表 遺構観察表(3) SD

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)		備考	
		トレンチ	クリット	平面	断面	長さ	幅		
16	SD34	7トレンチ	18~20m	V層上面	横出面	(346)	86	7 出土遺物:26・97・363・364・414	
16	SD36	6トレンチ	128~130m	V層上面	直線状	(174)	78	25 出土遺物:369	
SD37	6トレンチ	121~126m	V層上面	不整形	不整な台形状	(160)	80	26	
SD38	6トレンチ	116~118m	V層上面	直線状	不整な弧状	(140)	126	SX12>SD38	
SD39	6トレンチ	100~102m	V層上面	直線状	箱状	(144)	70	22	
SD40	6トレンチ	68~70m	V層上面	直線状	不整な弧状	(220)	84	13	
SD41	6トレンチ	62~64m	V層上面	直線状	弧状	(166)	94	7	
SD42	6トレンチ	50~52m	V層上面	不整形	弧状	162	(132)	9	
SD43	6トレンチ	46~48m	V層上面	直線状	台形状	(138)	40	16	
SD44	6トレンチ	26~28m	V層上面	直線状	台形状	(134)	40	15	
SD45	6トレンチ	24~26m	V層上面	直線状	不整な弧状	100	24	11	
SD46	6トレンチ	10~12m	V層上面	直線状	不整な台形状	(134)	124	16	
16	SD47	6トレンチ	162~164m	V層上面	直線状	半円状	(170)	62	17
SD48	6トレンチ	68~70m	V層上面	直線状	弧状	(188)	54	10	
SD49	6トレンチ	200~202m	V層上面	直線状	不整な弧状	(242)	74	13	
16	SD50	6トレンチ	212~214m	V層上面	直線状	台形状	(200)	58	23 出土遺物:100・101
SD51	5トレンチ	6~18m	V層上面	直線状	不整な弧状	(720)	182	13 出土遺物:102	
SD52	5トレンチ	48~50m	V層上面	直線状	弧状	(254)	54	8	
SD54	5トレンチ	127~129m	V層上面	直線状	不整な弧状	(336)	96	5 出土遺物:103・104	
SD55	4トレンチ	20~24m	V層上面	直線状	不整な弧状	(190)	60	11	
17	SD56	4トレンチ	50~54m	V層上面	直線状	(408)	110	30 SD57>SD56>SD33、出土遺物:105	
17	SD57	4トレンチ	50~54m	V層上面	直線状	(298)	46	24 SD57>SD56>SD33、出土遺物:106・107	
SD58	9トレンチ	8~12m	V層上面	直線状	不整な弧状	214	64	16	
SD59	8トレンチ	30~32m	V層上面	直線状	不整な台形状	132	40	13	
SD60	8トレンチ	30~32m	V層上面	不整形	不整な半円状	128	22	10	
SD61	8トレンチ	40~42m	V層上面	直線状	不整なV字状	(96)	32	19	
SD62	8トレンチ	36~38m	V層上面	直線状	不整なV字状	(340)	110	19	
SD63	8トレンチ	32~36m	V層上面	不整形	弧状	(400)	88	7	

第2表 遺構観察表(4) SX

図版No.	遺構名	位置	形態			規模(cm)	備考
			トレンチ	クリップド	検出面		
SX01	1トレンチ	80~83m	V層上面	不整形	不整な弧状	326	— 10
SX02	1トレンチ	0~4m	V層上面	不整形	不整な弧状	320	— 22
SX03	3トレンチ	22~28m	V層上面	不整形	不整な弧状	600	— 24
17	SX04 3トレンチ	12~16m	V層上面	隅丸方形	不整な弧状	204	— 20
17	SX05 3トレンチ	20~22m	V層上面	隅丸方形	台形状	(224)	108 32
	SX06 3トレンチ	74~75m	V層上面	不整形	不整な弧状	200	— —
SX07	3トレンチ	56~58m	V層上面	不整形	不整な弧状	104	— 12
SX08	3トレンチ	54~56m	V層上面	不整形	弧状	200	— 10
18	SX09 3トレンチ	56~60m	V層上面	不整形	—	344	— 古墳時代前期の土器集類遺構、出土遺物:9・215~261
17	SX10 7トレンチ	26~28m	V層上面	円形	弧状	86	— 16
SX12	6トレンチ	118~122m	V層上面	隅丸方形	弧状	456	— 8
SX14	6トレンチ	82~84m	V層上面	梢円形	不整な弧状	70	— 7
SX16	6トレンチ	28~32m	V層上面	隅丸方形	弧状	348	— 56
SX17	6トレンチ	62~70m	V層上面	不整形	弧状	520	— 5
SX18	5トレンチ	18~20m	V層上面	不整形	不整な弧状	90	— 6
18	SX19 5トレンチ	0~4m	V層上面	不整形	弧状	144	— 22
SX20	5トレンチ	0~2m	V層上面	梢円形	不整な弧状	140	— 16
SX21	9トレンチ	88~90m	V層上面	不整形	弧状	136	— 13

第2表 遺構観察表(5) SP

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)			出土遺物	位置		形態		規模(cm)			出土遺物		
		トレンチ	グリッド	平面	断面	長径	短径	深さ		トレンチ	グリッド	平面	断面	長径	短径	深さ			
	SP02	1トレンチ	160~162m	楕円形	-	28	20	-		SP63	7トレンチ	4~6m	円形	-	32	26	-		
	SP03	1トレンチ	150~152m	楕円形	-	34	18	-		19	SP64	7トレンチ	4~6m	不整な円形	台形状	25	-	38	83
	SP04	1トレンチ	126~128m	不整な円形	-	20	16	-		SP65	7トレンチ	22~24m	円形	箱状	40	36	37		
	SP05	1トレンチ	126~128m	不整な円形	-	66	40	-		SP66	7トレンチ	0~2m	円形	-	26	22	-		
	SP06	1トレンチ	118~120m	円形	-	30	25	-		SP67	7トレンチ	10~12m	円形	V字状	18	18	23		
	SP07	1トレンチ	192~194m	不整な円形	-	64	28	-		SP68	7トレンチ	10~12m	円形	V字状	20	16	24		
	SP08	1トレンチ	188~190m	不整形	-	86	26	-		SP69	7トレンチ	20~22m	円形	-	12	12	-		
	SP09	1トレンチ	104~106m	楕円形	-	34	-	-		SP70	7トレンチ	22~24m	円形	-	22	20	-		
	SP10	1トレンチ	104~106m	円形	-	64	54	-		SP71	7トレンチ	36~38m	円形	-	20	20	-		
	SP11	1トレンチ	102~104m	楕円形	-	53	30	-		SP72	7トレンチ	34~36m	楕円形	V字状	36	28	21		
	SP12	1トレンチ	96~98m	円形	-	20	20	-		SP73	7トレンチ	86~88m	楕円形	不整な台形状	44	26	23		
	SP13	1トレンチ	92~94m	円形	-	20	20	-		SP74	7トレンチ	86~88m	円形	V字状	26	22	21		
	SP14	1トレンチ	100~102m	不整な円形	-	44	30	-		SP75	7トレンチ	30~32m	円形	台形状	30	24	24		
18	SP16	3トレンチ	60~62m	楕円形	台形状	62	36	20	75~76	SP76	7トレンチ	122~124m	楕円形	-	50	28	-		
	SP17	3トレンチ	58~60m	楕円形	弧状	74	-	-	77~78	SP77	7トレンチ	122~124m	楕円形	-	30	22	-		
	SP18	3トレンチ	118~120m	不整な円形	-	18	18	-		SP78	7トレンチ	118~120m	円形	-	40	32	-		
	SP19	3トレンチ	116~118m	不整な円形	-	42	30	-		SP79	7トレンチ	118~120m	楕円形	不整な台形状	44	30	36		
	SP20	3トレンチ	112~114m	円形	-	20	18	-	74	SP80	7トレンチ	120~122m	円形	-	28	24	-		
18	SP21	3トレンチ	82~84m	楕円形	弧状	34	26	7		SP81	7トレンチ	122~124m	円形	-	40	36	-		
18	SP22	3トレンチ	82~84m	不整形	U字状	50	40	23		SP82	7トレンチ	124~126m	楕円形	-	38	26	-		
	SP23	3トレンチ	80~82m	円形	不整なV字状	50	30	29		SP83	7トレンチ	124~126m	円形	-	32	26	-		
	SP24	3トレンチ	36~38m	不整な円形	-	22	20	-		SP84	7トレンチ	124~126m	不整な円形	-	40	30	-		
	SP26	3トレンチ	42~44m	円形	-	28	22	-		SP85	7トレンチ	128~130m	円形	-	38	34	-		
	SP27	3トレンチ	42~44m	不整形	-	25	24	-		SP86	6トレンチ	142~144m	不整な円形	弧状	48	36	9		
	SP28	3トレンチ	42~44m	不整形	-	32	22	-		SP87	6トレンチ	132~134m	円形	台形状	28	22	16		
	SP29	3トレンチ	44~46m	楕円形	-	30	29	-		SP88	6トレンチ	120~122m	円形	-	22	20	-		
	SP30	3トレンチ	46~48m	楕円形	-	26	22	-	10	19	SP89	6トレンチ	114~116m	円形	箱状	40	38	27	
	SP31	3トレンチ	46~48m	不整な円形	-	48	30	-		19	SP90	6トレンチ	114~116m	円形	箱状	18	18	39	
	SP32	3トレンチ	52~54m	円形	-	24	16	-		19	SP91	6トレンチ	102~104m	円形	台形状	38	32	62	84
	SP33	3トレンチ	54~56m	楕円形	-	28	21	-	79	SP92	6トレンチ	98~100m	円形	台形状	28	22	26		
	SP34	3トレンチ	56~58m	円形	-	26	22	-		SP93	6トレンチ	96~98m	円形	U字状	22	-	22		
	SP36	3トレンチ	58~60m	楕円形	-	43	22	-	80	SP94	6トレンチ	94~96m	円形	階段状	18	14	22		
	SP38	3トレンチ	60~62m	楕円形	-	28	20	-	11~81	SP95	6トレンチ	94~96m	円形	箱状	18	16	13		
	SP39	3トレンチ	60~62m	不整な円形	-	38	22	-		SP96	6トレンチ	92~94m	不整形	不整な台形状	32	-	12		
	SP40	3トレンチ	62~64m	不整な円形	-	32	20	-		SP97	6トレンチ	92~94m	不整形	不整な弧状	48	42	10		
	SP41	3トレンチ	64~66m	楕円形	-	26	-	-		SP98	6トレンチ	86~88m	楕円形	台形状	30	18	26		
	SP42	3トレンチ	68~70m	円形	-	32	22	-		SP99	6トレンチ	86~88m	不整形	不整な台形状	38	28	16		
	SP43	3トレンチ	74~76m	不整な円形	-	14	13	-		SP100	6トレンチ	84~86m	楕円形	不整な台形状	30	20	21		
	SP44	3トレンチ	86~88m	不整な円形	-	38	16	-		SP101	6トレンチ	84~86m	円形	不整な台形状	22	-	11		
	SP45	3トレンチ	80~82m	円形	-	30	-	-		SP102	6トレンチ	84~86m	円形	台形状	22	18	11		
	SP46	3トレンチ	92~94m	不整な円形	-	34	50	-		SP103	6トレンチ	84~86m	円形	不整な台形状	20	18	15		
	SP47	3トレンチ	82~84m	楕円形	-	38	22	-	21	19	SP104	6トレンチ	82~84m	不整形	不整な弧状	60	26	27	
	SP48	3トレンチ	50~52m	不整な円形	-	96	-	-		SP105	6トレンチ	82~84m	楕円形	弧状	40	24	9		
	SP50	3トレンチ	44~46m	不整形	-	86	60	-		SP106	6トレンチ	80~82m	楕円形	箱状	30	20	23		
	SP51	3トレンチ	44~46m	楕円形	-	48	36	-		SP107	6トレンチ	80~82m	円形	U字状	16	16	17		
	SP53	3トレンチ	56~58m	円形	-	36	34	-		SP108	6トレンチ	80~82m	円形	V字状	20	18	24		
	SP54	3トレンチ	52~54m	楕円形	-	96	64	-		SP109	6トレンチ	78~80m	不整形	不整な台形状	34	26	21		
	SP55	3トレンチ	56~58m	円形	半円状	22	20	10		SP110	6トレンチ	78~80m	不整な円形	半円状	32	22	14		
	SP56	3トレンチ	56~58m	楕円形	弧状	50	26	10		19	SP111	6トレンチ	78~80m	不整な円形	不整な弧状	52	44	30	
	SP57	3トレンチ	56~58m	円形	U字状	22	19	25		SP112	6トレンチ	78~80m	不整形	弧状	64	56	11		
	SP58	3トレンチ	56~58m	円形	U字状	14	14	15		SP113	6トレンチ	74~76m	円形	U字状	20	18	24		
	SP59	3トレンチ	56~58m	円形	V字状	18	18	15	82	SP114	6トレンチ	74~76m	円形	不整な半円状	20	-	14		
	SP60	7トレンチ	10~12m	楕円形	-	50	34	-		SP115	6トレンチ	60~62m	楕円形	台形状	24	-	17		
	SP61	7トレンチ	6~8m	円形	-	38	34	-		SP116	6トレンチ	60~62m	円形	台形状	26	22	16		
19	SP62	7トレンチ	4~6m	円形	台形状	20	16	22	20	SP117	6トレンチ	60~62m	円形	台形状	22	20	24		

第2表 遺構観察表(6) SP

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)			出土遺物	位置		形態		規模(cm)			出土遺物
		トレンチ	グリッド	平面	断面	長径	短径	深さ		トレンチ	グリッド	平面	断面	長径	短径	深さ	
	SP118	6トレンチ	184~186m	円形	台形状	48	—	13		6トレンチ	67~68m	楕円形	不整な台形状	32	24	37	
	SP119	6トレンチ	170~172m	円形	U字状	18	18	19		6トレンチ	194~196m	楕円形	台形状	32	24	12	
	SP120	6トレンチ	170~172m	円形	不整な半円状	20	18	12		6トレンチ	194~196m	不整な円形	箱状	38	22	10	
	SP121	6トレンチ	164~166m	円形	U字状	26	22	20		6トレンチ	196~198m	不整な円形	弧状	38	—	6	
	SP122	6トレンチ	162~164m	円形	台形状	12	10	10		6トレンチ	196~198m	不整な円形	U字状	38	30	17	
	SP123	6トレンチ	162~165m	円形	台形状	14	12	9		6トレンチ	202~204m	円形	U字状	22	20	29	
	SP124	6トレンチ	162~166m	円形	半円状	20	18	10		6トレンチ	202~204m	円形	U字状	24	20	30	
	SP125	6トレンチ	164~166m	円形	U字状	24	20	14		6トレンチ	186~188m	円形	V字状	20	16	21	
	SP126	6トレンチ	84~86m	円形	箱状	20	20	14		6トレンチ	188~190m	不整形	不整な台形状	62	24	22	
	SP127	6トレンチ	72~74m	楕円形	弧状	52	32	10		6トレンチ	192~194m	不整な円形	不整な台形状	38	26	19	
	SP128	6トレンチ	60~62m	不整形	不整な弧状	76	46	12		6トレンチ	194~196m	円形	U字状	28	24	22	
	SP129	6トレンチ	186~188m	円形	半円状	28	24	16		6トレンチ	194~196m	楕円形	台形状	38	24	22	
19	SP130	6トレンチ	186~188m	楕円形	V字状	48	22	27		6トレンチ	196~198m	不整な円形	U字状	28	18	32	
19	SP131	7トレンチ	64~66m	円形	U字状	10	8	18	450	6トレンチ	198~200m	不整な円形	不整な台形状	114	—	65	
	SP132	7トレンチ	66~68m	円形	台形状	28	22	19		6トレンチ	178~180m	円形	台形状	38	—	20	
	SP133	6トレンチ	58~60m	円形	不整な台形状	26	22	14		6トレンチ	114~116m	円形	—	24	20	—	
	SP134	6トレンチ	58~60m	楕円形	漏斗状	28	20	14		5トレンチ	4~6m	円形	不整な台形状	16	14	18	
	SP135	6トレンチ	56~58m	円形	箱状	18	14	19		5トレンチ	6~8m	楕円形	V字状	20	16	19	
	SP136	6トレンチ	28~30m	円形	台形状	40	—	23		5トレンチ	8~10m	円形	箱状	18	14	19	
	SP137	6トレンチ	30~32m	円形	不整な台形状	24	—	20		5トレンチ	8~10m	円形	箱状	12	—	19	
19	SP138	6トレンチ	30~32m	楕円形	漏斗状	40	24	29		5トレンチ	18~20m	円形	不整な台形状	24	22	17	
	SP139	6トレンチ	32~34m	楕円形	半円状	22	20	12		5トレンチ	18~20m	円形	不整な台形状	42	24	17	
	SP140	6トレンチ	32~34m	円形	台形状	28	28	16		5トレンチ	18~20m	円形	台形状	26	22	14	
	SP141	6トレンチ	32~34m	円形	台形状	26	—	14		5トレンチ	18~20m	不整形	不整な半円状	58	—	24	
	SP142	6トレンチ	34~36m	楕円形	不整な半円状	36	24	17		5トレンチ	18~20m	円形	台形状	40	30	15	
	SP143	6トレンチ	36~38m	円形	半円状	24	22	11		5トレンチ	18~20m	円形	不整な弧状	38	30	9	
	SP144	6トレンチ	36~38m	不整な円形	弧状	30	—	11		6トレンチ	20~22m	不整な円形	台形状	62	—	36	85
	SP145	6トレンチ	36~38m	不整な円形	台形状	46	—	10		5トレンチ	20~22m	円形	台形状	16	16	17	
	SP146	6トレンチ	38~40m	円形	台形状	24	22	15		5トレンチ	22~24m	円形	U字状	18	16	19	
	SP147	6トレンチ	38~40m	楕円形	不整な弧状	50	16	20		5トレンチ	22~24m	円形	U字状	30	—	41	
	SP148	6トレンチ	38~40m	不整な円形	不整な台形状	36	32	17		5トレンチ	26~28m	不整な円形	不整な半円状	22	16	23	
20	SP149	6トレンチ	38~40m	不整な円形	不整な台形状	52	40	28		5トレンチ	26~28m	円形	台形状	22	6	18	
	SP150	6トレンチ	38~40m	円形	不整な台形状	40	—	21		5トレンチ	26~28m	円形	箱状	14	14	17	
	SP151	6トレンチ	42~44m	円形	不整な半円状	24	18	21		5トレンチ	26~28m	円形	半円状	18	16	10	
	SP152	6トレンチ	40~42m	不整な円形	台形状	48	32	16		5トレンチ	28~30m	円形	半円状	16	12	14	
	SP153	6トレンチ	42~44m	円形	階段状	28	24	11		5トレンチ	32~34m	楕円形	階段状	38	22	60	
	SP154	6トレンチ	44~46m	円形	不整な台形状	26	24	19		5トレンチ	38~40m	楕円形	U字状	30	24	57	
	SP155	6トレンチ	42~44m	楕円形	台形状	34	22	13		5トレンチ	38~40m	楕円形	台形状	26	16	19	
	SP156	6トレンチ	44~46m	円形	台形状	34	28	15		5トレンチ	40~42m	円形	U字状	20	18	25	
	SP157	6トレンチ	50~52m	円形	箱状	22	18	15		5トレンチ	42~44m	円形	不整な台形状	22	20	18	
	SP158	6トレンチ	50~52m	円形	台形状	24	20	19		5トレンチ	44~46m	円形	漏斗状	22	—	26	
	SP159	6トレンチ	54~56m	円形	階段状	24	20	21		5トレンチ	44~46m	楕円形	不整な台形状	38	20	22	
	SP160	6トレンチ	28~30m	円形	台形状	28	—	15		5トレンチ	42~44m	楕円形	箱状	40	18	17	
	SP161	6トレンチ	18~20m	円形	U字状	18	14	19		5トレンチ	42~44m	不整な円形	不整な台形状	28	16	24	
	SP162	6トレンチ	14~16m	楕円形	階段状	24	16	22		5トレンチ	50~52m	円形	不整な台形状	28	26	16	
20	SP163	6トレンチ	12~14m	円形	台形状	42	36	22		5トレンチ	50~52m	円形	不整な台形状	28	22	11	
	SP164	6トレンチ	2~4m	楕円形	漏斗状	28	16	27		5トレンチ	50~52m	楕円形	不整な半円状	48	28	17	
	SP165	6トレンチ	6~8m	楕円形	不整な台形状	34	28	14		5トレンチ	52~54m	円形	V字状	29	16	30	
	SP166	6トレンチ	56~58m	円形	台形状	32	28	15		5トレンチ	52~54m	不整な円形	不整な弧状	38	30	11	
	SP167	6トレンチ	54~56m	楕円形	不整な台形状	50	16	26		5トレンチ	52~54m	楕円形	不整な弧状	38	20	12	
	SP168	6トレンチ	40~42m	不整形	不整な台形状	42	—	13		5トレンチ	40~42m	円形	半円状	18	16	15	
	SP169	6トレンチ	34~36m	楕円形	不整な台形状	36	26	13		5トレンチ	40~42m	楕円形	箱状	30	20	17	
	SP170	6トレンチ	34~36m	不整な円形	半円状	30	—	15		5トレンチ	54~56m	楕円形	階段状	44	24	19	
	SP171	6トレンチ	34~36m	楕円形	不整な台形状	50	—	12		5トレンチ	56~58m	円形	台形状	30	30	19	
	SP172	6トレンチ	54~56m	不整な円形	U字状	32	30	15		5トレンチ	54~56m	楕円形	台形状	20	14	14	

第2表 遺構観察表(7) SP

図版No.	遺構名	位置		形態		規模(cm)			出土遺物	出土遺物
		トレンチ	グリッド	平面	断面	長径	短径	深さ		
	SP229	5トレンチ	56~58m	楕円形	台形状	22	20	15		
	SP230	5トレンチ	52~54m	楕円形	不整な半円状	44	24	16		
	SP231	5トレンチ	50~52m	円形	箱状	40	26	15		
	SP232	5トレンチ	50~52m	楕円形	箱状	16	16	15		
	SP233	5トレンチ	48~50m	円形	U字状	16	14	24		
	SP234	4トレンチ	4~6m	円形	U字状	22	18	33		
	SP235	4トレンチ	8~10m	円形	不整な台形状	40	32	34		
	SP236	4トレンチ	2~4m	円形	台形状	14	14	17		
	SP237	5トレンチ	42~44m	不整な円形	弧状	24	22	9		
	SP238	4トレンチ	26~28m	楕円形	箱状	38	20	15		
	SP239	4トレンチ	20~22m	円形	不整な台形状	44	—	15		
	SP240	4トレンチ	30~32m	楕円形	半円状	26	18	10		
	SP241	4トレンチ	12~14m	楕円形	不整な台形状	84	38	36		
	SP242	4トレンチ	44~46m	円形	箱状	20	16	17		
	SP243	4トレンチ	10~12m	円形	階段状	42	38	27		
	SP244	4トレンチ	2~4m	不整形	不整な弧状	68	40	15		
	SP245	4トレンチ	10~12m	楕円形	不整な半円状	40	30	17		
	SP246	4トレンチ	46~48m	円形	箱状	20	20	17		
	SP247	4トレンチ	72~74m	円形	箱状	18	18	24		
	SP248	4トレンチ	74~76m	円形	箱状	24	22	14		
	SP249	4トレンチ	78~80m	不整な円形	箱状	32	24	20		
	SP250	9トレンチ	62~64m	円形	台形状	24	22	9		
	SP251	9トレンチ	62~64m	円形	台形状	16	16	13		
	SP252	9トレンチ	24~26m	円形	台形状	22	20	18		
	SP253	9トレンチ	22~26m	不整形	弧状	74	34	15		
	SP254	9トレンチ	24~26m	不整な円形	不整なV字状	48	—	20		
	SP255	9トレンチ	12~14m	不整形	箱状	32	28	18		
	SP256	9トレンチ	12~14m	不整な円形	台形状	30	24	20		
	SP257	9トレンチ	12~14m	楕円形	台形状	30	16	21		
	SP258	9トレンチ	12~14m	円形	台形状	24	—	23		
	SP259	9トレンチ	8~10m	不整形	U字状	34	26	28		
	SP260	9トレンチ	6~8m	円形	U字状	24	20	21		
	SP261	9トレンチ	4~6m	不整形	弧状	54	34	10		
	SP262	9トレンチ	2~4m	不整な円形	台形状	22	16	11		
	SP263	9トレンチ	16~18m	円形	—	16	14	—		
	SP264	9トレンチ	16~18m	円形	—	22	—	—		
	SP265	9トレンチ	20~22m	不整な円形	—	40	22	—		
20	SP271	9トレンチ	74~76m	円形	V字状	38	32	30	86	
	SP272	8トレンチ	22~24m	円形	台形状	20	18	8		
	SP273	8トレンチ	28~30m	円形	台形状	28	22	12		
	SP274	8トレンチ	28~30m	楕円形	台形状	30	24	8		
	SP275	8トレンチ	28~30m	不整な円形	半円状	40	28	12		
	SP276	8トレンチ	28~30m	不整な円形	不整な台形状	66	60	16		
	SP277	8トレンチ	28~30m	円形	台形状	20	18	9		
	SP278	8トレンチ	20~22m	円形	V字状	42	38	12		
	SP279	8トレンチ	20~22m	円形	U字状	34	—	30		
	SP280	8トレンチ	24~26m	円形	不整な台形状	24	22	15		
	SP281	8トレンチ	28~30m	円形	台形状	20	18	9		
	SP282	8トレンチ	26~28m	楕円形	弧状	26	—	7		
	SP283	8トレンチ	24~30m	円形	箱状	20	18	12		
	SP284	8トレンチ	30~32m	不整な円形	不整な台形状	70	40	22		
	SP285	8トレンチ	18~20m	円形	弧状	18	14	7		
	SP286	8トレンチ	22~24m	不整な円形	台形状	26	18	9		
	SP287	8トレンチ	22~24m	不整な円形	不整な弧状	30	24	15		
	SP288	8トレンチ	26~28m	楕円形	不整な台形状	40	22	18		
	SP289	8トレンチ	18~20m	円形	弧状	22	20	8		
	SP290	8トレンチ	30~32m	不整な円形	弧状	38	28	5		
	SP291	8トレンチ	26~28m	円形	弧状	26	24	10		
	SP292	8トレンチ	24~26m	円形	弧状	28	16	8		
	SP293	8トレンチ	20~22m	不整な円形	不整な弧状	50	—	12		
	SP294	8トレンチ	18~20m	円形	不整な台形状	20	16	9		
	SP295	8トレンチ	16~18m	円形	弧状	16	12	5		
	SP296	8トレンチ	14~16m	円形	弧状	18	18	5		
	SP297	8トレンチ	14~16m	円形	弧状	20	14	6		
	SP298	8トレンチ	12~14m	楕円形	弧状	26	14	5		
	SP299	8トレンチ	18~20m	不整な円形	半円状	42	—	20		
	SP300	8トレンチ	10~12m	円形	台形状	32	30	24		
	SP301	8トレンチ	8~10m	不整な円形	半円状	26	—	16		
	SP302	8トレンチ	6~8m	不整な円形	不整な半円状	28	20	14		
	SP303	8トレンチ	4~6m	楕円形	半円状	24	16	9		
	SP304	8トレンチ	4~6m	不整形	不整な半円状	44	34	14		
	SP305	8トレンチ	22~24m	不整形	弧状	64	36	3		
	SP306	8トレンチ	0~2m	不整形	弧状	40	—	4		
	SP307	8トレンチ	18~20m	不整な円形	不整な台形状	34	32	15		
	SP308	8トレンチ	6~8m	楕円形	弧状	26	—	5		
	SP309	8トレンチ	18~20m	円形	弧状	14	12	4		
	SP310	8トレンチ	6~8m	円形	半円状	24	20	13		
	SP311	8トレンチ	2~4m	円形	弧状	15	15	4		
	SP312	8トレンチ	0~2m	楕円形	不整な弧状	78	40	10		
	SP313	8トレンチ	0~2m	円形	弧状	16	14	4		
	SP314	8トレンチ	2~4m	不整な円形	不整な半円状	24	14	10		
	SP315	8トレンチ	2~4m	楕円形	不整な弧状	38	20	8		
	SP316	8トレンチ	4~6m	円形	弧状	16	16	5		
	SP317	8トレンチ	0~2m	不整な円形	不整な台形状	34	18	14		
	SP318	8トレンチ	30~32m	円形	不整な台形状	44	—	20		
	SP319	8トレンチ	24~26m	円形	半円状	18	14	8		
	SP320	8トレンチ	24~26m	不整な円形	半円状	24	22	9		
	SP321	8トレンチ	34~36m	不整形	不整な台形状	66	44	14		
	SP322	8トレンチ	36~38m	不整な円形	不整な台形状	40	30	10		
	SP323	8トレンチ	32~34m	円形	半円状	32	26	11		
	SP324	8トレンチ	34~36m	不整な円形	不整な台形状	36	32	16		
	SP325	8トレンチ	38~40m	円形	箱状	26	22	20		
20	SP326	8トレンチ	38~40m	不整形	不整な半円状	66	56	17	87	
	SP327	8トレンチ	40~42m	円形	不整な半円状	42	32	20		
	SP328	8トレンチ	40~42m	円形	不整な台形状	28	26	13		
	SP329	8トレンチ	40~42m	円形	台形状	32	28	21		
	SP330	8トレンチ	32~34m	楕円形	不整な半円状	42	20	15		
	SP331	8トレンチ	40~42m	円形	半円状	28	22	21		
	SP332	8トレンチ	40~42m	円形	不整な台形状	24	20	22		
	SP333	8トレンチ	36~38m	円形	半円状	34	32	20		
	SP334	8トレンチ	0~2m	円形	U字状	14	12	13		
	SP335	8トレンチ	14~16m	円形	半円状	22	20	8		
	SP336	8トレンチ	36~38m	円形	不整な半円状	22	18	18		
	SP337	8トレンチ	40~42m	不整形	不整な台形状	138	48	16		
	SP338	8トレンチ	38~40m	不整な円形	不整な半円状	64	—	16		
	SP339	8トレンチ	22~24m	不整な円形	弧状	26	—	5		
	SP340	8トレンチ	38~40m	円形	箱状	22	—	19		
	SP341	8トレンチ	36~38m	円形	台形状	18	14	21		

第3表 遺物観察表(1)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	種別	器種	法量(cm)			残存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考		
						口径	底径	高さ	口部部 (底部部)	剪部	底部 脚部	外面	内面					
21 1	7B1ンチ	68~78m	SD33	W①層	遺物名				破片			良好	密	2.5Y6/3にぶい黄	口:無縫文、体:ミガキ	ミガキ	縄文時代晚期	
21 2	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	遺物名				破片			良好	密	2.5Y6/1 黄灰	横の燃系文(r)	ヨコナデ	縄文時代晚期	
21 3	4B1ンチ	50~64m	SD33	9層	遺物名				破片			良好	密	10Y6/1 黒褐色	口:沈線文+ヨコナキ、体:ラテのち工字文	ヨコミガキ	縄文時代晚期	
21 4	7B1ンチ	68~78m	SD33	W②層	遺物名				破片			良好	密	2.5Y6/3にぶい黄	縄目状燃系文(r)	ミガキ	縄文時代晚期	
21 5	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	遺物名				破片			良好	密	10Y6/3にぶい黄	縄文(Ir1)	ナデ	縄文時代晚期	
21 6	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	遺物名				破片			良好	密	2.5Y2/1 黑	縄文(Ir1)	ミガキ	縄文時代晚期	
21 7	4B1ンチ	50~64m	SD33	7③層	遺物名				破片			やや軟	密	10Y6/4にぶい黄	口:突斯+脚柱、体:ハゲ	ナデ	縄文時代晚期	
21 8	3B1ンチ	30~34m	SE01	5層	遺物名				破片			良好	密	10Y6/1 白灰	燃系文(r)	ナデ	縄文時代晚期	
21 9	3B1ンチ	50~60m	SX09	W層	遺物名				破片			やや軟	密	2.5Y7/3 浅黄	縄燃文(r)	ケイジ様ナデ	縄文時代中期	
21 10	3B1ンチ	46~48m	SP30	覆土	遺物名				破片			良好	密	10Y6/3にぶい黄	縄文(LR)	ナデ	縄文時代中期	
21 11	3B1ンチ	60~62m	SP38	覆土	遺物名				破片			やや軟	密	10Y6/2 口付黄褐	燃系文(I)	ナデ	縄文時代中期	
21 12	3B1ンチ	54~56m	WW	罐	遺物名				破片			良好	蜜	2.5Y7/3 浅黄	蜜青燃文(R)	ナデのち次綠文	縄文時代中期	
21 13	6B1ンチ	134~136m	WW	罐	遺物名				破片			やや軟	密	10Y6/4にぶい黄	縄燃文(r)	ナデ	縄文時代中期	
21 14	7B1ンチ	116~118m	WW	罐	遺物名				破片			やや良好	密	10Y6/3にぶい黄	蜜青燃文(R)	蜜或のたぎ調整不明	縄文時代中期	
21 15	6B1ンチ	134~136m	WW	罐	遺物名				破片			やや良好	密	10Y6/3にぶい黄	蜜青燃文	ナデ	縄文時代中期	
21 16	7B1ンチ	6~8m	WW	罐	遺物名		6.0	(1.8)		1/3	やや軟	密	10Y6/1 白灰	ナデ	ナデのち次綠文	縄文時代中期		
21 17	3B1ンチ	24~26m	II層	罐	遺物名		4.3	(4.4)		1/4	やや軟	やや粗	10Y6/1 黑褐	蜜或のため調整不明	ナデ	縄文時代中期		
21 18	6B1ンチ	96~98m	SK18	覆土	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/4にぶい黄	ヨコナデのち黒灰文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 19	6B1ンチ	118~122m	SX12	覆土	学生器	兔			破片			やや良好	密	2.5Y5/2 前灰黄	ヨコナデ、口:斜2ズ	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 20	7B1ンチ	4~6m	SP62	覆土	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/3 深黄褐	椭槌燃文+輪描文	微紋文	縄文時代中期	
21 21	3B1ンチ	82~84m	SP47	覆土	学生器	兔の壺			破片			良好	密	7.5Y7/2 黄灰	椭槌燃文+輪描文	ナデ	縄文時代中期	
21 22	7B1ンチ	2~4m	SD32	覆土	学生器	兔			破片			良好	密	2.5Y3/2 黑褐	ヨコナデのち頬丸文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 23	1B1ンチ	118~122m	SD06	覆土	学生器	兔の壺			破片			やや良好	密	10Y6/3 深黄褐	ナデのち輪描文+圓形文?	ナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 24	2B1ンチ	112~118m	SD09	覆土	学生器	兔の壺			破片			やや軟	密	2.5Y7/2 天灰	ヨコナデ、口端:鉢のみ	綴紋文	縄文時代中期	
21 25	3B1ンチ	84~86m	SD29	覆土	学生器	兔			破片			やや良好	密	2.5Y7/2 天灰	椭槌燃文+輪描文	ナデ	縄文時代中期、北陸系	
21 26	7B1ンチ	18~20m	SD34	覆土	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/2/2 黑	ヨコナデのち頬丸文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 27	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/2/1 黑	ヨコナデのち刻文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 28	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/3 深黄褐	ヨコナデのち輪描文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 29	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	学生器	兔の壺			破片			良好	密	10Y6/2/2 深黄褐	椭槌燃文+輪描文	ナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 30	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺			破片			やや良好	密	2.5Y6/3にぶい黄	綴紋文	ヨコハケ	弥生時代中期、北陸系	
21 31	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	学生器	壺		19.4		(3.8)	1/6		良好	密	10Y6/3にぶい黄	ヨコナデのち輪描文	ヨコナデ	弥生時代中期、北陸系
21 32	6B1ンチ	140~162m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	7.5Y6/6 膨	輪描文	ナデ・指噴ナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 33	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	2.5Y6/3にぶい黄	輪描文	ミガキ	弥生時代中期、北陸系	
21 34	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	2.5Y3/1 黑褐	輪描圓形文	ナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 35	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	2.5Y7/2 天灰	ハゲのちナデ、輪描圓形文+輪描波狀文	ヨコハケ	弥生時代中期、北陸系	
21 36	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	10Y6/1 白灰	輪描波狀文+輪描文	ナデ	弥生時代中期、北陸系	
21 37	7B1ンチ	68~78m	SD33	6層	学生器	壺						良好	密	2.5Y6/3にぶい黄	ハゲ(削正筆)	ナデ	弥生時代中期、北陸系	

第3表 遺物観察表(2)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地盤	クリッド	遺構名	層位	種別	器種	法量(cm)	現存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考	
														外面	内面			
22	38	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕	14.6	(8.6)	1/4	良好	密	5Y3/1 オリーブ黒	口:ヨコナデ、体:ヨコカーベルト	口:ヨコナデ、体:ヨコカーベルト	弥生時代中期・北陸系		
22	39	68m+チ	140~162m	SD33	6層	弥生土器	甕	18.4	(8.5)	1/6	良好	密	10Y3/1 黒褐	口:ハケのちヨコナデ、体:ヨコカーベルト	口:ヨコカーベルト	弥生時代中期・北陸系		
22	40	68m+チ	140~162m	SD33	6層	弥生土器	甕	17.0	(3.9)	1/10	良好	密	7.5Y8/6 橙	タテハケ、口:刻み	口:ヨコナデ、体:ヨコカーベルト	弥生時代中期・北陸系		
22	41	68m+チ	140~162m	SD33	6層	弥生土器	甕	16.6	(6.6)	1/6	良好	密	2.5Y3/1 黒褐	口:ヨコナデ、体:タテハケ	口:ヨコナデのち刻み、体:ヨコカーベルト	弥生時代中期・北陸系・外面焼付着		
22	42	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕	(8.8)		3/4	良好	密	10Y8/1 白灰	タテハケ	タテハケのち頭部ナデ	外面部付着、弥生時代中期・北陸系		
22	43	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕or甌	7.0	(5.5)	2/3	良好	密	2.5Y7/3 浅黄	体:ハケのちヨコナデ、底:ナデ	底:ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系・底面黒斑		
22	44	68m+チ	140~162m	SD33	6層	弥生土器	甕or甌	10.4	(3.2)	1/3	良好	密	2.5Y7/2 柔黄	体:タテハケ、底:ケズ	体:ヨコナデ、底:ナデ	弥生時代中期・北陸系・底面黒斑		
22	45	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕or甌	9.2	(5.6)	1/4	良好	密	2.5Y5/2 断灰黄	体:ヨコナデ、底:ナデ	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系・底面黒斑		
22	46	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕or甌	8.4	(3.9)	1/2	良好	密	10Y8/2 柔黄	体:板ナデ、ハケ、底:ナデ	指頭ナデ	弥生時代中期・北陸系・底面黒斑		
22	47	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕			破片	良好	密	2.5Y2/1 黑	漫毛絞条痕文	ミガキ	弥生時代中期・中部高地系		
22	48	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕			破片	良好	密	2.5Y3/1 黑褐	タテハケのち火捺文	ミガキ	弥生時代中期・中部高地系		
22	49	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕or甌			破片	良好	密	10Y8/1 白灰	輪廊強化文・波状文・ボタン状貼り付け文	ミガキ	弥生時代中期・中部高地系		
22	50	78m+チ	68~78m	SD33	6層	弥生土器	甕		(14.3)	1/4	良好	密	10Y8/2 柔黄	重ね形文・無筋陶文(R)	ナデ	弥生時代中期・東北系		
23	51	38m+チ	58~60m	WW	弥生土器	甕				破片	良好	密	5Y3/1 オリーブ黒	ヨコナデ、口端:刻み	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	52	68m+チ	132~134m	II層	弥生土器	甕				破片	良好	密	2.5Y5/3 黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ、口:刻み	弥生時代中期・北陸系		
23	53	38m+チ	66~68m	WW	弥生土器	甕				破片	やや良好	密	10Y8/3 にらい黄褐	ヨコナデ、口:押出:	ヨコナデのヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	54	68m+チ	98~100m	II層	弥生土器	甕				破片	やや良好	密	2.5Y3/3 断紗ノヘ	ナデ、口:刻み	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	55	78m+チ	46~48m	II層	弥生土器	甕or甌				破片	やや軟	密	5Y3/8/4 深青褐	幾形文	ハケのちナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	56	38m+チ	58~60m	II層	弥生土器	甕or甌				破片	軟	密	2.5Y8/2 白灰	ヨコナデのち幾形文	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	57	38m+チ	82~84m	WW	弥生土器	甕or甌				破片	良好	精密	10Y8/4 にらい黄褐	輪廊文	輪廊のち火捺文	弥生時代中期・北陸系		
23	58	38m+チ	82~84m	WW	弥生土器	甕or甌				破片	やや良好	密	10Y8/4 断紗ノヘ	ナデ、口:刻み	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	59	38m+チ	92~94m	WW	弥生土器	甕or甌				破片	やや良好	密	5Y3/8/4 深青褐	幾形文	ハケのちナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	60	38m+チ	70~72m	WW	弥生土器	甕or甌				破片	やや良好	密	10Y8/4 にらい黄褐	ナデ:タテハケ、底:ナデ	ヨコナデ	弥生時代中期・北陸系		
23	61	68m+チ	174~176m	SK16	1層上面	土師器	結合器台		(3.3)	完存			5Y8/6 橙	輪廊のため調整不明确	輪廊のため調整不明确	脚:ヨコミガキ、脚:タテミガキ		
23	62	68m+チ	174~176m	SK16	1層	土師器	高杯	19.5	13.0	14.1	1/2	完存	良好	密	10Y5/6 赤	脚:ヨコミガキ、脚:タテミガキ	ヨコナデ	脚部に3つの透げ穴あり
23	63	38m+チ	54~56m	SK03	1層	土師器	甕	18.0	(3.4)	1/6		良好	密	5Y4/1 赤	ヨコナデ	ヨコナデ	外面部赤彩	
23	64	38m+チ	54~56m	SK03	1層	土師器	甕	18.4	(4.4)	1/12		良好	密	7.5Y4/1 赤	輪廊のため調整不明确	ヨコナデ	輪廊のため調整不明确	
23	65	38m+チ	54~56m	SK03	1層	土師器	甕	6.2	(4.0)		1/4	良好	密	2.5Y7/2 柔黄	口:ヨコナデ、体:右上3分のタスキ	11:ヨコナデ	外面部赤彩・内面焼物付着	
23	66	68m+チ	174~176m	SK18	覆土	土師器	甕	19.6	(2.4)	1/12		良好	密	2.5Y7/3 浅黄	脚:ヨコミガキ、脚:タテミガキ	ヨコナデ	脚部に3つの透げ穴あり	
23	67	68m+チ	180~182m	SK22	1層	土師器	甕	18.0	(4.0)	1/6		良好	密	5Y8/6 橙	ヨコナデ	ヨコナデ	外面部黒斑	
23	68	48m+チ	10~14m	SK24	13層	高所土器台	16.0	(4.8)			1/6		良好	密	2.5Y8/6 橙	タテハケのちヨコナデ	ハケのちナデ	脚部に透穴つくり
23	69	68m+チ	148~150m	SK25	1層	土師器	直口甕	10.4	(6.0)	1/3		良好	密	2.5Y7/2 柔黄	ヨコミガキ	ヨコミガキ	口:ヨコガキ、体:ナデ	
23	70	68m+チ	148~150m	SK25	2層	土師器	高杯	(7.0)			3/4	良好	密	2.5Y6/2 柔黄	ミガキ?	ミガキ?	ヨコナデ	
23	71	68m+チ	148~150m	SK25	2層	土師器	甕	16.6	(6.1)	1/4		良好	密	7.5Y8/6 橙	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコハケのちヨコナデ	
23	72	68m+チ	148~150m	SK25	3層	土師器	甕	18.2	(15.5)	1/4		良好	密	5Y8/6 橙	ヨコナデ	ヨコナデ	口:ヨコナデ、体:ナデ	
23	73	38m+チ	2~6m	SK06	2層	土師器	甕	5.0	(2.8)		完存	やや軟	密	5Y8/6 橙	ナデ	ナデ	外面部赤彩	
23	74	38m+チ	112~114m	SP20	覆土	土師器	甕or甌	6.0	(2.7)		1/2	やや密	やや密	10Y8/3 にらい黄褐	輪廊のため調整不明确	ナデ		

第3表 遺物観察表(3)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	種別	器種	法量(cm)	現存率	調整・施文			備考		
								口径	底径	器高 (底/高)			
23	75	318ンチ 60~62m	SP16	1層	土師器	高脚器台	13.2 (6.2)	1/4	良好	やや密 2.5YR6/6 暗	タデミガキ ハグのちナデ	脚部に3つの透かり、外面部	
23	76	318ンチ 60~62m	SP16	1層	土師器	甕	27.8 (6.3)	1/4	良好	密 10YR7/4 にぶい黄	タデ・ハグ タデ・ナデ	ヨコハケ 外面部	
24	77	318ンチ 58~60m	SP17	覆土	土師器	甕	3.5 (4.5)		完存	やや歎 10YR7/4 にぶい黄	タデ・ハグ 板ナデ	ハグのち指ナデ	
24	78	318ンチ 58~60m	SP17	覆土	土師器	甕	2.6 (5.3)		1/4	やや密 2.5YR7/1 黒	タデ・ハグのちナデ・ハグゼリ	壊滅のため調整不明	
24	79	318ンチ 54~58m	SP23	覆土	發生器	壺or甕			破片	やや良好 2.5YR7/2 暗灰	純文(RL)のち通文	弥生時代後期、東北系	
24	80	318ンチ 58~60m	SP26	覆土	土師器	甕	17.2 (3.9)	1/12	良好	密 10YR7/3 にぶい黄	左上が9のハグのちヨコナデ	11:ハグのちヨコナデ、体・ヨコ・ナデ	
24	81	318ンチ 60~62m	SP28	覆土	土師器	甕	12.6 (2.6)	1/12	やや良好 5YR6/6 暗	タデ・ハグのちヨコナデ	ヨコナデ	ヨコハケ	
24	82	318ンチ 56~58m	SP59	覆土	土師器	器台	7.4 (4.3)		良好	精密 2.5YR7/3 浅黄	ヨコミガキ	脚部に3つの透かり	
24	83	716ンチ 4~6m	SP64	覆土	土師器	壺or甕	5.6 (1.9)	1/4	やや良好 10YR4/2 反黄褐色	ナデ	指ナデ	11:ヨコナデ	
24	84	616ンチ 102~104m	SP91	覆土	土師器	甕	11.8 (2.6)	1/6	やや良好 7.5YR7/4 にぶい黄	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコハケ	
24	85	516ンチ 20~22m	SP200	3層	土師器	甕	15.6 (2.8)	1/6	良好	密 10YR8/4 浅黄褐色	ヨコナデ	11:ヨコナデ、体・ナデ	
24	86	916ンチ 74~76m	SP271	覆土	土師器	甕	17.6 (2.2)	1/8	軟	密 7.5YR7/6 暗	ヨコナデ	ヨコハケ	
24	87	816ンチ 38~40m	SP236	覆土	土師器	甕	12.6 (3.0)	1/8	良好	密 2.5YR8/2 反白	口:ヨコナデ・壺田線文、体・ヨコミガキ	ヨコミガキ	
24	88	316ンチ 30~34m	SE304	5層	土師器	甕	14.8 (3.0)	1/12	軟	密 7.5YR8/2 反白	摩滅のため調整不明	ヨコハケ	
24	89	316ンチ 30~34m	SE304	6層	土師器	直口甕	9.1 (4.5)	1/8	良好	密 2.5YR5/6 明示施文	ハグのちタガミガキ	ヨコハケのちヨコナデ	
24	90	316ンチ 30~34m	SE304	3層	土師器	壺or甕	6.6 (3.9)	1/4	やや良好	密 7.5YR7/6 暗	ハグのちナデ	ヨコハケ	
24	91	316ンチ 30~34m	SE304	3層	土師器	甕	3.0 (2.0)		1/3	やや良好 2.5YR6/6 暗	体・タラ・ナデ、底・ナデ	板ナデ	
24	92	316ンチ 30~34m	SE304	8層	土師器	壺	5.4 (2.2)		1/2	良好	密 10YR6/3 にぶい黄	クスリ線ナデ	板ナデ
24	93	216ンチ 112~118m	SD099	覆土	土師器	直口甕	8.0 (5.9)		1/4	良好	密 2.5YR7/3 浅黄	ナデ	ナデ
24	94	316ンチ 58~62m	SD223	覆土	土師器	器台	(3.3)		1/4	良好	密 2.5YR6/1 黄灰	タデミガキ	ヨコハケのちナデ
24	95	316ンチ 58~62m	SD223	覆土	土師器	壺	2.5 (1.1)		完存	良好 5YR7/6 暗	摩滅のため調整不明	ヨコナデ	
24	96	316ンチ 84~86m	SD229	覆土	土師器	壺	5.6 (3.4)		完存	やや歎 10YR7/3 にぶい黄	摩滅のため調整不明	ヨコナデ	
24	97	716ンチ 18~20m	SD324	覆土	土師器	壺or甕	6.4 (3.3)		1/2	やや歎	体・タラ・ナデ、底・ナデ	ナデ	
24	98	716ンチ 2~4m	SD32	覆土	發生器	壺or甕			破片	良好 10YR5/2 反黄褐色	純文(LR)	ナデ	
24	99	716ンチ 2~4m	SD32	覆土	發生器	壺or甕			良好	密 10YR7/2 にぶい黄	ハグのち木太1前田の通文	ヨコナデ	
24	100	616ンチ 212~214m	SD50	覆土	土師器	甕	15.0 (3.8)	1/5	良好	密 7.5YR7/4 にぶい黄	ヨコナデ	ヨコナデ	
24	101	616ンチ 212~214m	SD50	覆土	土師器	壺or甕			1/2	やや歎	ハグのちナデ	ナデ	
24	102	516ンチ 6~18m	SD51	覆土	土師器	壺or甕	5.6 (2.7)		1/6	やや歎	密 2.5YR5/1 黄灰	ナデ	
24	103	716ンチ 12~16m	SD54	覆土	土師器	甕	12.2 (4.5)	1/5	良好	密 5YR7/4 にぶい黄	ヨコナデ	ヨコナデ	
24	104	716ンチ 12~16m	SD54	覆土	發生器	壺	6.6 (5.5)		3/4	良好	密 10YR6/4 にぶい黄	ハグのちナデ、底・ナデ	ヨコナデ
24	105	416ンチ 50~55m	SD56	2層	土師器	鉢	5.0 (5.6)	1/3	良好	密 7.5YR7/6 暗	タデ・ナデ	ヨコナデ	
24	106	416ンチ 50~55m	SD57	覆土	土師器	高杯	20.6 (5.0)	1/6	良好	密 5YR7/6 暗	摩滅のため調整不明	ヨコナデ	
24	107	416ンチ 50~55m	SD57	覆土	土師器	甕	17.4 (4.1)	1/8	良好	密 2.5YR7/6 暗	ヨコナデ	ヨコハケ	
24	108	716ンチ 68~75m	SD33	W⑥層	發生器	甕			破片	密 2.5YR5/2 断灰黄	口端・漢文	ヨコナデ	
24	109	716ンチ 68~75m	SD33	W⑥層	發生器	壺or甕			破片	密 10YR6/2 反黄褐色	純文(LR)	ナデ	
24	110	716ンチ 68~75m	SD33	6層	發生器	壺or甕			破片	密 2.5YR5/2 断灰黄	江綫文	ナデ	
24	111	716ンチ 68~75m	SD33	6層	發生器	壺or甕			良好	密 10YR3/1 黑褐色	タデ・ハグのち3本1單位の連弧文・側竪立像	ナデ	

第3表 遺物観察表(4)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	種別	器種	法量(cm)	現存率	調整・施文			備考	
								口径	底径	器高 (底径)		
25	112	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕			破片		良好	密	ヨコナデ・縫目線文
25	113	41bンチ 70~90m	SD33	W③層 土師器	甕	12.0	(3.2)	1/6		良好	密	ヨコナデ・縫目線文
25	114	41bンチ 140~162m	SD33	60層 土師器	甕・甌	15.4	(3.8)	1/8		良好	密	ヨコナデ・縫目線文
25	115	41bンチ 50~64m	SD33	73層 土師器	甕	15.4	(3.4)	1/10		やや歎	密	ヨコナデ・縫目線文
25	116	41bンチ 70~90m	SD33	W③層 土師器	甕	15.4	(6.6)	1/6		やや良好	密	ヨコナデ・縫目線文
25	117	41bンチ 50~64m	SD33	W③層 土師器	甕	15.4	(3.2)	1/4		やや歎	密	ヨコナデ・縫目線文
25	118	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	14.0	(2.5)	1/4		やや歎	密	ヨコナデ・縫目線文
25	119	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	18.0	(4.6)	1/6		やや歎	密	ヨコナデ・縫目線文
25	120	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	19.6	(3.7)	1/8		良好	密	5Y1/1 黄
25	121	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	16.2	(4.1)	1/4		やや良好	密	10Y8/6 黄
25	122	41bンチ 50~64m	SD33	60~70層 土師器	甕	14.1	1.9	16.5	4/5	完存	密	7.5Y8/6 橙
25	123	41bンチ 50~64m	SD33	73層 土師器	甕	17.2	(2.3)	1/10		良好	密	7.5Y8/3 橙黄
25	124	41bンチ 70~90m	SD33	W③層 土師器	甕	16.4	(6.8)	1/4		良好	密	10Y8/3 橙黄
25	125	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	15.8	(3.2)	1/8		良好	密	7.5Y8/2 橙
25	126	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	14.0	(4.6)	1/5		良好	密	2.5Y7/2 橙
25	127	41bンチ 140~162m	SD33	50層 土師器	甕	13.2	(6.4)	1/8		良好	密	10Y7/3 橙
25	128	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	11.0	(8.3)	1/4		良好	密	7.5Y7/4 橙
25	129	41bンチ 140~162m	SD33	W③層 土師器	甕	14.8	(3.1)	1/6		やや歎	密	10Y7/4 橙
25	130	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	20.4	(3.7)	1/8		やや良好	密	5Y17/6 橙
25	131	41bンチ 50~64m	SD33	73層 土師器	甕	9.4	(4.7)	1/4		良好	密	2.5Y7/3 橙
25	132	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	24.2	(5.3)	1/6		良好	密	10Y7/2 橙
26	133	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	20.0	(3.8)	1/16		良好	密	10Y7/3 橙
26	134	41bンチ 140~162m	SD33	W③層 土師器	甕	20.4	(4.9)	1/4		良好	密	10Y7/3 橙
26	135	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	20.0	(3.4)	1/4		やや歎	密	10Y7/4 橙
26	136	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	13.2	(5.5)	1/8		良好	密	2.5Y7/2 橙
26	137	41bンチ 140~162m	SD33	W③層 土師器	甕	12.0	(4.5)	1/3		やや良好	密	10Y7/4 橙
26	138	41bンチ 50~64m	SD33	73層 土師器	甕	15.8	(3.7)	1/6		良好	密	2.5Y7/2 橙
26	139	41bンチ 140~162m	SD33	50層 土師器	甕	19.6	(4.3)	1/8		やや歎	密	10Y7/3 橙
26	140	41bンチ 50~64m	SD33	80層 土師器	甕	15.2	(6.4)	1/4		良好	密	10Y7/1 橙
26	141	41bンチ 140~162m	SD33	50層 土師器	甕	12.2	(4.1)	1/4		やや歎	密	10Y7/1 黒
26	142	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	12.4	(6.0)	1/4		やや歎	密	5Y6/1 橙
26	143	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕	7.4	(4.5)	1/4		やや歎	密	7.5Y7/6 橙
26	144	41bンチ 50~64m	SD33	70層 土師器	甕					良好	密	10Y7/1 黒
26	145	41bンチ 140~162m	SD33	W③層 土師器	甕・甌	5.2	(2.9)			1/2	やや良好	精密 2.5Y7/1 白
26	146	41bンチ 140~162m	SD33	50層 土師器	甕・甌	5.1	(4.4)			完存	密	7.5Y8/1 橙
26	147	41bンチ 50~64m	SD33	60層 土師器	甕・甌	4.8	(5.0)			良好	密	10Y8/3 橙
26	148	41bンチ 140~162m	SD33	60層 土師器	甕・甌	3.4	(1.4)			1/2	良好	密 2.5Y5/2 断片

第3表 遺物観察表(5)

図版No.	遺物No.	出土位置	クリッド	遺物名	種別	器種	法量(cm)	現存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考									
												口径	底径	器高 (底面高)	口縁部 周縁部 (底面高)	剪部	体部	底盤 脚部	内面					
26	149	41b-1	68~78m	SD33	6層	發生器	鉢	9.3 (12.8)	完存	やや良好	密	10YR6/2 黄褐色	ハケのちナデ											
26	150	41b-1	50~64m	SD33	6①層	土師器	鉢	4.8 (4.2)		良好	密	10YR6/1 黄褐色	体:タテハケのちナデ、底:ナデ	ハケ										
26	151	41b-1	50~64m	SD33	6②層	土師器	鉢	4.6 (2.8)		完存	やや良好	密	2.5Y4/1 黄褐色	ナデ										
26	152	41b-1	50~64m	SD33	6③層	土師器	鉢	3.1 (3.0)		完存	良好	密	10YR7/3 にぶい黄褐色	タテハケ	板ナデ									
26	153	41b-1	50~64m	SD33	6④層	土師器	鉢	3.2 (2.8)		完存	良好	密	2.5Y4/1 黄褐色	タテハケ・ケズリ	ナデ・ケズリ									
26	154	41b-1	140~162m	SD33	W③層	土師器	壺	6.4 (4.4)		良好	密	10YR7/3 にぶい黄褐色	ナデ・ヨコナデ	ハケ										
26	155	41b-1	140~162m	SD33	W④層	土師器	壺	2.7 (3.7)		完存	良好	密	2.5Y4/1 黄褐色	体:ケズリ、底:ナデ	ナデ									
26	156	41b-1	50~64m	SD33	6⑤層	土師器	鉢	3.1 (3.0)		完存	やや歎	密	7.5YR7/4 にぶい褐色	ミガキ・カ	板ナデ・カ									
26	157	41b-1	50~64m	SD33	6⑥層	土師器	鉢	4.2 (3.8)		完存	良好	密	2.5Y7/3 浅黃褐色	体:ケズリ銀・ハケ、底:ナデ	ハケ									
26	158	41b-1	140~162m	SD33	W⑤層	土師器	鉢	5.0 (9.5)		良好	密	2.5Y5/1 黄褐色	体:タテ・カ、底:ナデ	ハケ										
27	159	41b-1	50~64m	SD33	6⑦層	土師器	直口壺	11.0 (6.6)		良好	密	5YR7/6 細	ナデ・ヨコナデ	ヨコナデ・ヨコカ										
27	160	41b-1	140~162m	SD33	W⑧層	土師器	直口壺	12.2 (8.5)		良好	密	2.5Y3/1 黑褐色	口:ヨコナデのちヨコナデ、体:ヨコナデ	ヨコナデ										
27	161	41b-1	50~64m	SD33	6⑨層	土師器	直口壺	8.4 (3.9)	16.5	完存	完存	やや良好	密	7.5YR7/2 明褐色	口:ハケのちヨコナデ、体:タテ・ハ・ヨコナデ	口:ハケのちヨコナデ								
27	162	41b-1	140~162m	SD33	W⑩層	土師器	直口壺	16.6 (6.0)	1/6			やや歎	密	7.5YR7/6 細	摩滅のため調整不明	摩滅のため調整不明								
27	163	41b-1	50~64m	SD33	6⑪層	土師器	直口壺	11.4 (5.5)	1/4			やや歎	密	2.5Y8/2 黄褐色	ヨコナデのちタテナデ	ヨコナデ								
27	164	41b-1	50~64m	SD33	6⑫層	土師器	直口壺	8.8 (4.2)	1/3			良好	密	7.5YR6/4 にぶい褐色	1:ヨコナデ・体:タテ・ハ	ヨコナデ・ヨコカ								
27	165	41b-1	50~64m	SD33	6⑬層	土師器	直口壺	8.4 (6.0)	1/6			完存	やや良好	密	7.5YR7/3 明褐色	口:ハケのちヨコナデ、体:タテ・ハ・ヨコナデ	口:ハケのちヨコナデ							
27	166	41b-1	50~64m	SD33	6⑭層	土師器	直口壺	16.6 (8.4)				やや歎	密	7.5YR7/6 細	ヨコナデ・ヨコカ	ヨコナデ・ヨコカ								
27	167	41b-1	50~64m	SD33	6⑮層	土師器	直口壺	17.6 (4.0)	1/4			良好	密	3YR7/3 淡黃褐色	タテミカキ	ヨコナデ								
27	168	41b-1	50~64m	SD33	6⑯層	土師器	直口壺	14.1 (4.1)	1/3			良好	密	2.5YR6/6 細	ヨコナデ・ヨコカ	ヨコナデ・ヨコカ								
27	169	41b-1	50~64m	SD33	6⑰層	土師器	直口壺	12.9 (2.9)	1/12			良好	密	2.5Y7/3 浅黃褐色	ヨコナデ・ハ・剣み	ヨコナデ・ハ・剣み								
27	170	41b-1	50~64m	SD33	6⑱層	土師器	直口壺	10.6 (8.4)				良好	密	7.5YR6/2 黄褐色	ヨコミカキ	ヨコミカキ								
27	171	41b-1	70~90cm	SD33	W①層	土師器	直口壺	17.6 (4.0)	1/4			歎	密	3YR7/3 淡黃褐色	ヨコミカキ	ヨコナデ								
27	172	41b-1	50~64m	SD33	6⑲層	土師器	直口壺	15.2 (5.3)	1/8			良好	密	2.5YR6/2 黄褐色	タテミカキ	ヨコナデ・ヨコカ								
27	173	41b-1	50~64m	SD33	6⑳層	土師器	直口壺	15.1 (4.3)	1/5			良好	密	2.5Y7/2 黄褐色	ヨコナデのちミカキ	ヨコナデ・ヨコカ								
27	174	41b-1	140~162m	SD33	W②層	土師器	直口壺	16.0 (6.8)				良好	密	7.5YR7/6 細	ナデ	ナデ								
27	175	41b-1	50~64m	SD33	6⑳層	土師器	小型丸底碗	17.1 (5.5)	1/5			良好	密	7.5YR7/4 にぶい褐色	ミガキ	ケズリのちナデ・指頭ナデ								
27	176	41b-1	50~64m	SD33	6⑳層	土師器	小型丸底碗	15.2 (5.3)	1/8			良好	密	2.5Y6/2 黄褐色	タテミカキ	ヨコナデ								
27	177	41b-1	50~64m	SD33	6⑳層	土師器	小型丸底碗	15.0 (4.0)	1/5			良好	密	2.5Y7/2 黄褐色	ミガキ	ミガキ								
27	178	41b-1	50~64m	SD33	W③層	土師器	小型丸底碗	16.0 (6.8)				良好	密	2.5Y7/3 浅黃褐色	タテ・ハ・ケ	タテ・ハ・ケ								
27	179	41b-1	140~162m	SD33	W③層	土師器	小型丸底碗	17.1 (2.0)				良好	密	7.5YR7/3 にぶい褐色	ナデ	ナデ								
27	180	41b-1	140~162m	SD33	W③層	土師器	小型丸底碗	10.9 (3.9)				良好	密	10YR7/3 にぶい黄褐色	ミガキ・ナデ	ヨコナデ・ナデ								
27	181	41b-1	70~90cm	SD33	W④層	土師器	器台	9.8 (6.3)	3/4			良好	密	10YR6/6 黄褐色	ミガキ	ミガキ								
27	182	41b-1	50~64m	SD33	6①層	土師器	高Ko器台	4.7 (4.8)				良好	密	2.5Y7/3 浅黃褐色	タテミカキ	タテ・ミカキ								
27	183	41b-1	50~64m	SD33	6①層	土師器	器台	8.0 (4.2)				良好	密	2.5Y7/2 黄褐色	ナデ	ナデ								
27	184	41b-1	140~162m	SD33	W③層	土師器	器台	3.7 (3.0)				良好	密	2.5YR7/6 黃褐色	愛・ミガキ・脚・タテ・ミカキ	愛・ミガキ・脚・タテ・ミカキ								
27	185	41b-1	50~64m	SD33	W④層	土師器	器台	3.0 (3.0)				良好	密	2.5YR6/6 黃褐色	ハケのちミカキ	愛・ミガキ・脚・タテ・ミカキ								

第3表 遺物観察表(6)

図版No.	遺物No.	出土位置	クリッド	遺物名	層位	種別	器種	法量(cm)	現存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考								
													口径	底径	器高 (底面高)	口縁部 周縁部 (底面高)	剪部	体部	底盤 脚部	脚部	外面	内面		
27	186	41bンチ	50~64m	SD33	W①層	土師器	器台	(4.5)	良好	密	2.5Y7/3 淡黄	ミガキ										脚部に3つの透穴あり、外面及び受部内面赤茶 内面はも赤茶		
28	187	41bンチ	50~64m	SD33	7③層	土師器	器台	(4.2)	1/6	良好	密	10Y7/8 細	タデミガキ										内面はも赤茶	
28	188	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	器台	(4.1)	1/3	良好	密	10Y7/3 にぶい黄澄	タデミガキ										内面及び受部内面赤茶、脚部に4つの透穴あり	
28	189	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	器台	(6.5)	完存	良好	密	7.5Y7/6.3 にぶい褐色	ヨコミガキ										脚部に3つの透穴あり	
28	190	41bンチ	50~64m	SD33	W①層	土師器	器台	(6.0)	1/3	良好	密	2.5Y7/4 にぶい褐色	タデミガキ										外面部に3つの透穴あり	
28	191	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	器台	(5.6)	1/3	良好	密	2.5Y7/2 暗黄	タデハケのちヨコナデ										脚部に4つの透穴あり	
28	192	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	器台	(4.2)	1/3	やや良好	密	10Y7/8 2 淡黄橙	タデミガキ										脚部はも赤茶、発生時代後期?	
28	193	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	高杯	(3.6)	1/8	良好	密	10Y7/8 2 暗黄褐色	ミガキ 刻み										内面はも赤茶、発生時代後期?	
28	194	41bンチ	70~90m	SD33	W①層	土師器	高杯	(5.6)	1/4	良好	密	10Y7/8 2 暗白	ミガキ										内面はも赤茶	
28	195	41bンチ	50~64m	SD33	W①層	土師器	高杯	(4.3)	1/8	缺	密	2.5Y7/4 8 橙	タデミガキ										内面はも赤茶	
28	196	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	高杯	(4.8)	1/8	良好	密	10Y7/3 にぶい黄澄	タデミガキ										内面はも赤茶	
28	197	41bンチ	70~90m	SD33	W①層	土師器	高杯	(6.3)	2/3	やや良好	密	5Y7/6.4 にぶい褐色	ミガキ										内面はも赤茶	
28	198	41bンチ	70~90m	SD33	W①層	土師器	高杯	(7.5)	2/3	良好	密	10Y7/8 2 暗黄褐色	ミガキ										内面はも赤茶	
28	199	41bンチ	50~64m	SD33	7③層	土師器	高杯	(6.8)	1/4	やや缺	密	2.5Y7/6 橙	ヨコミガキ										内面はも赤茶	
28	200	41bンチ	140~162m	SD33	W③層	土師器	高杯	(4.2)		1/2	やや良好	密	10Y7/4 にぶい黄澄	タデミガキ										内面はも赤茶
28	201	41bンチ	140~162m	SD33	W③層	土師器	高杯	(7.1)		完存	やや良好	密	10Y7/4 2 暗黄橙	タデミガキ										内面はも赤茶
28	202	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	高杯	(8.8)		良好	密	10Y7/2 にぶい黄澄	ミガキ										内面及び外底部内面赤茶	
28	203	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	高杯	(16.4)		良好	密	2.5Y7/3 橙	タデハケのちヨコナデ										脚部に透穴つあり	
28	204	41bンチ	50~64m	SD33	6①層	土師器	高杯	(20.4)		やや缺	密	2.5Y7/3 橙	ヨコミガキ										脚部に透穴つあり	
28	205	41bンチ	0~4m	SX02	1層	学生土器	高足碗			磁片	やや缺	7.5Y7/6 橙	タデハケのちヨコナデ										学生時代後期、東北系	
28	206	41bンチ	50~64m	SK02	4層	土師器	高足碗	(7.4)		良好	密	10Y7/4 2 暗黄褐色	ミガキ										内面及び外底部内面赤茶	
28	207	31bンチ	22~23m	SX03	2層	土師器	二重直線蓋	(14.0)		良好	密	2.5Y7/3 橙	タデハケのちヨコナデ										脚部に透穴つあり	
28	208	31bンチ	12~16m	SX04	覆土	土師器	甕	(13.0)		やや缺	密	7.5YR6.6 橙	タデミガキ										内面はも赤茶	
28	209	61bンチ	118~122m	SX12	覆土	土師器	甕	(17.4)	3/5	1/10	良好	密	10Y7/3 にぶい黄澄	タデハケのちヨコナデ										内面はも赤茶
28	210	61bンチ	0~4m	SX12	3層	土師器	甕	(5.0)	(2.8)	良好	密	10Y7/3 にぶい黄澄	ミガキ										内面はも赤茶	
28	211	31bンチ	20~23m	SX05	3層	土師器	蓋	(1.8)		良好	密	10Y7/4 淡黄橙	ナデ										内面はも赤茶	
28	212	31bンチ	20~23m	SX05	覆土	土師器		(4.3)	1/16	やや良好	密	7.5YR7.6 橙	ヨコナデ										内面はも赤茶	
28	213	31bンチ	0~4m	SX19	1層	土師器		(6.7)		完存	良好	密	5Y7/6 橙	タデハケのちヨコナデ										内面はも赤茶
28	214	31bンチ	0~4m	SX19	3層	土師器		(2.9)	1/8	良好	密	2.5YR6.6 橙	ミガキ										内面はも赤茶	
29	215	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	学生土器	高足甕			磁片	やや缺	10Y7/3 にぶい黄澄	ヨコナデ										内面はも赤茶	
29	216	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕			磁片	やや缺	7.5YR6.6 橙	ヨコナデ										内面はも赤茶	
29	217	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕			磁片	やや缺	10Y7/3 にぶい黄澄	ヨコナデ										内面はも赤茶	
29	218	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	(13.8)		良好	密	7.5YR6.4 5 橙	ヨコナデ										内面はも赤茶	
29	219	31bンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	甕	(16.0)		良好	密	10Y7/6 淡黄	タデハケのちヨコナデ										内面黒斑	
29	220	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	(14.2)		良好	密	7.5YR7.4 にぶい褐色	ナデ										内面黒斑	
29	221	31bンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	(14.4)		良好	密	2.5Y7/3 淡黄	ヨコナデ										内面黒斑	
29	222	31bンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	甕	(15.8)		良好	密	5Y5.4 橙	タデハケのちヨコナデ										内面黒斑付着	

第3表 遺物観察表(7)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地盤	種別	器種	法量(cm)			残存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考
						口径	底径	高さ					外縁	内縁		
29	223	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	18.0	(2.8)	1/4	やや良好	密	10YR7/3にぶい黄澄	瓶・タテハケのちヨコハケ	口:ヨコナデ、体:ヨコハケのちタテナデ	
29	224	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	21.0	(2.6)	1/6	良好	密	10YR7/4にぶい黄澄	ヨコハケのちヨコナデ	ヨコハケのちヨコナデ	外面焼付着
29	225	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	17.6	(2.8)	1/6	良好	密	10YR8/3にぶい黄澄	ヨコナデ	ヨコナデ	
29	226	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	15.8	(3.8)	1/6	やや良好	密	2.5Y7/2灰黄	ハケのちヨコナデ	ヨコハケのちヨコナデ	
29	227	318ンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	甕	24.0	(6.1)	1/8	軟	やや粗	7.5YR7/6橙	ヨコナデ	ヨコナデ	外面黒斑
29	228	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	24.8	(4.7)	1/4	良好	密	10YR7/3にぶい黄澄	ヨコハケのちタテハケ	ヨコナデ	
29	229	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	17.2	(3.5)	1/8	良好	密	2.5Y7/4浅黄	ハケのちヨコナデ	ヨコナデ	
29	230	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	19.0	(3.9)	1/4	やや良好	やや密	7.5YR7/4~5A橙	タテハケのちヨコナデ	ヨコナデ	
29	231	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	15.5	(4.1)	1/6	良好	密	2.5Y6/2灰黄	口:ヨコナデ、体:ハケのちヨコナデ	ヨコナデ	
29	232	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	20.0	(5.3)	1/6	良好	密	2.5Y7/2灰黄	10YR7/3にぶい黄澄	ヨコナデ	内面黒斑
29	233	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	14.8	(4.7)	1/6	良好	密	2.5Y8/3淡黄	ヨコナデ	ヨコナデ	
29	234	318ンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	甕	16.4	(3.6)	1/8	良好	密	10YR7/2にぶい黄澄	10YR7/2のちヨコナデ、体:タテハケのトナデ	ヨコナデ	内面黒斑
29	235	318ンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	甕	13.2	(11.3)	1/4	軟	やや密	5YR8/8橙	口:ヨコナデ、体:タテハケ	ヨコナデ	外面焼付着
29	236	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	甕	18.0	(3.6)	1/6	やや良好	密	2.5Y7/2灰黄	10YR7/3にぶい黄澄	ヨコナデ	内面黒斑、外面焼付着
30	237	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	6.0	(3.1)		完存	良好	2.5Y4/1灰黄	ヨコナデ	ヨコナデ	外面黒斑
30	238	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	7.0	(2.8)		1/2	良好	2.5Y7/3浅黄	10YR7/2にぶい黄澄	10YR7/2のちヨコナデ、体:タテハケのトナデ	ヨコナデ
30	239	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺	13.2	(2.7)		1/4	やや良好	2.5Y7/3浅黄	体:タテハケ、底:ハケ?	ヨコナデ	外面赤彩
30	240	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.0	(4.4)		1/2	良好	10YR7/1褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	内面黒斑、外面焼付着
30	241	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.9	(4.2)		2/3	やや良好	10YR7/4にぶい黄澄	体:タテハケ、アブリ、底:ナデ	ナデ	内面黒斑
30	242	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	4.8	(2.9)		1/2	良好	2.5Y6/3にぶい黄	体:タテハケ、底:ハケ	タテハケのちナデ	内面焼付着
30	243	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺	4.4	(2.7)		1/4	やや良好	2.5Y7/3浅黄	体:タテミガキ、底:ハケ?	ナデ	外表面
30	244	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.0	(4.4)		1/2	良好	10YR7/1褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	内面黒斑
30	245	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	7.8	(4.1)		2/3	やや良好	10YR7/4にぶい黄澄	体:タテハケ、アブリ、底:ナデ	ナデ	内面焼付着
30	246	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	6.3	(3.1)		1/2	良好	2.5Y6/3にぶい黄	体:タテハケ、底:ハケ	タテハケのちナデ	内面焼付着
30	247	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.5	(1.7)		完存	良好	10YR7/2灰黄	体:タテハケ、底:ナデ	ナデ	外表面
30	248	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	4.2	(2.3)		完存	やや密	10YR7/1褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	内面黒斑
30	249	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	7.8	(4.1)		1/3	やや破	10YR7/2にぶい黄澄	体:タテハケ、底:ナデ	ナデ	内面焼付着
30	250	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	6.3	(3.1)		1/3	軟	2.5Y7/2灰黄	体:タテハケ、底:ナデ	タテハケ	内面焼付着
30	251	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	2.3	(4.1)		完存	良好	2.5Y6/3にぶい黄	タテハケのちナデ	ナデ	外表面
30	252	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.5	(2.3)		完存	やや良好	5YR8/6橙	タテハケのちナデ	ナデ	内面黒斑
30	253	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.8	(2.1)		完存	やや良好	10YR8/3淡黄	体:ハケ、底:ナデ	ナデ	内面焼付着
30	254	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	4.0	(2.6)		1/4	良好	2.5Y7/2灰黄	タテハケのちナデ	タテハケ	内面焼付着
30	255	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	3.9	(4.5)		完存	やや良好	2.5Y7/3浅黄	体:タテハケ、底:ナデ	ナデ	外表面
30	256	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	6.4	(12.0)		1/4	良好	10YR8/2医薬	体:横方向の板ナデ、底:ナデ	ナデ	内面焼付着
30	257	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	壺の瓶	2.7	(6.6)		1/4	やや良好	2.5Y7/3浅黄	ハケのちヨコナデ	ヨコナデ	外表面
30	258	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器	二重口線盃		(2.8)		1/6	やや破	10YR8/6赤	ヨコミガキ	ヨコミガキ	内面焼付着
30	259	318ンチ	56~60m	SX09	II層	土師器	器台	13.6	(2.9)	1/4	良好	密	2.5Y7/1灰白	ヨコナデのちヨコハケ	ヨコハケ	外表面
													5YR8/4にぶい黄	10YR8/4にぶい黄	10YR8/4にぶい黄	口:輪底丸窓のち2本対の脚柱青文、体:ヨコハケのちナデ
													10YR8/6赤	10YR8/6赤	10YR8/6赤	ハセ・ヨコハケのちヨコナデ
													10YR8/6赤	10YR8/6赤	10YR8/6赤	ヨコハケ
													10YR8/6赤	10YR8/6赤	10YR8/6赤	口:ヨコハケのちヨコナデ

第3表 遺物観察表(8)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	クロット	遺物名	層位	種別	器種	法量(cm)	現存率	焼成	胎土	色調	測量・施文			備考			
														外縁	内面					
30	260	318ンチ	56~60m	SX09	IV層	土師器		器台	(2.9)		完存	やや良好	密	2.5/YR5.6 明赤褐	ミガキ	ヨコハケの2コナデ	外面赤彩、脚部に3つの透穴あり			
30	261	318ンチ	56~60m	SX09	II層	土師器		器台	(2.8)		完存	やや良好	密	2.5/YR5.6 明赤褐	タデミガキ	ナデ	外面赤彩			
30	262	318ンチ	72~74m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや良好	2.5/YR7.2 暗黄	ナデのち沈線文・口端・刻み	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	263	318ンチ	68~70m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	2.5/YR3.1 黒褐	ハケのち弧線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	264	318ンチ	68~68m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	2.5/YR3.3 にざい黄褐	燃え文(1)のち沈線文・擦り削	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	265	318ンチ	58~60m		II層	弥生土器	壺or甕				破片		やや良好	2.5/YR8.4 淡黄	泡文(1R)・沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	266	318ンチ	92~94m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや良好	10/YR1.1 褐灰	ナデのち弧線文・纏繩文(LR)	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	267	318ンチ	64~66m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	10/YR3.3 にざい黄褐	泡文(1R)・沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	268	318ンチ	58~60m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや軟	2.5/YR7.3 淡黄	2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	269	318ンチ	52~54m		II・IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや軟	2.5/YR8.4 淡黄	2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	270	118ンチ	120~130m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや良好	2.5/YR2.2 暗黄	ヨコナデのち沈線文	ヨコナデ	弥生時代後期、東北系			
30	271	318ンチ	96~98m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	10/YR3.1 黒褐	ナデのち2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	272	318ンチ	58~60m		II層	弥生土器	壺or甕				破片		やや軟	密	2.5/YR7.4 淡黄	2本(単位)の沈線文	ナゲ	弥生時代後期、東北系		
30	273	318ンチ	70~72m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	2.5/YR3.3 淡黄	ナデのち沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	274	318ンチ	64~66m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		やや軟	2.5/YR7.2 黄灰	沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	275	318ンチ	80~82m		IV層	弥生土器	壺				破片		やや軟	2.5/YR7.3 淡黄	2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系			
30	276	318ンチ	68~70m		IV層	弥生土器	壺or甕				破片		良好	10/YR8.3 淡黄	泡文(1R)	ナデ	弥生時代後期、東北系			
31	277	318ンチ	68~70m		IV層	弥生土器	壺						1/12	2.5/YR4.1 褐灰	ヨコナデ	ヨコナデ	東北系			
31	278	318ンチ	12~14m		IV層	弥生土器	高輪		14.6	(5.3)	1/4			1/8	2.5/YR6.6 暗黄	ヨコミガキ	ヨコミガキ、根・凹線文	内外面とも赤彩		
31	279	318ンチ	38~40m		IV層	弥生土器	高輪		32.5	(1.9)				1/8	良好	2.5/YR6.6 暗黄	ヨコミガキ	ナゲ		
31	280	416ンチ	48~50m		IV層	弥生土器	壺				破片		やや良好	密	10/YR2.4 にざい黄褐	ナデのち2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系		
31	281	416ンチ	120~122m		IV層	土師器	壺		14.4	(5.7)	1/6			1/6	2.5/YR2.3 淡黄	ヨコナデ	ヨコナデ	東北系		
31	282	388ンチ	10~12m		IV層	弥生土器	高輪		15.2	(4.1)	1/6			1/4	2.5/YR2.1 淡黄	ナデのち横位比較+象+刻み	ナデ	弥生時代後期、東北系		
31	283	388ンチ	64~66m		II層	土師器	壺		15.8	(4.5)	1/12			1/8	良好	2.5/YR6.6 暗黄	ヨコミガキ	ヨコミガキ、根・凹線文	内外面とも赤彩	
31	284	388ンチ	18~20m		IV層	土師器	壺		13.4	(3.7)	1/6			1/6	やや良好	密	10/YR2.3 にざい黄褐	ナデのち2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系
31	285	388ンチ	70~72m		IV層	土師器	壺		13.0	(4.9)	1/3			1/3	良好	密	10/YR2.3 淡黄	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	286	388ンチ	8~10m		IV層	土師器	壺		12.8	(4.6)	1/4			1/4	良好	密	5/YR6.6 暗黄	ナデのち横位比較+象+ハケ	ナデ	弥生時代後期、東北系
31	287	388ンチ	20~22m		IV層	土師器	壺		14.2	(5.0)	1/3			1/3	良好	密	10/YR2.2 にざい黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	288	388ンチ	80~82m		IV層	土師器	壺		19.0	(3.9)	1/4			1/4	良好	密	10/YR2.3 にざい黄褐	ナデのち2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系
31	289	686ンチ	182~184m		IV層	土師器	壺		17.4	(4.4)	1/6			1/6	やや軟	密	7.5/YR7.4 にざい黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	290	686ンチ	182~184m		IV層	土師器	壺		20.4	(4.7)	1/3			1/3	良好	密	7.5/YR7.4 にざい黄褐	ナデのため調整不明	ヨコナデ	ヨコナデ
31	291	686ンチ	142~144m		IV層	土師器	壺		19.6	(3.4)	1/6			1/6	やや軟	密	10/YR2.4 にざい黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	292	388ンチ	68~68m		II層	土師器	壺		15.8	(3.8)	1/6			1/6	良好	密	5/YR7.4 にざい黄褐	ナデのち2本(単位)の沈線文	ナデ	弥生時代後期、東北系
31	293	781ンチ	122~124m		IV層	土師器	壺		18.2	(5.0)	1/8			1/8	やや軟	密	10/YR7.4 にざい黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	294	586ンチ	4~6m		II層	土師器	壺		16.6	(3.6)	1/8			1/8	やや良好	密	10/YR8.2 褐白	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	295	888ンチ	22~24m		IV層	土師器	壺		16.4	(3.3)	1/10			1/10	良好	密	10/YR7.2 にざい黄褐	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ
31	296	888ンチ	14~16m		IV層	土師器	壺		20.0	(3.6)	1/4			1/4	やや良好	密	7.5/YR8.4 浅黄	ヨコナデ	ヨコナデ	ヨコナデ

第3表 遺物観察表(9)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	種別	器種	法量(cm)			現存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考	
						口径	底径	高さ	器高 (底径)	口縁部 (底径)	腹部	底盤 脚部	脚部	外面	内面		
31	297	381ンチ	28~28m	IV層	土師器	甕	19.0	(3.1)	1/12	良好	密	10YR7/3 にぶい黄澄	日:ヨコナデ、体:ハケ				
31	298	381ンチ	20~22m	IV層	土師器	甕	15.4	(3.3)	1/4	良好	密	10YR7/2 にぶい黄澄	日:ヨコナデ、体:ハケ				
31	299	381ンチ	82~84m	IV層	土師器	壺	11.4	(4.6)	1/8	やや良好	密	10YR7/3 にぶい黄澄	ヨコナデ				
31	300	415ンチ	62~64m	IV層	土師器	直口壺	18.0	(5.2)	1/8	やや軟	密	10YR8/4 淡黄澄	陶器のため調整不明				
31	301	415ンチ	10~20m	IV層	土師器	直口壺		(4.3)	1/8	やや軟	密	7.5YR6/3 にぶい褐	横川縁文	内面赤彩、外面赤彩?			
31	302	415ンチ	24~28m	IV層	土師器	壺	16.8	(2.9)	1/5	やや軟	密	2.5Y8/2 茶白	ヨコナデ				
32	303	415ンチ	50~52m	IV層	土師器	壺		(7.9)	1/6	良好	密	2.5Y8/3 淡黄	タテハケ・ミガキ?				
32	304	615ンチ	182~184m	IV層	土師器	壺	(6.7)	1/4	やや良好	密	2.5Y8/3 淡黄	ナデ					
32	305	381ンチ	60~62m	II層	土師器	蓋		(2.8)	1/4	やや軟	密	2.5Y8/3 淡黄	ヨコミガキ	ヨコハケのちヨコナデ			
32	306	381ンチ	88~90m	IV層	土師器	壺	6.4	3.5	1/3	やや良好	密	2.5Y8/2 茶白	指頭ナデ	外面部黒斑			
32	307	381ンチ	86~88m	IV層	土師器	壺&甕	5.4	(2.9)		良好	密	7.5YR6/4 にぶい褐	ナデ	学生時代中期?			
32	308	381ンチ	16~18m	IV層	土師器	壺&甕	8.0	(3.3)	1/4	良好	密	2.5Y4/1 黄	ハクのちナデ				
32	309	210ンチ	120~130m	IV層	土師器	壺&甕	6.4	(2.3)	1/6	やや軟	密	10YR8/4 淡黄澄	陶器のため調整不明				
32	310	315ンチ	64~66m	IV層	土師器	壺&甕	6.4	(3.2)	1/3	やや良好	密	2.5Y7/4 淡黄	ナデ				
32	311	315ンチ	18~20m	II層	土師器	壺&甕	5.0	(3.1)	1/4	良好	密	2.5Y3/2 黑褐	ナデ				
32	312	315ンチ	8~10m	II層	土師器	壺&甕	7.2	(1.6)	1/2	やや良好	密	2.5Y7/2 黄	ナデ				
32	313	315ンチ	84~86m	IV層	土師器	壺&甕	4.2	(2.2)	1/4	良好	密	2.5Y7/2 黄	ナデ	内面模写物付着			
32	314	315ンチ	70~80m	I層	土師器	壺&甕	10.6	(3.4)	1/4	やや软	やや密	10YR7/4 にぶい黄澄	ナデ				
32	315	315ンチ	58~60m	IV層	土師器	壺&甕	6.8	(3.3)	1/4	良好	密	2.5Y3/2 黑褐	ナデ				
32	316	415ンチ	46~48m	遺物集中地点	IV層上面	土師器	壺&甕	7.5	(3.5)	1/2	やや良好	密	2.5Y7/3 淡黄	ナデ			
32	317	415ンチ	44~46m	IV層	土師器	壺&甕	5.5	(4.6)	1/2	やや軟	密	10YR7/3 にぶい黄澄	ナデ				
32	318	318ンチ	46~48m	II層	土師器	壺&甕	5.6	(2.9)	1/4	やや軟	やや密	2.5Y6/3 にぶい黄	ナデ				
32	319	318ンチ	74~76m	IV層	土師器	壺&甕	2.8	(3.1)	1/2	やや軟	やや密	2.5Y4/1 黄	ナデ	外面部黒斑			
32	320	318ンチ	60~62m	IV層	土師器	壺&甕	3.8	(2.8)	1/4	良好	密	10YR8/2 黄	タテハケのちナデ				
32	321	318ンチ	22~24m	IV層	土師器	壺&甕	2.8	(1.4)	1/2	やや軟	密	2.5Y7/4 にぶい黄	ミガキ				
32	322	415ンチ	20~22m	IV層	土師器	壺&甕	2.9	(1.9)	1/4	良好	密	2.5Y8/3 淡黄	ナデ				
32	323	415ンチ	18~20m	IV層	土師器	壺&甕	3.0	(1.6)	1/2	やや軟	密	2.5Y7/2 黄	ナデ				
32	324	318ンチ	22~24m	IV層	土師器	壺&甕	5.4	(2.1)	1/4	良好	密	10YR7/3 にぶい黄澄	ナデ・ケズミ取納ナデ				
32	325	318ンチ	82~84m	IV層	土師器	甕	4.8	(1.5)	1/2	やや良好	密	2.5Y7/3 淡黄	ナデ	底盤に穿孔(2つ)			
32	326	318ンチ	60~62m	IV層	土師器	甕	2.0	(4.7)	1/2	やや軟	やや密	2.5Y8/3 淡黄	ナデ	底盤に穿孔(2つ)			
32	327	318ンチ	18~20m	IV層	土師器	甕	8.0	(9.3)	1/2	やや軟	密	10YR7/2 にぶい黄澄	ナデミガキ	外面部及び受部内面赤彩、脚部に3つの透穴あり			
32	328	318ンチ	30~32m	II層	土師器	甕	7.6	(7.4)	1/4	良好	密	10YR7/3 にぶい黄澄	受:ヨコミガキ、脚:タテミガキ	外面部及び受部内面赤彩			
32	329	318ンチ	72~74m	IV層	土師器	甕	9.4	(8.3)	1/2	良好	密	10YR7/4 にぶい黄澄	受:ヨコミガキ	脚:タテミガキ			
32	330	318ンチ	34~36m	II層	土師器	甕	9.4	(3.0)	1/6	良好	密	10YR5/6 素	ヨコミガキ	左上部ミガキ			
32	331	318ンチ	46~48m	II・IV層	土師器	甕	2.9	(1.4)	1/4	良好	密	2.5Y8/6 黄	タテミガキ	ミガキ			
32	332	415ンチ	48~50m	遺物集中地点	IV層	土師器	結合器	(2.7)	完存	良好	密	10YR6/8 素	ミガキ	ミガキ	外面部及び受部内面赤彩		
32	333	318ンチ	82~84m	IV層	土師器	高杯	14.4	(3.9)	1/8	良好	密	5YR8/4 にぶい黄	タテミガキ	ミガキ	外面部及び受部内面赤彩		

第3表 遺物観察表(10)

図版No.	遺物No.	出土位置	出土地点	種別	器種	法量(cm)			残存率	焼成	胎土	色調	調整・施文			備考			
						口径	底径	高さ					口深部 (底面)	剪部	底部 脚部	外縁	内縁		
32	334	3B1ンチ	68~70m	IV層	土師器	高杯	24.4	(4.2)	1/8	良好	密	2.5/V6.6 橙	ヨコミガキ	ミガキ	内外面に赤彩				
32	335	3B1ンチ	72~74m	IV層	土師器	高杯	22.4	(4.9)	1/8	良好	密	2.5/V7.3 淡黄	タデミガキ	ヨコミガキ	外面赤彩、内面黒斑				
32	336	3B1ンチ	58~60m	IV層	土師器	高杯	24.6	(3.1)	1/12	良好	密	2.5/V6.2 桃黄	タデミガキ	ヨコミガキ	内面黒斑				
32	337	3B1ンチ	20~22m	IV層	土師器	高杯	19.2	(4.9)	1/3	やや歓	密	7.5/V7.4 こぶし 橙	ミガキ	ハグのちミガキ					
33	338	4B1ンチ	48~50m	遺物集中地点	IV層	土師器	高杯	19.4	(3.3)	1/4	やや歓	密	5/V7.6 橙	唐津のため調整不明	唐津のため調整不明	内面赤彩			
33	339	4B1ンチ	20~22m	IV層	土師器	高杯		(3.8)	1/8	良好	密	2.5/V7.3 淡黄	ミガキ	ミガキ	内面赤彩				
33	340	4B1ンチ	48~50m	遺物集中地点	IV層	土師器	高杯	17.3	(11.0)	完存	やや良好	密	7.5/V8.3 淡黄	脚・ハグのちナデ・ヨコナデ	脚・ハグのちナデ・ヨコナデ	外及C部内部赤彩、脚部に4つの透穴あり			
33	341	3B1ンチ	72~74m	IV層	土師器	器台	11.0	(3.1)	1/6	やや良好	密	10/V8.2 桃黄	タデミガキ	ヨコナデ	外面赤彩				
33	342	4B1ンチ	42~44m	IV層	土師器	高杯	8.6	(3.4)	1/6	やや良好	密	2.5/V7.3 淡黄	ハグのちナデ	ヨコナデ					
33	343	3B1ンチ	62~64m	II層	土師器	器台		(3.5)	1/2	良好	密	10/V8.4 淡黄	ヨコミガキ	ナデ	脚部に透穴1つ残存				
33	344	3B1ンチ	54~56m	IV層	土師器	器台		(2.7)		完存	歓	密	2.5/V8.8 橙	唐津のため調整不明	唐津のため調整不明	脚部に3つの透穴あり			
33	345	3B1ンチ	56~58m	IV層	土師器	器台		(3.8)	1/3	良好	密	2.5/V7.4 淡黄	タデミガキ	ナデ					
33	346	4B1ンチ	10~20m	IV層	土師器	器台			1/2	やや良好	密	10/V8.4 淡黄	唐津のため調整不明	唐津のため調整不明					
33	347	6B1ンチ	182~184m	IV層	土師器	器台		(5.1)	2/3	やや歓	密	10/V8.3 淡黄	ミガキ	ナデ	外面赤彩				
33	348	1B1ンチ	42~46m	SD11	須恵器	甕				破片	堅微	精密	5/V7.1 暗	格子目状タスキ	同心円状当て具痕				
33	349	1B1ンチ	42~46m	SD11	須恵器	甕				破片	堅微	精密	2.5/V6.2 暗黄	(凹面)布目正模	(凹面)タスキのちナデ				
33	350	6B1ンチ	178~180m	IV層	須恵器	杯身	11.8	(3.0)	1/4	堅微	精密	3/V7.1 暗白	体・クロナデ・底:>--切切り	ロクロナデ					
33	351	6B1ンチ	50~52m	III層	瓦	丸瓦				破片	堅微	密	10/V8.1 暗	(凹面)布目正模	(凹面)ナデ				
33	352	1B1ンチ	70~80m	1W	須恵器	甕				破片	堅微	精密	7.5/V5.1 暗	平行タスキ	同心円状当て具痕				
33	353	5B1ンチ	20~30m	II層	須恵器	甕				破片	堅微	精密	5/V5.1 暗	格子目状タスキ	菊花伏字当て具痕				
33	354	1B1ンチ	42~46m	SD11	須恵器	雷紋鉢			1/16	堅微	精密	N5/ 暗	ロクロナデ	ロクロナデのち焼け目					
33	355	1B1ンチ	0~4m	SX02	1層	朱刷焼	甕			破片	堅微	精密	N6/ 暗	右上2/3の平行タスキ	タスキ当て具痕				
33	356	1B1ンチ	0~4m	SX02	1層	朱刷焼	甕			破片	堅微	精密	N5/ 暗	平行タスキ	ナデ?				
33	357	3B1ンチ	84~86m	IV層	朱刷焼	甕				破片	堅微	精密	5/V3.1 刃-/ア黑	平行タスキ	タスキ当て具痕				
33	358	3B1ンチ	20~22m	II層	朱刷焼	雷紋鉢				破片	堅微	密	7.5/V5.1 暗	ロクロナデ	ロクロナデのち焼け目				
33	359	4B1ンチ	120~130m	1層	朱刷焼	鉢				破片	堅微	精密	7.5/V5.1 暗	ロクロナデ	ロクロナデ				
33	360	3B1ンチ	一括	1・II層	施釉陶器	椀		4.4	(3.5)		1/3	堅微	精密	生地:5/V7.1 明 キル灰	ロクロナデのち施釉				
33	361	3B1ンチ	30~40m	II層	施釉陶器	椀		6.4	(2.4)		1/6	良好	精密	生地:5/V6.3 ブラウン	ロクロナデのち施釉	ロクロナデ			

第3表 遺物観察表(11)

図版No.	遺物No.	出土位置		種別	石材	法量(cm)			重量(g)	備考	
		トレンチ	グリッド			長さ	幅	厚さ			
34	362	2bレフ	112~118m	SD09	覆土	石織	頁岩	2.8	1.7	0.6	1.54
34	363	7bレフ	18~20m	SD34	覆土	石織	頁岩	2.6	2.1	0.9	3.52
34	364	7bレフ	18~20m	SD34	覆土	石織	頁岩	2.9	2.5	0.7	4.10
34	365	7bレフ	66~78m	SD33	IV①層	石核	頁岩	5.1	4.3	3.6	69.76
34	366	6bレフ	140~162m	SD33	IV③層	石錐	玉髓	2.0	1.4	0.5	1.26
34	367	6bレフ	140~162m	SD33	IV③層	石織	チャート	2.7	(1.8)	0.6	下部が欠損
34	368	7bレフ	2~4m	SD22	覆土	石核	頁岩	4.7	4.3	4.0	87.85
34	369	6bレフ	128~130m	SD36	II層	石織	頁岩	2.8	2.5	0.7	石織未成品
34	370	7bレフ	26~28m	SX10	覆土	石織	頁岩	3.1	1.6	0.7	1.45
34	371	6bレフ	118~122m	SX12	覆土	石織	チャート	2.7	1.5	0.4	一部欠損、未完成の可能性あり
35	372	7bレフ	40~42m		II層	石織	頁岩	2.7	1.4	0.6	1.50
35	373	7bレフ	122~124m		IV層	石織	頁岩	3.0	1.6	0.5	1.00
35	374	7bレフ	56~58m		II層	石織	頁岩	4.1	2.0	0.8	3.77
35	375	7bレフ	122~124m		IV層	石織	鉱石英	3.7	1.5	0.7	1.90
35	376	8bレフ	32~34m		IV層	石織	頁岩	(3.2)	1.8	0.6	2.42
35	377	3bレフ	66~68m		II層	石織	頁岩	2.9	1.5	0.6	1.36
35	378	7bレフ	12~14m		II層	石織	頁岩	(3.5)	1.7	0.7	2.45
35	379	7bレフ	38~40m		II層	石織	頁岩	3.9	2.0	0.8	5.33
35	380	3bレフ	52~54m		II~IV層	石織	頁岩	(2.0)	2.4	0.6	2.00
35	381	7bレフ	16~18m		II層	石織	黄玉	3.3	2.6	0.9	3.25
35	382	6bレフ	138~140m		II層	尖頭器	頁岩	4.6	2.8	1.0	9.98
35	383	7bレフ	10~12m		II層	石錐	頁岩	3.7	1.3	1.0	5.25
35	384	3bレフ	48~50m		IV層	石匙	頁岩	3.8	4.9	1.3	18.63
35	385	6bレフ	92~94m		I層	石泡	頁岩	5.0	4.7	1.1	48.85
35	386	6bレフ	110~120m		I層	削器	頁岩	2.2	3.2	0.9	19.84
36	387	7bレフ	20~22m		II層	不特定石器	頁岩	7.5	3.8	2.3	7.67
36	388	3bレフ	52~54m		II~IV層	抉入石器	頁岩	4.0	5.3	1.3	20.76
36	389	6bレフ	118~122m	SX12	覆土	玉未成品	綠色燧灰岩	2.0	1.1	1.1	1.97
36	390	1bレフ	180~190m	SD04	覆土	玉石材	綠色燧灰岩	2.3	1.8	1.3	5.21
36	391	4bレフ	50~64m	SD33	VI②層	玉石材	綠色燧灰岩	4.5	2.4	1.9	12.59
36	392	4bレフ	50~64m	SD33	VI②層	玉石材	綠色燧灰岩	2.8	2.2	0.9	5.35
36	393	6bレフ	140~162m	SD33	IV③層	玉石材	ヒスイ	2.6	2.3	0.9	4.36
36	394	7bレフ	4~6m		II層	玉石材	綠色燧灰岩	2.5	2.0	1.1	11.31
36	395	6bレフ	128~130m		II層	玉石材	綠色燧灰岩	2.0	1.0	0.8	1.25
36	396	6bレフ	142~144m		II層	玉石材	ヒスイ	2.4	3.5	0.7	8.27
36	397	8bレフ	36~38m		IV層	管玉	綠色燧灰岩	1.8	0.5	0.5	0.77

第3表 遺物観察表(12)

図版No.	遺物No.	出土位置		種別	石材	法量(cm)			重量(g)	備考
		トレンチ	グリッド			長さ	幅	厚さ		
36	398	38レ <sup>チ</sup>	44~46m	II・IV層	バステル型石製品	滑石	5.6	0.6	0.7	3.66
37	399	18レ <sup>チ</sup>	0~4m	SX02	2層	安山岩	8.6	(7.6)	4.5	439.32
37	400	18レ <sup>チ</sup>	0~4m	SX02	2層	ドライイト	(5.5)	(7.5)	(1.9)	76.68
37	401	38レ <sup>チ</sup>	20~22m	SX05	3層	安山岩	8.0	(8.0)	2.3	264.85
37	402	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	6①層	安山岩	12.5	8.5	5.7	831.13 上・下端に敲打痕あり
37	403	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	7③層	燧灰岩	10.0	8.8	5.7	664.35 敲打痕あり
37	404	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	IV①層	滑石類	ひん岩	(2.5)	(6.1)	(1.2)
37	405	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	7③層	滑石類	安山岩	(2.1)	(4.9)	(4.1)
37	406	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	6①層	滑石類	チャート	(3.3)	(3.7)	(6.7) 離打痕あり
37	407	78レ <sup>チ</sup>	66~78m	SD33	6①層	滑石類	安山岩	6.3	5.7	3.5 下端に敲打痕あり
37	408	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	6①層	砥石	燧灰岩	16.0	7.2	6.1 410と同質の石材
37	409	78レ <sup>チ</sup>	66~78m	SD33	6層	砂岩	砂岩	10.2	4.0	3.1 278.27
37	410	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	6①層	砥石	燧灰岩	(4.9)	(4.5)	(2.5) 408と同質の石材
37	411	48レ <sup>チ</sup>	50~64m	SD33	IV①層	砥石	燧灰岩	(5.0)	4.5	3.4 円孔を1穿つ
38	412	68レ <sup>チ</sup>	140~162m	SD33	II層	用途不明石製品	滑石	9.0	(6.5)	1.3 離打痕あり
38	413	68レ <sup>チ</sup>	140~162m	SD33	6層	滑石類	安山岩	14.2	8.9	7.1 1570.16
38	414	78レ <sup>チ</sup>	18~20m	SD34	覆土	滑石類	花崗岩	(7.4)	5.6	4.7 314.23
38	415	98レ <sup>チ</sup>	42~46m	近代の甕	IV層	石製品?	花崗岩	(9.8)	(9.2)	(4.0) 539.37
38	416	48レ <sup>チ</sup>	48~50m	土器集中地点	IV層上面	滑石類	滑石岩	(15.9)	12.3	7.5 2270.19
38	417	88レ <sup>チ</sup>	20~22m	IV層	滑石類	安山岩	11.0	9.1	3.6 上・下端に敲打痕あり	531.96
38	418	58レ <sup>チ</sup>	48~50m	II層	滑石類	砂岩	(6.2)	(8.5)	(4.3)	226.63
38	419	18レ <sup>チ</sup>	70~80m		1層	滑石類	燧灰岩	5.7	4.7	4.1 下端に激しい敲打痕あり
38	420	78レ <sup>チ</sup>	56~58m		II層	滑石類	安山岩	6.3	5.2	3.4 下端に敲打痕あり
38	421	48レ <sup>チ</sup>	44~46m		IV層	滑石類	安山岩	(13.5)	(8.8)	4.1 693.36
38	422	48レ <sup>チ</sup>	0~20m		II層	砥石	燧灰岩	3.6	(2.5)	0.8 13.88

第3表 遺物観察表(13)

図版No.	遺物No.	伝No.	出土位置	器種	法量(cm)			木取	樹種	備考
					トレンチ	グリッド	遺構名			
39	423	1	4トレンチ 50~64m	SD33	9層	棒状木製品	57.4	2.1	1.2	板目材
39	424	2	4トレンチ 50~64m	SD33	6D層	斜状木製品	61.1	4.5	—	辺材 ヒノキ科アヌラ属
39	425	3	4トレンチ 50~64m	SD33	7D層	棒状木製品	26.7	1.2	—	辺材 ヒノキ科アヌラ属
39	426	4	4トレンチ 50~64m	SD33	6D層	ヘラ状木製品	78.0	4.1	—	板目材 ヒノキ科アヌラ属コナラ属コナラ節
39	427	5	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	柄?	58.9	5.3	—	心持材 儂具または工具の柄になるか
39	428	11	4トレンチ 52~54m	SD33 (P4)	8層	杭	18.0	7.5	5.4	板目材 先端部は完存
39	429	6	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	杭	8.6	5.0	3.1	辺材 先端部のみ完存
39	430	7	7トレンチ 66~78m	SD33	7層	杭	39.5	11.4	—	心持材 両端を欠く、表面に樹皮が残る
39	431	8	4トレンチ 52~54m	SD33 (P1)	8層	杭	37.5	10.0	—	心持材 先端部は完存
39	432	9	4トレンチ 52~54m	SD33 (P2)	8層	杭	28.5	5.5	2.2	板目材 先端部は完存
39	433	10	4トレンチ 52~54m	SD33 (P3)	8層	杭	8.2	7.5	4.3	板目材 両端部欠損
39	434	12	4トレンチ 52~54m	SD33 (P5)	8層	杭	19.4	5.5	—	心持材 先端部は完存
39	435	13	4トレンチ 52~54m	SD33 (P6)	8層	杭	6.9	6.3	4.3	心持材 先端部のみ残存
40	436	14	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	錐未成品	31.8	15.8	5.0	板目材 ヒノキ科アヌラ属コナラ属コナラ節
40	437	15	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	錐未成品	33.5	17.8	5.0	板目材 ヒノキ科アヌラ属コナラ属コナラ節
40	438	16	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	刳り物部分?	27.6	8.3	12.3	板目材 一部欠損するがほぼ完存
40	439	17	4トレンチ 50~64m	SD33	8層	板材	7.0	5.1	0.9	本柾目材 スギ科スギ属スギ
40	440	20	7トレンチ 66~78m	SD33	6層	樹皮	—	2.8	0.2	広葉樹
40	441	18	4トレンチ 10~14m	SK24	7層	ヘラ状木製品	21.6	3.0	2.1	辺材 先端をヘラ状に加工
40	442	19	4トレンチ 10~14m	SK24	11層	杭	19.7	2.1	—	心持材 先端部は完存
40	443	21	4トレンチ 10~14m	SK24	10層	杭	(5.2)	5.0	—	辺材 上端が炭化
40	444	23	6トレンチ 174~176m	SK16	5層	容器	37.7	17.5	4.1	本柾目材 トチノキ科トチノキ属トチノキ 完形品
40	445	24	6トレンチ 174~176m	SK16	5層	杓	—	28.7	5.5	本柾目材 トチノキ科トチノキ属トチノキ 完形品
41	446	25	6トレンチ 174~176m	SK16	5層	円板形木製品	—	20.4	1.8	本柾目材 トチノキ科トチノキ属トチノキ 凸面意に黒色付着物
41	447	22	6トレンチ 174~176m	SK16	2層	簡型木製品	18.7	9.0	—	心持材 両端を加工
41	448	28	6トレンチ 174~176m	SK16	6層	棒状木製品	18.0	2.0	2.0	心持材
41	449	26	6トレンチ 174~176m	SK16	4層	板材	41.5	7.0	3.0	本柾目材 下端を欠損
41	450	27	7トレンチ 64~66m	SP131	覆土	杭	41.9	7.3	4.4	心材 近世から近代か

第3表 遺物観察表(14)

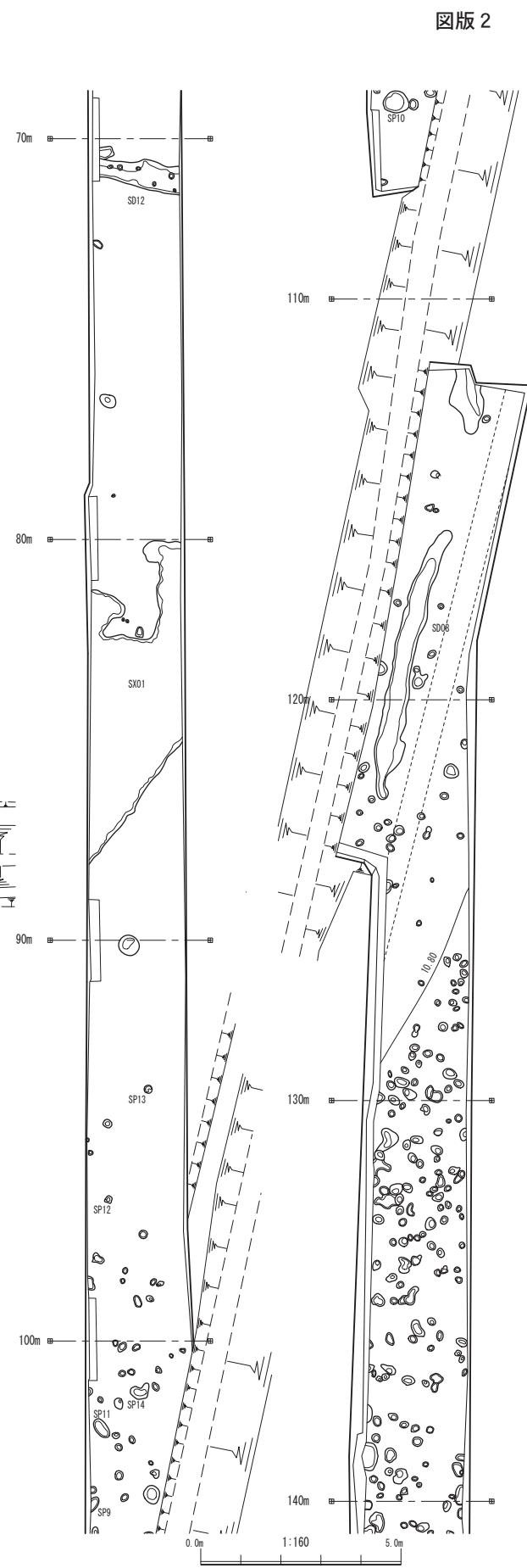
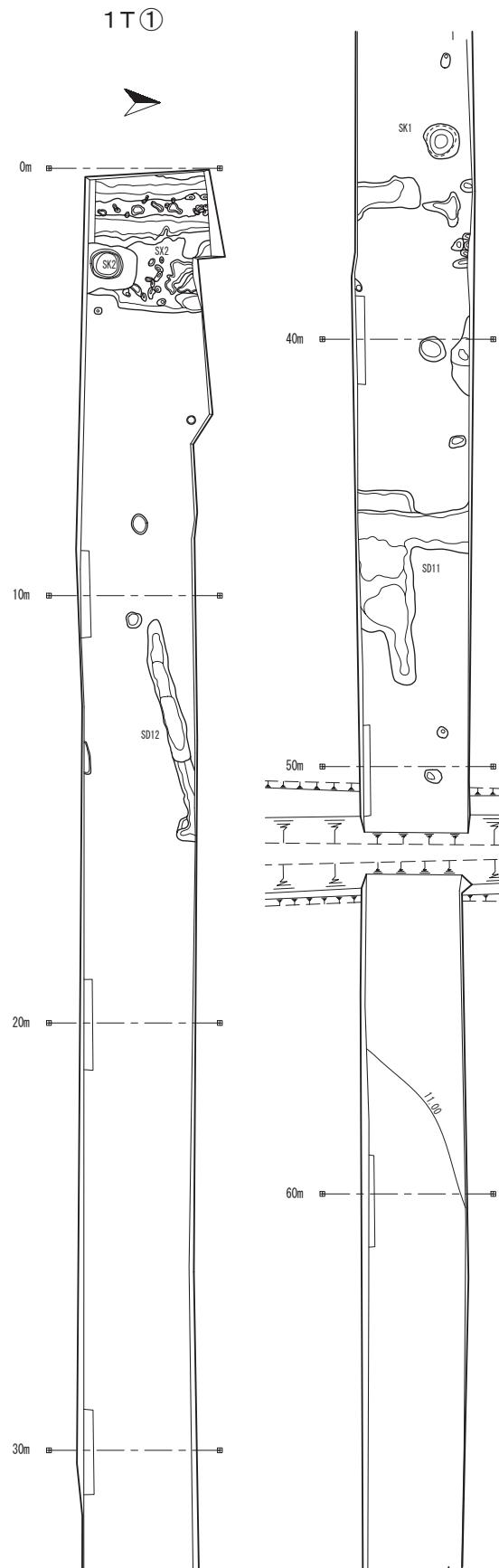
図版No.	遺物No.	出土位置			種別	法量(cm)			重量(g)	備考
		トレンチ	グリッシュ	遺構名		長さ	幅(径)	厚さ		
41	451	6トレンチ	70~80m	I層	銅泡	4.3	3.1	2.0	17.24	
41	452	7トレンチ	30~40m	I層	銅泡	4.7	3.2	2.6	17.59	
41	453	6トレンチ	100~102m	II層	銅泡	3.3	2.0	0.8	13.45	
41	454	7トレンチ	20~30m	I層	*青磁?	2.3	2.0	1.2	4.10	
41	455	7トレンチ	20~30m	I層	*青磁?	2.1	1.8	1.2	3.53	
41	456	3トレンチ	64~66m	IV層	*青磁?	0.6	2.3	0.8	3.09	
41	457	3トレンチ	58~59m	II層	土製品	2.2	2.4	0.7	—	地蔵尊の形をした埴押し土人形
41	458	2トレンチ	150~160m	上層	鏡面の玉	—	1.1	—	9.70	≒2.58匁
41	459	2トレンチ	110~118m	IV層	鏡面の玉	—	1.1	—	8.55	≒2.28匁
41	460	7トレンチ	20~30m	II層	錢貨	—	24	0.1	—	至道元宝(北宋錢)、行書
41	461	7トレンチ	16~18m	II層	錢貨	—	24	0.1	—	寛永通宝
41	462	3トレンチ	52~54m	II・IV層	錢貨	—	24	0.1	—	寛永通宝
41	463	3トレンチ	52~54m	II・IV層	錢貨	—	24	0.1	—	寛永通宝

調査区全体図

圖版 1

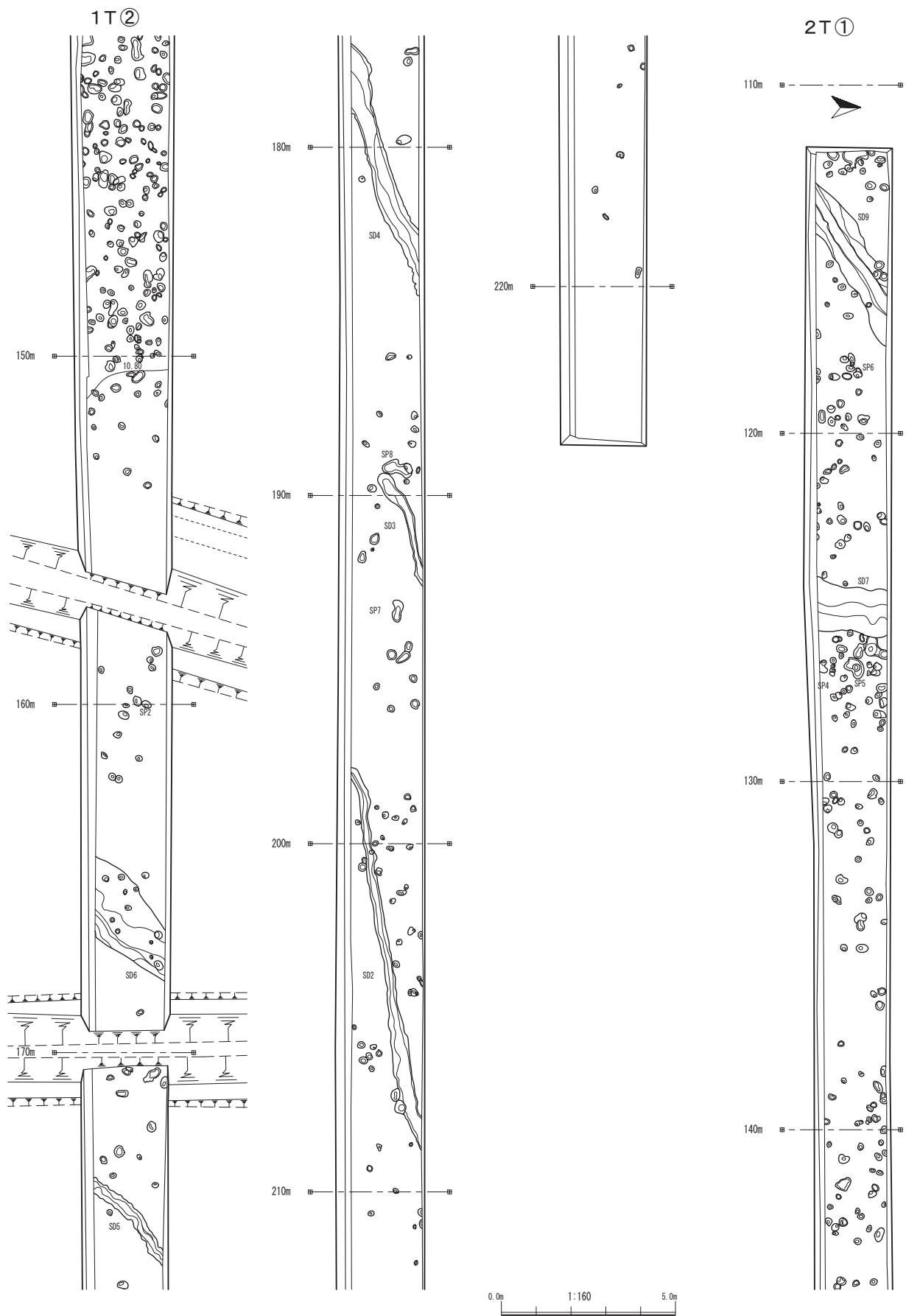


遺構平面図（1）

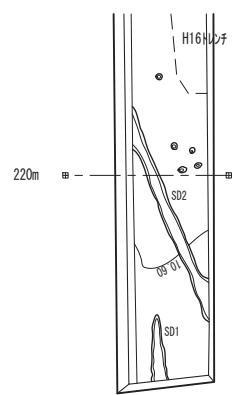
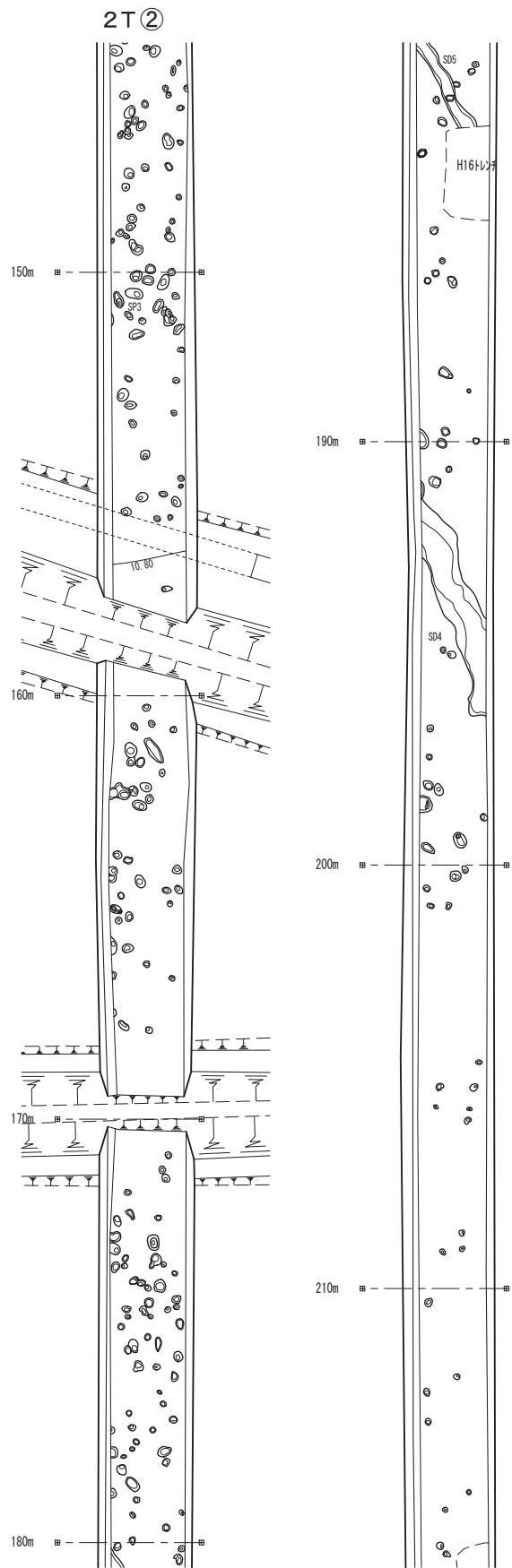


図版3

遺構平面図（2）



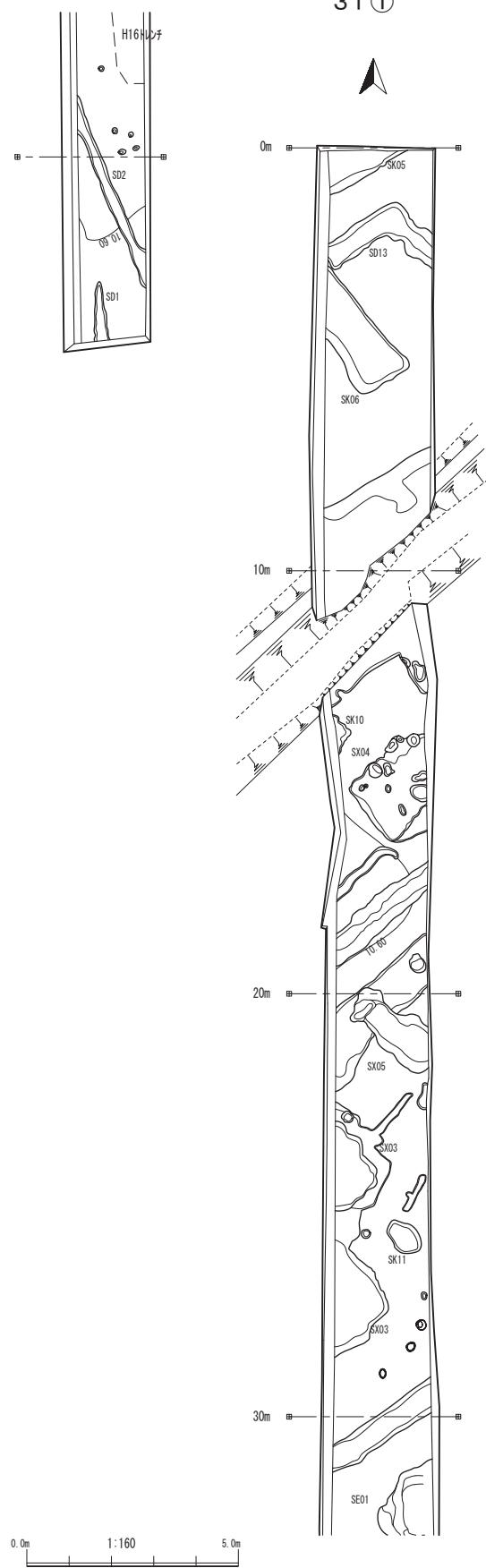
遺構平面図（3）



220m

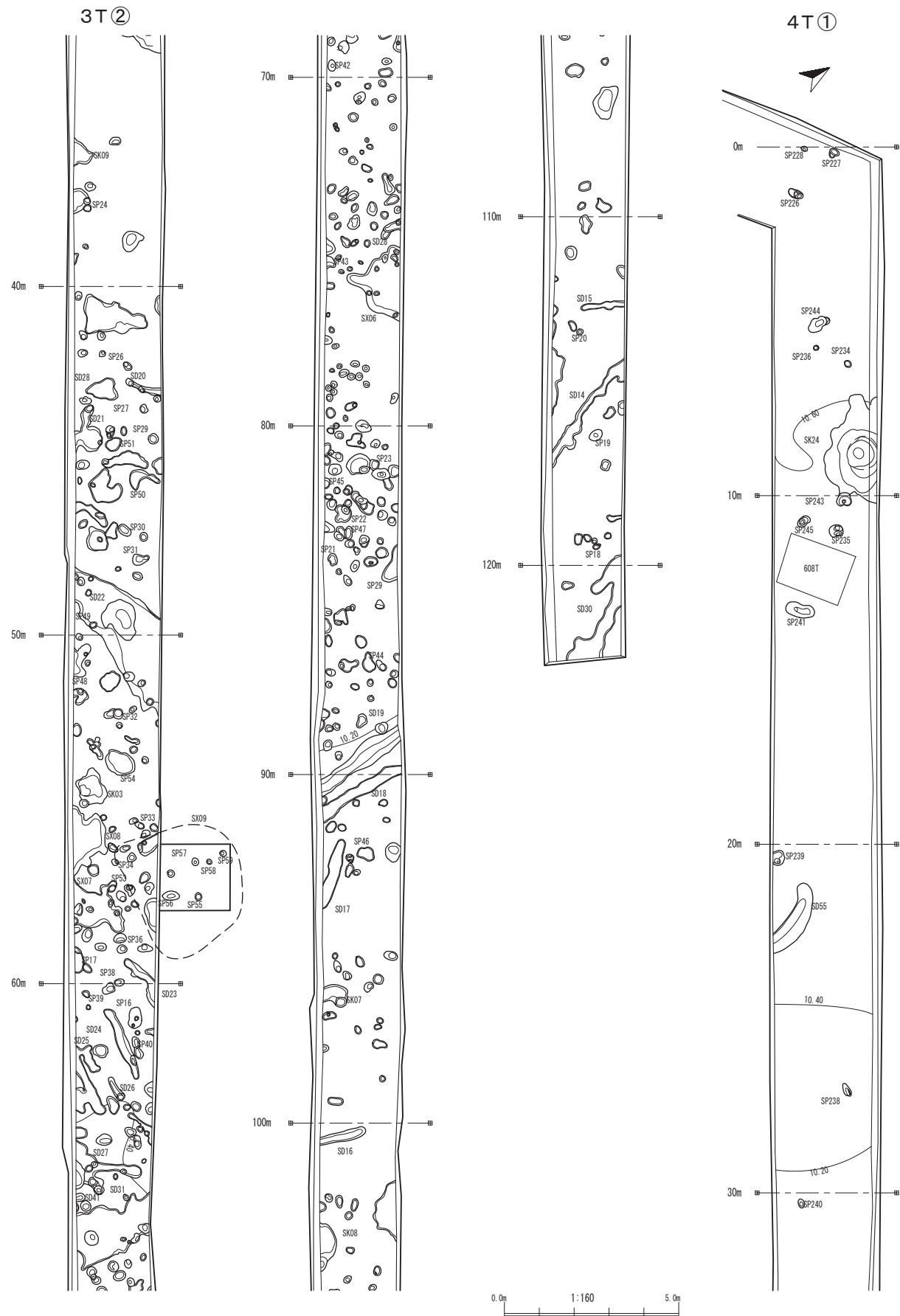
190m

図版4

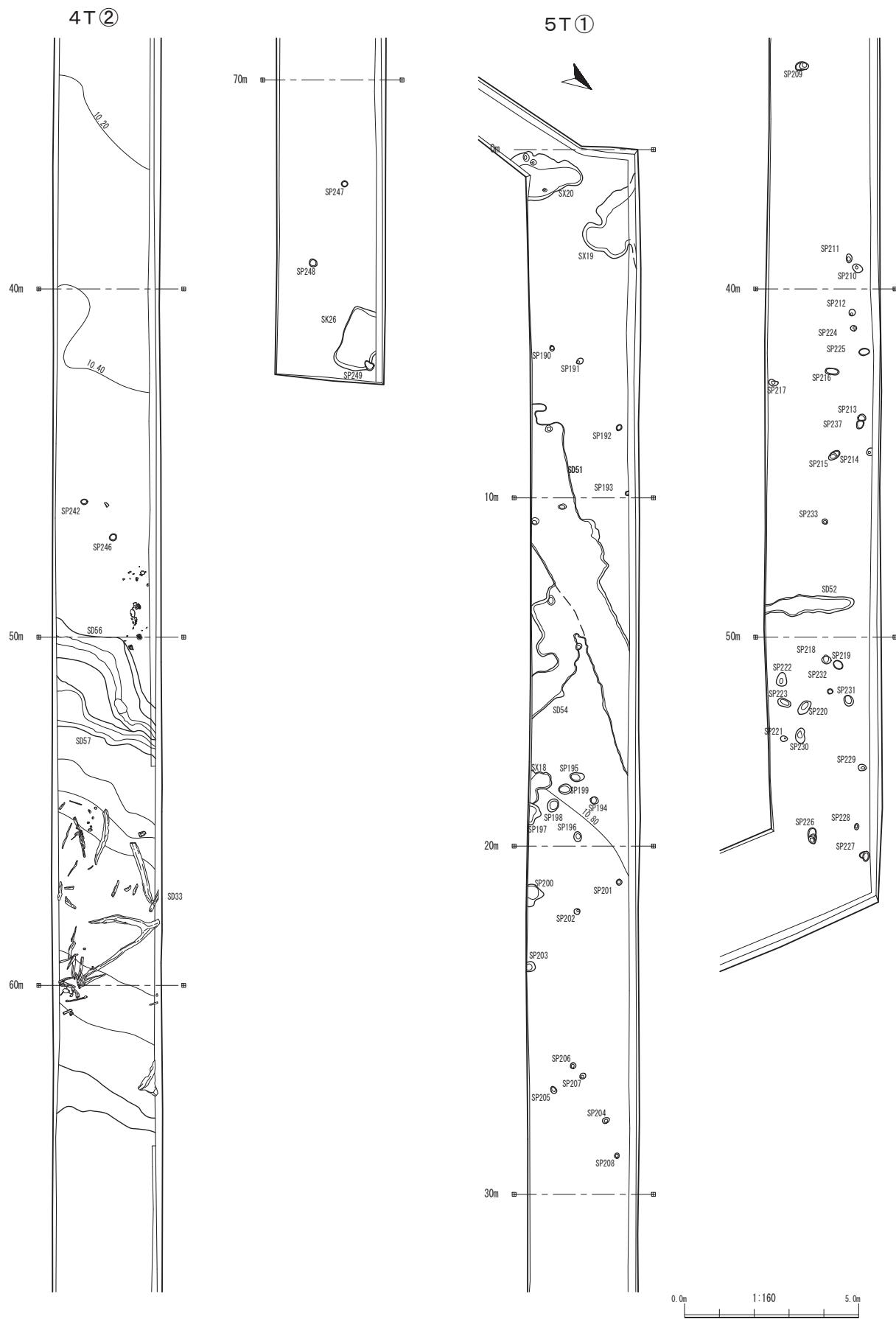


図版 5

## 遺構平面図（4）



遺構平面図（5）

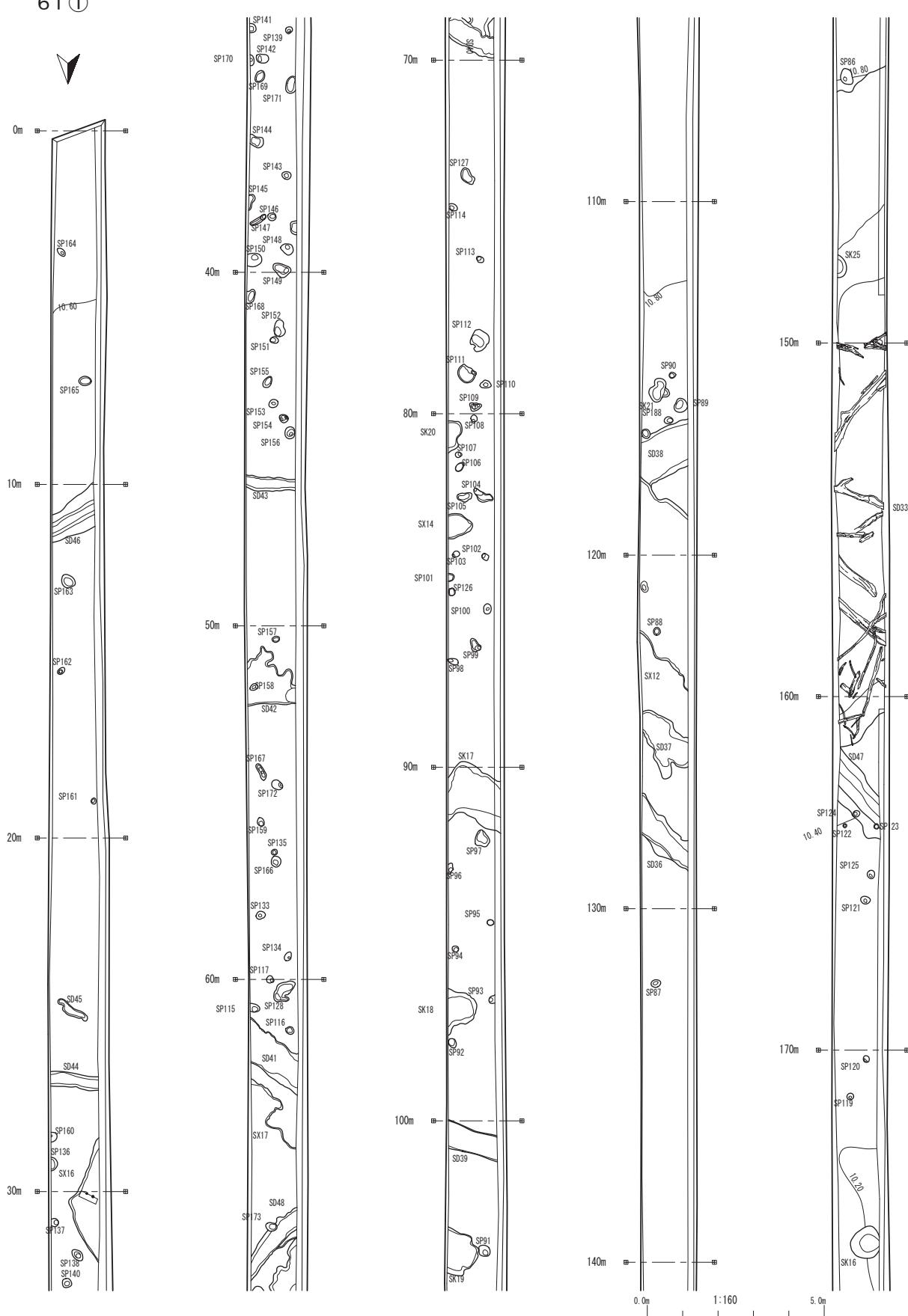


図版 6

図版 7

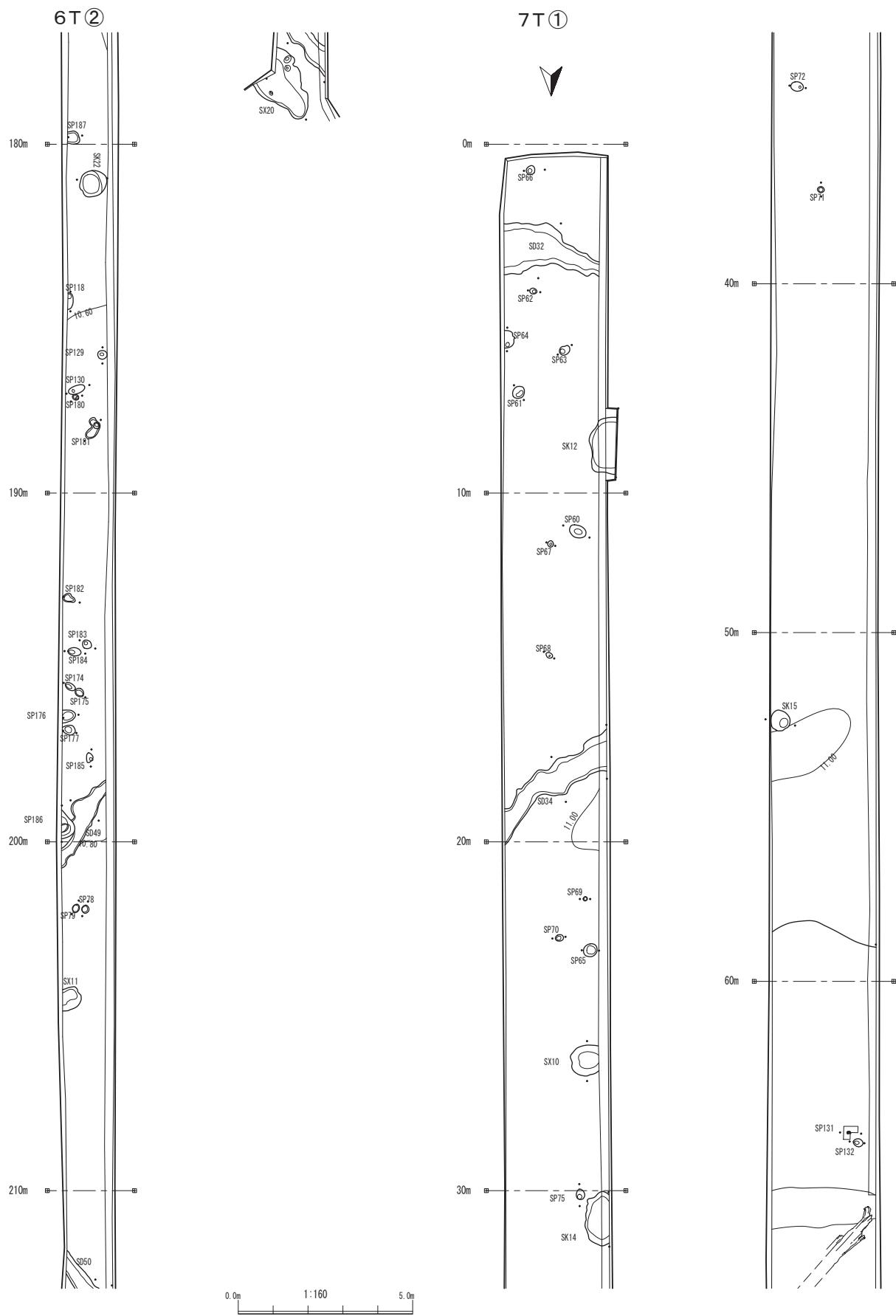
遺構平面図（6）

6T①



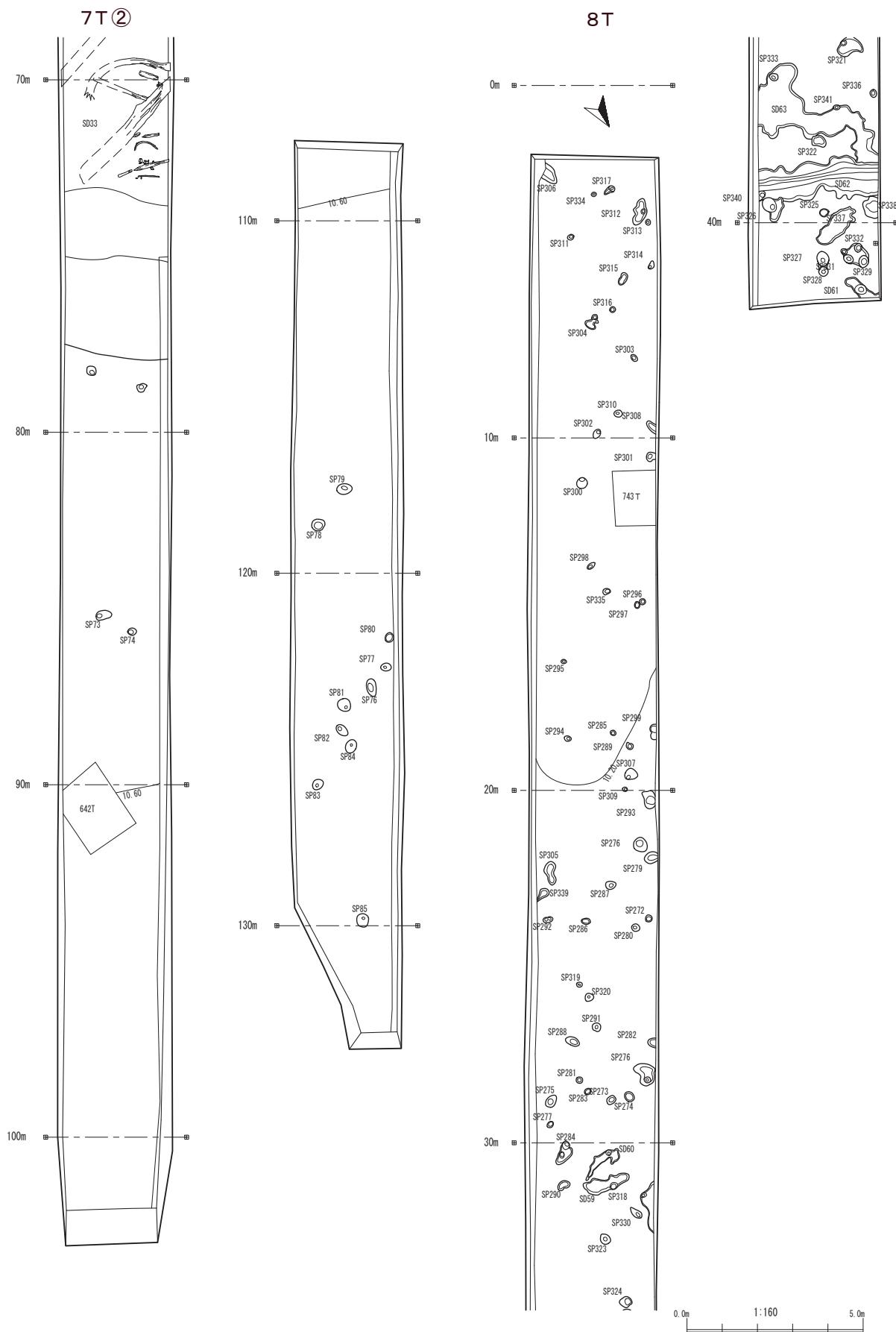
遺構平面図（7）

図版8



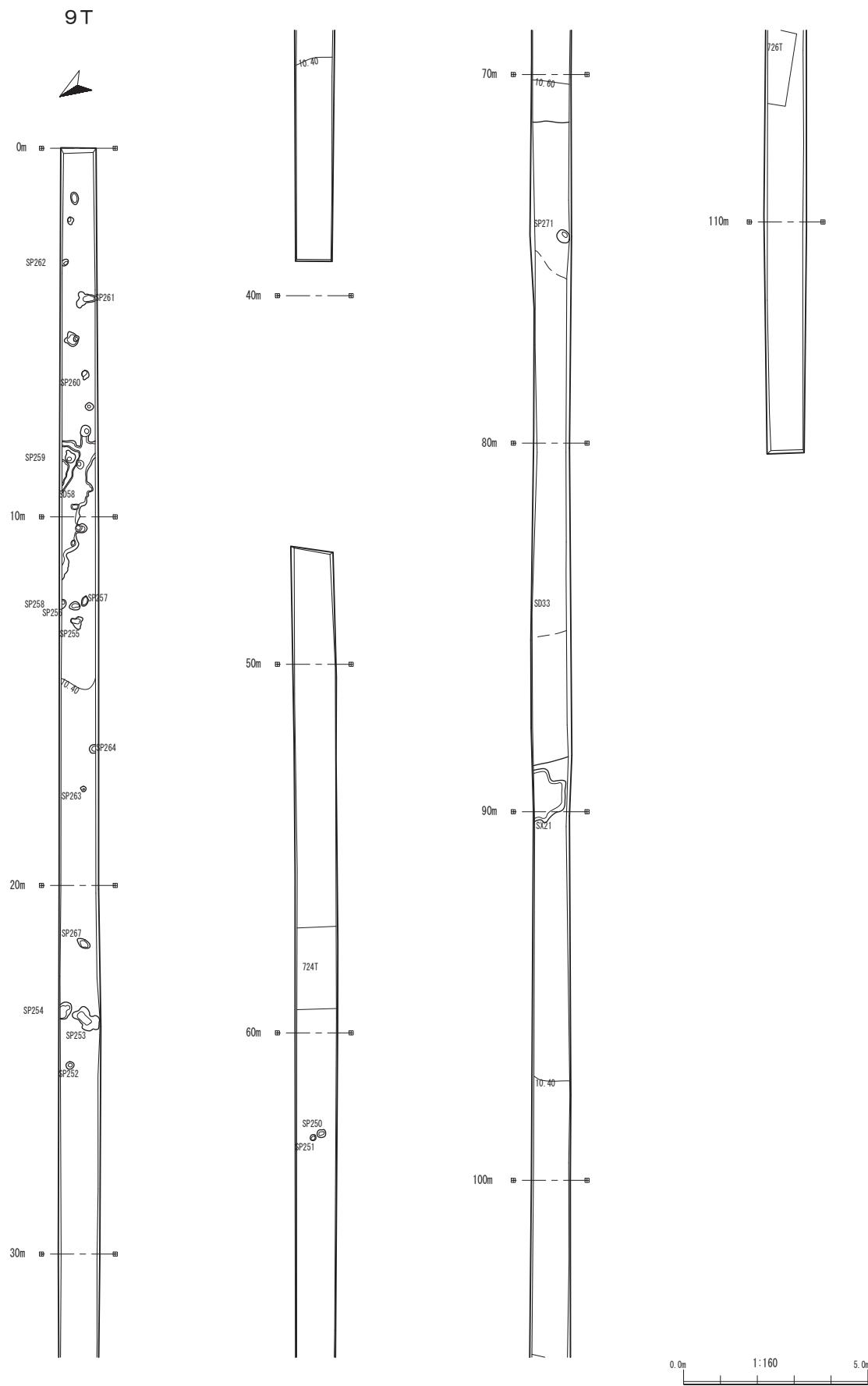
図版9

遺構平面図（8）



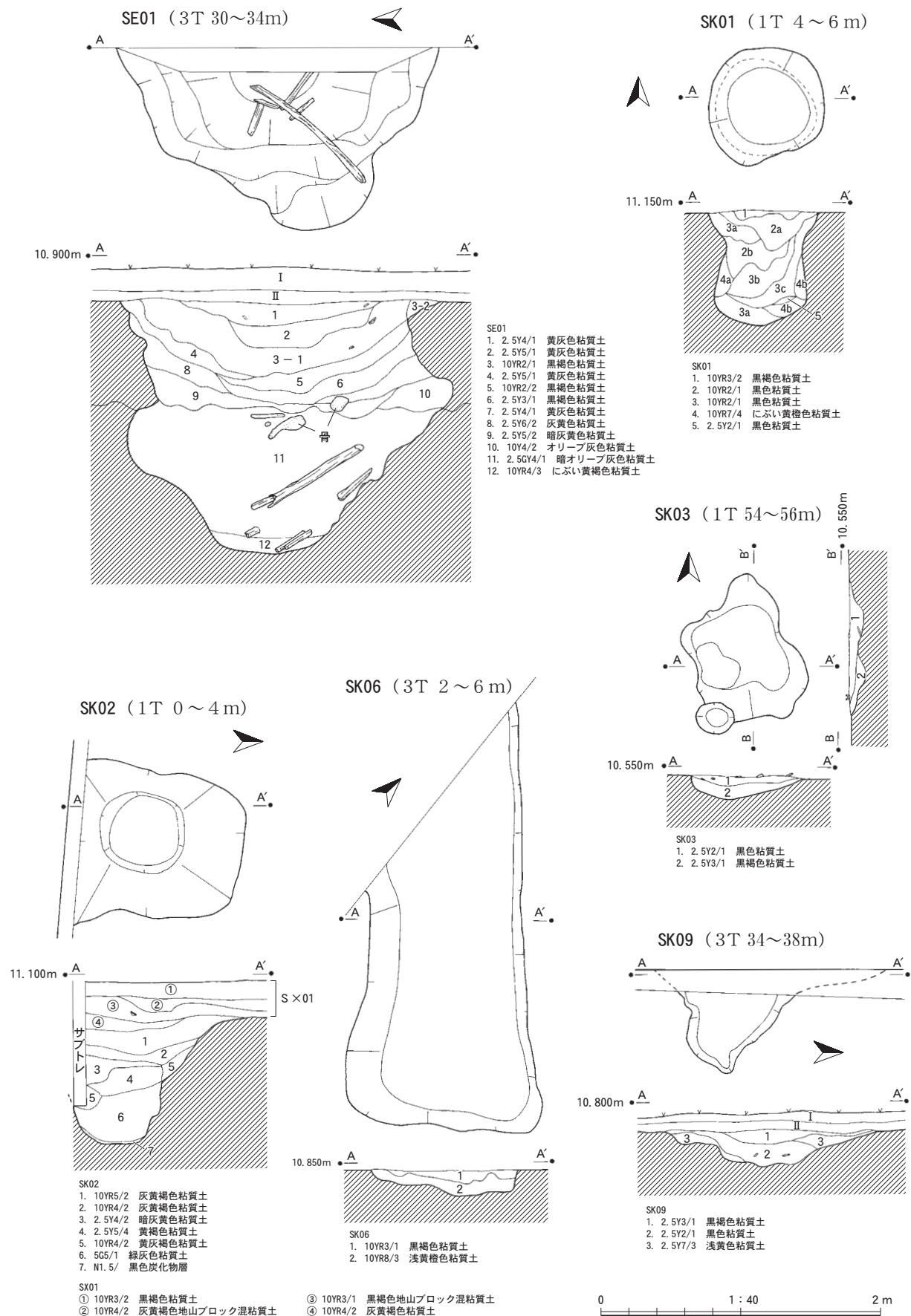
遺構平面図（9）

図版10



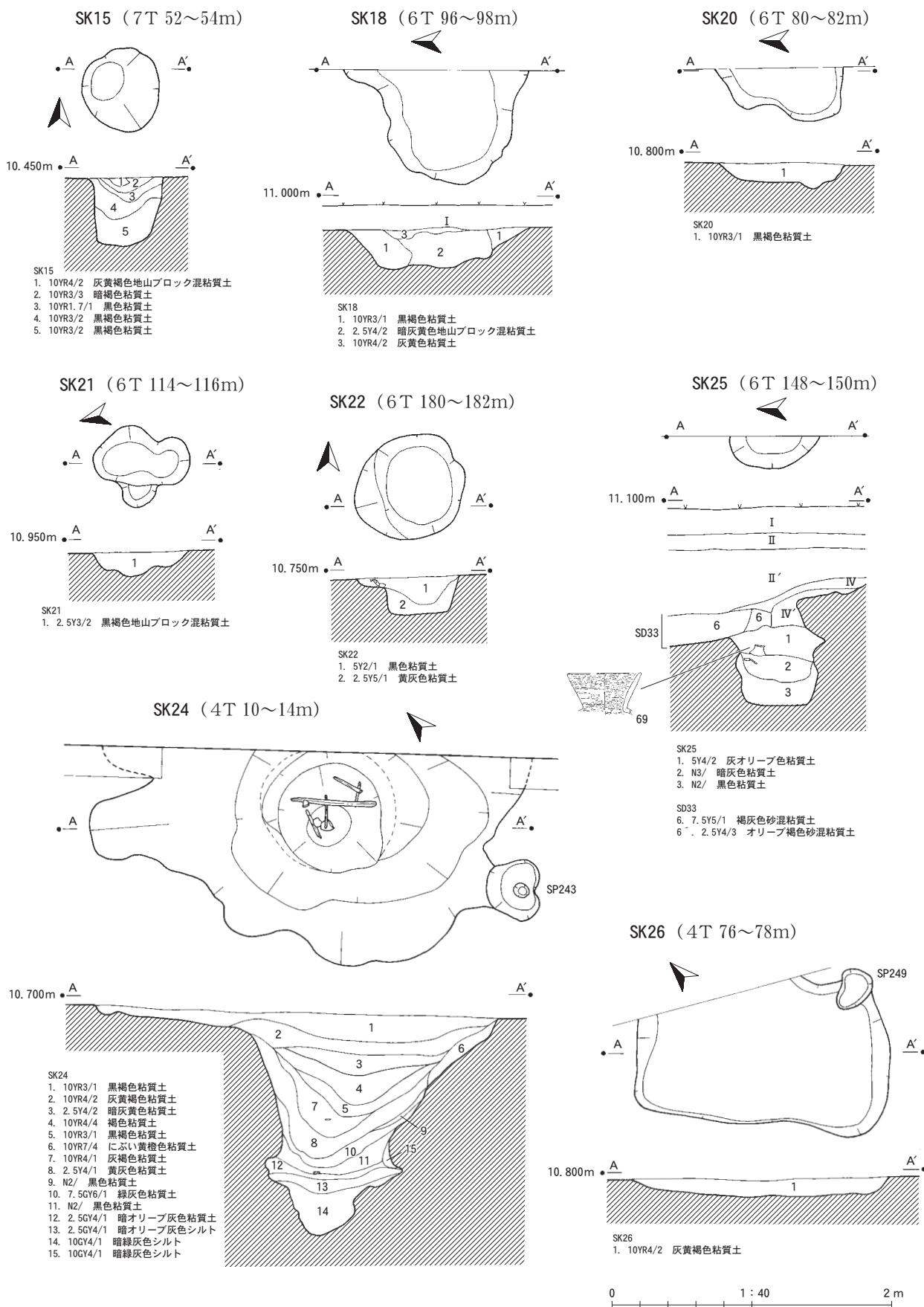
図版11

遺構実測図 (1) SE01、SK01~03・06・09



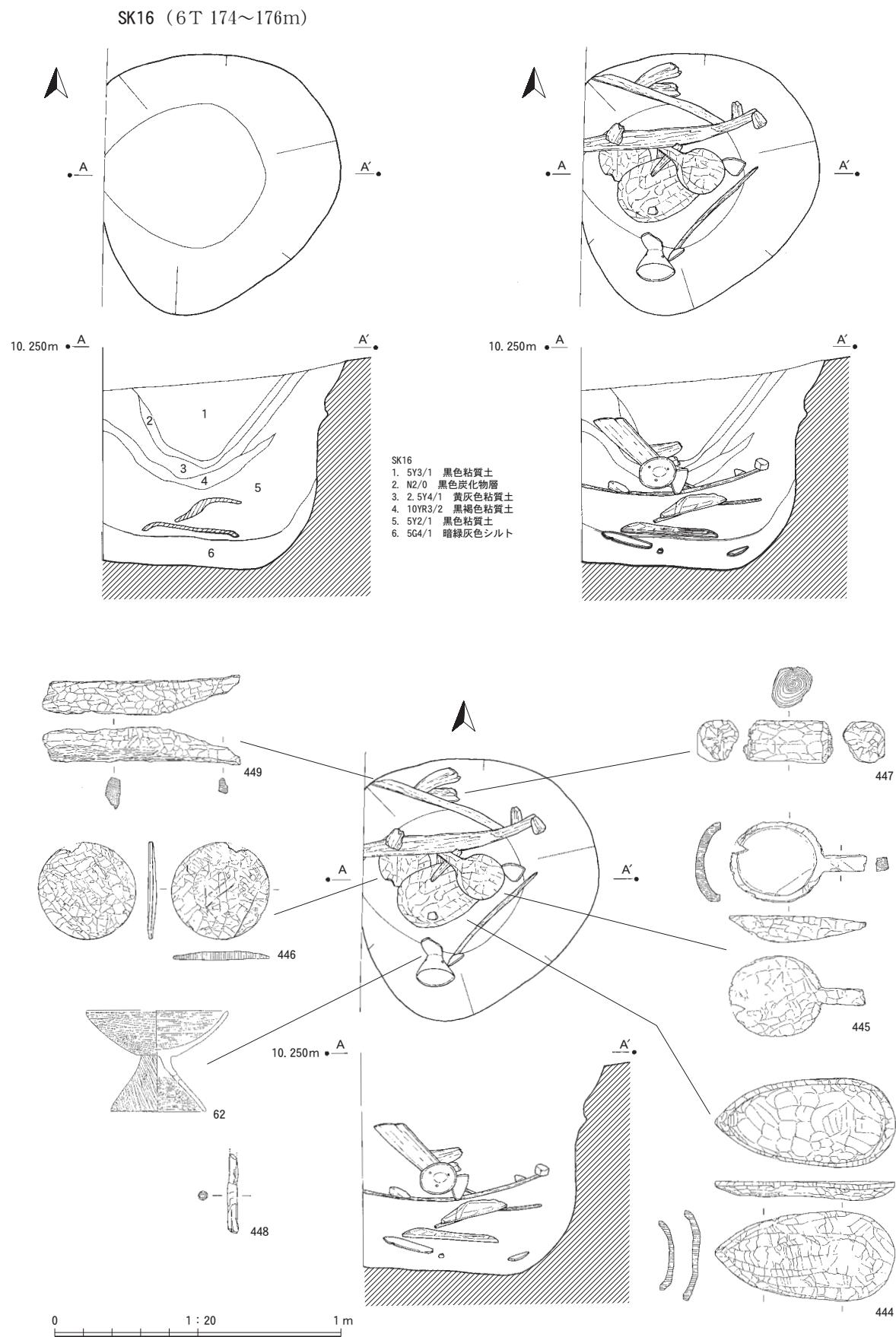
遺構実測図 (2) SK15・18・20・22・24～26

図版12



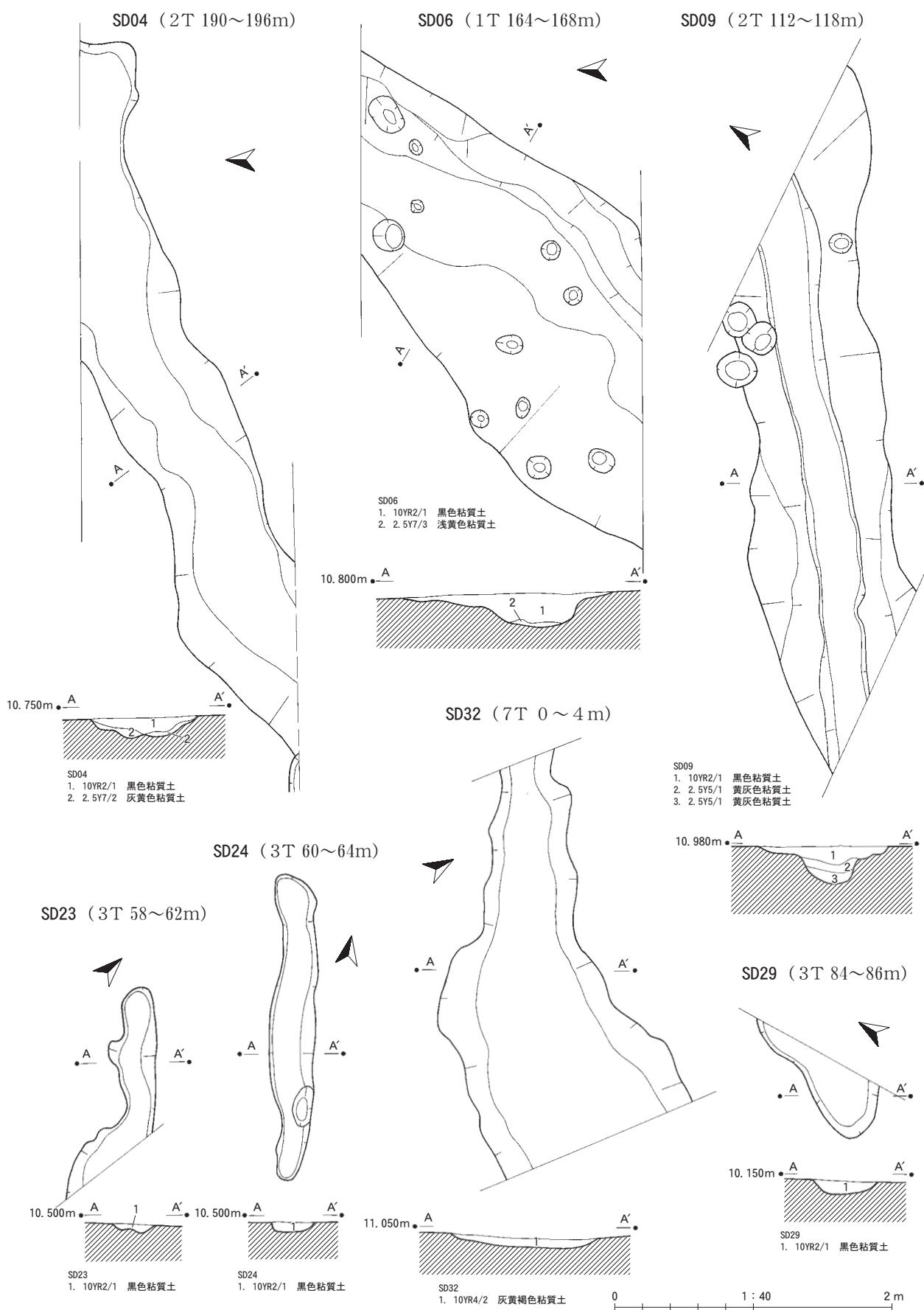
図版13

遺構実測図（3）SK16



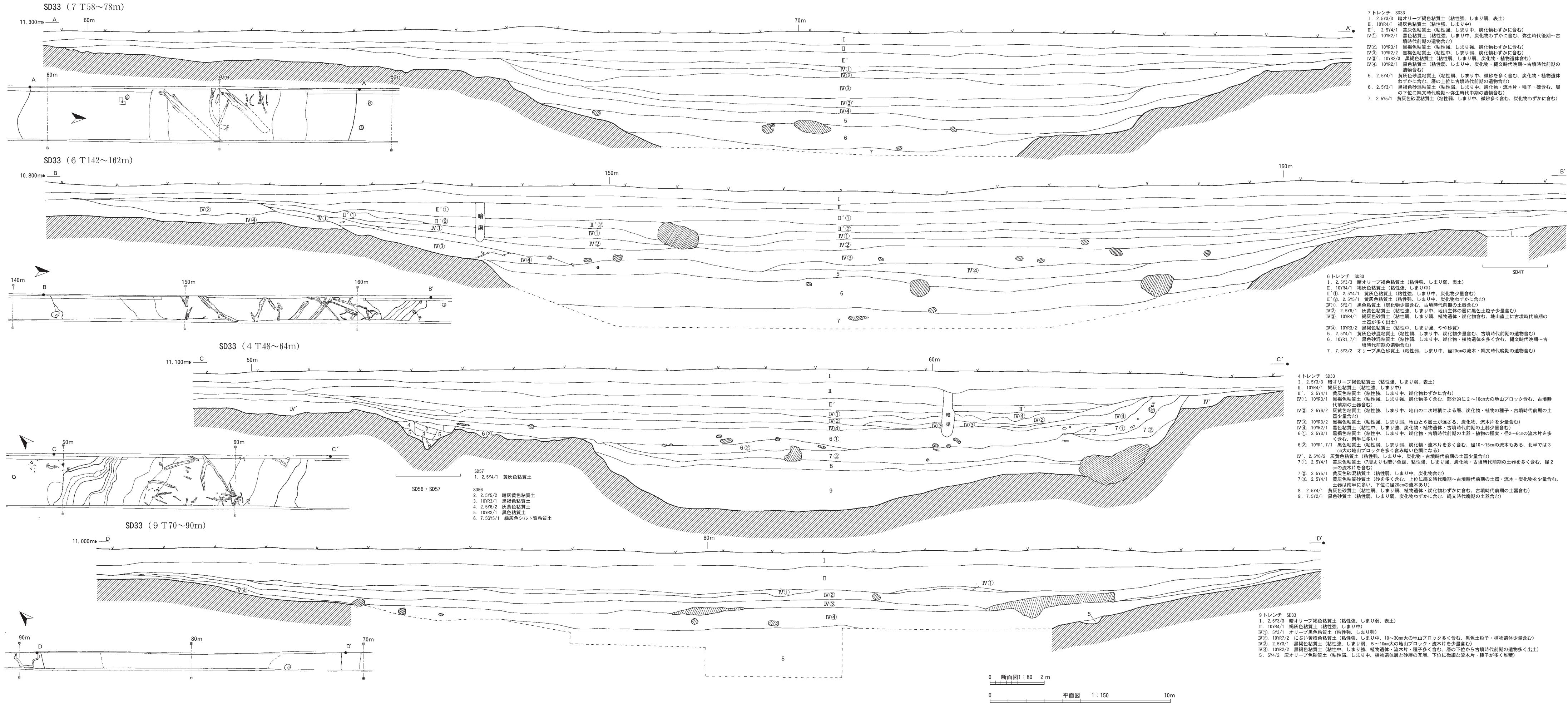
遺構実測図 (4) SD04・06・09・23・24・29・32

図版14



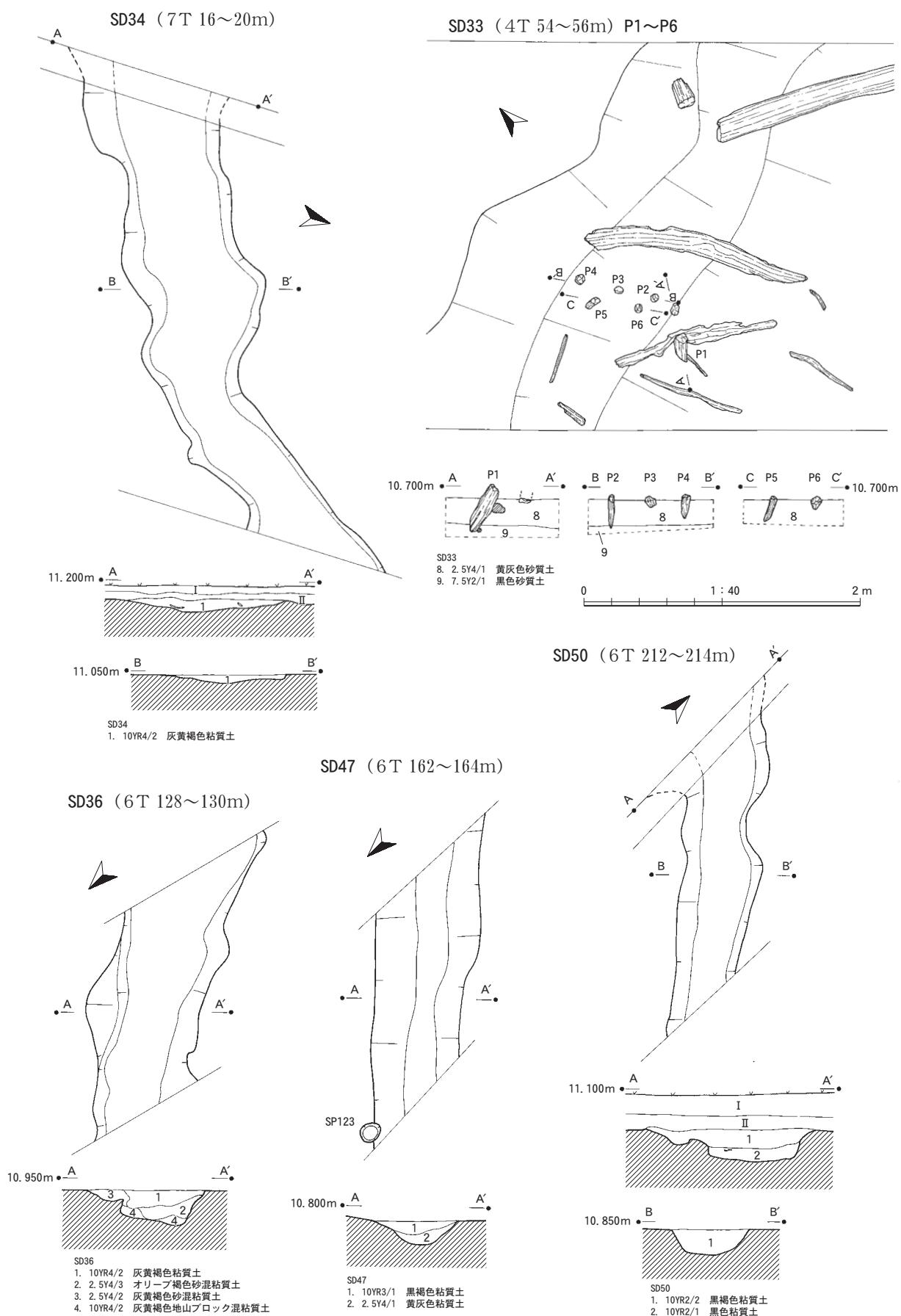
遺構実測図（5）SD33

図版15



遺構実測図 (6) SD33・34・36・47・50

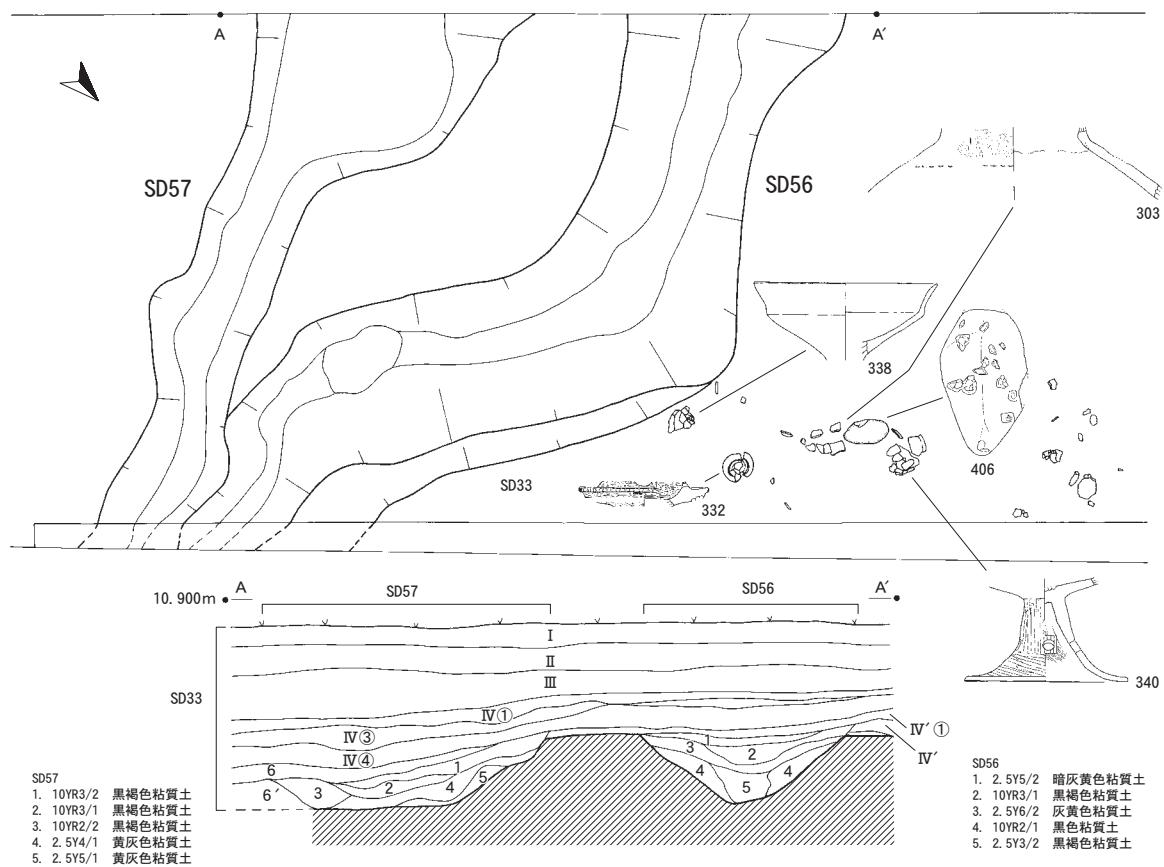
図版16



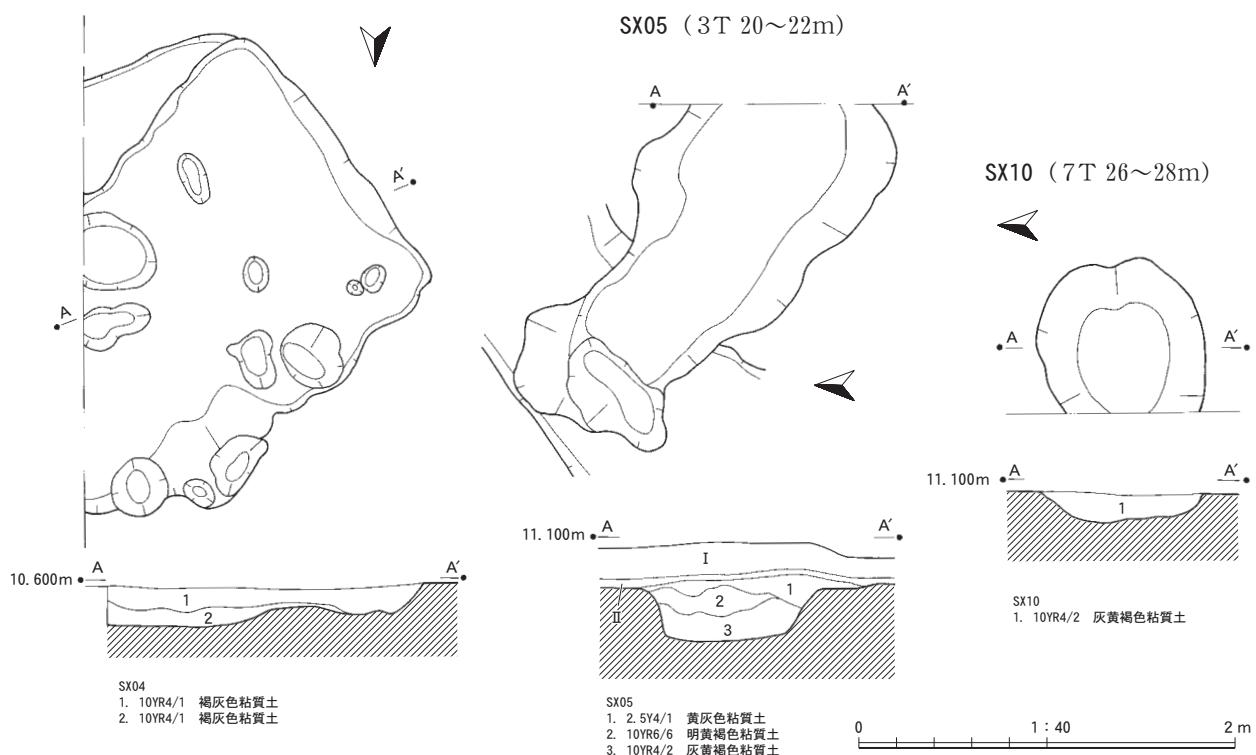
図版17

遺構実測図（7） SD56・57、SX04・05・10

## SD56・SD57 (4T 50~54m)

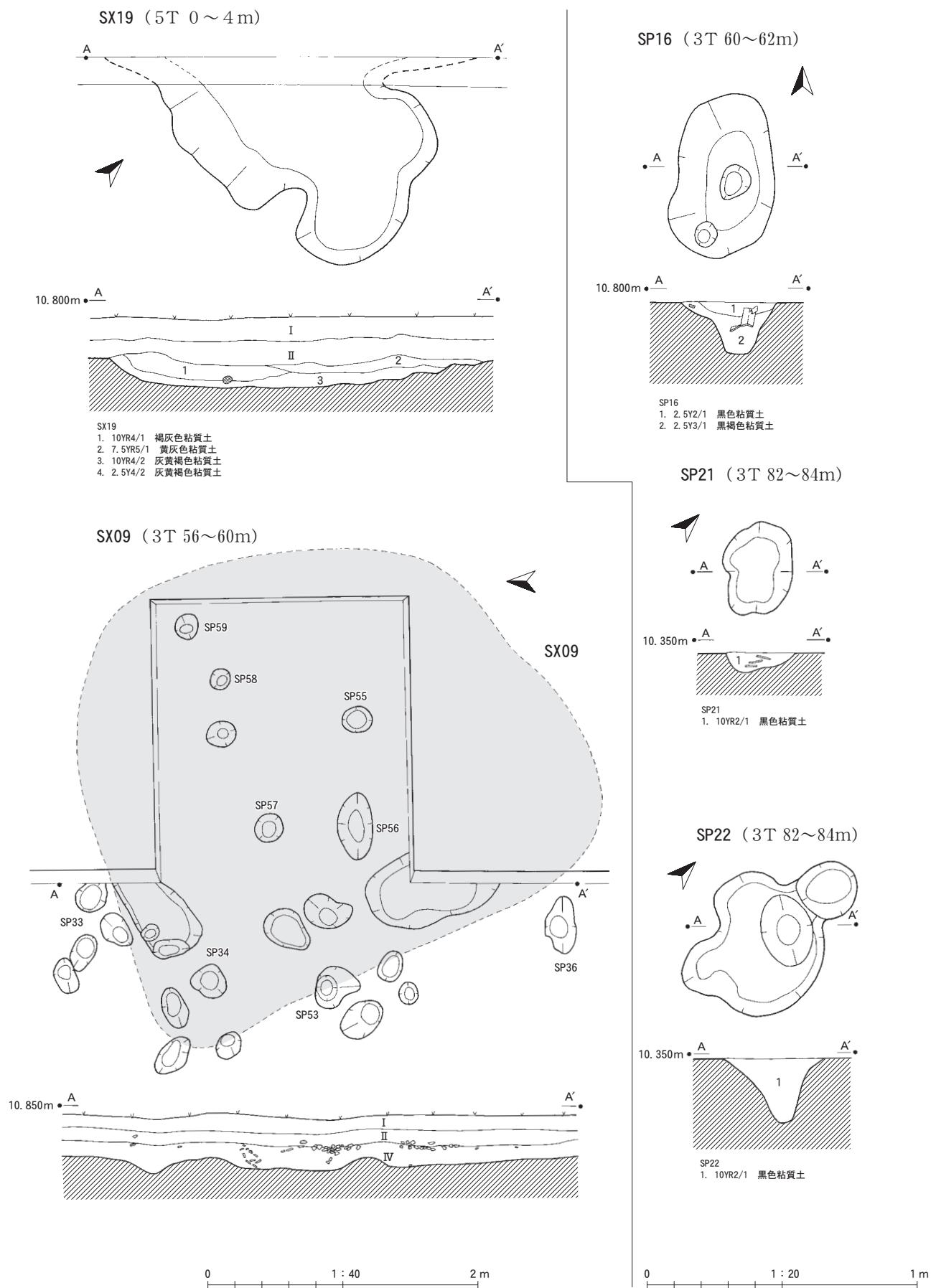


## SX04 (3T 12~16m)



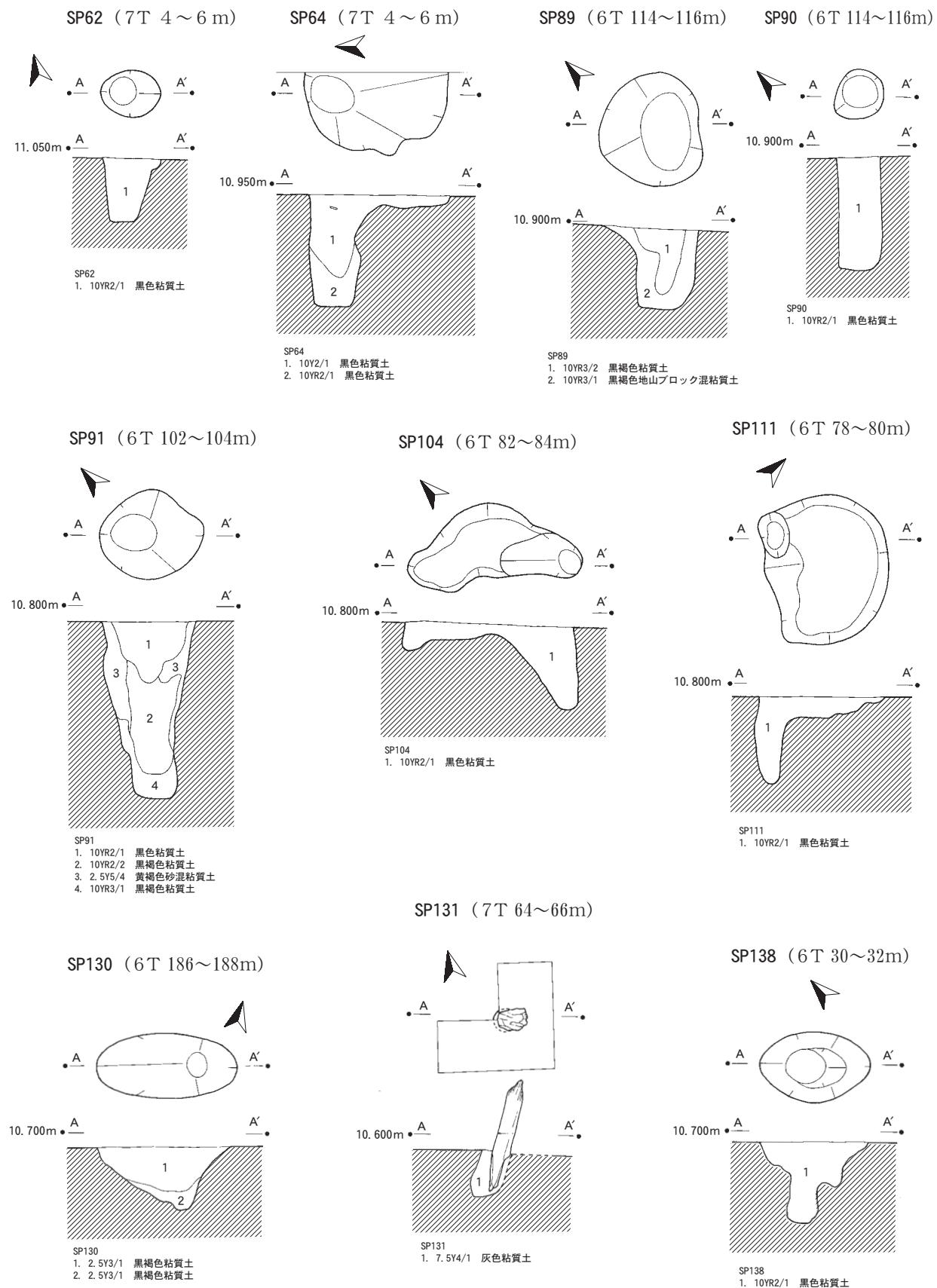
遺構実測図 (8) SX09・19、SP16・21・22

図版18



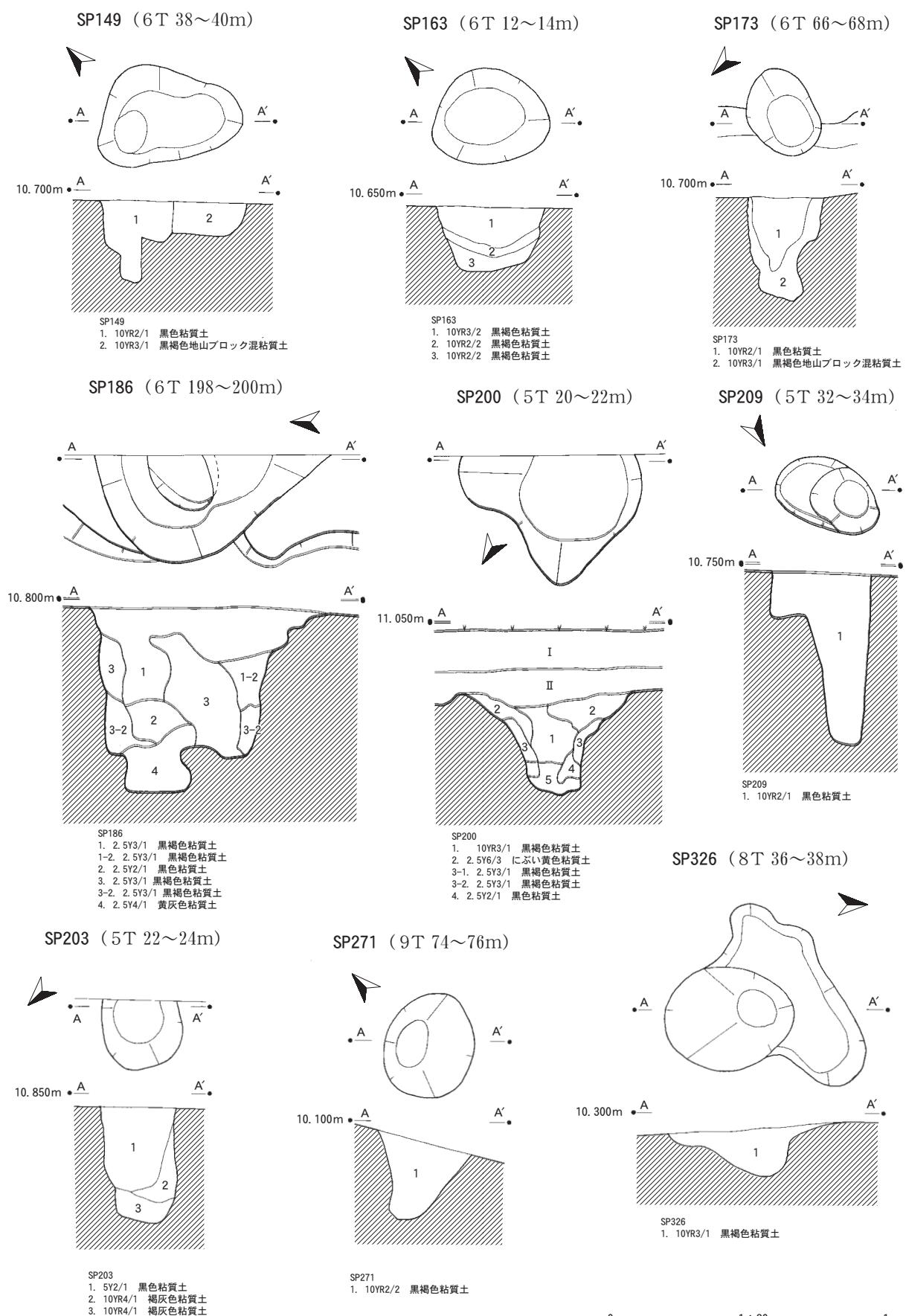
図版19

遺構実測図 (9) SP62・64・89～91・104・111・130・131・138



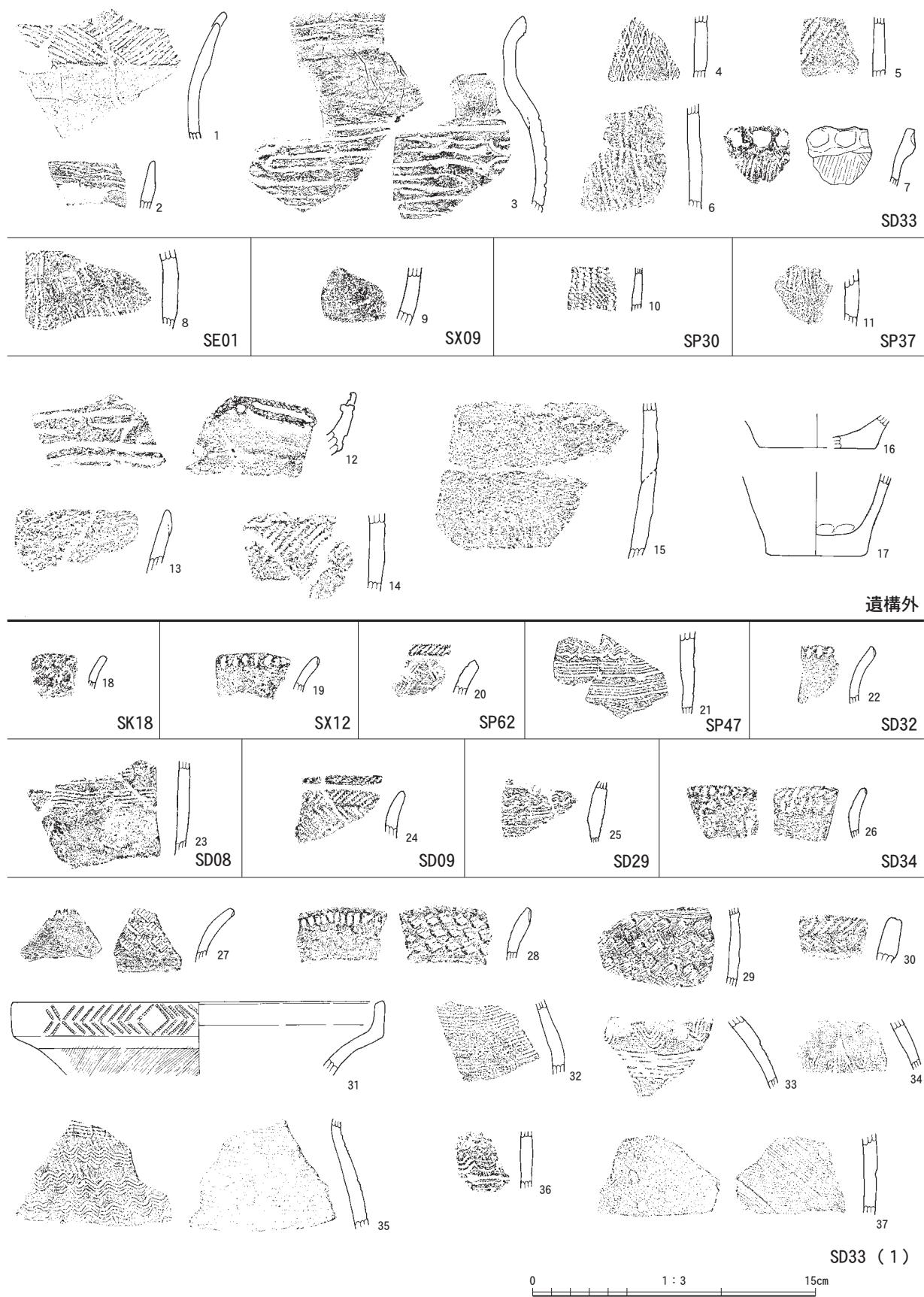
遺構実測図 (10) SP149・163・173・186・200・203・209・271・321

図版20



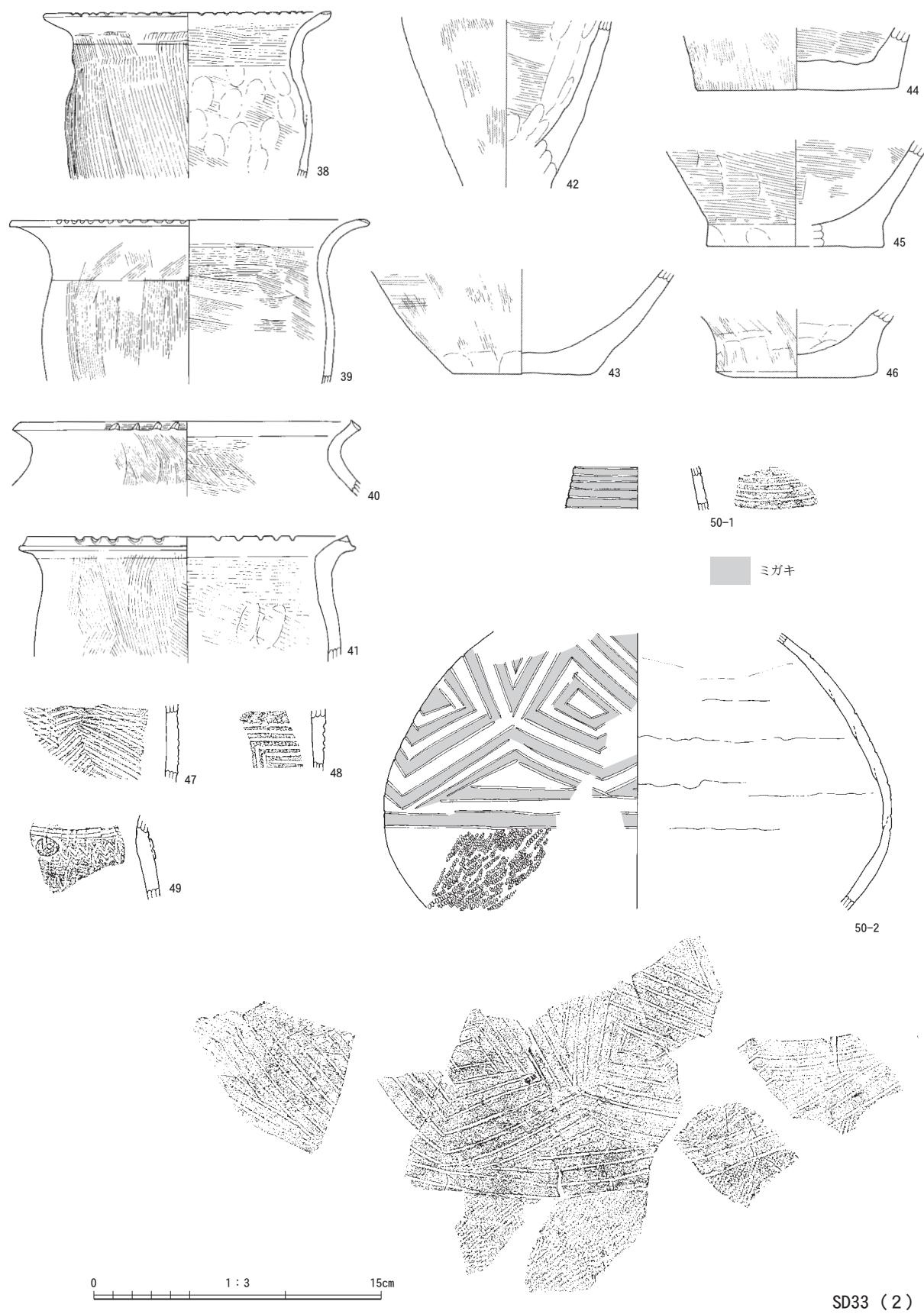
図版21

## 縄文時代晩期の土器・弥生時代中期の土器（1）



弥生時代中期の土器（2）

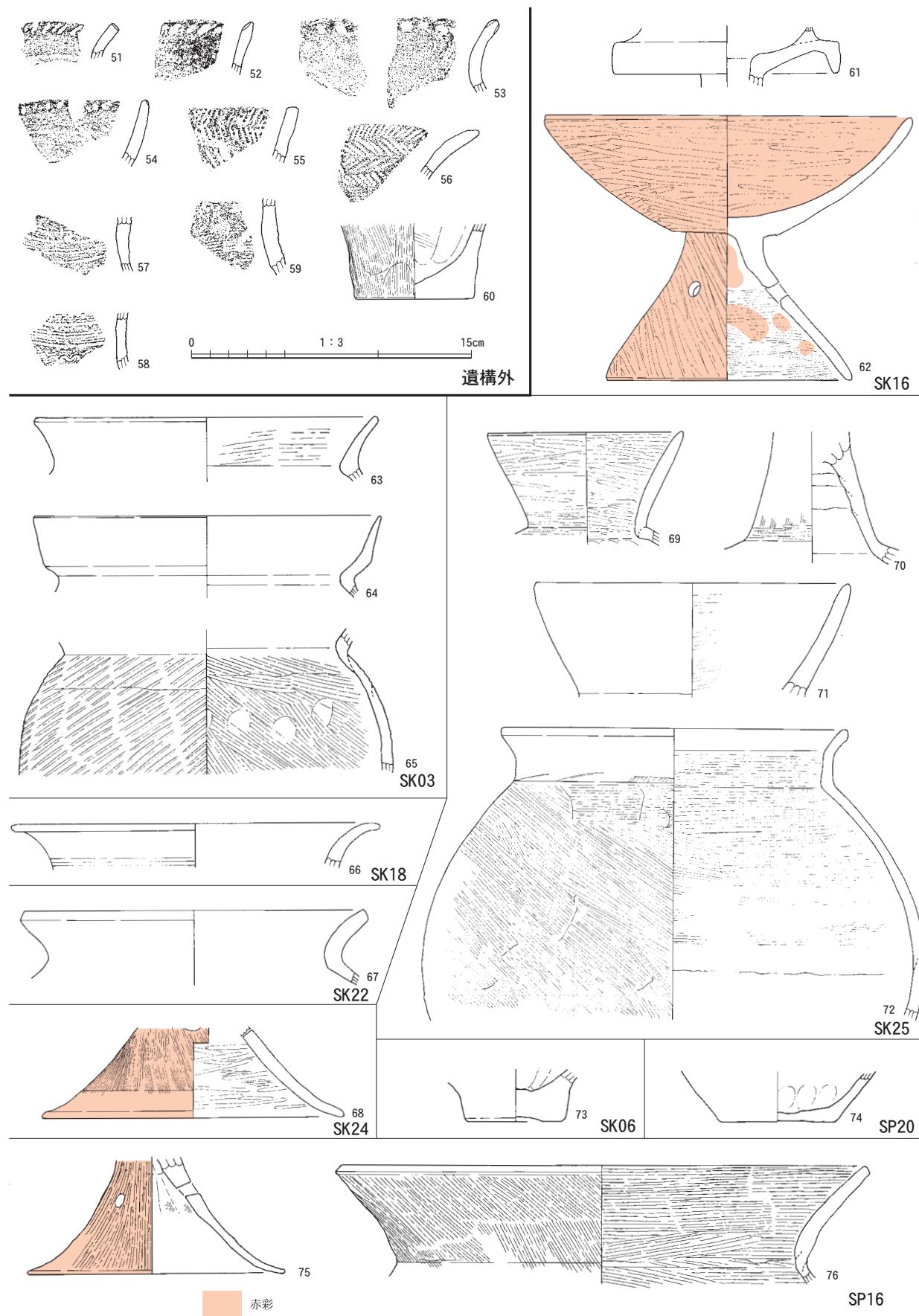
図版22



SD33 (2)

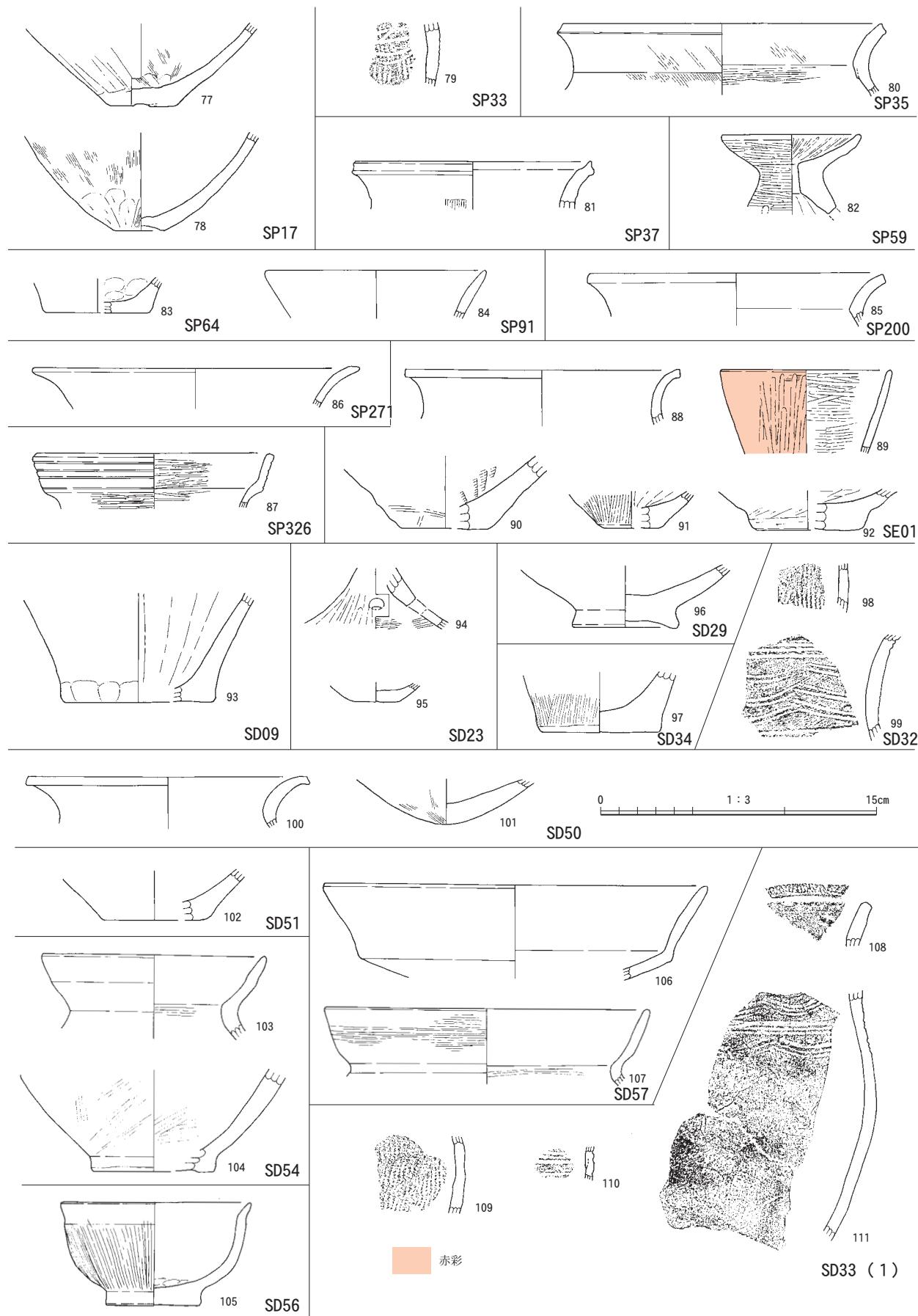
図版23

## 弥生時代中期の土器 (3)・弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (1)



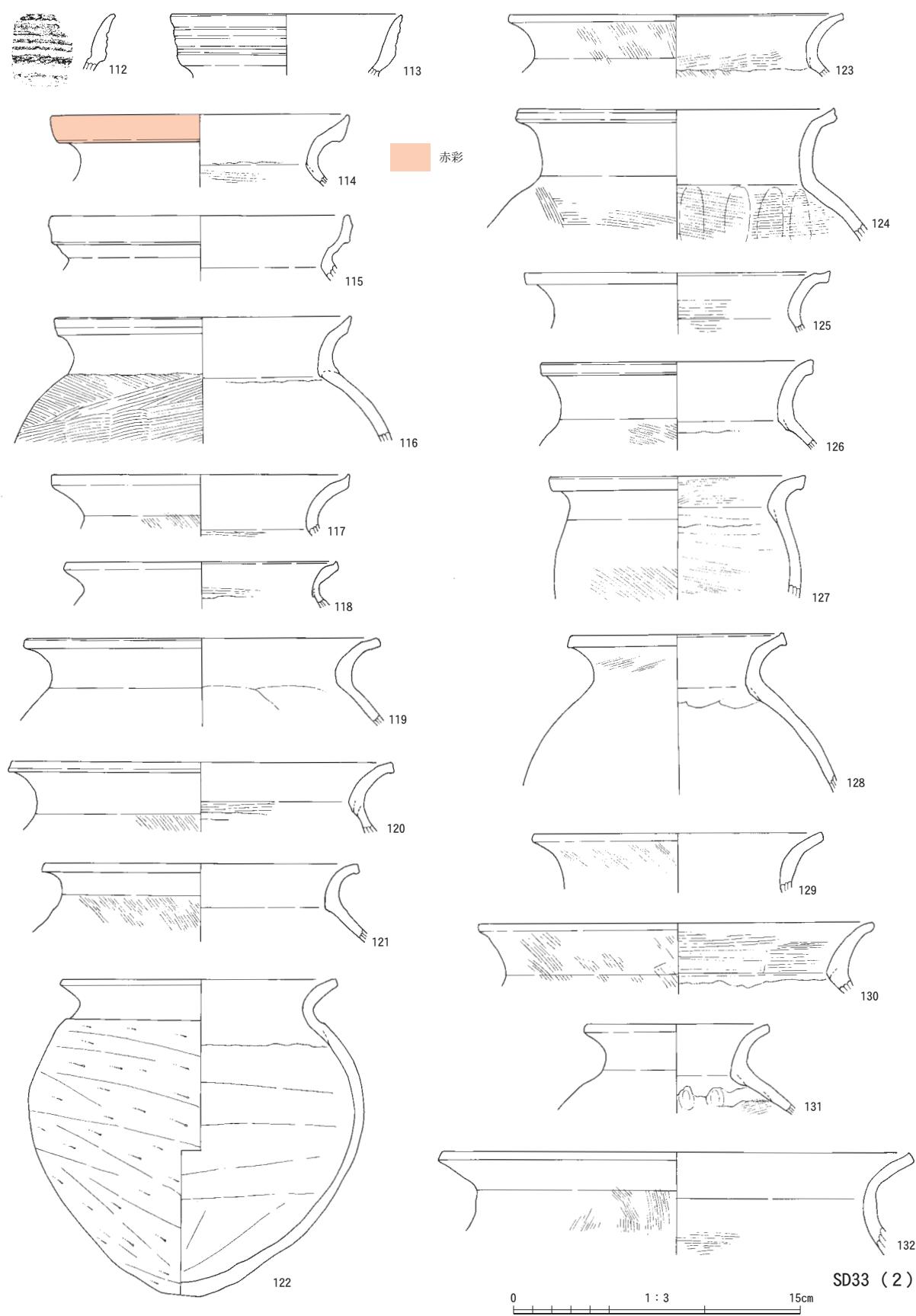
弥生時代後期～古墳時代前期の土器（2）

図版24



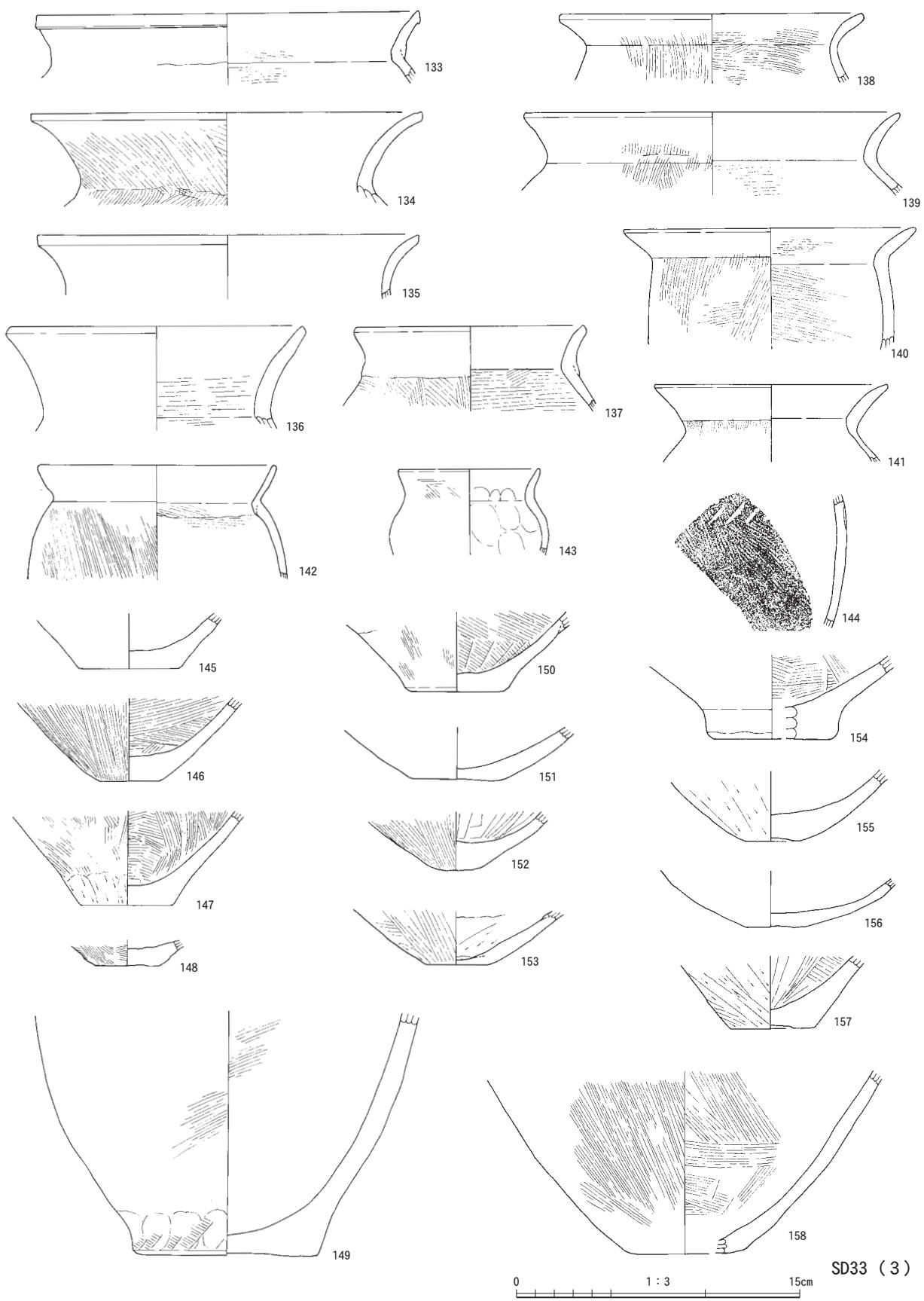
図版25

弥生時代後期～古墳時代前期の土器（3）



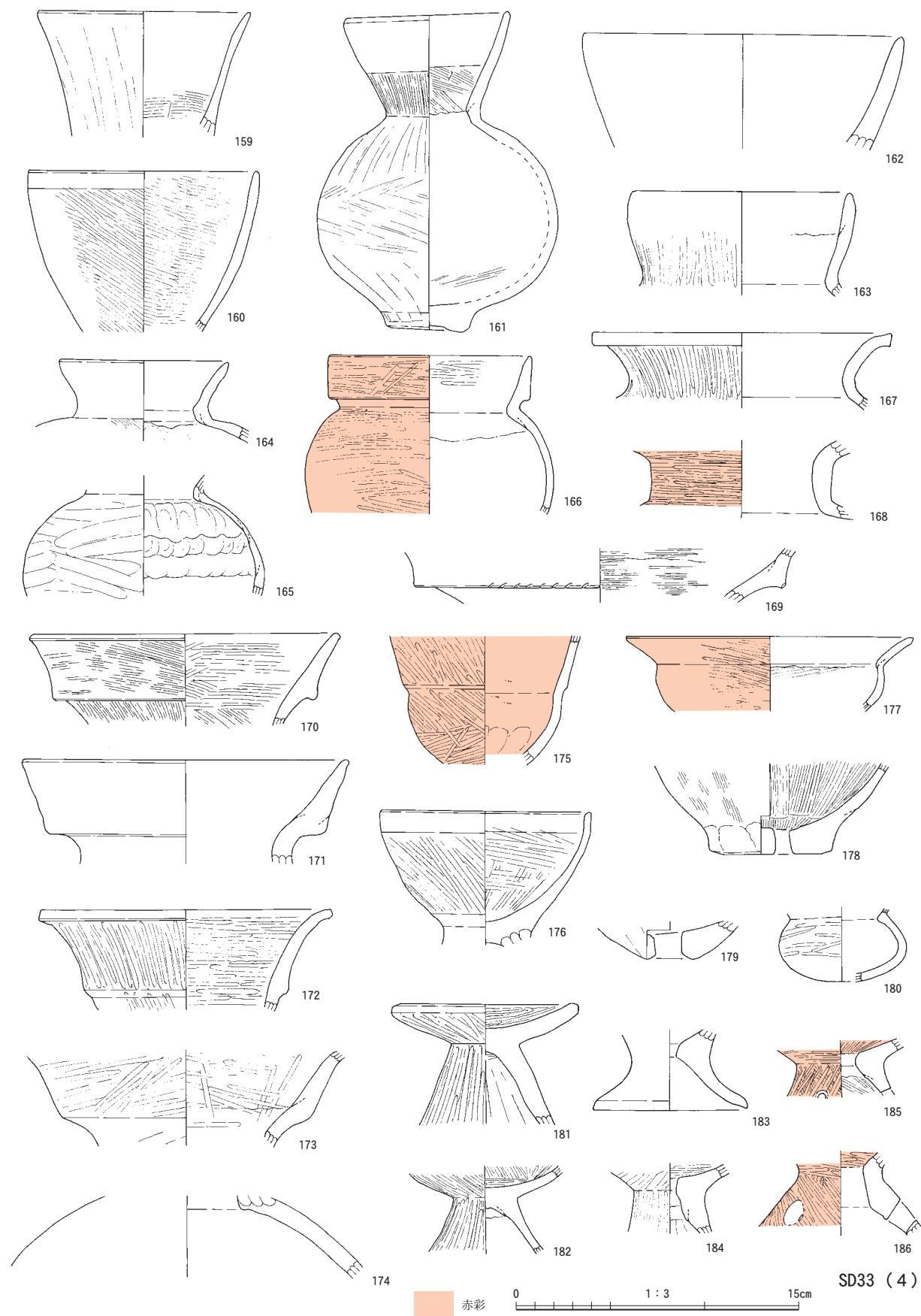
弥生時代後期～古墳時代前期の土器（4）

図版26



図版27

## 弥生時代後期～古墳時代前期の土器（5）



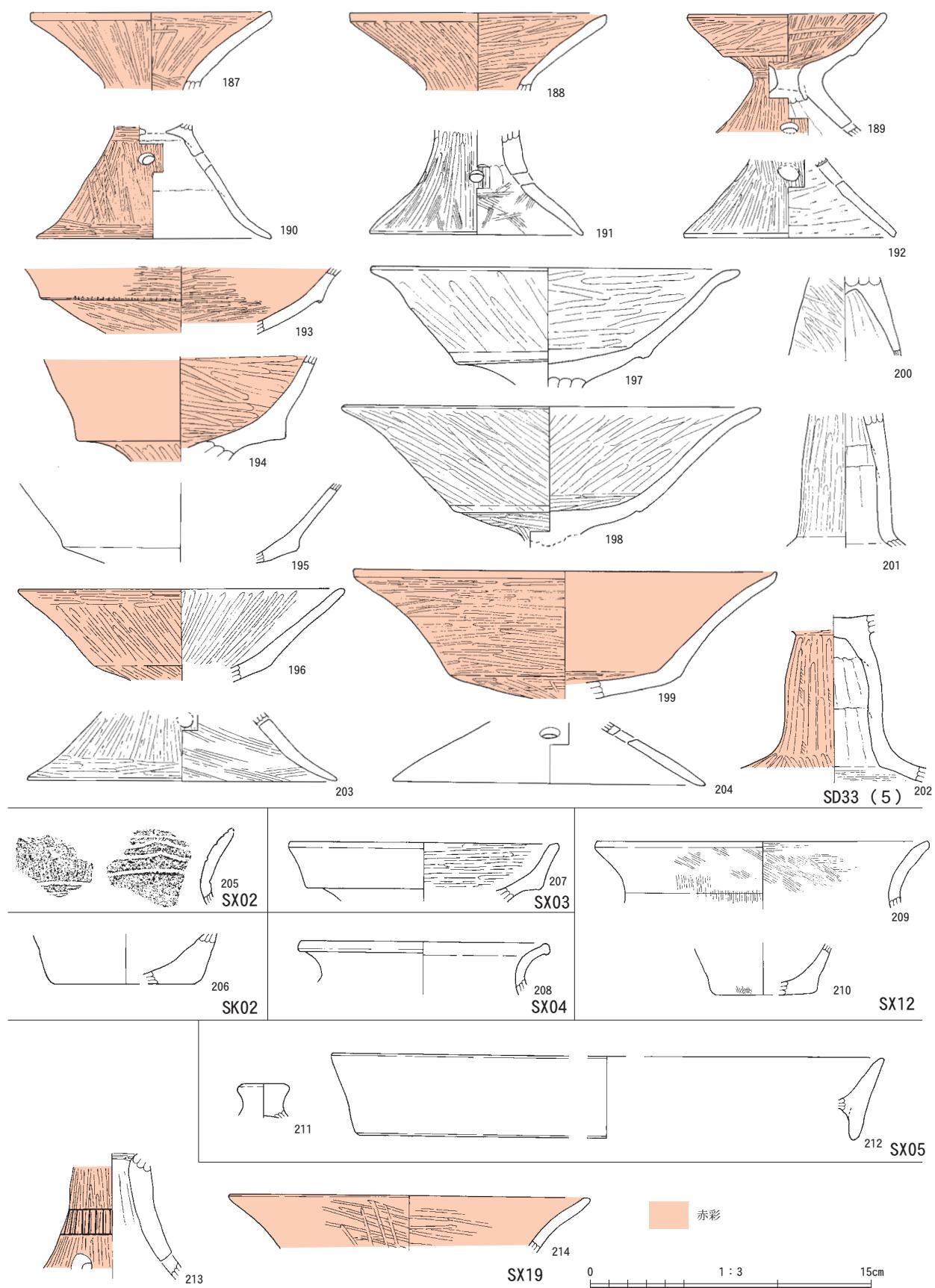
SD33 (4)

赤彩

0 1:3 15cm

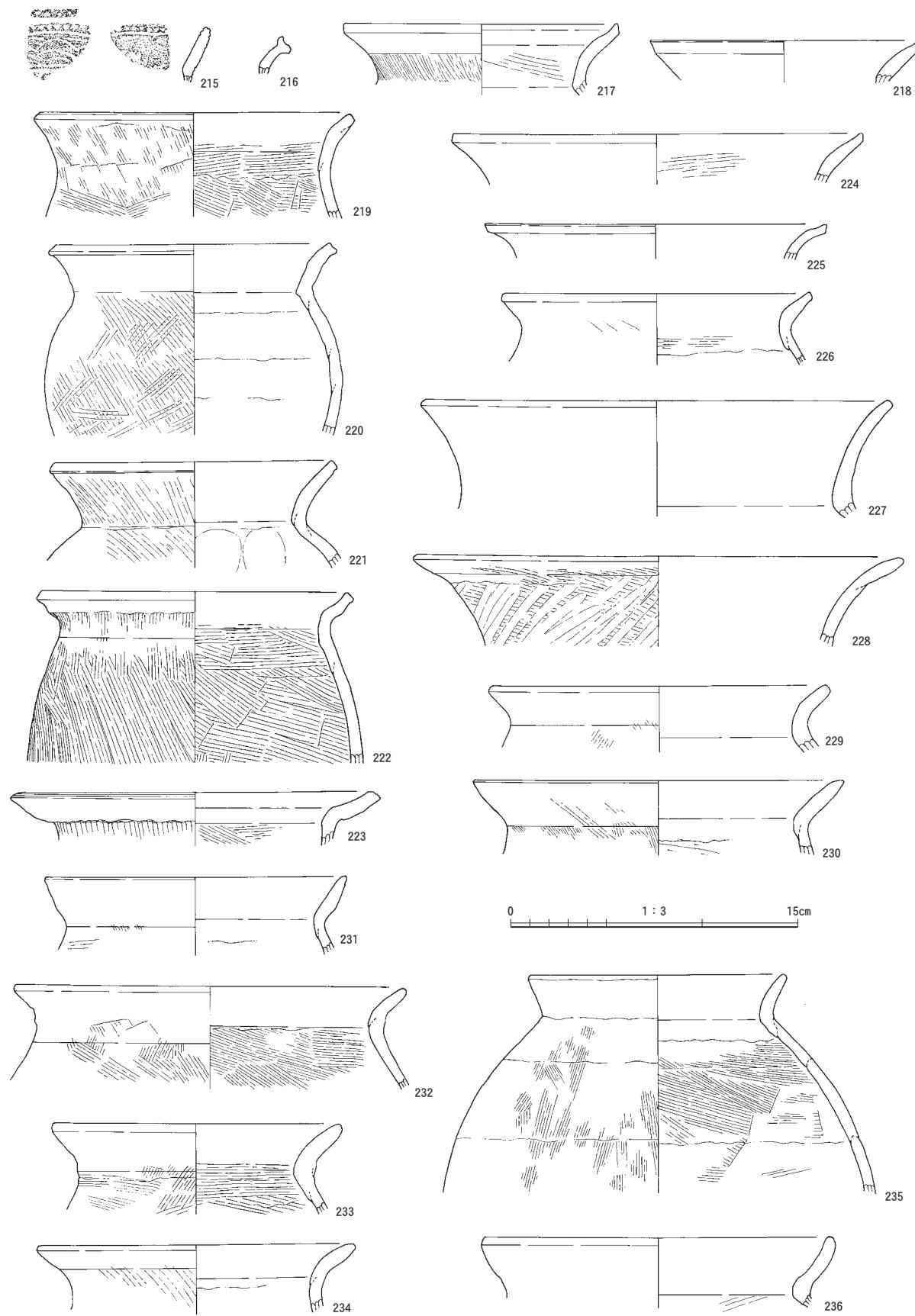
弥生時代後期～古墳時代前期の土器（6）

図版28



図版29

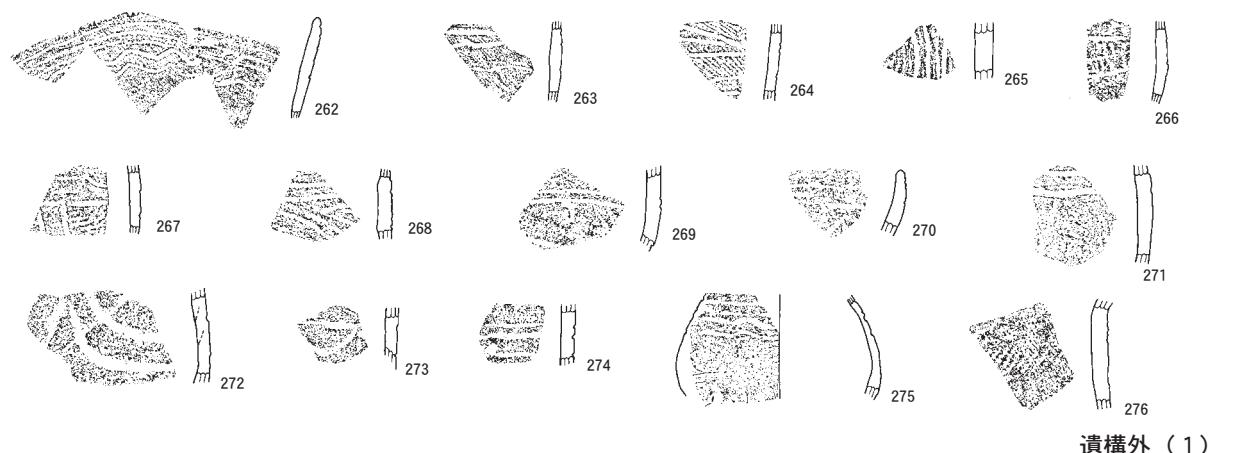
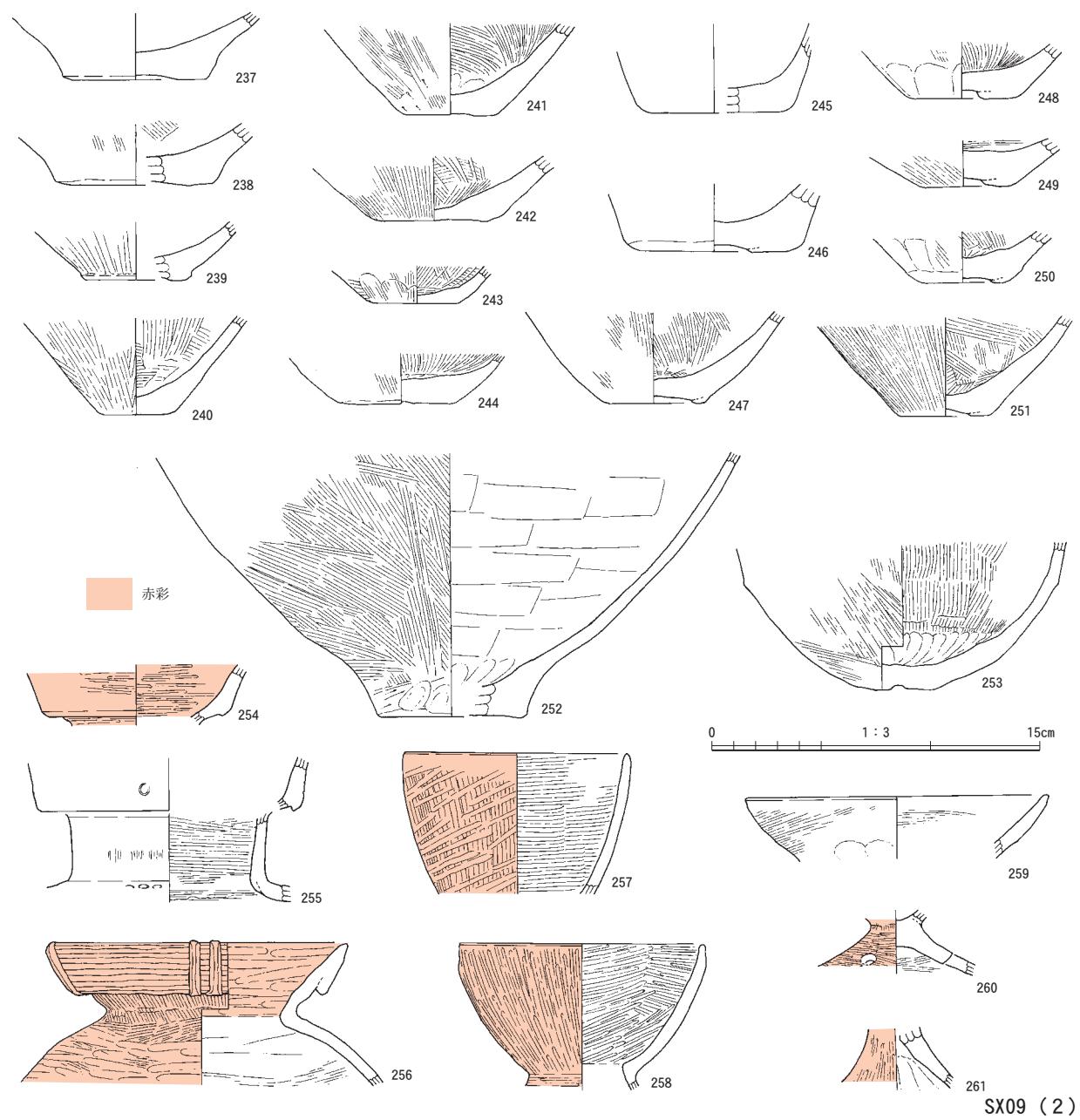
## 弥生時代後期～古墳時代前期の土器（7）



SX09 (1)

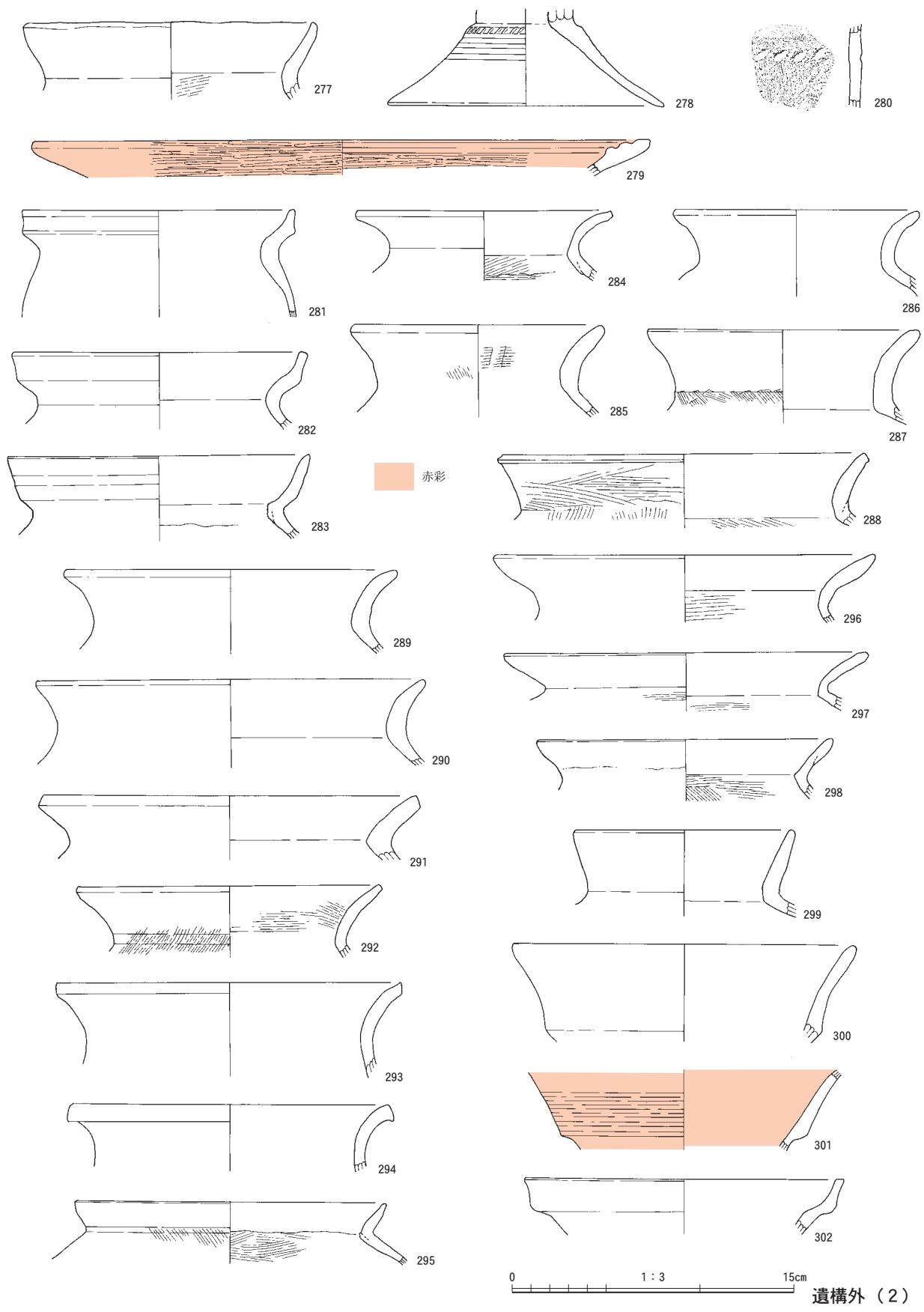
弥生時代後期～古墳時代前期の土器（8）

図版30



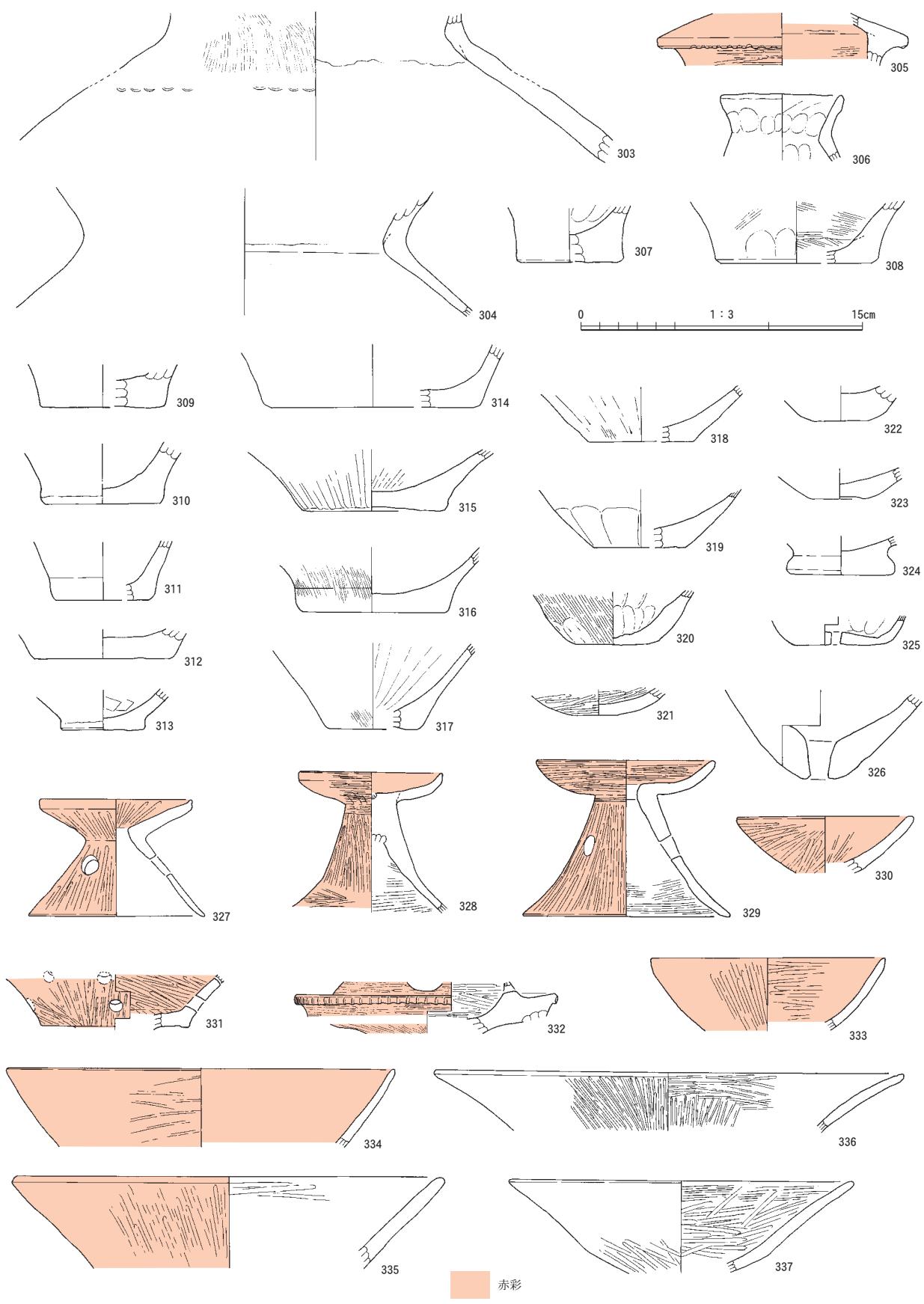
図版31

## 弥生時代後期～古墳時代前期の土器（9）



弥生時代後期～古墳時代前期の土器（10）

図版32

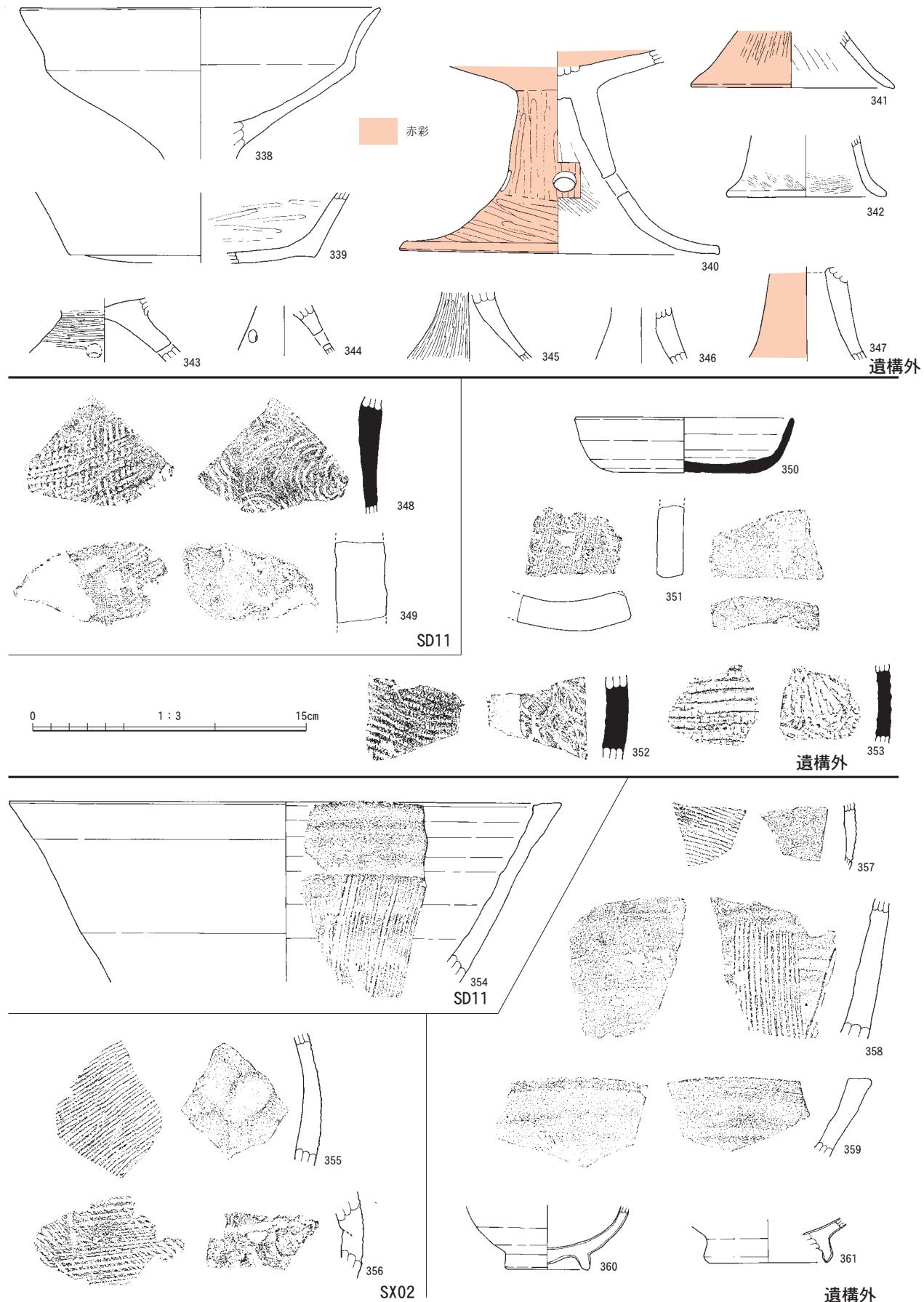


赤彩

遺構外（3）

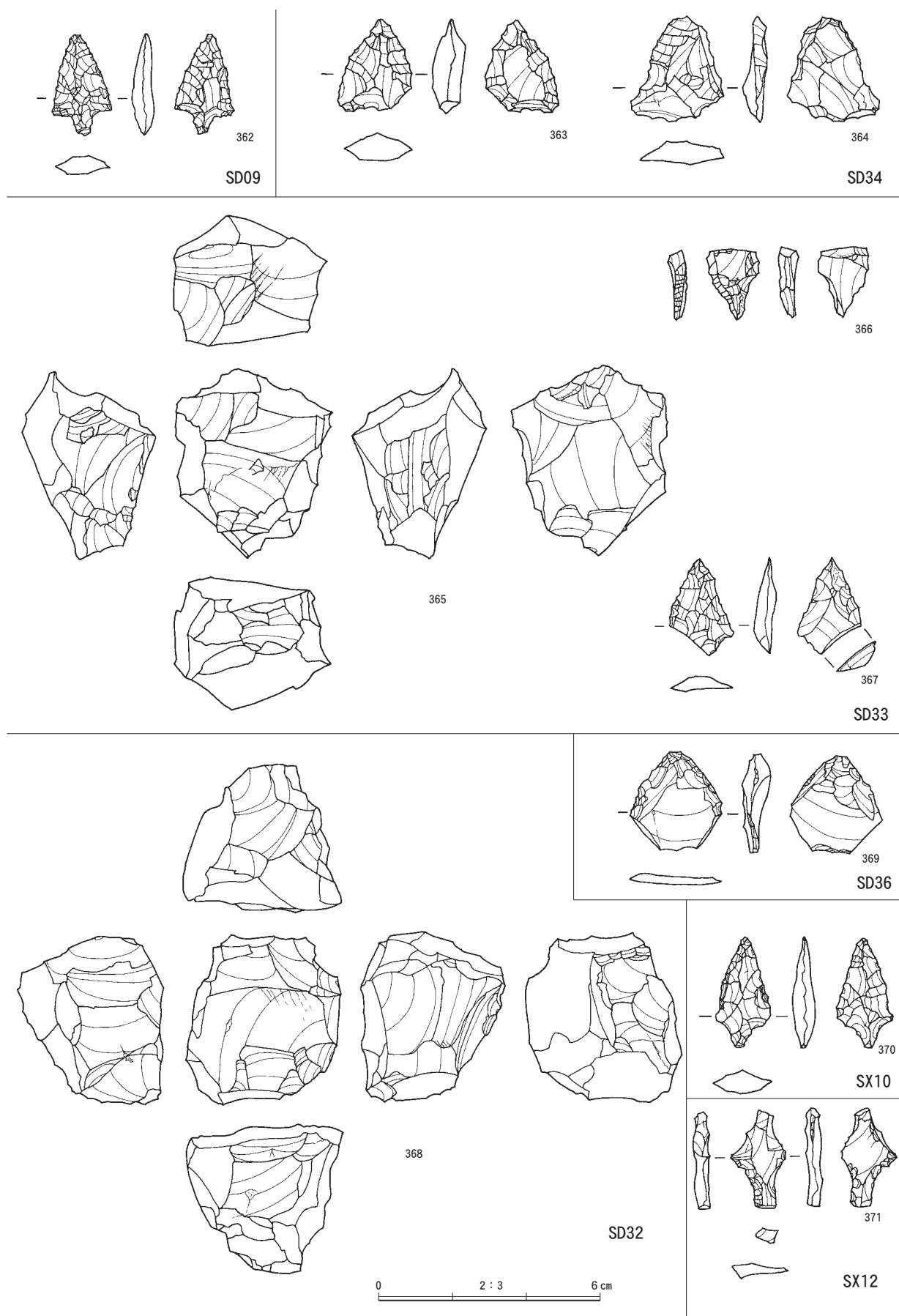
図版33

## 弥生時代後期～古墳時代前期の土器 (11)



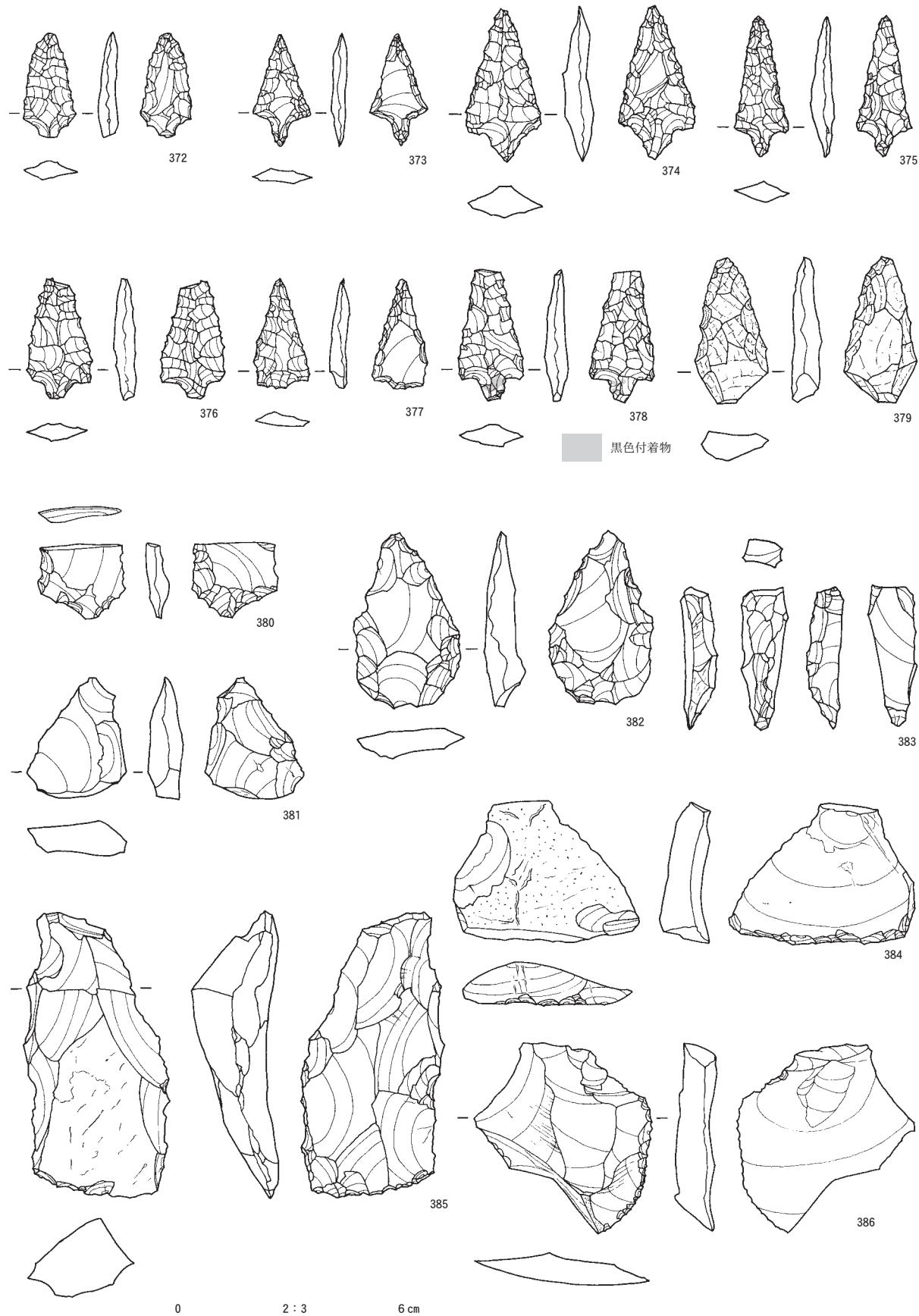
## 石器・石製品（1）

図版34

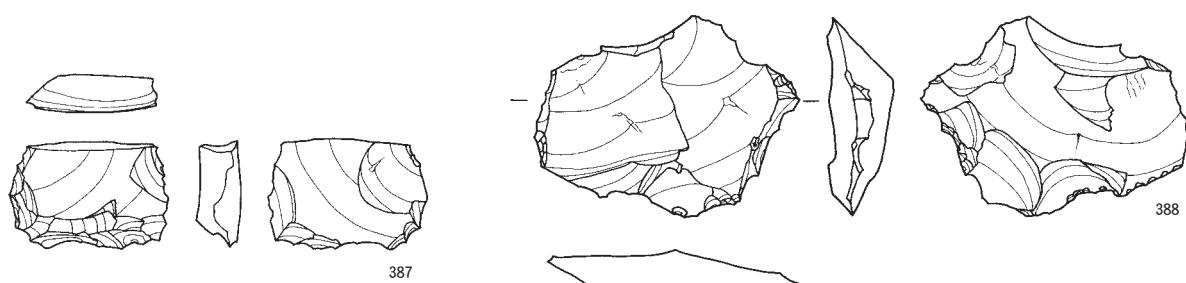


図版35

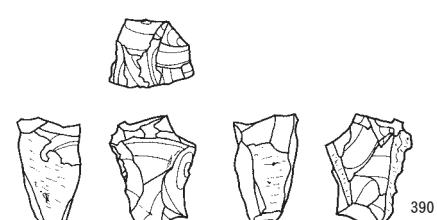
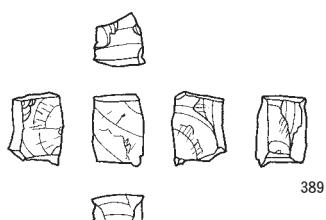
## 石器・石製品（2）



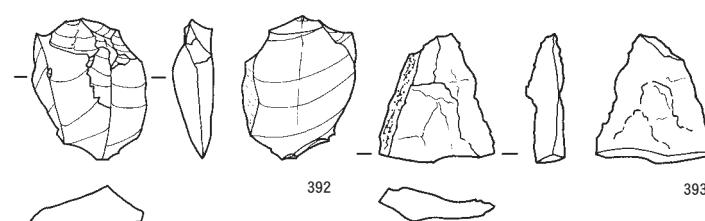
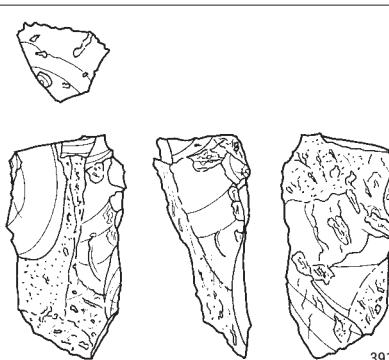
遺構外（1）



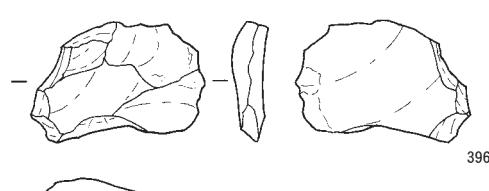
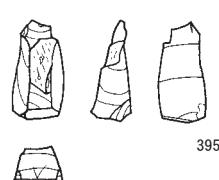
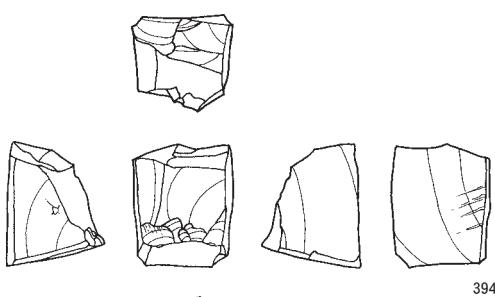
遺構外（2）



SD04



SD33

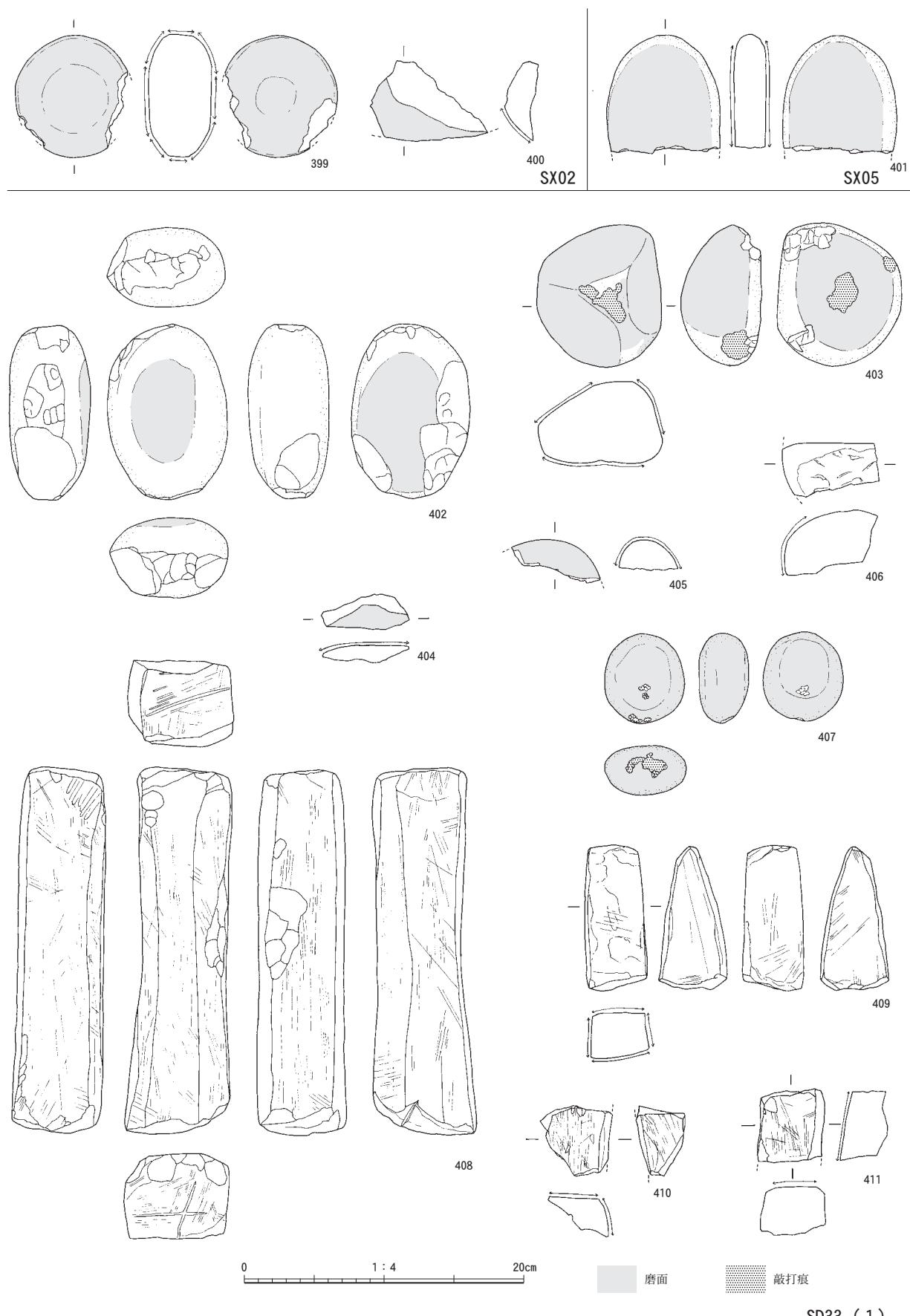


遺構外

0 2 : 3 6 cm

図版37

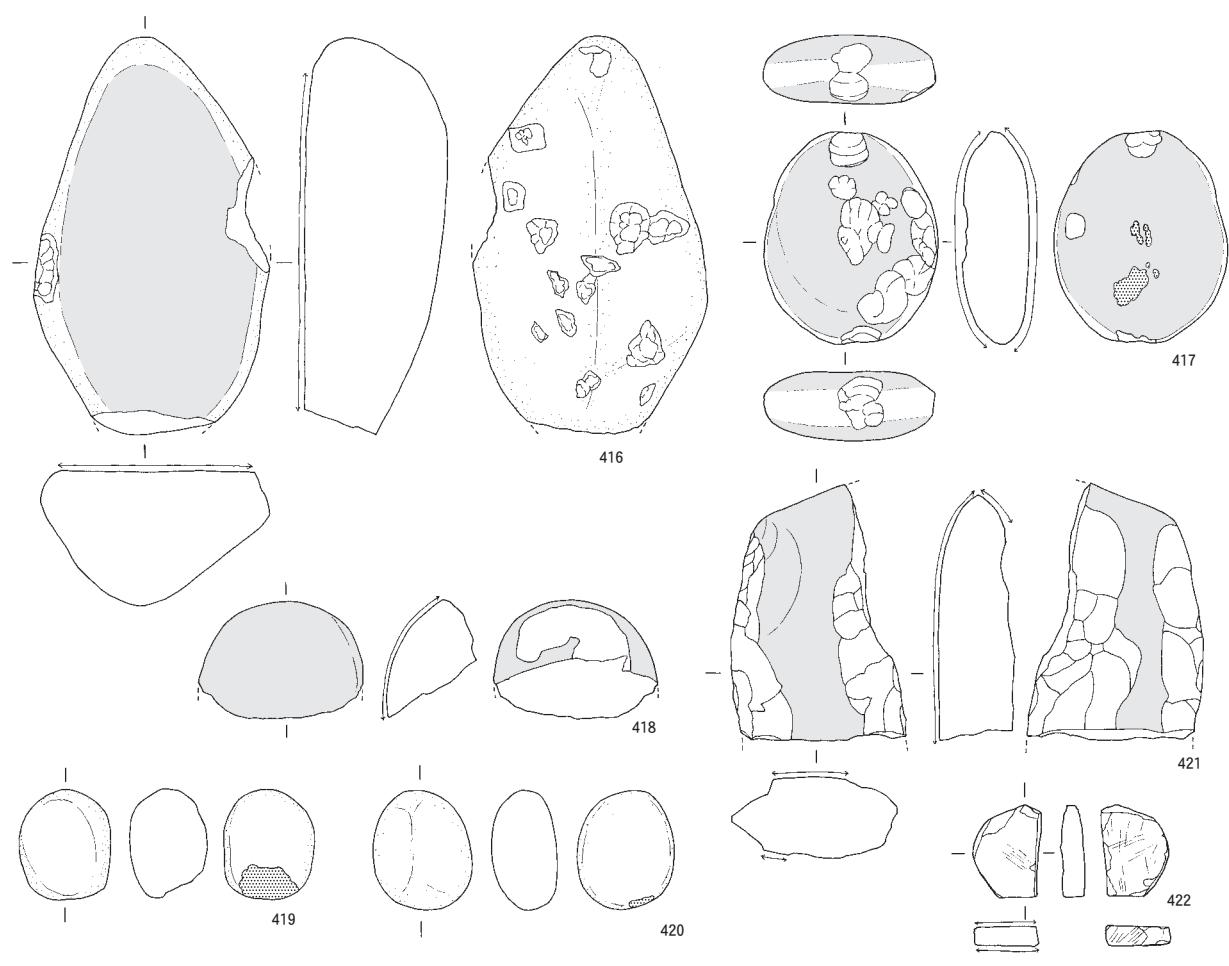
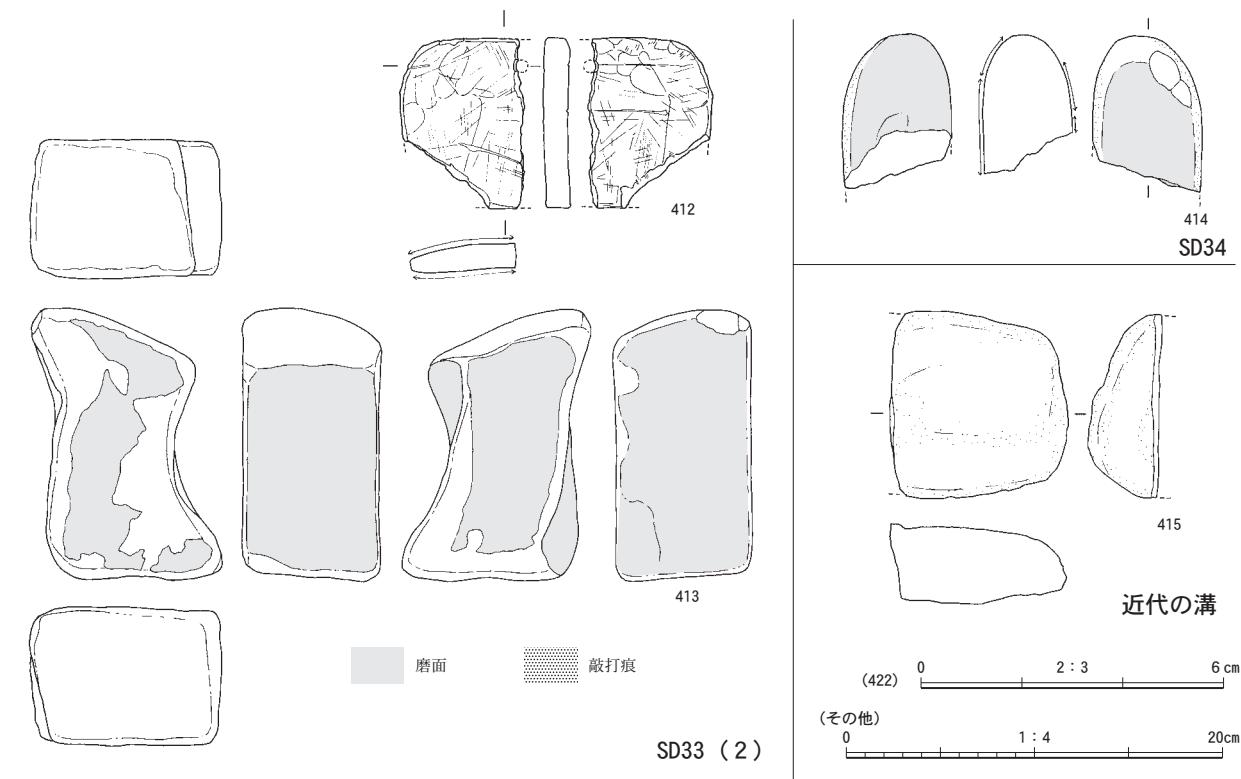
## 石器・石製品（4）



SD33 (1)

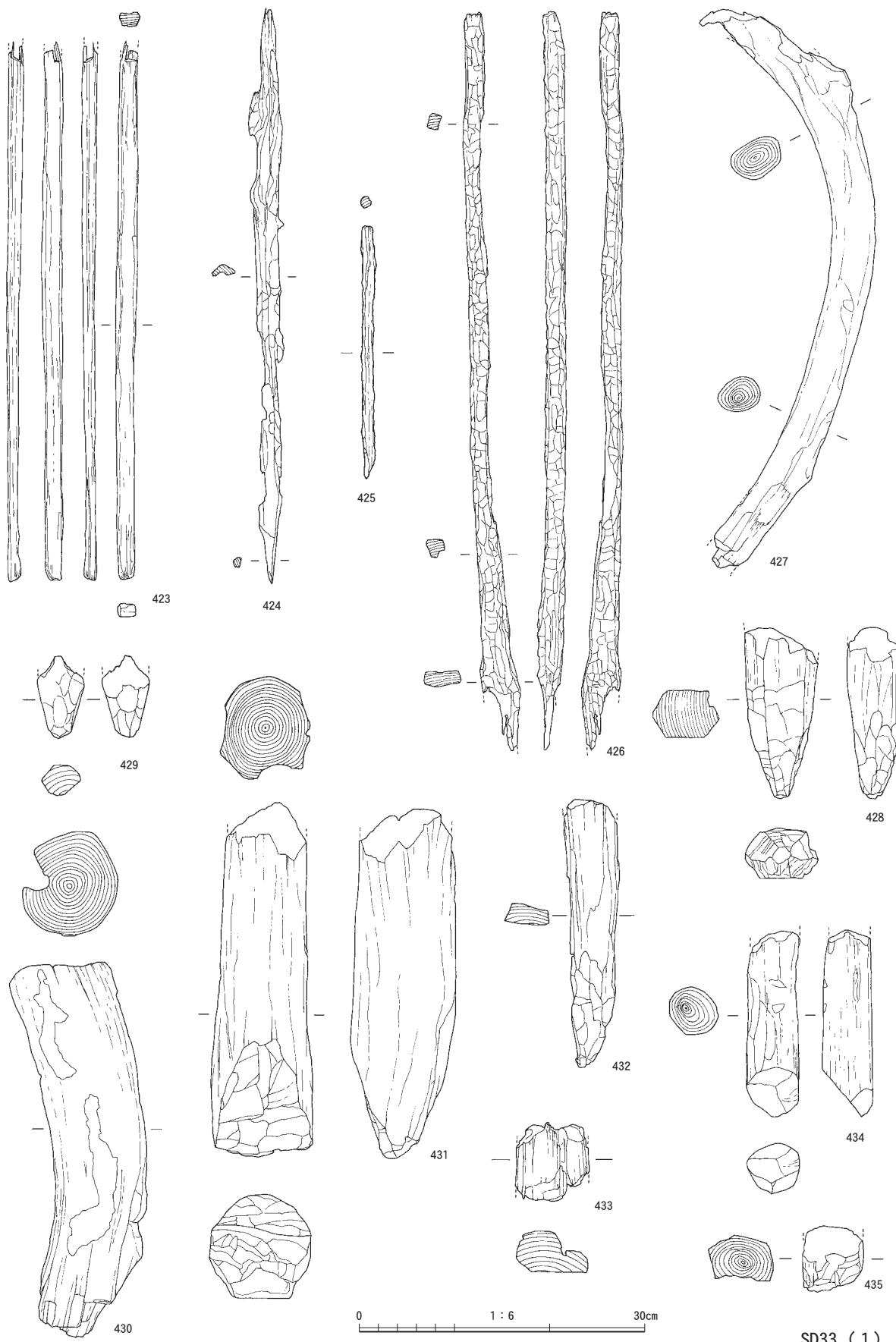
石器・石製品（5）

図版38



図版39

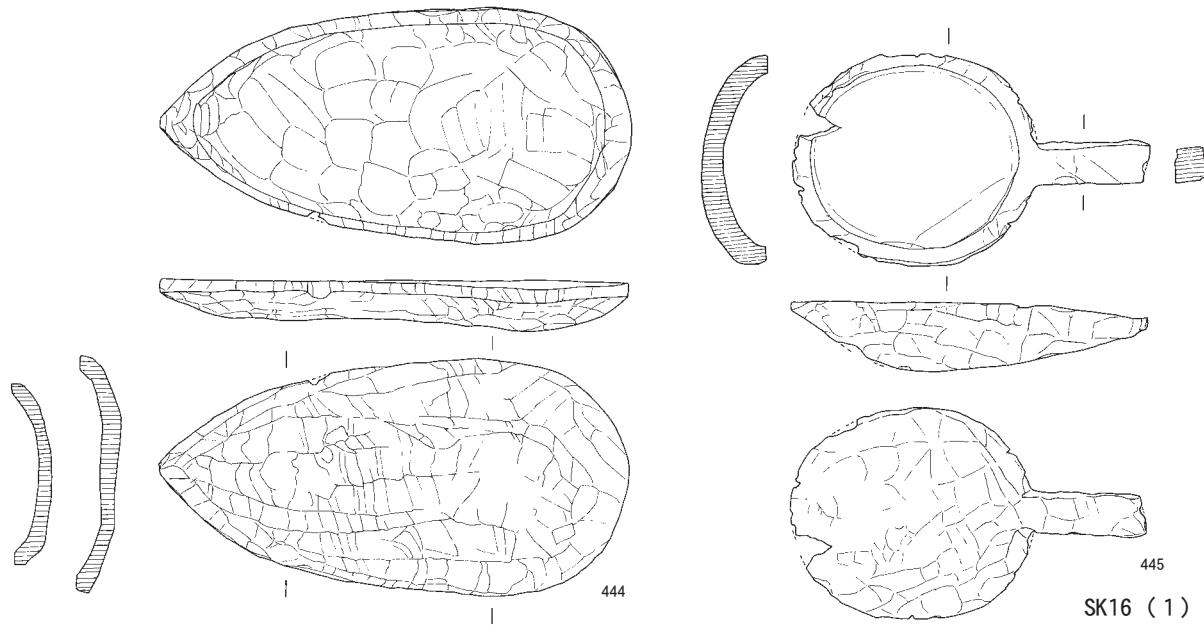
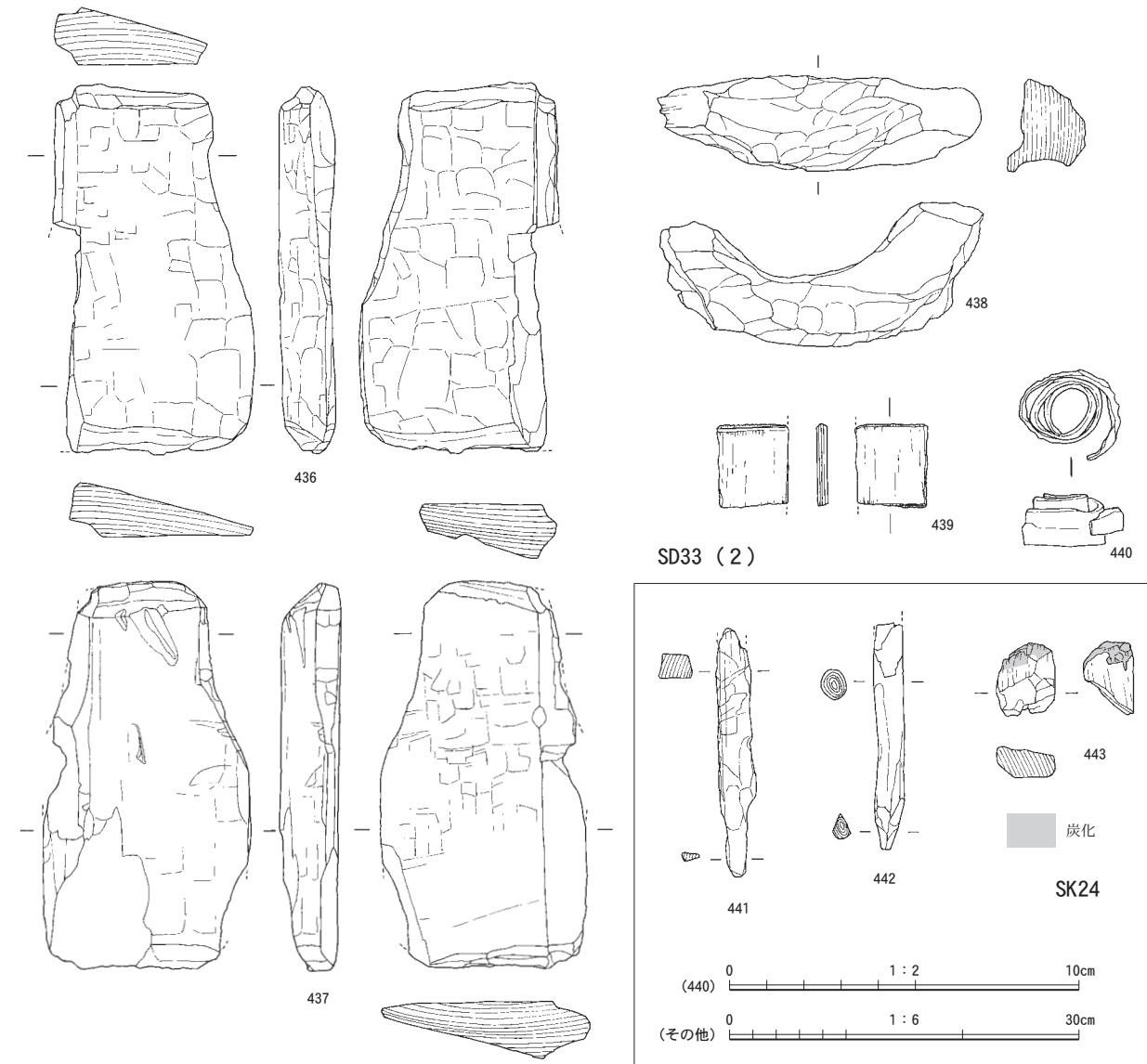
木製品（1）



SD33 (1)

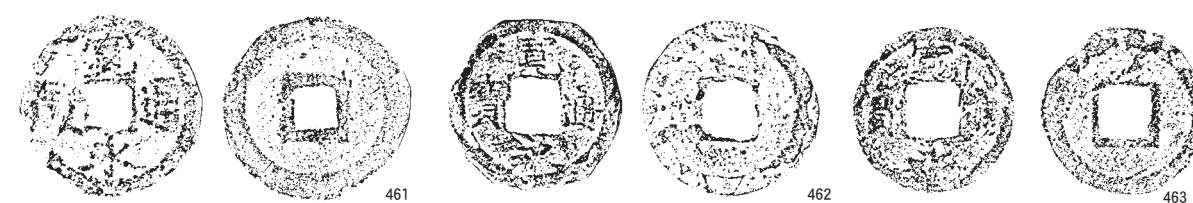
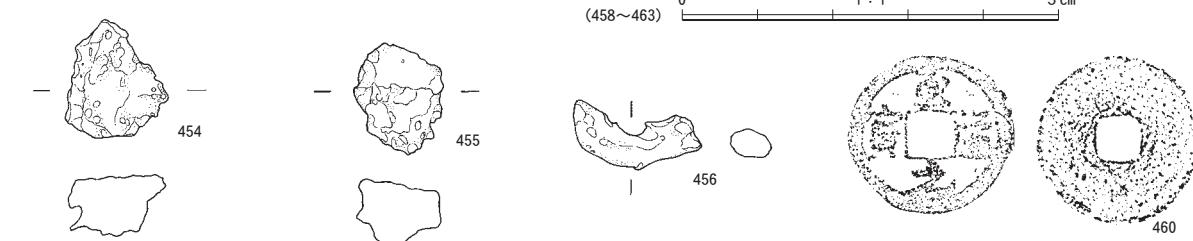
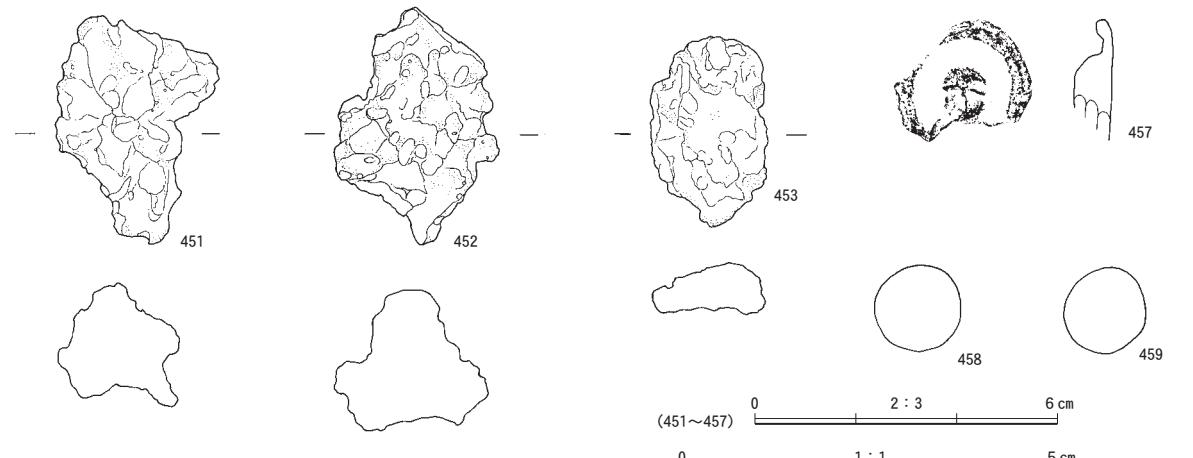
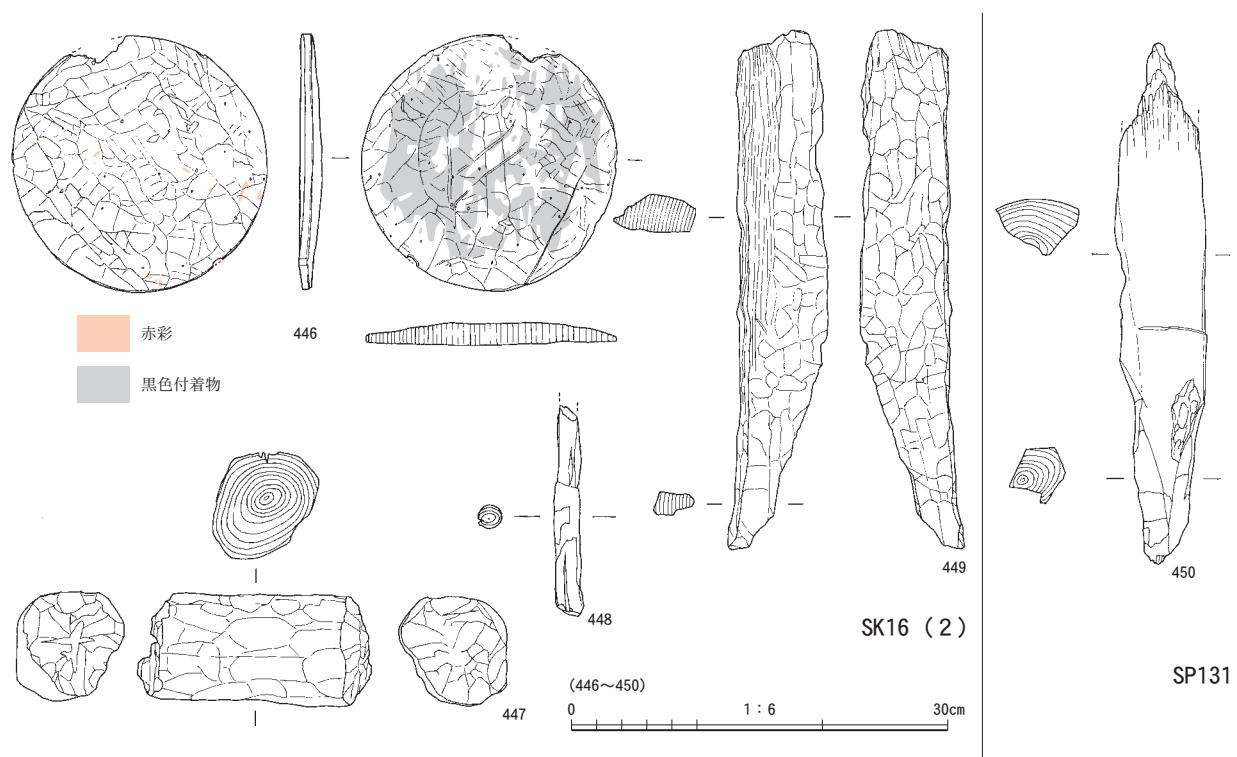
木製品（2）

図版40



図版41

木製品（3）・その他



遺構外

完掘写真（1）



草薙遺跡全景（東から）

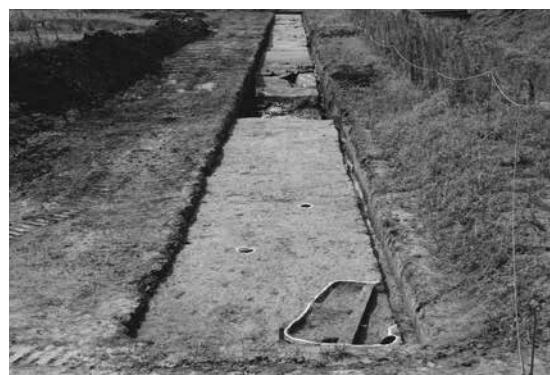
図版42



1T 完掘状況（西から）



3T 完掘状況（北から）



4T 完掘状況（南東から）



5T 完掘状況（南西から）



6T 完掘状況（南から）



7T 完掘状況（南から）



8T 完掘状況（北東から）

図版43

完掘写真（2）・基本層序・遺構遺物写真（1）



9T調査前（南東から）



9T完掘状況（南東から）



基本層序（3T）



基本層序（7T）



SE01（3T）セクション（南西から）



SE01（3T）骨出土状況（南西から）



SK03（3T）遺物出土状況（南東から）



SK16（6T）高坏出土状況（南東から）



SK16 (6T) セクション (南から)



SK16 (6T) 木製品出土状況 (西から) ①



SK16 (6T) 木製品出土状況 (南から) ①



SK16 (6T) 木製品出土状況 (西から) ②



SK16 (6T) 木製品出土状況 (南から) ②



SK16 (6T) 木製品出土状況 (西から) ③



SK16 (6T) 完掘状況 (南から)



SK24 (4T) セクション (南西から)

図版45

遺構遺物写真（3）



SD33 (7T) セクション (東から)



SD33 (7T) 完掘状況 (南東から)



SD33 (6T) 遺物出土状況 (北西から)



SD33 (6T) 完掘状況 (北から)



SD33 (4T) 全景 (西から)



SD33 (4T) 砂石出土状況 (北東から)



SD33 (4T) P1~P6出土状況 (南東から)



SD33 (4T) P2~P4セクション (東から)

遺構遺物写真（4）

図版46



SK25 (6T) セクション (西から)



SD23~25 (3T) セクション (南東から)



SD32 (7T) 遺物出土状況 (西から)



SD32 (7T) 弥生土器出土状況



SD34 (7T) 遺物出土状況 (南西から)



SD50 (6T) セクション (南東から)



SD56 (4T) セクション (北東から)



4T IV' 層上面遺物出土状況 (南から)

図版47

遺構遺物写真（5）



SX09 (3T) セクション（南西から）



SX09 (3T) 遺物出土状況（北西から）



SX09 (3T) 発掘調査風景（南から）



SP16 (3T) セクション（南から）



SP91 (6T) セクション（南西から）



SP34 (3T) セクション（南から）



SP89 (6T) セクション（南西から）



8T IV層管玉出土状況（北西から）

作業風景

図版48



表土除去作業



調査風景



測量作業



包含層調査



地元向け現地説明会（平成21年7月12日）



整理作業



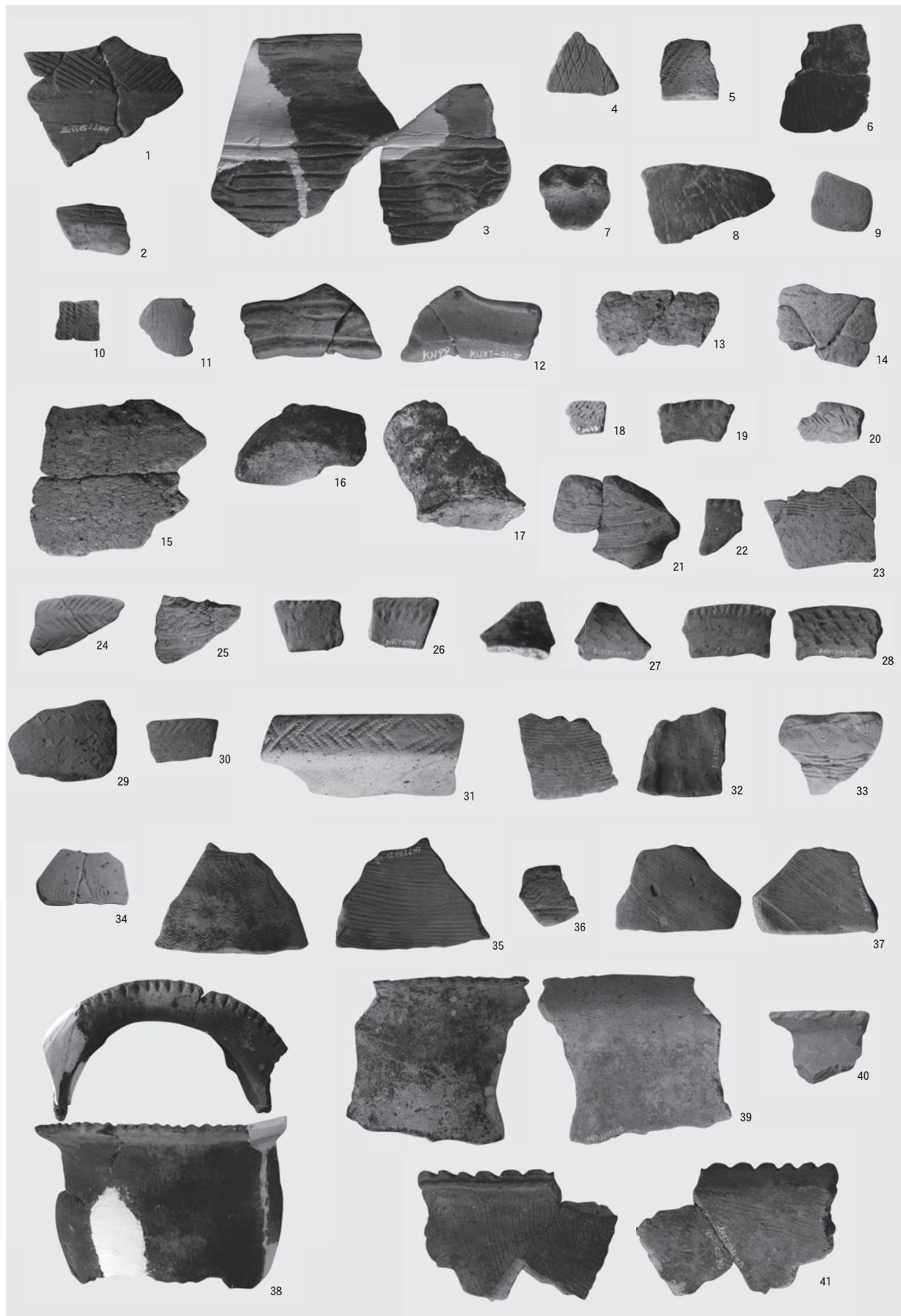
調査に参加した皆さん（平成20年度）



調査に参加した皆さん（平成21年度）

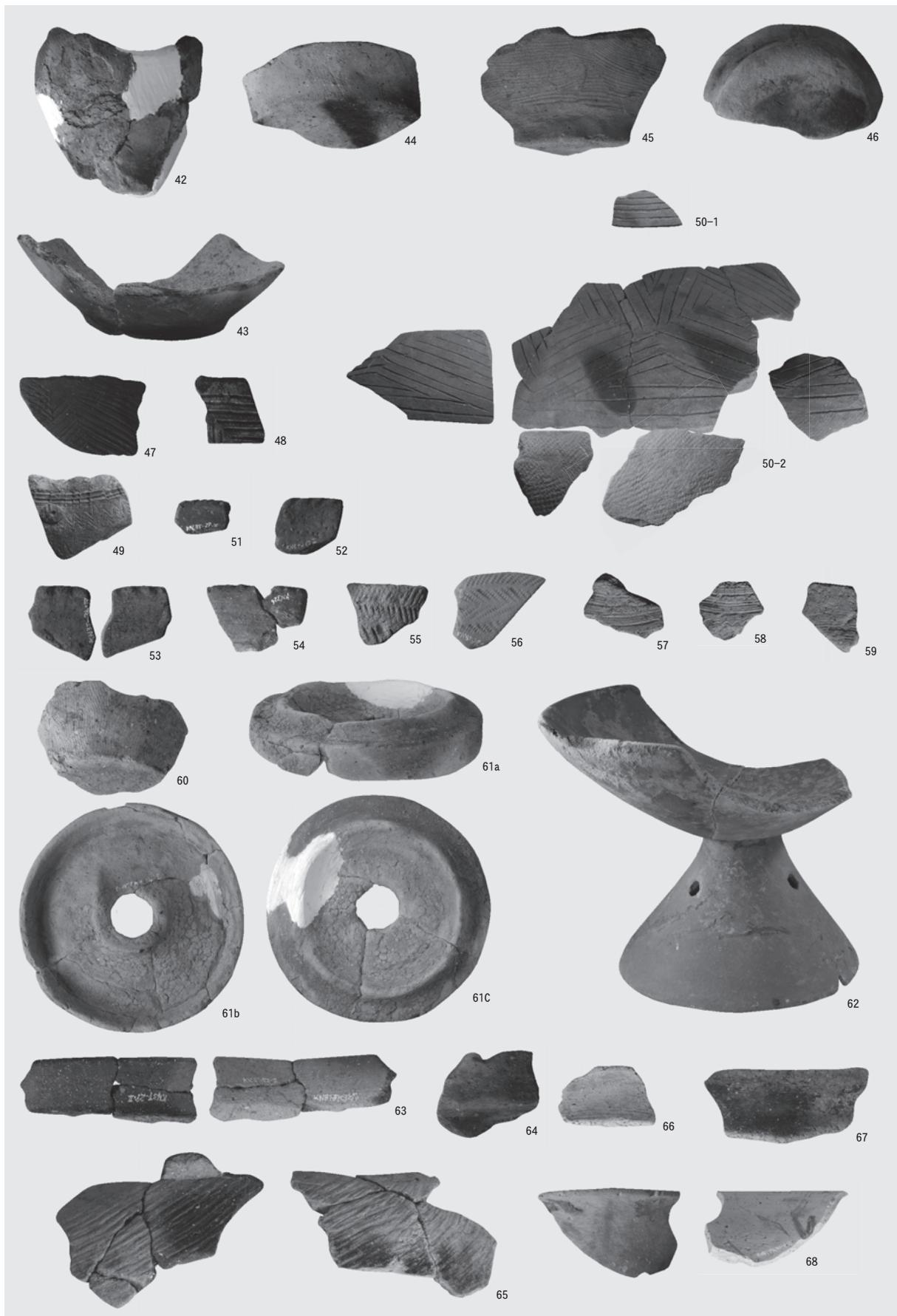
図版49

遺物写真（1）



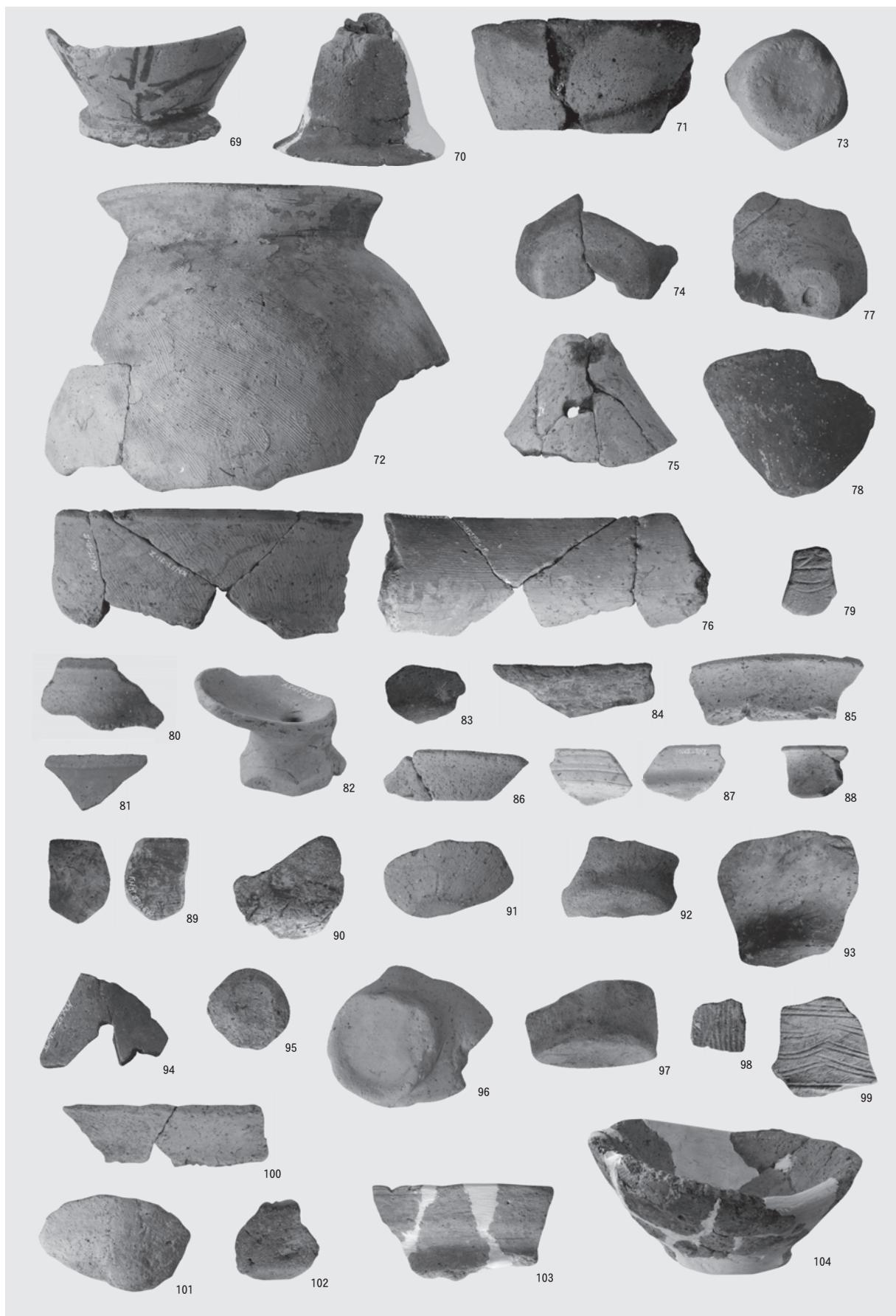
遺物写真（2）

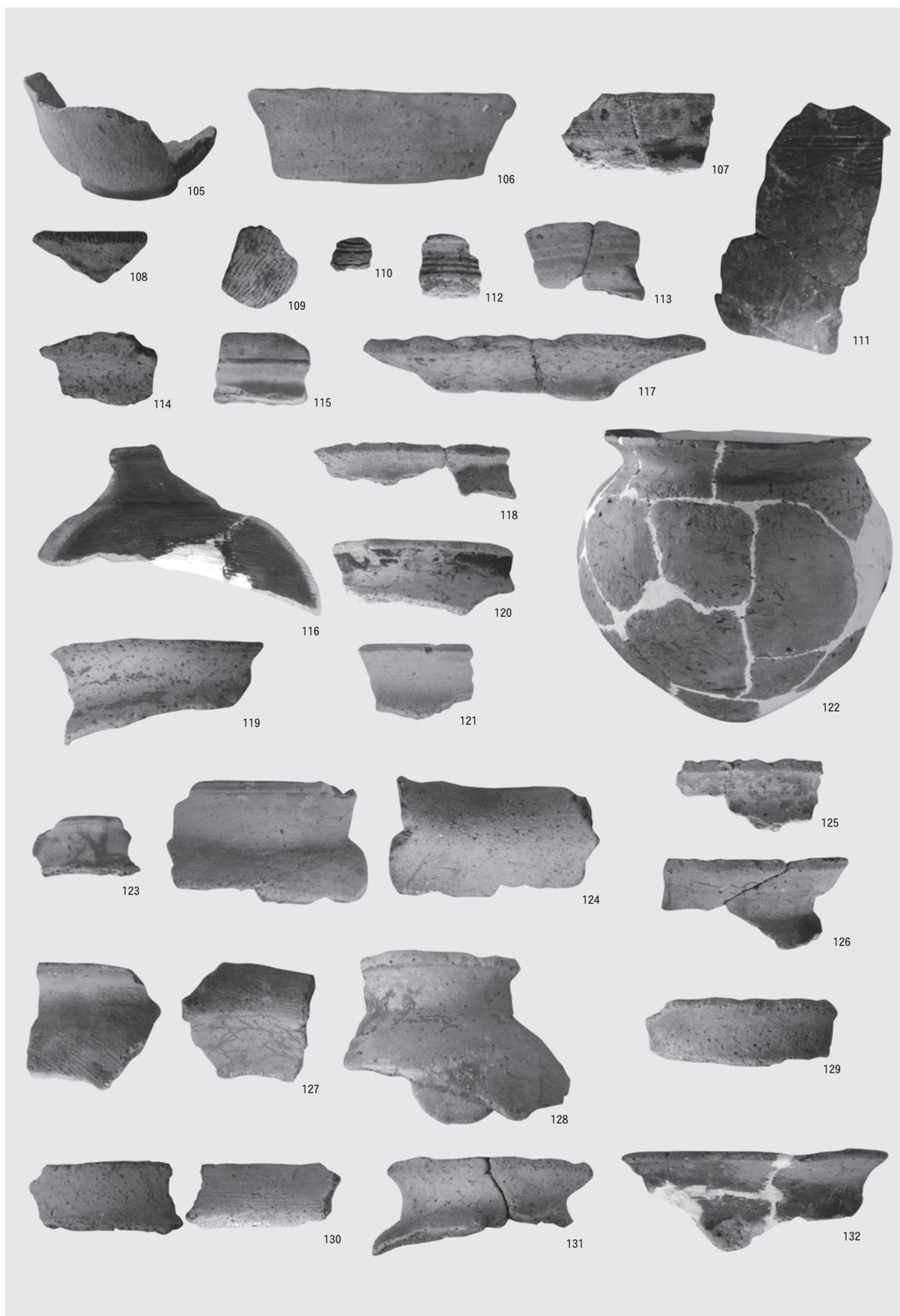
図版50

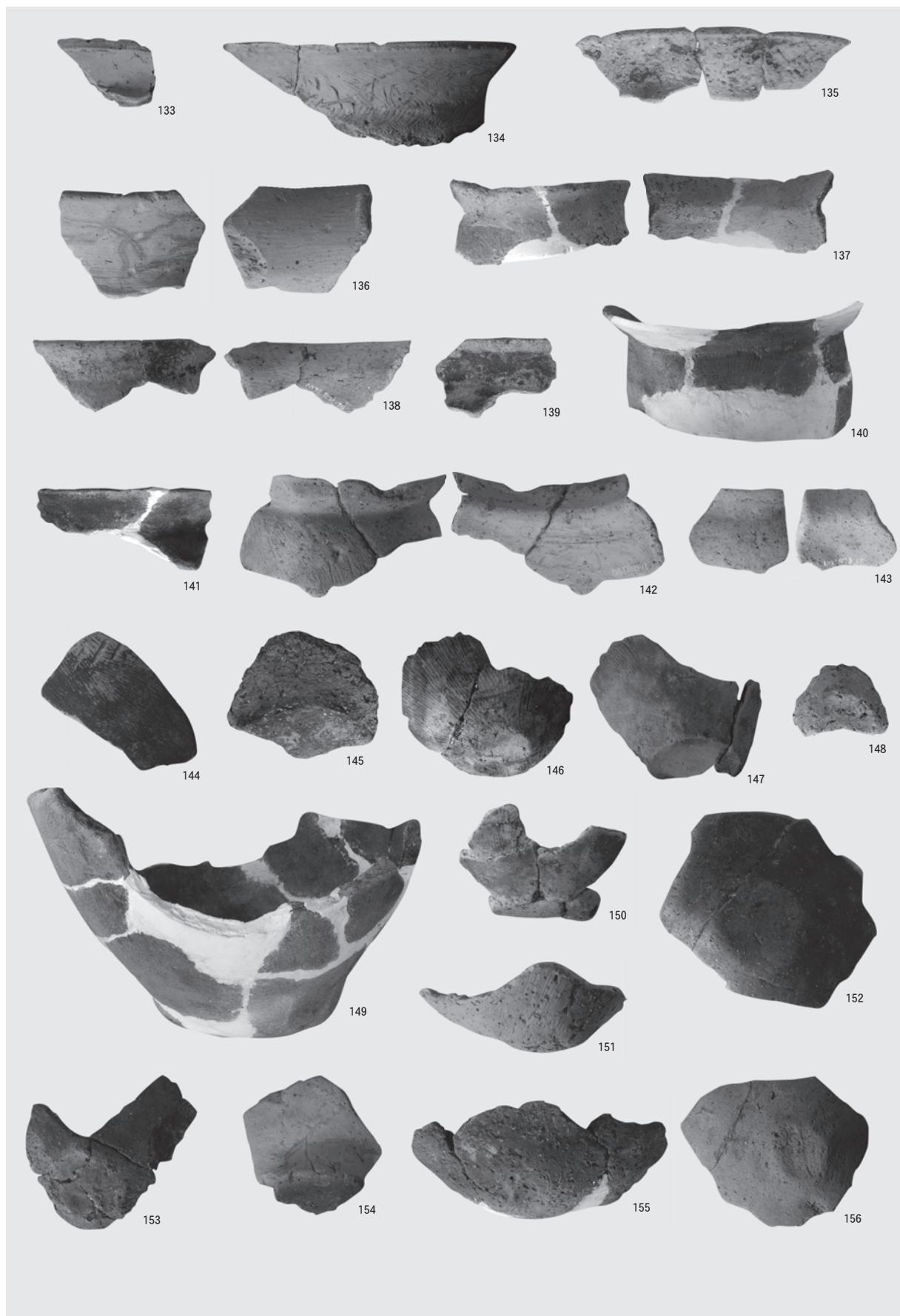


図版51

遺物写真（3）



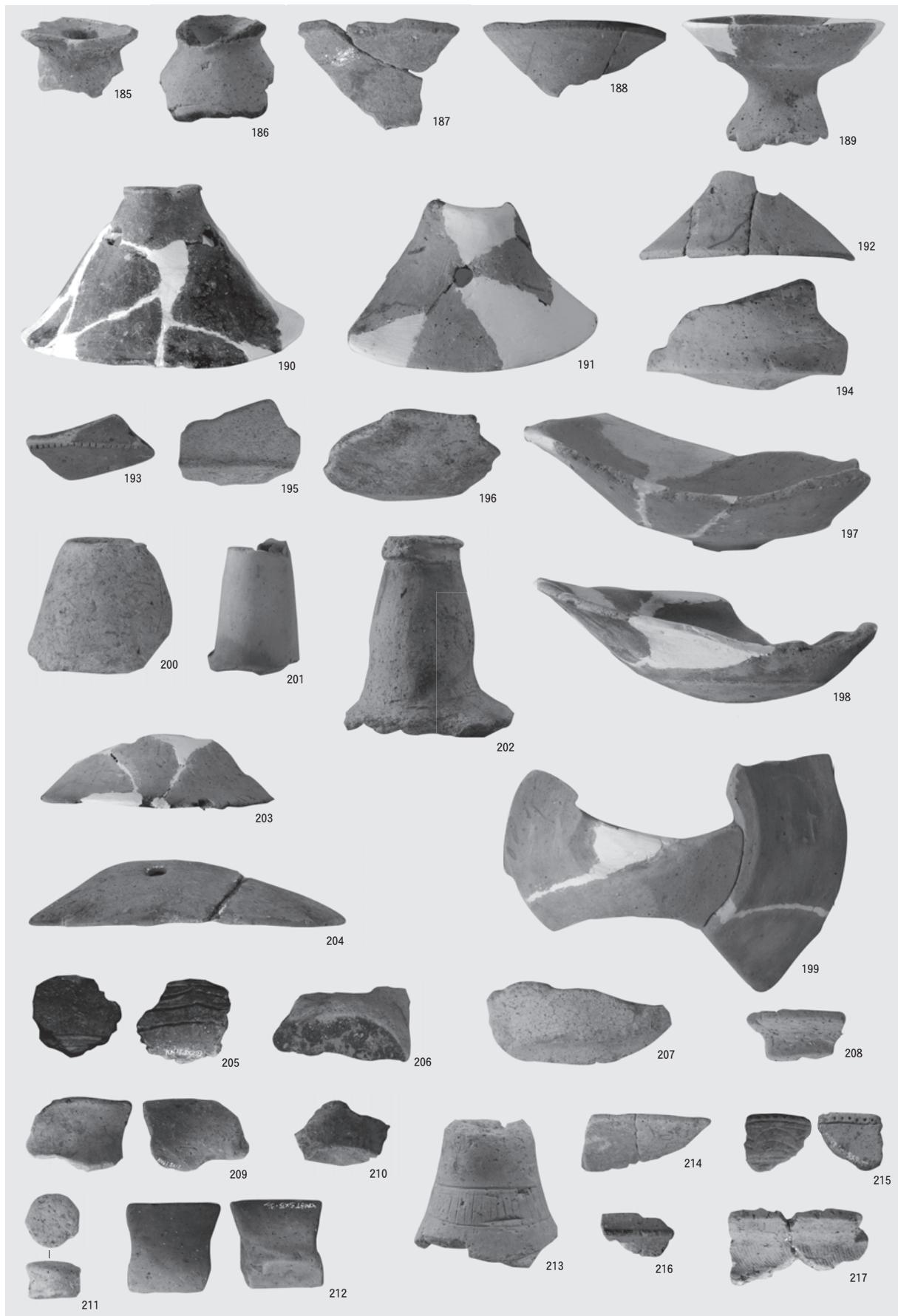


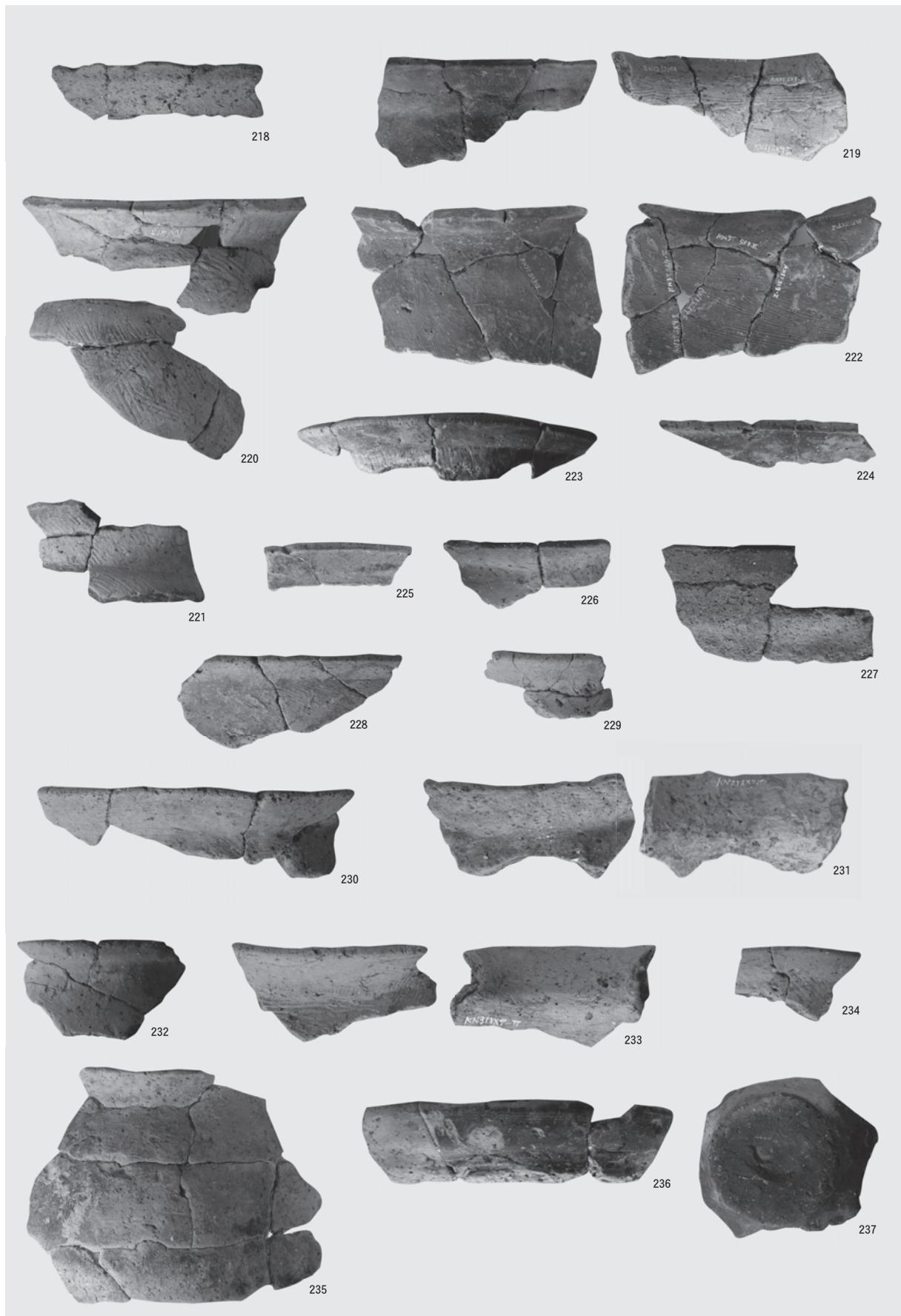




図版55

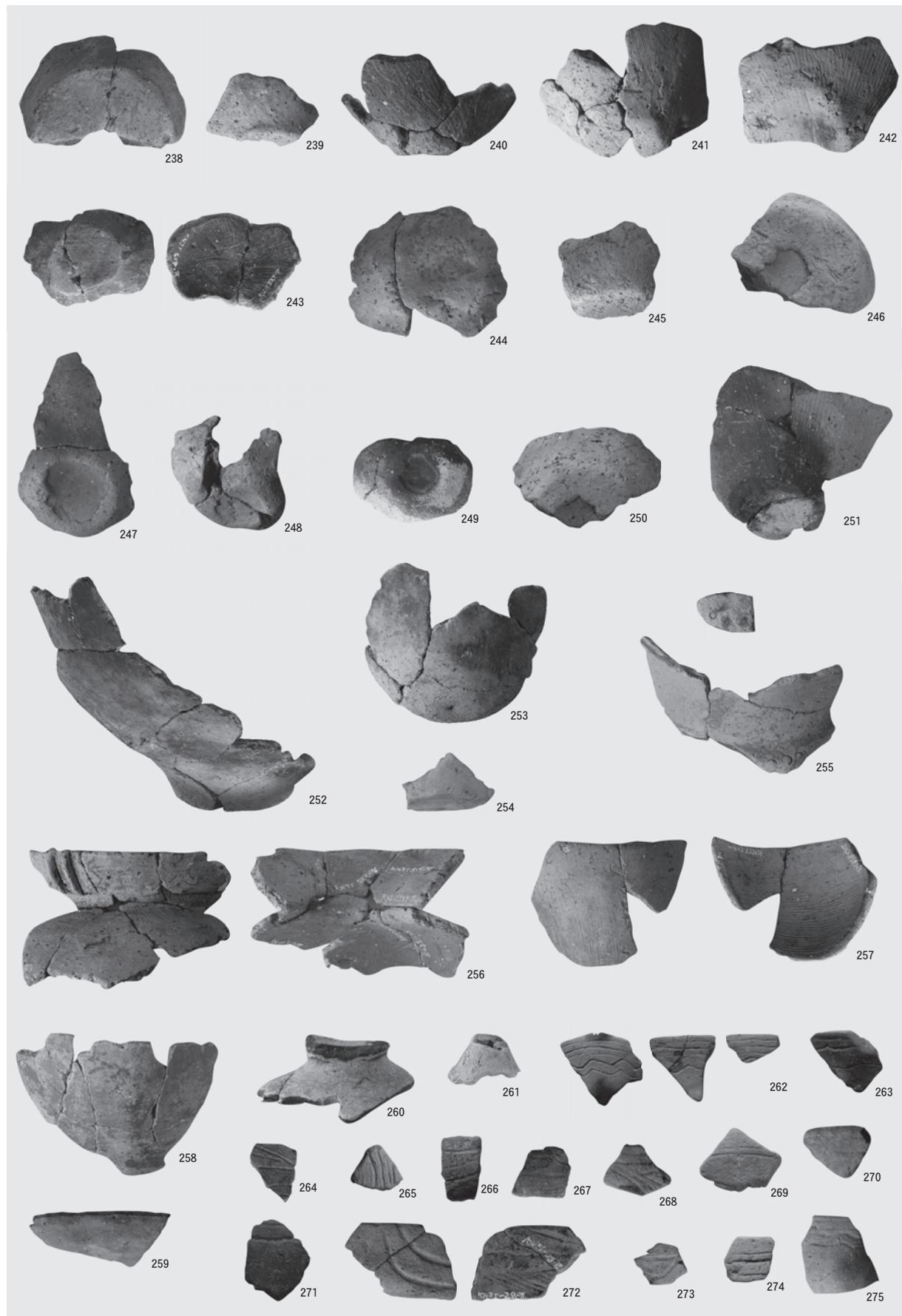
遺物写真（7）





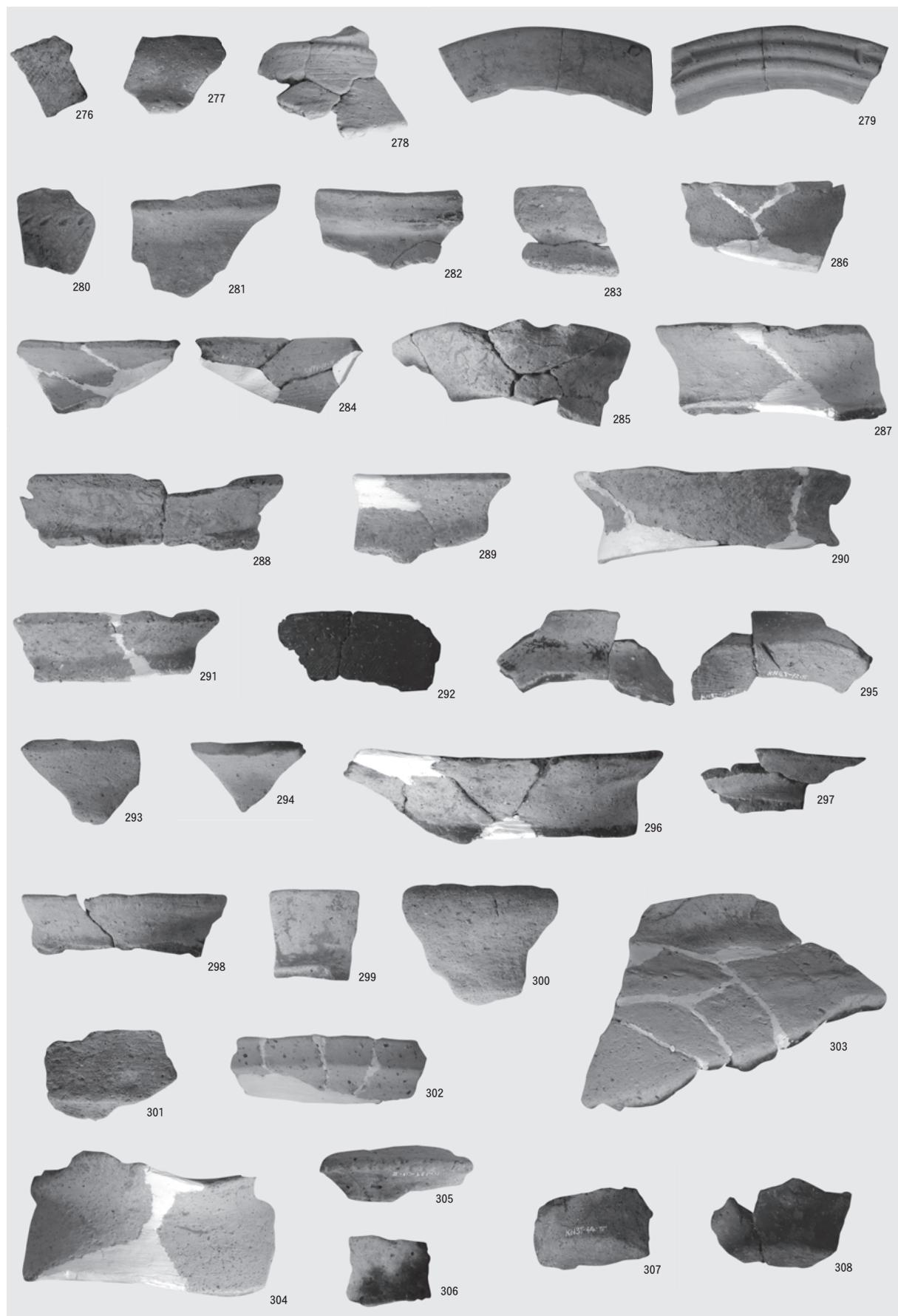
図版57

遺物写真（9）



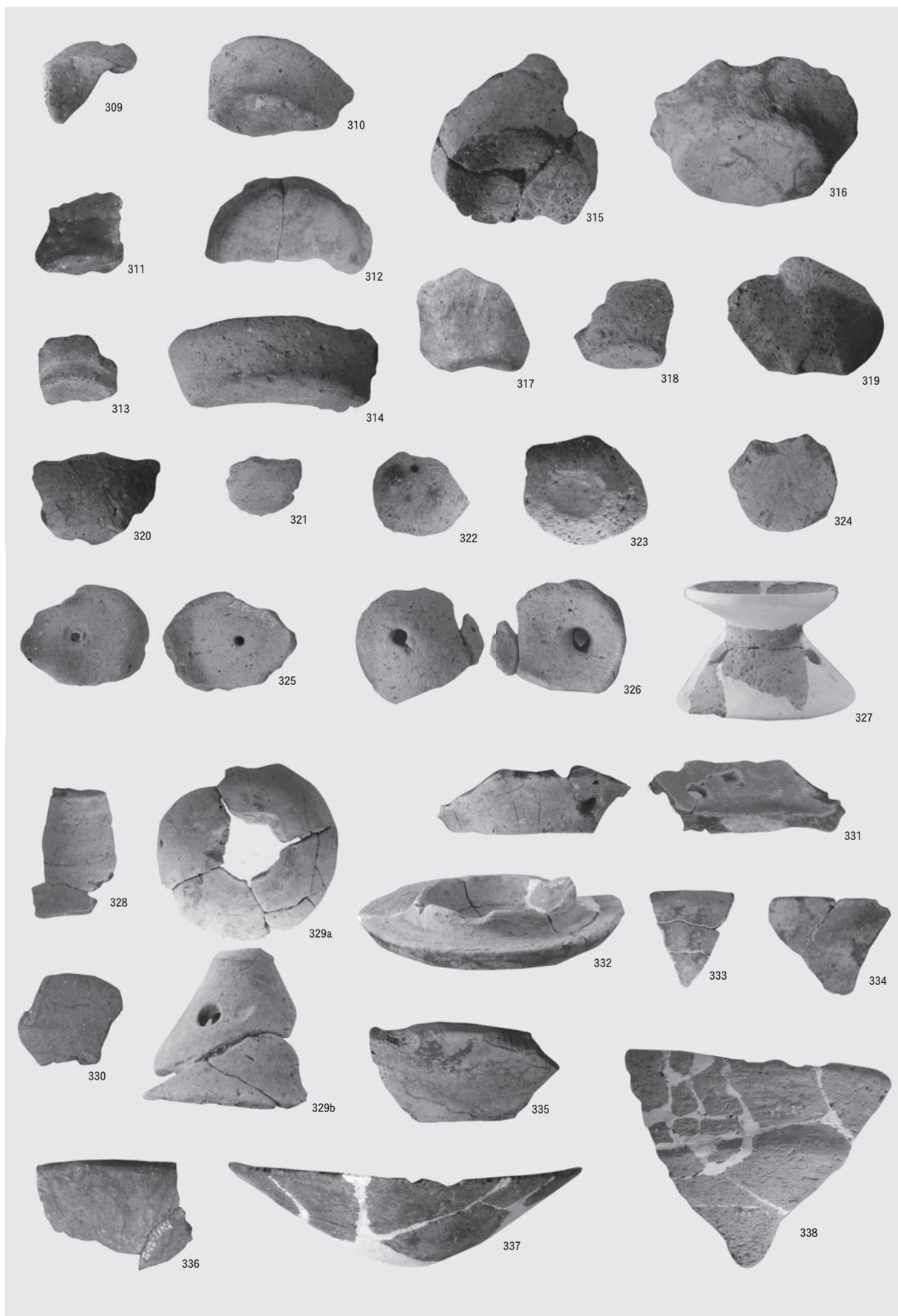
遺物写真 (10)

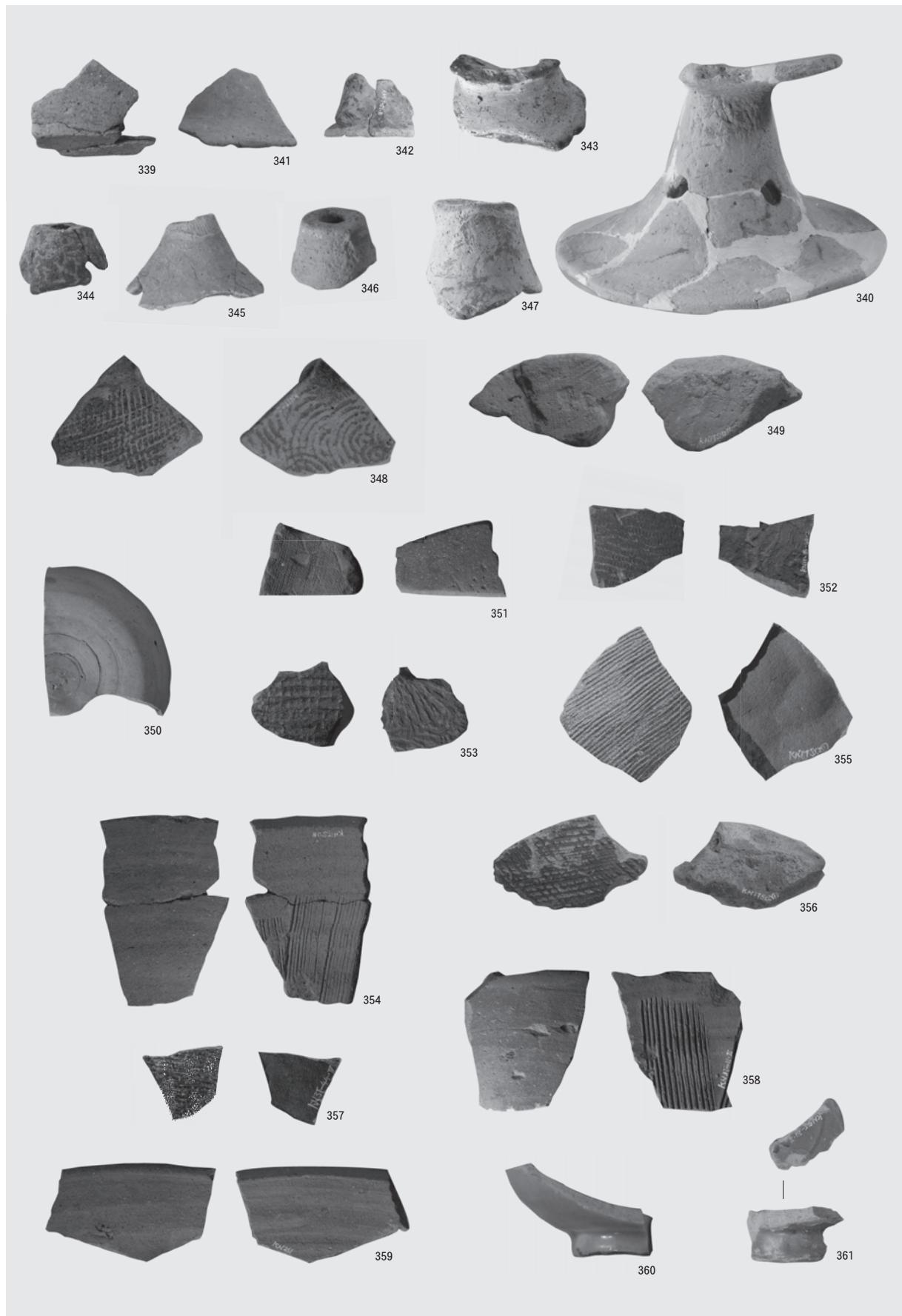
図版58



図版59

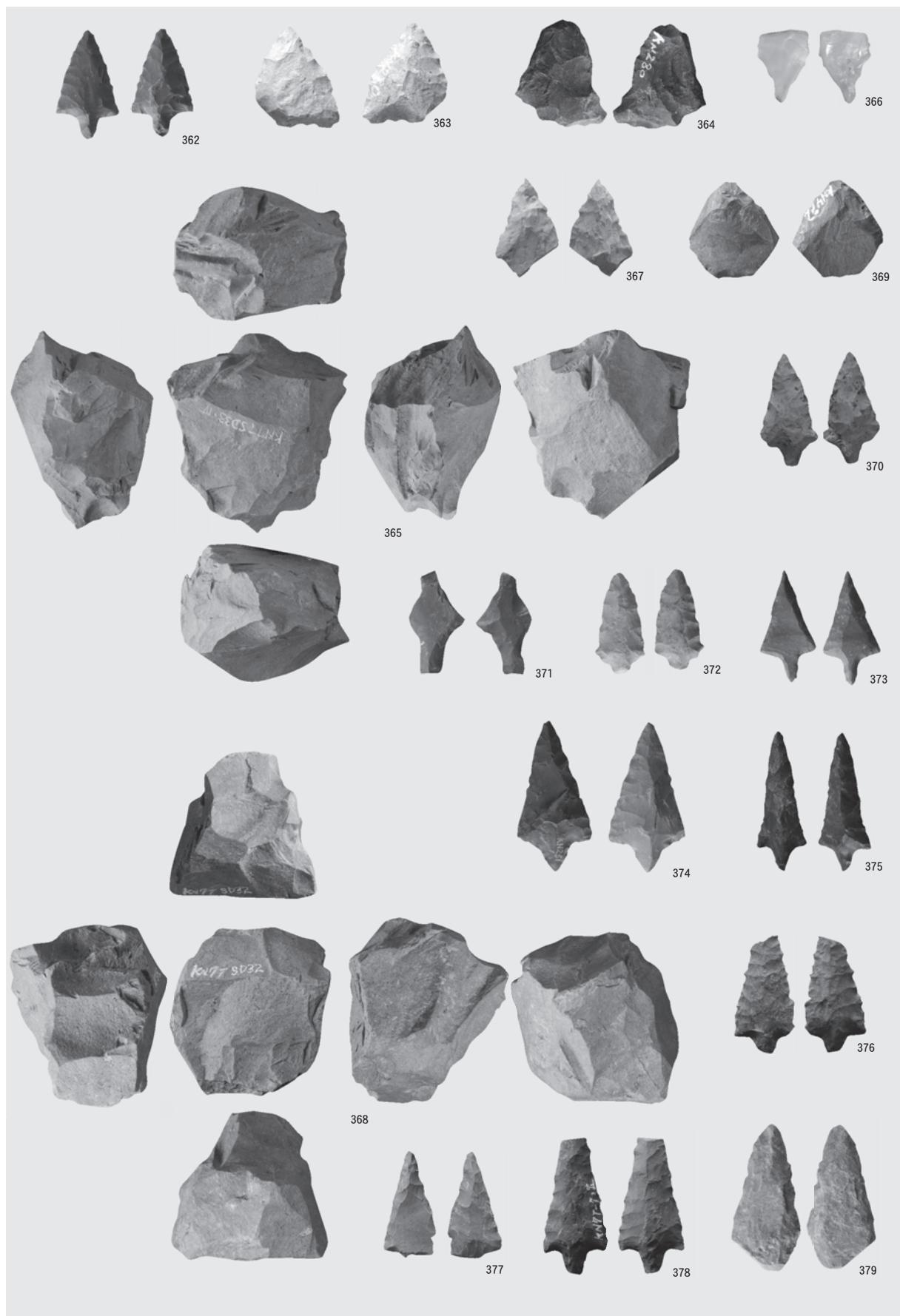
遺物写真 (11)

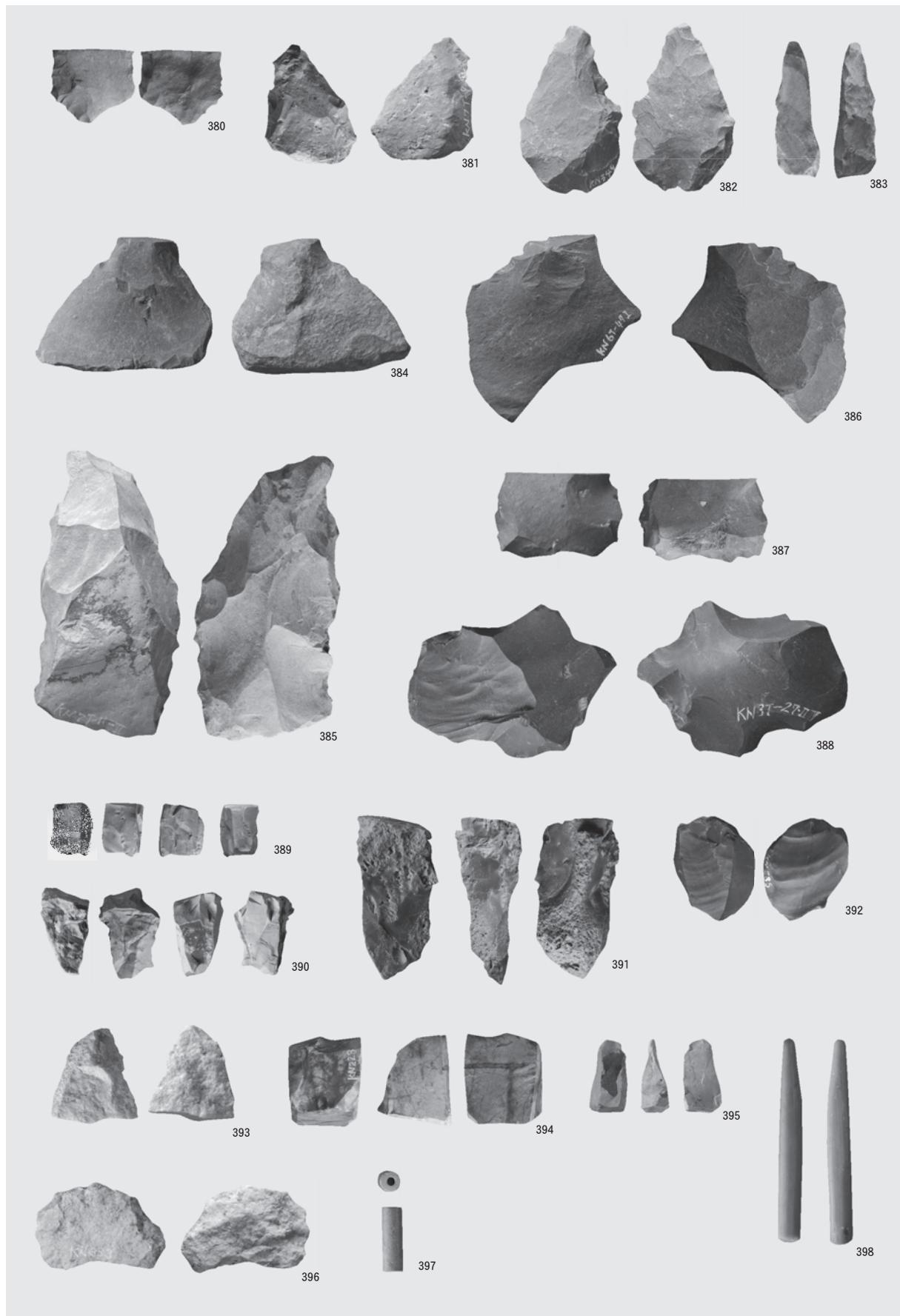




図版61

遺物写真（13）

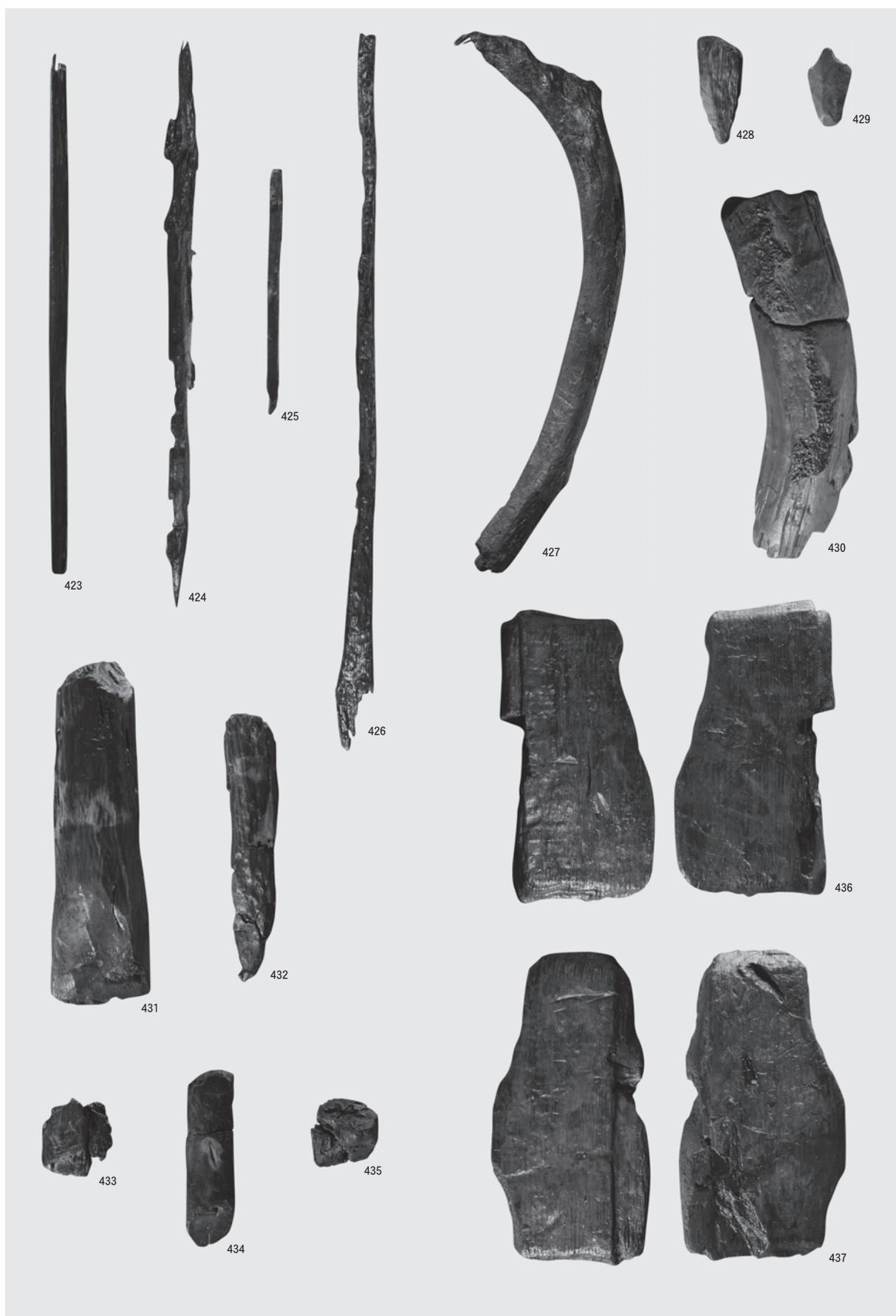




図版63

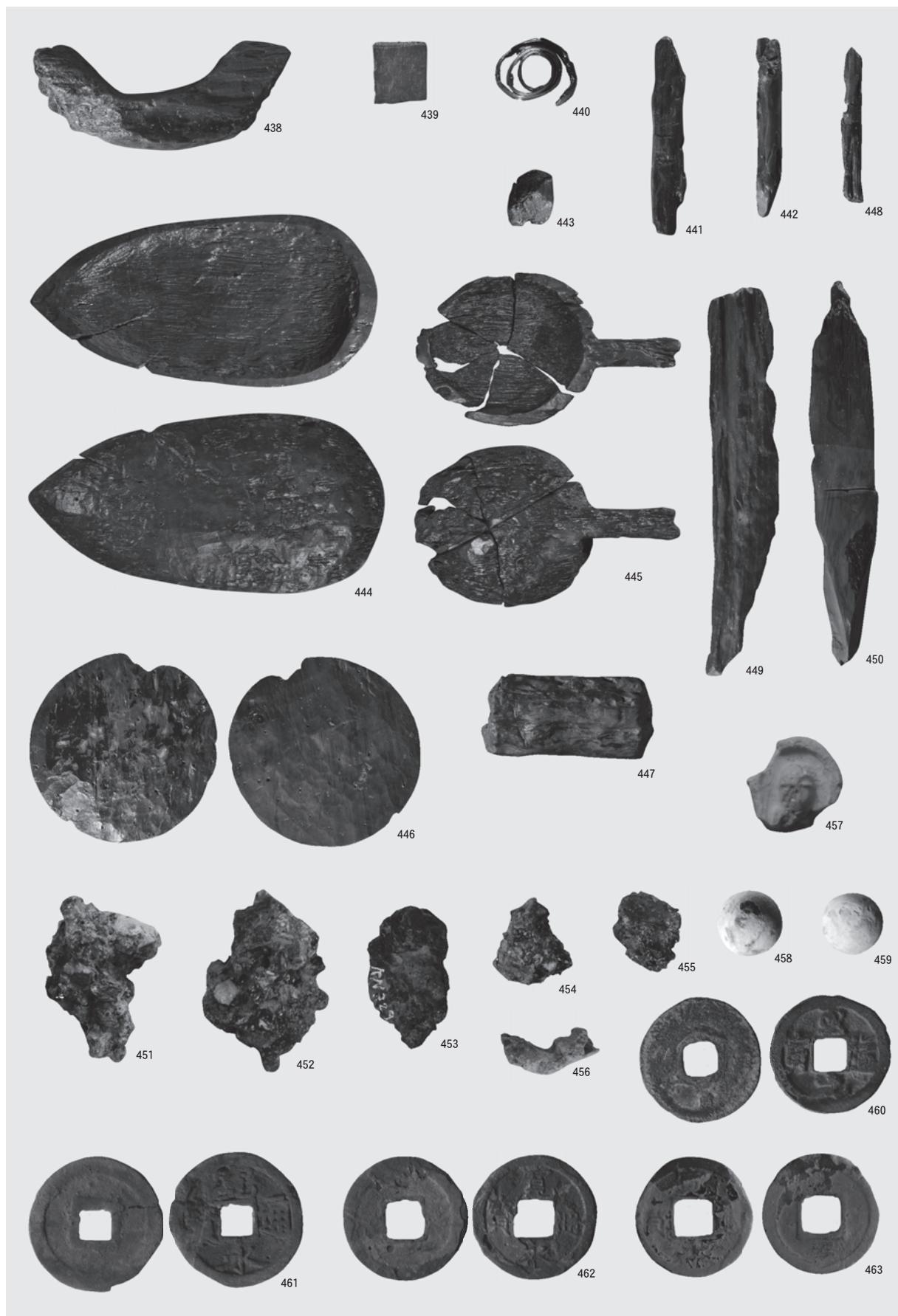
遺物写真（15）





図版65

遺物写真 (17)



## 報告書抄録

ふりがな	くさなぎいせき							
書名	草薙遺跡							
副書名	県営育成体基盤整備事業（潟1期地区）に伴う埋蔵文化財調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	加藤由美子 小林 徳 松井奈緒子							
編集機関	長岡市教育委員会							
所在地	〒940-0072 新潟県長岡市柳原町2番地1 TEL0258-32-0546							
発行年月日	2011年3月22日							
所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
くさなぎいせき 草薙遺跡	にいがたけんながおかし 新潟県長岡市 てらどまりあずきぞね 寺泊小豆曾根	15021	1049	37° 37' 34"	138° 49' 33"	20081014 ～20081129 20090608 ～20091027	2,325m <sup>2</sup>	県営育成体基盤 整備事業 (潟1期地区)
所収遺跡名	種別	主な時期		主な遺構		主な遺物		特記事項
くさなぎいせき 草薙遺跡	集落跡	弥生時代中期 弥生時代後期 古墳時代前期		ピット・井戸 土坑・溝 自然流路		弥生土器・土師器 木製品・石器・石製品		古墳時代前期の 木製品が出土

### 草薙遺跡

県営育成体基盤整備事業（潟1期地区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成23(2011)年3月22日 印刷

平成23(2011)年3月22日 発行

発行 新潟県長岡市教育委員会

印刷 あかつき印刷株式会社